

**福生市高齢者・障害者生活実態調査
報告書**

平成 23 年 9 月

福 生 市

～目次～

I 調査の概要

1 調査の目的	3
2 調査の方法	3
3 回収結果	4
4 報告書の見方	4

II 調査結果のまとめ

1 在宅要介護者	7
2 施設入所者	8
3 一般高齢者	9
4 身体・知的障害者	10
5 精神障害者	12

III 在宅要介護者

1 ご本人（あて名の本人）について	15
2 介護保険の申請とケアプランについて	19
3 住まいと収入について	22
4 本人の身体や介護の状況について	24
5 介護サービス（介護予防サービスを含む）の利用状況について	31
6 現在、介護サービスを利用していない方について	55
7 高齢者福祉サービスについて	56
8 主な介護者がお答えください	58
9 災害対策について	64

IV 施設入所者

1 入所されているご本人のことについて	72
2 介護保険の要介護認定と申請について	79
3 介護サービスについて	80
4 本人の身体や介護の状況について	86

V 一般高齢者

1	ご本人のことについて	93
2	住まいと収入について	95
3	本人の健康状態などについて	100
4	本人の日常生活について	105
5	介護保険について	112
6	在宅サービスについて	117
7	災害対策について	120

VI 身体・知的障害者

1	身体障害者手帳や愛の手帳をお持ちのご本人のことについて	127
2	日常生活について	135
3	現在のお住まいについて	147
4	健康状態について	148
5	障害者福祉サービスについて	156
6	在宅サービスを利用している方について	162
7	施設サービスを利用している方について	163
8	その他の福祉サービスについて	164
9	災害のときなど緊急時の対応について	169

VII 精神障害者

1	ご本人のことについて	177
2	日常生活について	182
3	現在のお住まいなどについて	187
4	健康状態について	190
5	福祉サービスについて	197
6	就労意欲について	206
7	収入について	207
8	災害のときなど緊急時の対応について	210

◆ 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、高齢者・障害者の生活実態及び福祉施策に対する要望等を把握し、福生市介護保険事業計画（第5期）及び福生市障害福祉計画（第3期）を策定する際の基礎資料を得ることを目的に実施しました。

2. 調査の方法

- (1) 調査地域 : 福生市全域
- (2) 調査基準日 : 平成23年5月1日現在
- (3) 対象者及び人数 : 下記の表を参照

対象者	抽出方法	対象者数	配布回収
在宅要介護者 (要支援・要介護被認定者)	福生市の介護保険被保険者で、介護保険の要支援・要介護に認定されている方全員	969人	郵送配付 郵送回収
施設入所者 (要支援・要介護被認定者)	福生市の介護保険被保険者で、介護保険制度により施設に入所している方全員	404人	施設へ依頼 郵送回収
一般高齢者	在宅要介護者、施設入所者、身体・知的障害者以外の65歳以上の一般高齢者男女（抽出）	2,156人	郵送配付 郵送回収
身体・知的障害者	身体障害者手帳（1級～6級）、愛の手帳（1度～4度）の所持者全員	1,456人	郵送配付 郵送回収
精神障害者	施設、医療機関等へ依頼し、協力を得られた人	142人	施設等へ依頼 郵送回収
合計		5,127人	

3. 回収結果

対象者	配布数	有効回収数	有効回収率
在宅要介護者(要支援・要介護認定者)	969	489	50.5%
施設入所者(要支援・要介護認定者)	404	174	43.1%
一般高齢者	2,156	1,354	62.8%
身体・知的障害者	1,456	750	51.5%
精神障害者	142	90	63.4%
合計	5,127	2,857	55.7%

4. 報告書の見方

- 集計結果は、少数第2位を四捨五入して、それぞれの割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対するそれぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフおよび表のn数は有効回収数（集計対象者総数）、（SA）は単数回答の設問、（MA）は複数回答の設問、（数量）は数字の直接回答の設問を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

Ⅱ

調査結果のまとめ

1. 在宅要介護者

- ・対象者の属性では、女性が6割を占め、かつ、年齢においては5割強が80歳以上となっています。
- ・住まい方としては、ひとり暮らしは27.8%となっています。
- ・要介護度については、「要介護2」との回答が23.7%でもっとも多く、次いで「要介護3」が19.6%、「要支援2」が16.4%となっています。
- ・現在の住まいで困っていることでは、「玄関回りの階段や段差」(25.4%)、「風呂が使いにくい」(17.6%)などの回答が目立ちます。
- ・高齢者の生活に配慮した公的住宅への入居意向としては、5割強は今の住宅のままでよいと回答していますが、「今すぐに入居したい」(9.0%)、「今はいいがそのうち入居したい」(15.5%)との回答も見られます。
- ・寝たきりになられている方は全体で8.9%、「1年未満」と比較的最近なられた方は全体の2.5%となっています。
- ・介護が必要になった直接の原因としては「脳血管疾患」が約2割となっています。「認知症」との回答は、75歳以上で1割を超えています。
- ・地域包括支援センターについては6割強が内容を知らないと回答しています。利用経験がある人については全体の4割弱となっています。
- ・介護保険サービスの全体の満足度については、7割弱が『満足』していると回答しています。個々のサービスについては「居宅療養管理指導」(35.0%)、「認知症対応型通所介護」(54.6%)などは利用者が少ないですが、『満足』との回答が他のサービスに比べ低く、「短期入所生活介護」では『不満』の回答が約2割となるなどの傾向が見られます。
- ・今後利用したいサービスでは、「短期入所」が2割を越え高く、次いで「介護老人福祉施設」(16.4%)が続いています。
- ・介護保険施設や医療機関への入所申し込みをしている割合は約1割で、そのうちの約半数は「介護老人福祉施設」への入所を希望しています。
- ・介護サービス利用料の負担感については、「負担を感じている」層は全体の3割弱おり、要介護3以上では特に高い回答となっています。
- ・介護サービスを利用して良かったこととしては、「家族の介護負担が減った」がもっとも多く、中でも要介護3以上では半数を越えて高い回答となっています。
- ・移送サービスの『利用経験のある人』は全体の約2割おり、その主な理由としては「施設などへの通所のため」が44.7%、「通院のため」が37.2%となっています。
- ・「成年後見センター福生」の名称も内容も知っている人は15.1%、「成年後見制度」は20.9%、「市民後見人」は8.2%、「地域福祉権利擁護事業」は7.6%となっており、今後も周知の必要性があります。
- ・災害発生時に自力で避難するのが困難であるとする割合は8割を超えています。また、そのうちの約2割が「身近に手助けをしてくれる人がいない」と回答しています。
- ・「災害時要援護者登録制度」を知っている人は全体の約3割、登録も行っていると回答した人は11.5%です。

2. 施設入所者

- ・対象者の属性では、6割が介護老人福祉施設に入所しています。また、回答者全体のうち約8割が女性を占めています。年齢では9割が後期高齢者（75歳以上）です。
- ・施設への入所年数は「1年未満」が25.9%となっています。
- ・入所した理由では「家族での介護ができないため」が74.1%で大半の方の意見となっています。
- ・地域包括支援センターについては7割強が内容を知らないと回答しています。利用経験がある人については全体の約4分の1です。
- ・現在利用している施設のサービス全体の満足度では、8割強が満足していると回答しています。
- ・「成年後見センター福生」の名称も内容も知っている人は8.6%、「地域福祉権利擁護事業」は5.2%、「成年後見制度」は16.1%、「市民後見人」は5.7%となっており、今後も周知の必要性があります。
- ・回答者の要介護度については要介護4が31.0%で最も多くなっています。要介護4以上の重度の利用者は全体の56.9%です。
- ・入所施設を選んだのは「家族」との回答が半数を越えて最も多くなっています。
- ・入所施設のサービス全体の満足度については、『満足』との回答が8割を超えています。『不満』との回答は全体の4.0%です。
- ・利用料の負担感については、負担を感じているとの回答は全体の約3割です。
- ・日常生活動作については、すべての項目で4割以上が何らかの介助が必要であると回答しています。家族や他人の言うことが本人に分かるか、については約3割が「分からない」と回答しています。
- ・屋内の移動や外出については、なんらかの介助が必要な人は全体の9割を超え、1日中ベッドや布団にいる状態の人も3割弱みられます。
- ・今後の希望する介護を受ける場所では、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の希望が59.8%と最も多く、「在宅」との回答は9.8%です。

3. 一般高齢者

- ・対象者の属性では、年齢は前期高齢者（65歳～74歳）が約6割、後期高齢者（75歳以上）は約4割となっています。居住年数については20年以上と長期にお住まいの方が8割となっています。
- ・ご家庭の状況については「家族などと同居」が79.5%、ひとり暮らしは18.1%の割合となっています。同居者は配偶者が8割を超え、息子が約3割、娘が2割弱となっています。
- ・住まいで困っていることでは、「玄関回りの階段や段差」（8.0%）、「通気や日当たりが悪い」（7.8%）などの回答が見られます。
- ・高齢者の生活に配慮した公的住宅への入居意向としては、6割弱は今の住宅のままでよいと回答していますが、「今すぐに入居したい」（5.0%）、「今はいいがそのうち入居したい」（18.4%）との回答も見られます。
- ・就労では、「現在働いている」人は全体の4分の1を占め。中でも65～69歳では、4割が回答しています。75歳以上では「働けない」との回答が4割を上回っています。
- ・働きたい理由としては、「生活費が必要だから」が35.6%、「生きがいのため」や「健康のため」といった心身の充実を目的とする回答はそれぞれ約2割の回答となっています。
- ・健康については、ほとんどの高齢者が何かしら気を使っているとの回答をしており、なかでも「食生活に気をつける」では7割を超えています。
- ・健康について知りたいことは「がんや高血圧などの生活習慣病の予防のための日常生活の心得について」が27.3%、「認知症の予防について」が24.7%となっています。
- ・身体機能について、「視力」や「聴力」についてはそれぞれ約4分の1の方が機能低下を感じており、「買い物」については2.3%の人が自分ではいけないと回答しています。
- ・日中、ひとりになること「常時ある」人は全体の27.8%おり、「1週間に何日かある人」と合わせ4割を超えた人がひとりになる可能性があるかと回答しています。
- ・介護が必要になった時の生活では、自宅で暮らし続けたい人は半数を超えています。施設等に入所を希望する割合は16.4%です。
- ・『地域活動に参加している』人は全体の5割弱となっており、参加している人の65.2%は「自治会、町会」に参加しています。
- ・「地域包括支援センター」の名称も内容も知っている人は11.3%、利用経験者もわずか3.9%です。
- ・「成年後見センター福生」の名称も内容も知っている人は14.3%、「地域福祉権利擁護事業」は7.2%、「成年後見制度」は19.6%、「市民後見人」は8.2%となっており、今後も周知の必要性があります。
- ・高齢者福祉や保健に関する情報の入手先についてみると、「広報紙や市のお知らせ」が61.7%、「家族、親族」30.1%となっています。
- ・災害時に「手助けがないと困難だと思う」との回答割合は15.1%となっており、そのうち、身近に手助けをしてくれる人がいない割合は12.2%となっています。
- ・「災害時要援護者登録制度」を知っている人は全体の3割弱、登録も行っていると回答した人は3.9%です。

4. 身体・知的障害者

- ・回答者の属性は、身体、知的障害者ともに「男性」の割合が多くなっており、特に知的障害者では3割強の差があります。年齢では、身体障害者は50歳代～70歳以上にかけての割合が多く、知的障害者では“障害児”（～18歳まで）が29.4%を占めており、中でも「6歳～18歳」が24%と最も多くなっています。
- ・身体障害者の障害種類では、「下肢機能障害」が36.6%で最も多く、また、身体障害に気づいた時期では「60歳以上」が約4分の1を占めて、加齢に伴い発症要因が高まることaugうかがえます。知的障害については、「1～9歳」で気づいたという割合が6割近くとなっています。
- ・知的障害者の17.1%が、「発達障害」があると回答しています。
- ・家の中での動作では、身体障害者は「自分でできる」が8割前後以上を占めていますが、知的障害者では約3割～4割が一部または全部の介助が必要であると回答しています。
- ・外出については、知的障害者の53.5%が「介助者と外出する」と回答しており、外出介助の必要性が高いことがうかがえます。
- ・就労の状況では、身体障害者の22.1%、知的障害者の29.5%が、「現在働いている」と答えています。また、「働きたい」と回答した割合は、身体障害者で17.8%、知的障害者で17.1%となっています。
- ・楽しみや生きがいとしては、身体、知的障害者とも「趣味・娯楽（個人）」を最も多く挙げています。
- ・今後やってみたいことでは、身体、知的障害者ともに「旅行」が3割台の回答となっています。
- ・かかりつけ医については、身体、知的障害者ともにかかりつけ医があるとした回答が圧倒的に多く、9割台後半の割合となっています。
- ・市で実施している健康診断やがん検診に関しては、身体、知的障害者ともに「受けていなかった」、「受けていない」という回答が最も多くなっています。
- ・居宅介護（ホームヘルプ）、生活介護（デイサービス）、短期入所（ショートステイ）の利用状況は、居宅介護と短期入所で知的障害者の1割前後が、生活介護では知的障害者の6.2%が、それぞれ「現在利用している」と回答しています。また、知的障害者のうち2割強は現在施設に入所しています。
- ・「成年後見センター福生」、「地域福祉権利擁護事業」、「成年後見制度」の内容まで知っている人の割合は、身体障害者では順に8.8%、4.7%、15.8%となっています。知的障害者では、順に17.1%、11.6%、29.5%となっています。
- ・今後の「地域福祉権利擁護事業」と「成年後見制度」の利用意向は、身体障害者では順に18.7%、15%となっています。知的障害者では、順に23.3%、20.9%となっています。
- ・今後、市に期待することとして、身体、知的障害者ともに「障害者に配慮したまちづくり」が最も多くなっています。また、知的障害者では「障害者理解などの啓発活動」、「入所施設の整備・充実」についても3割強の回答がありました。

- ・災害発生時などで数日間医療機関で受診や治療ができなかった場合、健康上困ることがあるかについては、身体障害者で「困ることがある」が4割強を占め、最も多くなっています。
- ・災害時に避難する際、介助や手助けがないと困難と思う割合は身体障害者で36%、知的障害者では65.1%となっています。さらに、そのうち身近に手助けしてくれる人がいないとする割合は、身体障害者で13.6%、知的障害者で10.7%となっています。
- ・「災害時要援護者登録制度」については、「制度の名称も内容も知らない」と答えた人が身体、知的障害者ともに最も多く、「知っているし、登録もした」は身体障害者、知的障害者で順に6.7%、4.7%となっています。

5. 精神障害者

- ・回答者の属性は、男性が6割強で女性よりも多く、年齢では30歳代(28.9%)、50歳代(23.3%)が多くなっています。
- ・家族人数については、1人(本人のみ)が34.4%で最も多くなっています。
- ・精神障害者保健福祉手帳については、「2級」が半数を占めて最も多く、次いで「持っていない」が25.6%となっています。
- ・自立支援医療(精神通院)について、「受けている」が9割を占め多くの方が受給していることが分かります。
- ・初めて具合が悪くなった年齢は「19~29歳」が最も多く、35.6%となっています。
- ・病名では「統合失調症」が6割強と最も多くなっています。
- ・6割強の人が精神・神経科への入院の経験があると回答しています。
- ・日常生活については、「食事」に関して家族に依存する傾向が比較的強いと言えます。部屋の掃除や洗濯、買い物については「自分でやっている」が過半数となっています。
- ・平日の昼間は自分の家で過ごしているという人が過半数となっています。また、「現在働いている」人の割合は13.3%となっていますが、適当な仕事があれば「今後働きたい」との回答が28.9%と、就労意欲がある人が3割弱いると考えられます。
- ・1か月の収入については、「10万円以上20万円未満」が3人に1人で最も多くなっています。収入による生活費の充足感については、「とても足りない」と感じている割合が34.4%と最も多くなっています。
- ・病気のことなどが原因でこれまで不愉快な思いをしたり不利益をこうむったと感じている人の割合は、「たまにあった」37.8%、「頻繁にあった」15.6%となっており、病気や障害への理解の不足など大きな課題がうかがえます。
- ・今後の暮らし方については「家族と同居していきたい」とする回答が43.3%で最も多くなっています。また、今まで実際に住まいを探した経験があると回答した人が6割弱と多くみられますが、その時に困ったこととして、「保証人を頼むのがむずかしかった」と「家賃が高かった」ことが具体的に挙げられています。
- ・生活上の悩みや困ったことを相談する先としては、「家族」が65.6%と最も多く、次いで「友人」(18.9%)が多くなっています。
- ・「成年後見センター福生」、「地域福祉権利擁護事業」、「成年後見制度」の内容まで知っている人の割合は、順に13.3%、6.7%、15.6%となっています。
- ・今後の「地域福祉権利擁護事業」と「成年後見制度」の利用意向は、ともに44.4%となっています。
- ・今後、市に期待することとしては、「通院にかかる交通費助成制度」、「掃除や食事の用意、身の回りの世話など家事を応援してくれるサービス」が多く回答されています。
- ・火災等緊急時に近所で協力してくれる人の有無では、過半数が「いない」としています。また、「災害時要援護者登録制度」については「制度の名称も内容も知らない」と答えた人が4分の3強で最も多く、「知っているし、登録もした」は7.8%となっています。

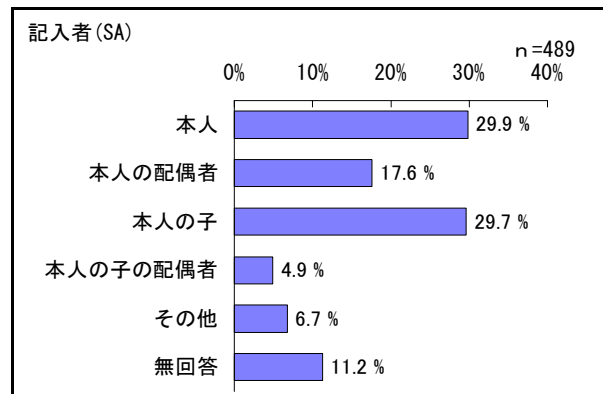
Ⅲ

在宅要介護者

回答者の属性		(単位：人)
性別		
男		164
女		294
無回答		31
年齢		
64歳以下		25
65-69歳		29
70-74歳		65
75-79歳		75
80-84歳		113
85歳以上		161
無回答		21

○調査票記入者【単数回答】

調査の記入者は「ご本人」、「本人の子」がそれぞれ約3割弱となっています。

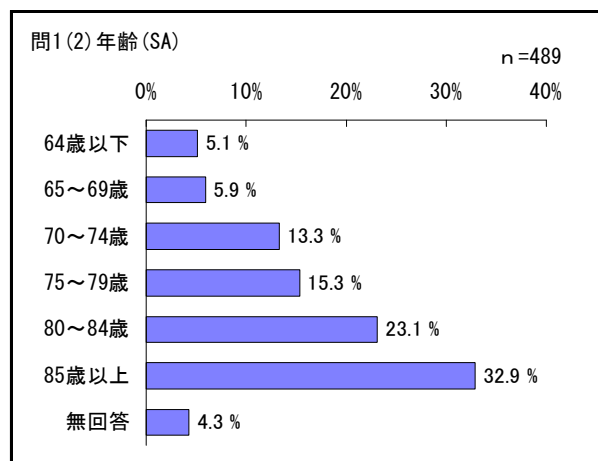
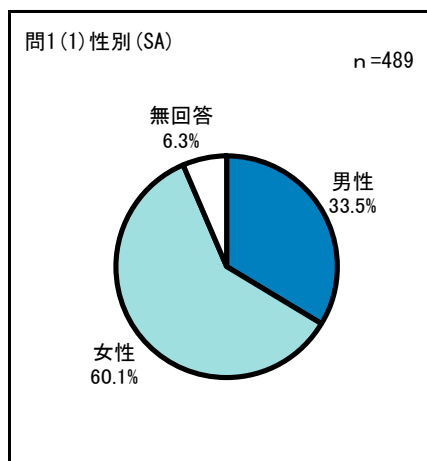


1. ご本人（あて名の本人）について

問1（1）性別、（2）年齢【単数回答】

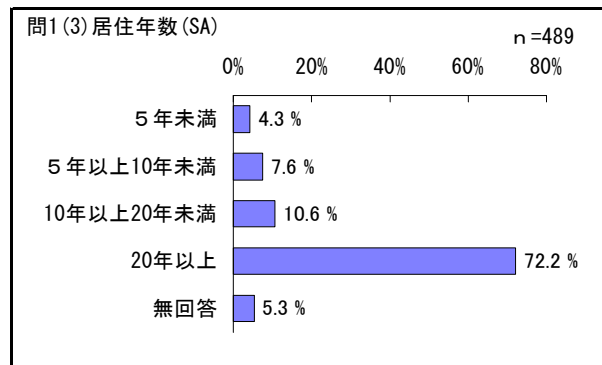
回答者の性別は「男性」が3割強、「女性」が約6割強と、女性が男性の約2倍の割合となっています。

回答者の年齢については、年齢が高くなるにつれ多くなる結果となっており、約3人に1人の割合で「85歳以上」となっています。



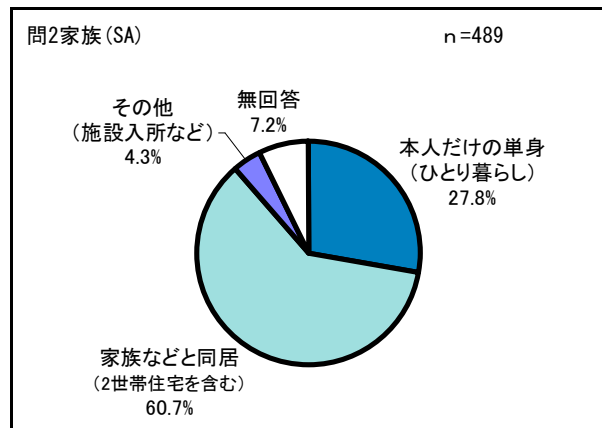
(3) 福生市での居住年数 [単数回答]

回答者の福生市での居住年数についてみると、「20年以上」が7割以上を占めています。



問2 家族構成を教えてください。[単数回答]

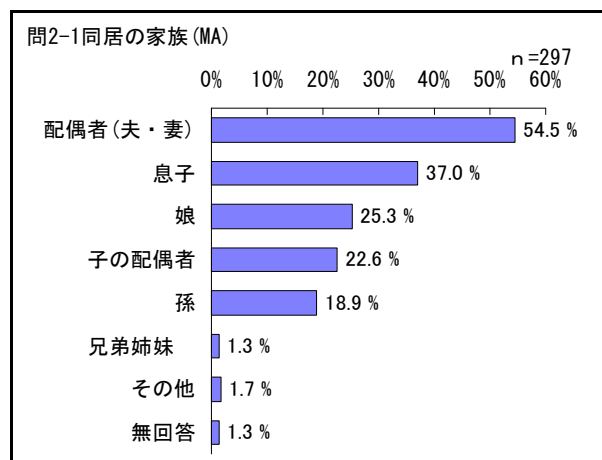
ご家庭の状況についてみると、「家族など同居」が60.7%と最も多く、次いで「本人だけの単身(ひとり暮らし)」が27.8%となっています。



問2 「家族など同居」の回答者

問2-1 同居されている方はどなたですか。[複数回答]

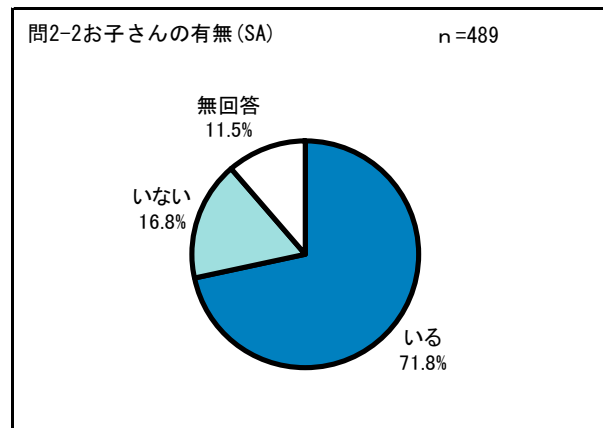
同居者の状況についてみると、「配偶者」が54.5%と最も多く、次いで「息子」が37.0%となっています。



問2「その他」以外の回答者

問2-2 お子さんはいますか。[単数回答]

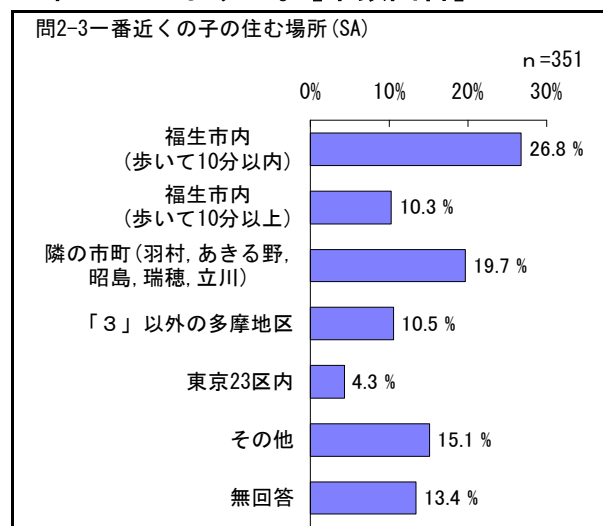
お子さんの有無についてみると、「いる」が7割を占めています。



問2-1 お子さんが「いる」回答者

問2-3 一番近くにいるお子さんはどこに住んでいますか。[単数回答]

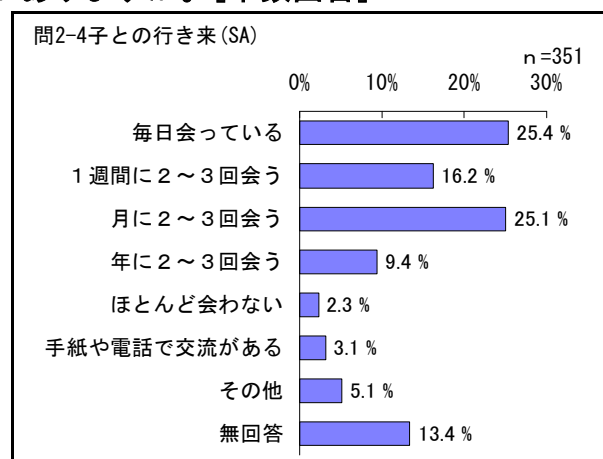
一番近くにいるお子さんの居住地区についてみると、「福生市内（歩いて10分以内）」が26.8%と最も多く、次いで「隣の市町（羽村、あきる野、昭島、瑞穂、立川）」が19.7%となっています。



問2-1 お子さんが「いる」回答者

問2-4 お子さんとはどの程度行き来がありますか。[単数回答]

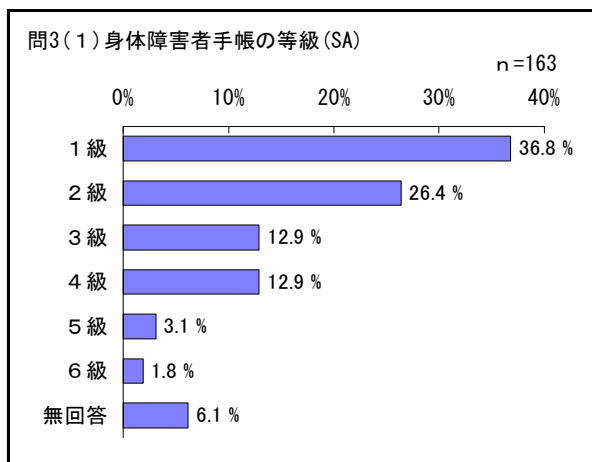
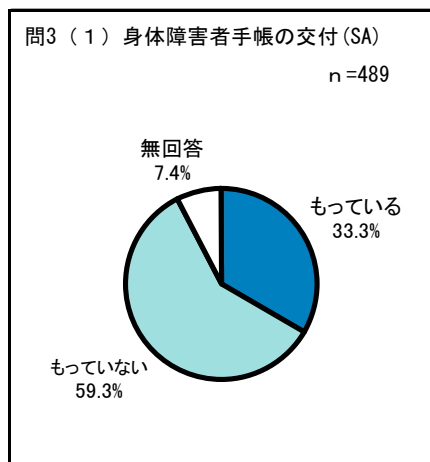
お子さんとの行き来の程度についてみると、「毎日会っている」が25.4%と最も多く、次いで「月に2～3回会う」が25.1%となっています。



問3 あなたは、障害者手帳などの交付を受けていますか。[単数回答]

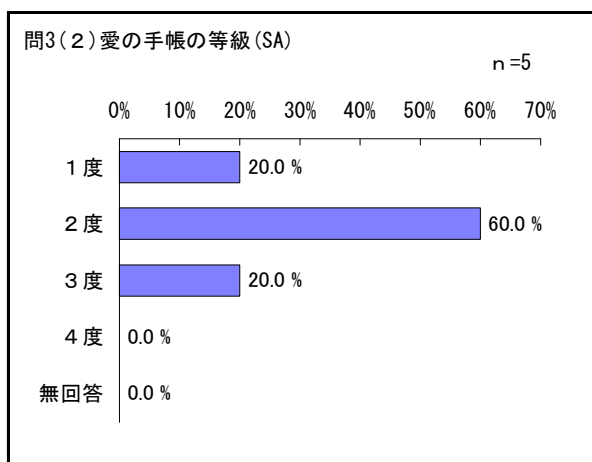
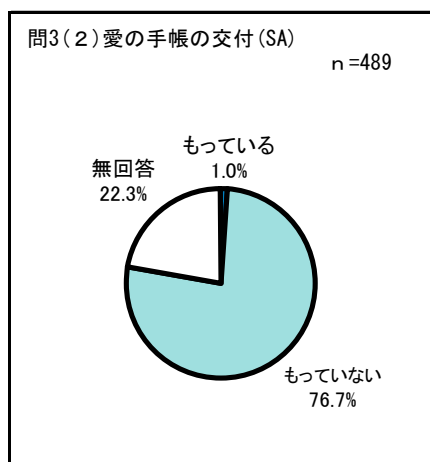
(1) 身体障害者手帳

身体障害者手帳の交付についてみると、「もっている」が33.3%、「もっていない」が59.3%となっています。等級についてみると、「1級」が36.8%と最も多く、次いで「2級」が26.4%となっています。



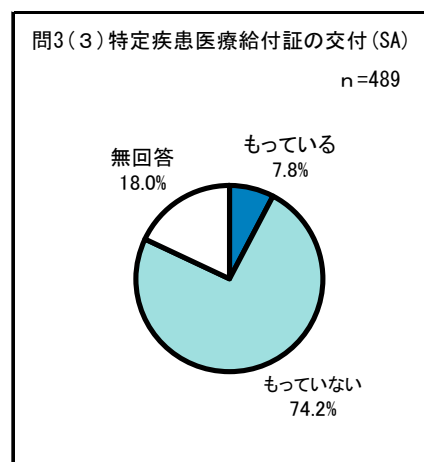
(2) 愛の手帳

愛の手帳の交付についてみると、「もっている」が1.0%、「もっていない」が76.7%となっています。等級についてみると、「2度」が60.0%と最も多く、次いで「1度」「3度」が20.0%となっています。



(3) 特定疾患医療給付証（難病医療費助成制度の受給証）

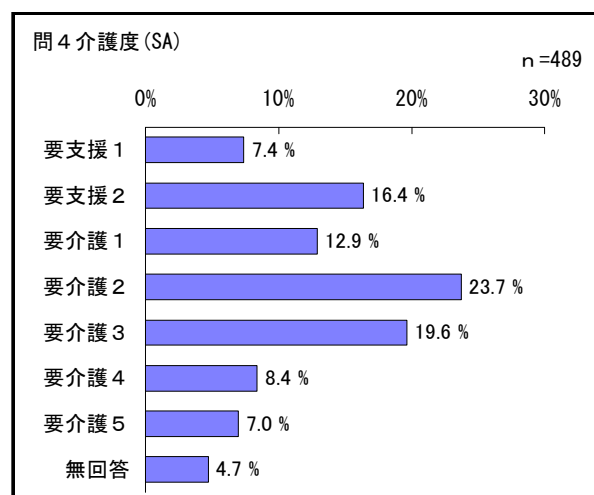
特定疾患医療給付証についてみると、「もっていない」が7割以上を占め、「もっている」は1割未満の割合となっています。



2. 介護保険の申請とケアプランについて

問4 現在認定されている介護度は、次のどれですか。[単数回答]

現在認定されている介護度についてみると、「要介護2」が23.7%と最も多く、次いで「要介護3」が19.6%、「要支援2」が16.4%となっています。

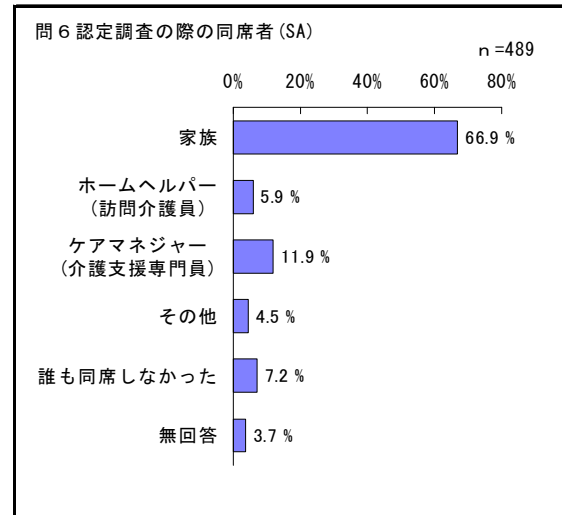
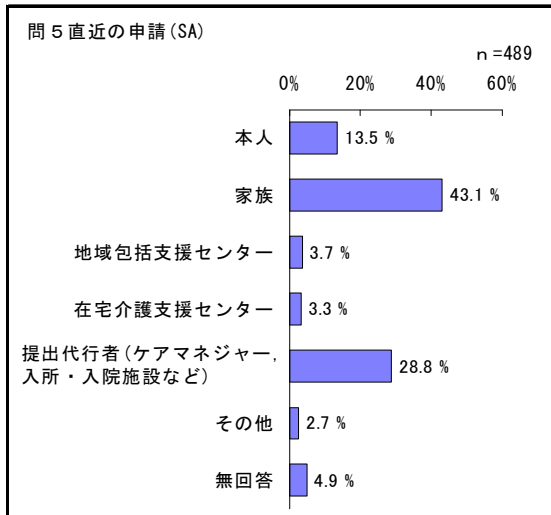


問5 直近の申請は誰が行いましたか。[単数回答]

問6 認定調査の際、誰が同席しましたか。[単数回答]

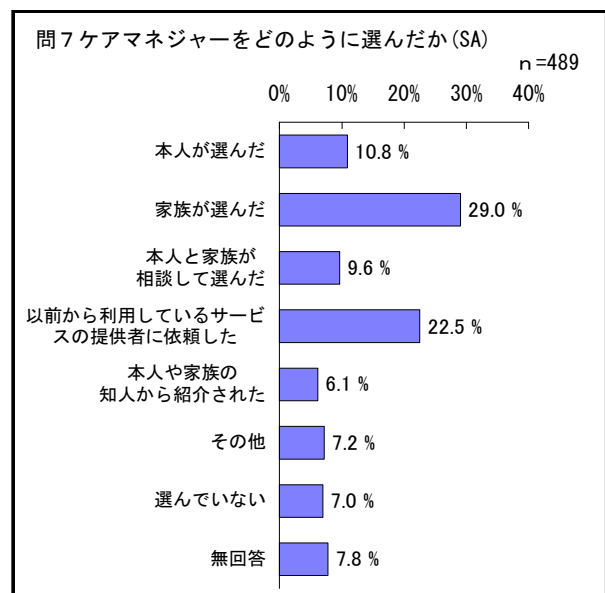
直近の申請は誰が行ったかについてみると、「家族」が43.1%と最も多く、次いで「提出代行者（ケアマネジャー、入所・入院施設など）」が28.8%となっています。

認定調査の際の同席者についてみると、「家族」が66.9%と最も多くなっています。



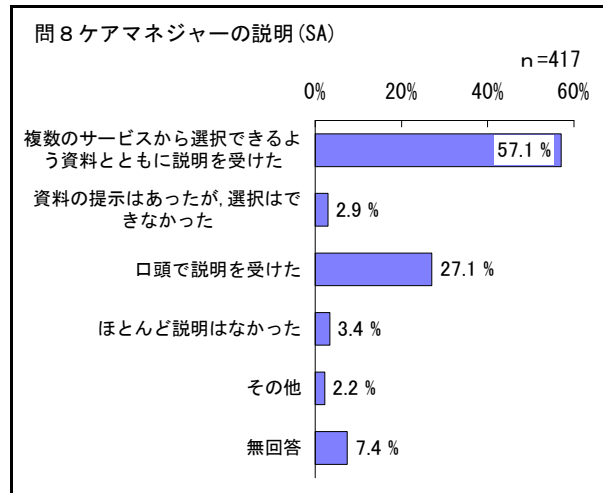
問7 ケアマネジャーをどのように選びましたか。[単数回答]

ケアマネジャーをどのように選んだかについてみると、「家族が選んだ」が29.0%と最も多く、次いで「以前から利用しているサービスの提供者に依頼した」が22.5%となっています。



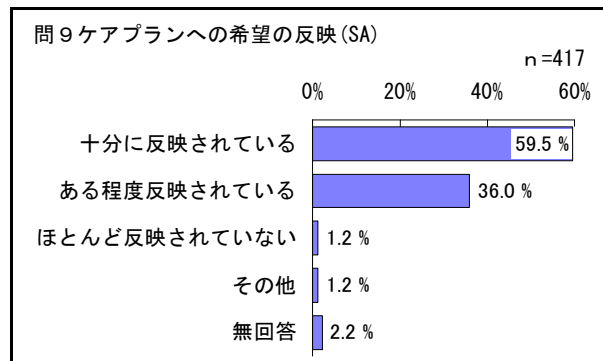
問8 ケアマネジャーはケアプラン作成に当たり、本人又は家族の方に、サービスの種類・内容・利用料などの説明を十分してくれましたか。[単数回答]

サービスの種類・内容・利用料などの説明を十分してくれたかについてみると、「複数のサービスから選択できるような資料とともに説明を受けた」が57.1%と最も多く、次いで「口頭で説明を受けた」が27.1%となっています。



問9 現在用いているケアプランは本人・家族の希望が反映されていますか。[単数回答]

現在用いているケアプランは本人・家族の希望が反映されているかについてみると、「十分に反映されている」が59.5%と最も多く、次いで「ある程度反映されている」が36.0%となっており、「ほとんど反映されていない」との回答は1.2%となっています。



問9 「ほとんど反映されていない」を選んだ回答者

問9-1 どのようなことが反映されていないと思いますか。[自由記入]

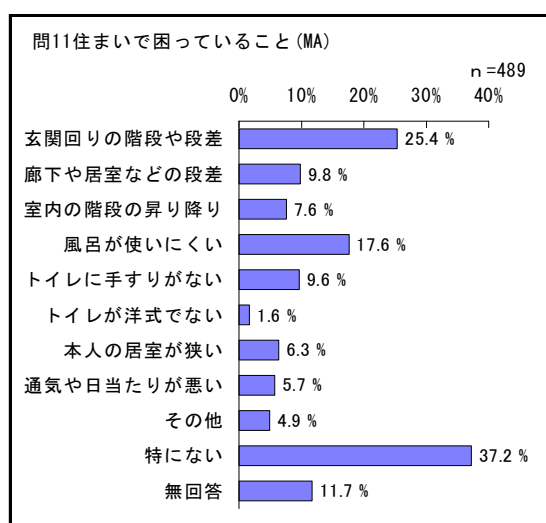
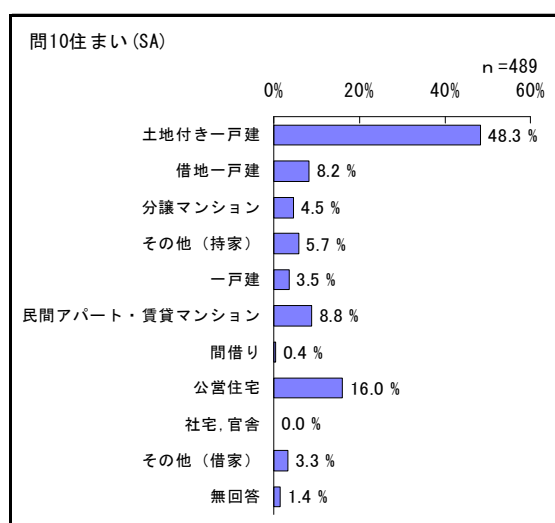
(※「ほとんど反映されていない」を選択された5名の方の自由記入はありませんでした。)

3. 住まいと収入について

問10 お住まいは次のどれですか。[単数回答]

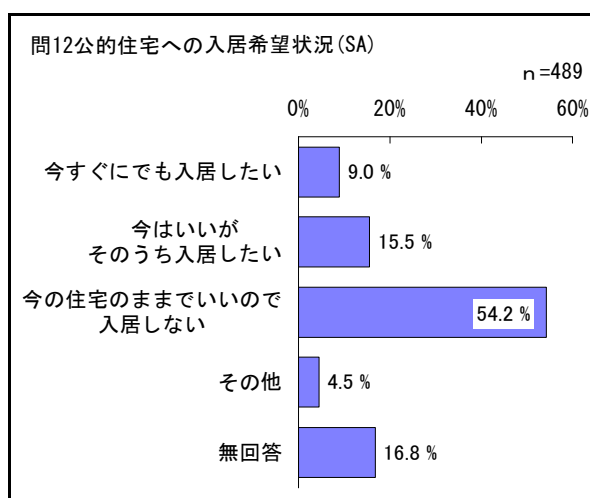
問11 現在、お住まいで困っていることは何ですか。[複数回答]

お住まいについてみると、「土地付き一戸建」48.3%と最も多く、次いで「公営住宅」が16.0%となっています。現在、お住まいで困っていることについてみると、「特にない」が37.2%と最も多くなっていますが、『困ることがある』回答としては「玄関回りの階段や段差」(25.4%)、「風呂が使いにくい」(17.6%)などの回答が目立ちます。



問12 高齢者の生活に配慮した公的住宅に入居したいと思いますか。[単数回答]

公的住宅に入居したいかについてみると、「今の住宅のままでいいので入居しない」が54.2%と最も多く、次いで「今はいいがそのうち入居したい」が15.5%となっています。

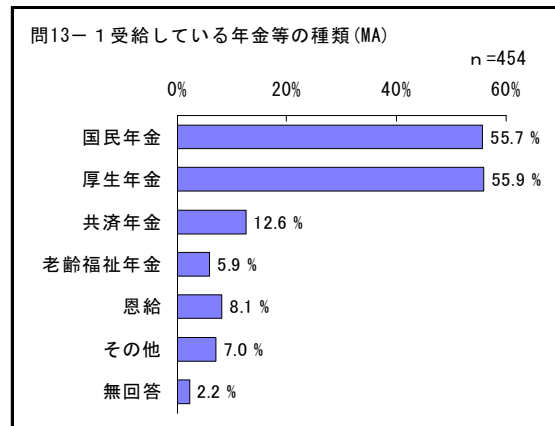
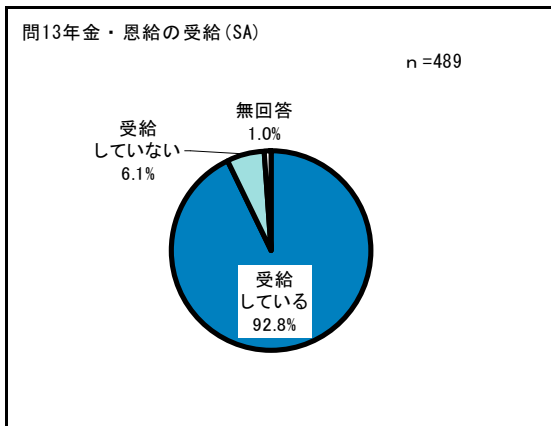


問 13 あなたは年金・恩給を受給していますか。[単数回答]

問 13 「受給している」を選んだ回答者

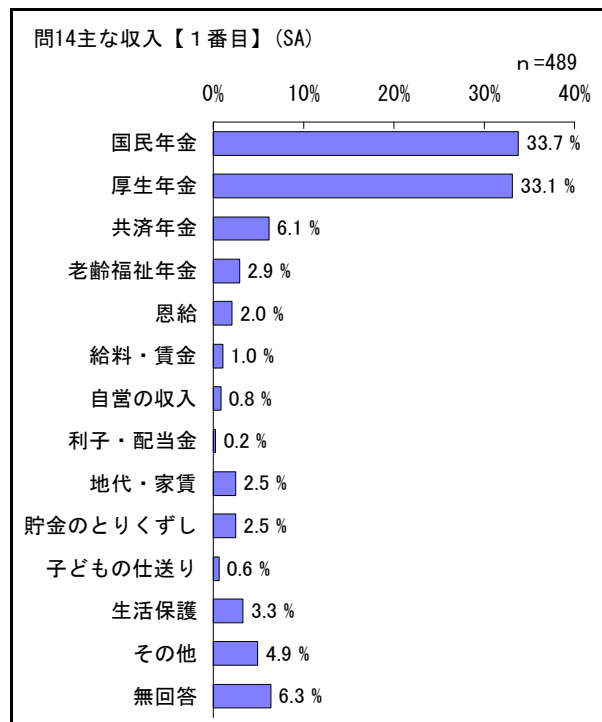
問 13-1 あなたの受給している年金等の種類は次のうちどれですか。[複数回答]

年金・恩給を受給しているかについてみると、「受給している」が約9割となっています。
年金等の種類についてみると、「国民年金」、「厚生年金」がともに半数を超えて、多い回答となっています。



問 14 あなたの主な収入は次のうちどれですか。[最も収入額の多いもの]

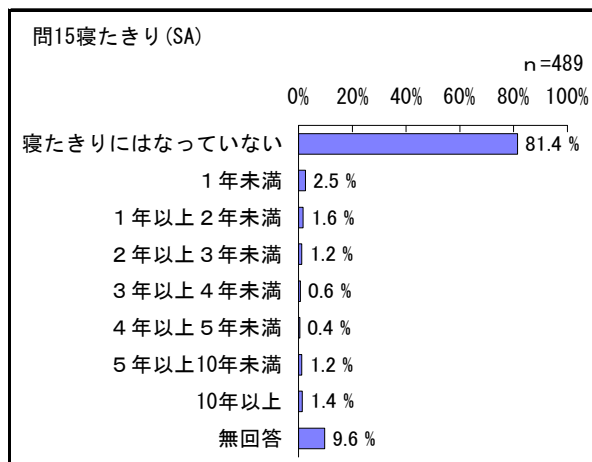
現在の収入で最も金額の多いものでは、「国民年金」が 33.7%で最も多く、次いで「厚生年金」が 33.1%と、年金が上位2つを占め、他の項目との差が広がっています。



4. 本人の身体や介護の状況について

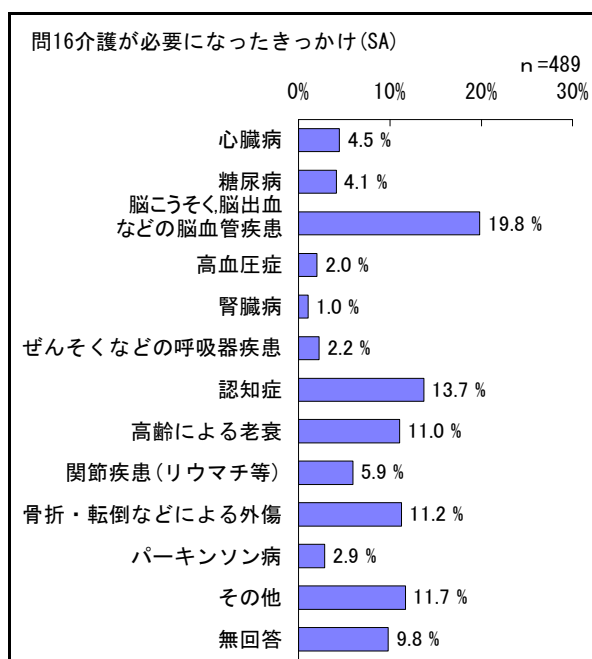
問15 寝たきりになられている場合、どのくらいたちますか。[単数回答]

寝たきりになられている場合、どのくらいたつたかについてみると、「寝たきりにはなっていない」が8割を超えています。期間を回答している方は全体の8.9%です。



問16 介護が必要になった直接のきっかけは何ですか。[単数回答]

介護が必要になった直接のきっかけについてみると、「脳こうそく、脳出血などの脳血管疾患」が19.8%と最も多く、次いで「認知症」が13.7%となっています。



■年代別×介護が必要になったきっかけ

年齢別に介護が必要になった直接のきっかけをみると、60歳代では「脳こうそく、脳出血などの脳血管疾患」が約半数を占め最も多い回答となっています。75歳以上では「認知症」が1割以上、85歳以上では「高齢による老衰」が25.5%で最も多い回答になっています。(表は次ページ)

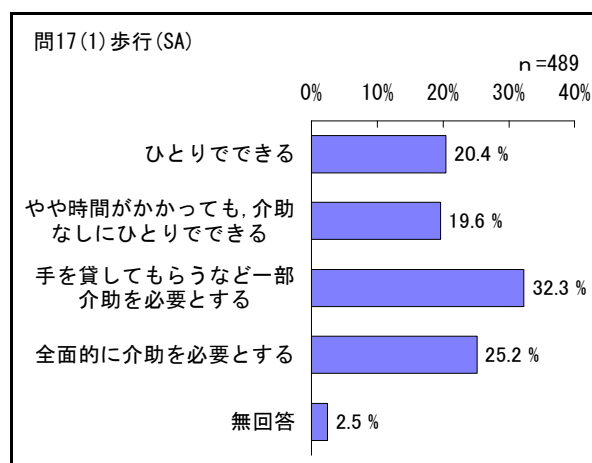
(単位:%)

	全体 (人)	心 臓 病	糖 尿 病	脳 こ う そ く の 脳 血 管 疾 患	高 血 圧 症	腎 臓 病	吸 せ ん そ く な ど の 呼 吸 器 疾 患	認 知 症	高 齢 に よ る 老 衰	関 節 疾 患 (リ ウ マ チ 等)	骨 折 ・ 転 倒 な ど に よ る 外 傷	パ ー キ ン ソ ン 病	そ の 他	無 回 答
合計	489	4.5	4.1	19.8	2.0	1.0	2.2	13.7	11.0	5.9	11.2	2.9	11.7	9.8
64歳以下	25	0.0	0.0	52.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	8.0	12.0	0.0	12.0	8.0
65～69歳	29	6.9	6.9	48.3	3.4	0.0	0.0	3.4	3.4	0.0	10.3	6.9	6.9	3.4
70～74歳	65	4.6	6.2	21.5	4.6	0.0	1.5	9.2	0.0	4.6	3.1	12.3	23.1	9.2
75～79歳	75	1.3	2.7	33.3	1.3	1.3	2.7	12.0	2.7	10.7	9.3	1.3	16.0	5.3
80～84歳	113	7.1	5.3	14.2	1.8	1.8	1.8	20.4	7.1	4.4	14.2	1.8	10.6	9.7
85歳以上	161	5.0	3.1	6.2	1.9	1.2	3.1	16.1	25.5	6.8	14.3	0.0	5.6	11.2

問 17 あなたの日常生活動作についてうかがいます。[単数回答]

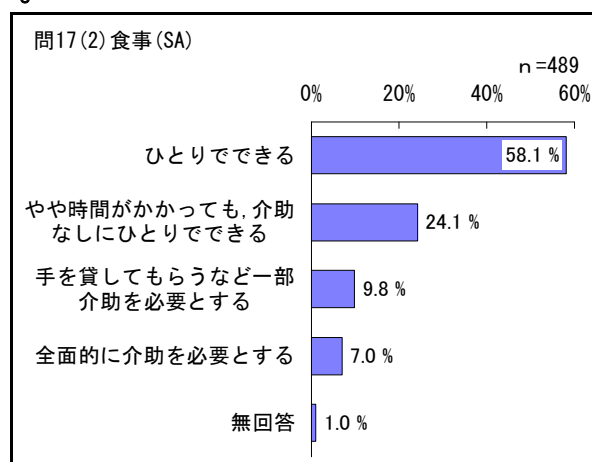
(1) 歩行はひとりでできますか。つえや歩行器などを使用しない場合でお答えください。

「手を貸してもらうなど一部介助を必要とする」が32.3%と最も多く、次いで「全面的に介助を必要とする」が25.2%となっており、半数近くの割合で介助を必要としていることがわかります。



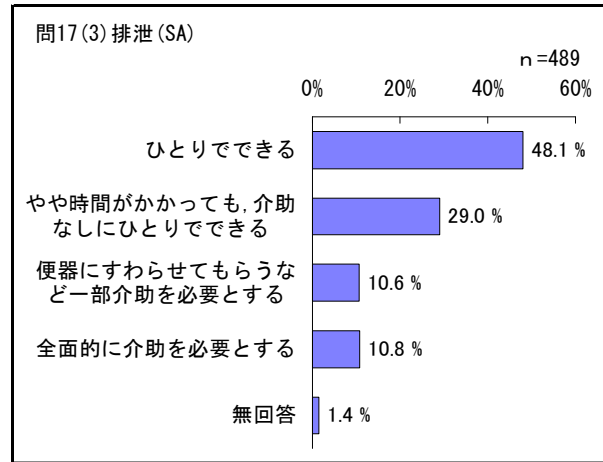
(2) 食事はひとりでできますか。自助具（補助する器具）などを使用している方は、使用した場合でお答えください。

「ひとりでできる」が58.1%と最も多く、次いで「やや時間がかかっても、介助なしにひとりでできる」が24.1%となっています。



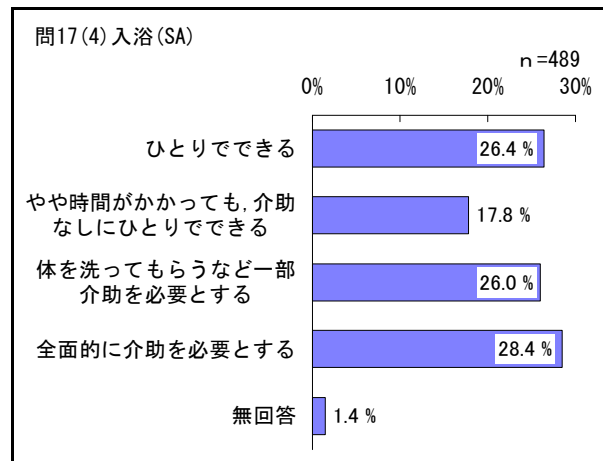
(3) 排泄はひとりでできますか。つえ・便器などを使用している方は、使用した場合でお答えください。

「ひとりでできる」が48.1%と最も多く、次いで「やや時間がかかっても、介助なしにひとりでできる」が29.0%となっています。



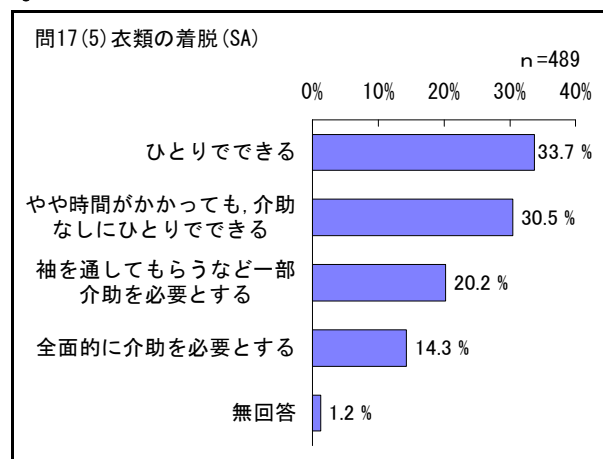
(4) 入浴はひとりでできますか。

「全面的に介助を必要とする」が28.4%でもっとも多く、「一部介助を必要とする」(26.0%)と合わせると約半数の割合で介助を必要としていることがうかがえます。



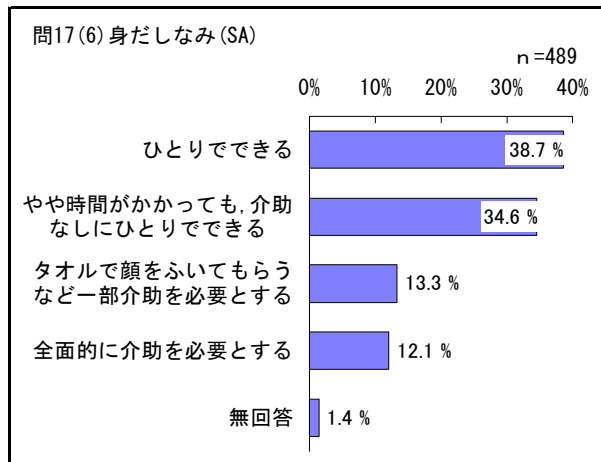
(5) 衣類の着脱はひとりでできますか。

「ひとりでできる」が33.7%と最も多く、次いで「やや時間がかかっても、介助なしにひとりでできる」が30.5%となっています。



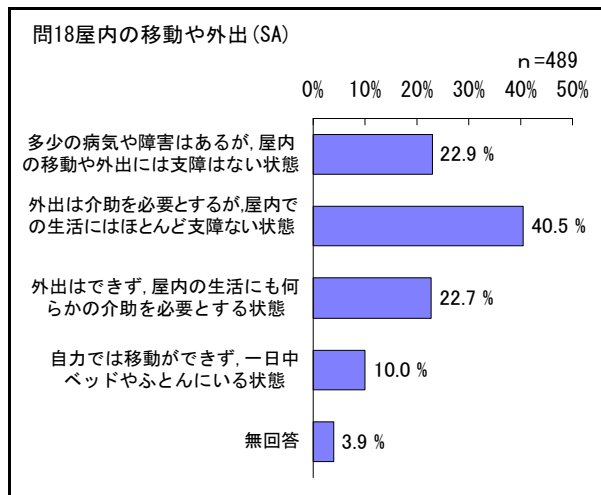
(6) 洗顔、歯みがき、整髪などの身だしなみについてはひとりでできますか。

「ひとりでできる」が38.7%と最も多く、次いで「やや時間がかかっても、介助なしにひとりでできる」が34.6%となっています。



問18 屋内の移動や外出はどのような状態ですか。[単数回答]

屋内の移動や外出はどのような状態かについてみると、「外出は介助を必要とするが、屋内での生活にはほとんど支障ない状態」が40.5%と最も多くなっています。なんらかの介助を必要とする、または1日中ベッドや布団にいる状態の人は全体の7割を超えています。



■要介護度別×屋内の移動や外出時の状態

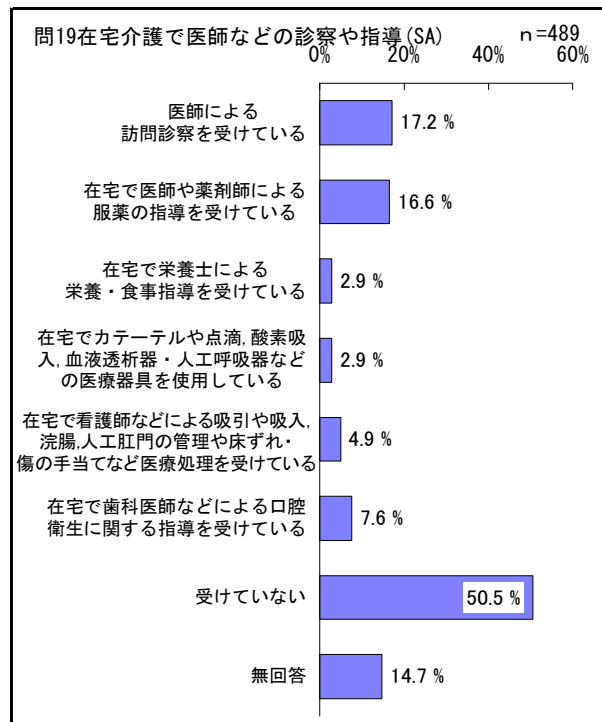
(単位：%)

屋内の移動や外出の状況については、要介護度別で段階的な傾向がみられ、要支援認定では屋内の移動や外出に支障はないものの、要介護1や要介護2では外出に介助が必要となり、要介護3以上では生活全般で支援が必要となる傾向がうかがえます。

	全体 (人)	はが多 支、少 障屋の は内病 ないの 気移 や動障 状態や 害外 出あ にる	とが外 ん、出 ど屋は 支内介 障での のを必 い生活 状活要 態にと はす ほる	要活外 とに出 すもは する何 状ら か、 介屋 助内 をの 必生	い一日 中では ベッド 移動 やが ふと んず に、	無 回 答
合計	489	22.9	40.5	22.7	10.0	3.9
要支援1	36	63.9	30.6	2.8	0.0	2.8
要支援2	80	36.3	48.8	8.8	0.0	6.3
要介護1	63	23.8	63.5	11.1	1.6	0.0
要介護2	116	16.4	51.7	23.3	2.6	6.0
要介護3	96	17.7	34.4	40.6	5.2	2.1
要介護4	41	2.4	7.3	56.1	34.1	0.0
要介護5	34	0.0	8.8	14.7	73.5	2.9

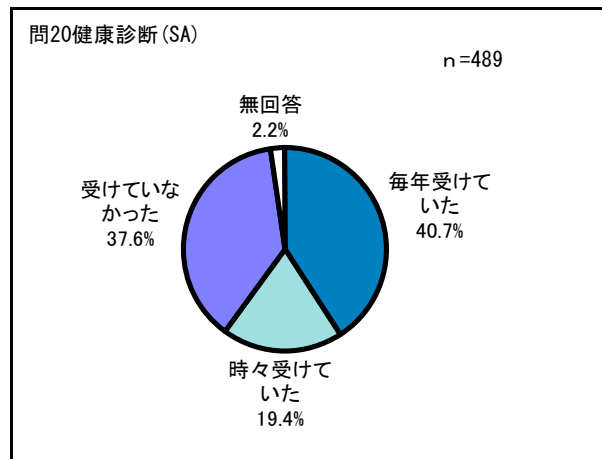
問 19 在宅介護で医師などの診察や指導を受けていますか。[複数回答]

在宅介護で医師などの診察や指導を受けているかについてみると、「受けていない」が50.5%と最も多く、次いで「医師による訪問診察を受けている」が17.2%となっています。



問 20 市で実施している健康診断を受けていましたか。[単数回答]

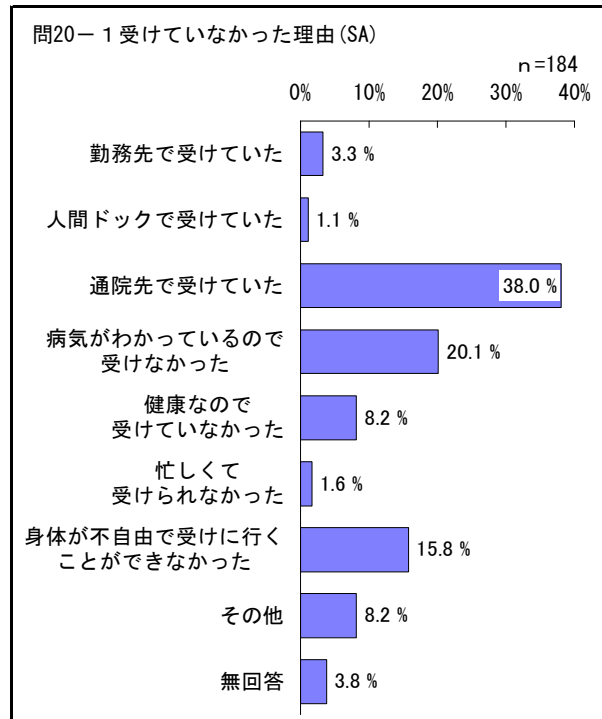
市で実施している健康診断の受診についてみると、「毎年受けていた」が40.7%と最も多く、「受けていなかった」人は37.6%となっています。



問 20 「受けていなかった」を選んだ回答者

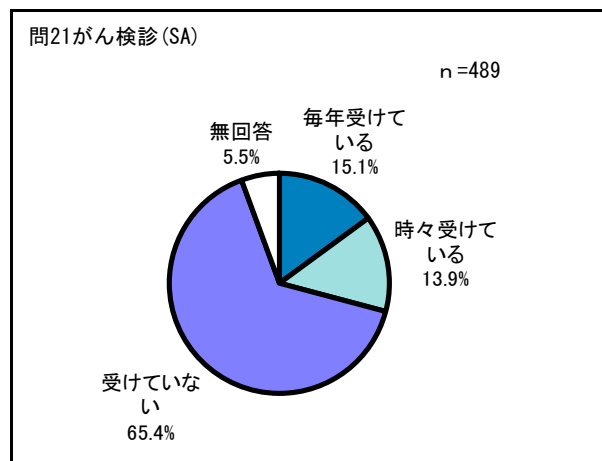
問 20-1 「受けていなかった」主な理由は何ですか。[単数回答]

健康診断を受けていない理由についてみると、「通院先で受けていた」が38.0%と最も多く、次いで「病気が分かっているので受けなかった」が20.1%となっています。



問 21 市で実施しているがん検診（大腸・胃・肺・乳・子宮・口腔・前立腺）を受けていますか。[単数回答]

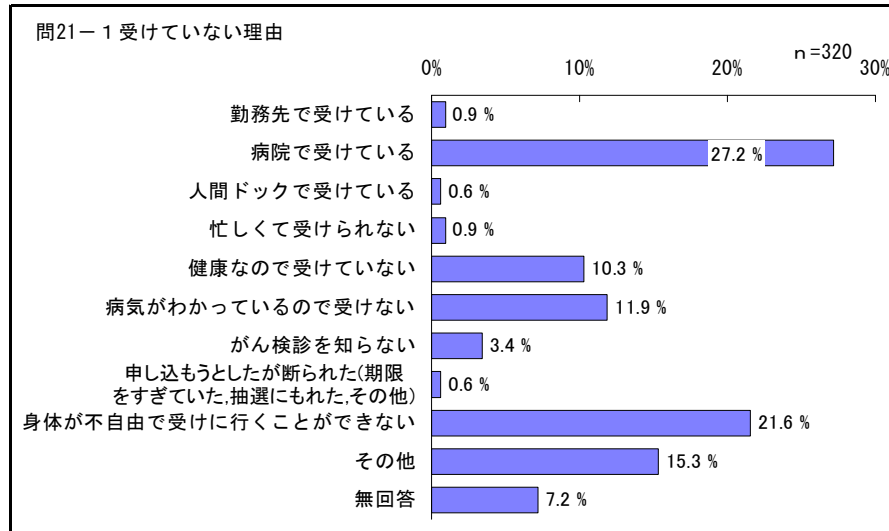
市で実施しているがん検診の受診についてみると、「受けていない」が65.4%と最も多く、次いで「毎年受けている」が15.1%となっています。



問 21 「受けていない」を選んだ回答者

問 21-1 「受けていない」主な理由は何ですか。[単数回答]

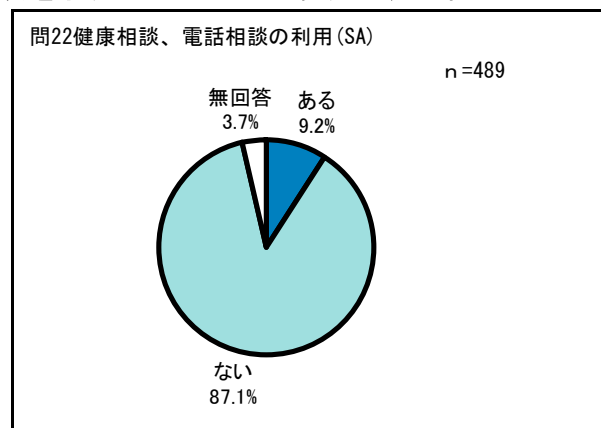
がん検診を受けていない理由についてみると、「病院で受けている」が 27.2%と最も多く、次いで「身体が不自由で受けに行くことができない」が 21.6%となっています。



問 22 市で行っている健康相談、電話相談を利用したことはありますか。

[単数回答]

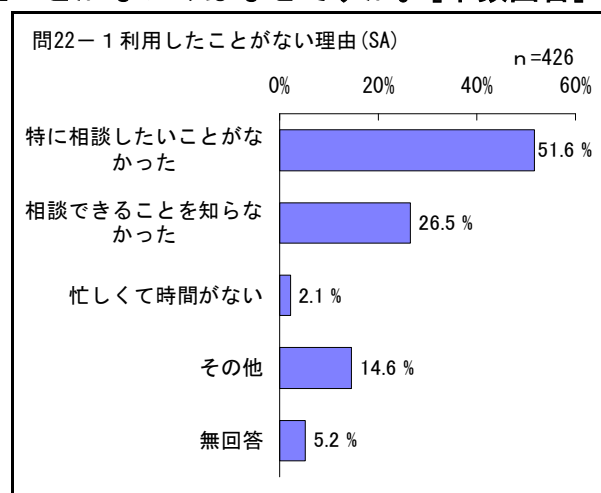
市で行っている健康相談、電話相談の利用についてみると、「ない」が 87.1%と最も多く、「ある」とする割合は1割未満となっています。



問 22 「ない」を選んだ回答者

問 22-1 健康相談や電話相談を利用したことがないのはなぜですか。[単数回答]

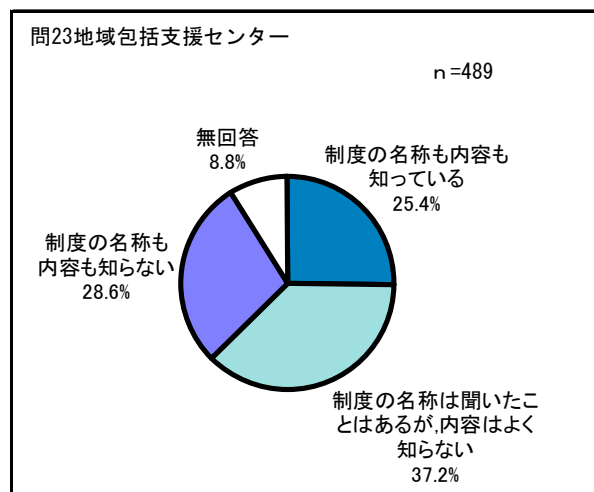
健康相談や電話相談を利用したことがないのはなぜかについてみると、「特に相談したいことがなかった」が 51.6%と最も多く、次いで「相談できることを知らなかった」が 26.5%となっています。



5. 介護サービス（介護予防サービスを含む）の利用状況について

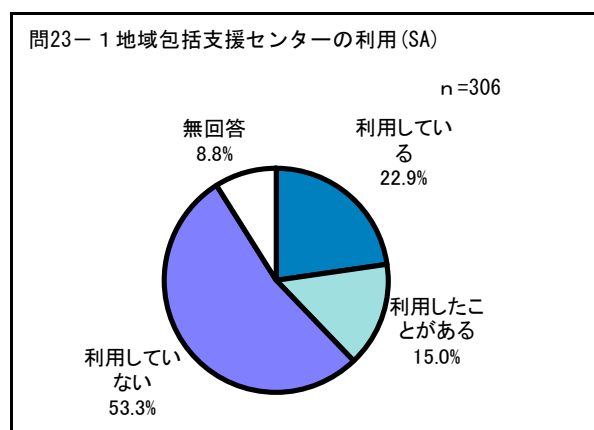
問 23 「地域包括支援センター」は、地域高齢者の心身の健康維持や生活の安定、保健・福祉・医療の向上、財産管理、虐待防止など様々な課題に対して、地域における総合的なマネジメントを担い、課題解決に向けた取り組みを実践していくことをその主な業務としています。ご存知ですか。[単数回答]

地域包括支援センターの認知度についてみると、「制度の名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が37.2%で最も多くなっています。「制度の名称も内容も知っている」方は4人に1人となっています。



問 23-1 「地域包括支援センター」を利用していますか（したことがありますか）。[単数回答]

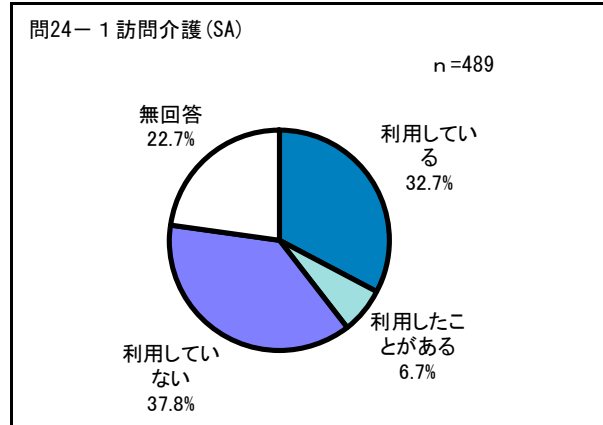
地域包括支援センターを利用しているかについてみると、「利用している」人は全体の22.9%、「利用したことがある」(15.0%)と合わせた、『利用経験がある人』については全体の4割弱となっています。



問 24-1 訪問介護（ホームヘルプサービス）を利用していますか。また、利用経験がある場合、利用の頻度と満足度についてお答えください。[単数回答]

《利用》

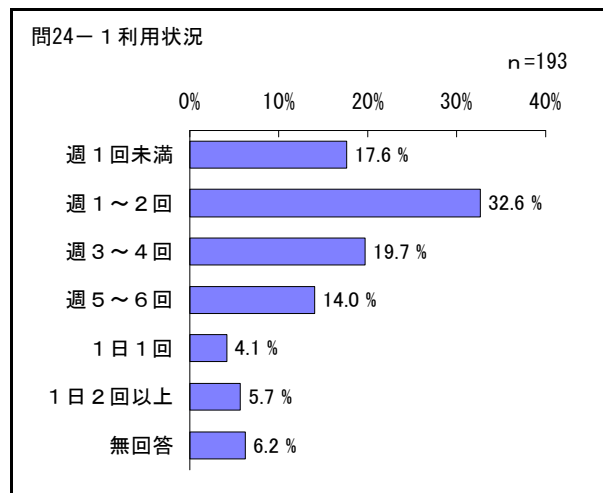
訪問介護（ホームヘルプサービス）の利用についてみると、「利用している」人は 32.7%、「利用したことがある」（6.7%）と合わせて、利用経験のある人は全体の約 4 割となっています。



《利用状況》

問 24-1 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

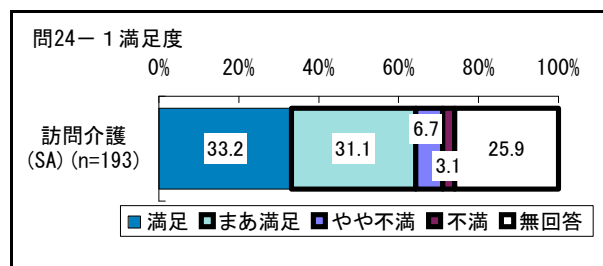
利用状況についてみると、「週 1～2 回」が 32.6%と最も多く、次いで「週 3～4 回」が 19.7%となっています。



《満足度》

問 24-1 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

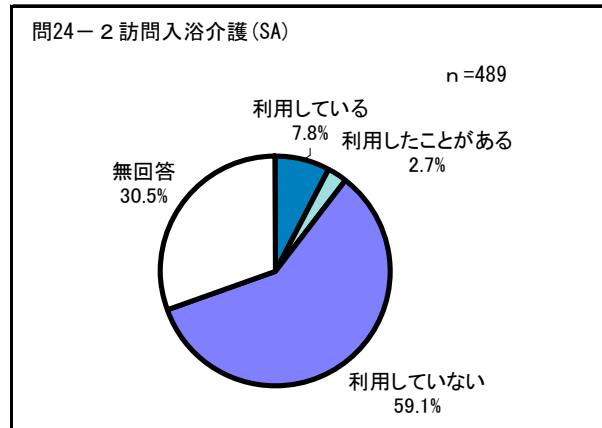
満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が 6 割以上、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は約 1 割となっています。



問 24-2 訪問入浴介護を利用していますか。また、利用経験がある場合、利用の頻度と満足度についてお答えください。[単数回答]

《利用》

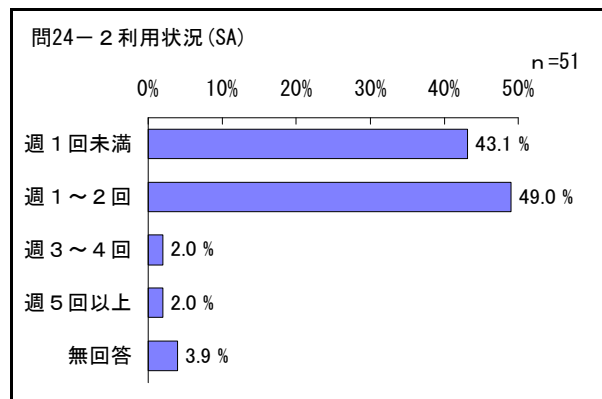
訪問入浴介護の利用についてみると、「利用している」人は7.8%、「利用したことがある」(2.7%)と合わせて、利用経験のある人は全体の約1割となっています。



《利用状況》

問 24-2 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

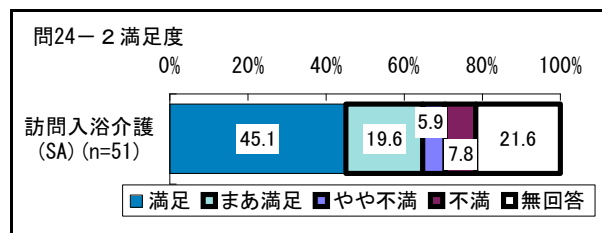
利用状況についてみると、「週1~2回」が49.0%と最も多く、次いで「週1回未満」が43.1%となっています。



《満足度》

問 24-2 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

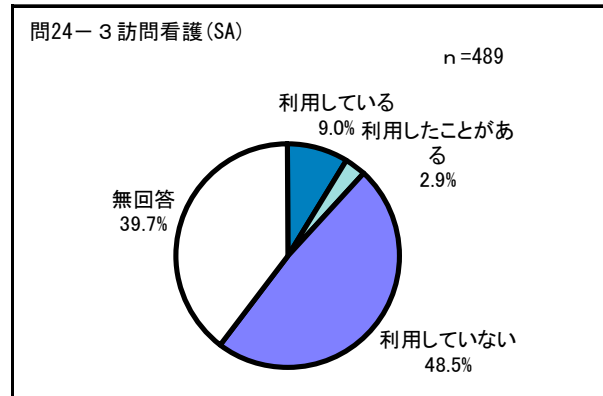
満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が6割以上「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は1割以上となっています。



問 24-3 訪問看護を利用していますか。また、利用経験がある場合、利用の頻度と満足度についてお答えください。[単数回答]

《利用》

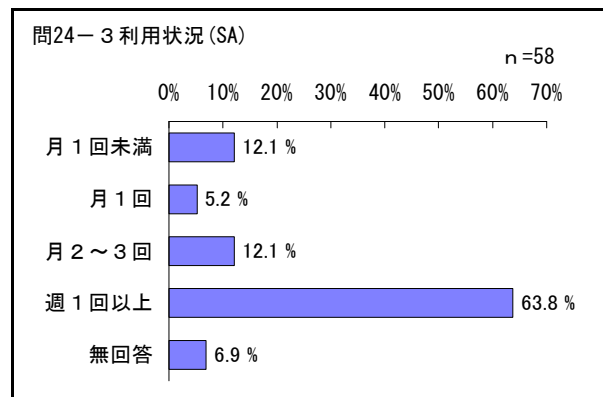
訪問看護の利用についてみると、「利用している」人は9.0%、「利用したことがある」(2.9%)と合わせて、利用経験のある人は全体の約1割強となっています。



《利用状況》

問 24-3 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

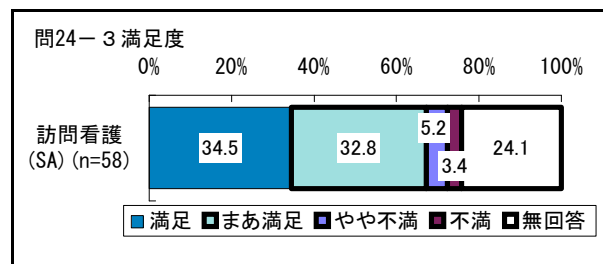
利用状況についてみると、「週1回以上」が63.8%と最も多く、次いで「月2～3回」、「月1回未満」がそれぞれ12.1%となっています。



《満足度》

問 24-3 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

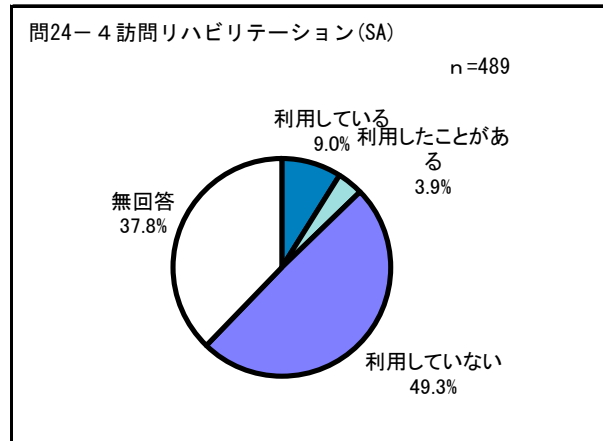
満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が約7割、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は1割以下となっています。



問24-4 訪問リハビリテーションを利用していますか。また、利用経験がある場合、利用の頻度と満足度についてお答えください。[単数回答]

《利用》

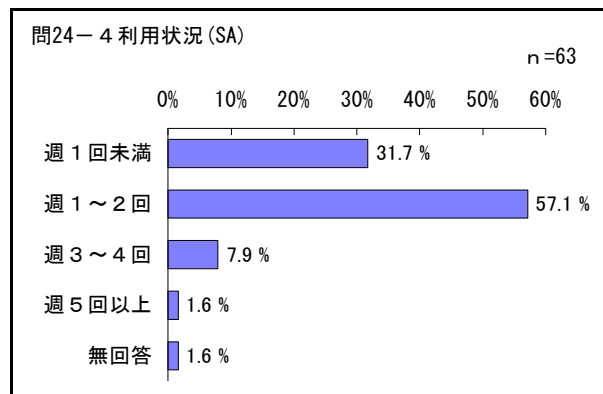
訪問リハビリテーションの利用についてみると、「利用している」人は 9.0%、「利用したことがある」(3.9%) と合わせて、利用経験のある人は全体の 1 割強となっています。



《利用状況》

問24-4 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

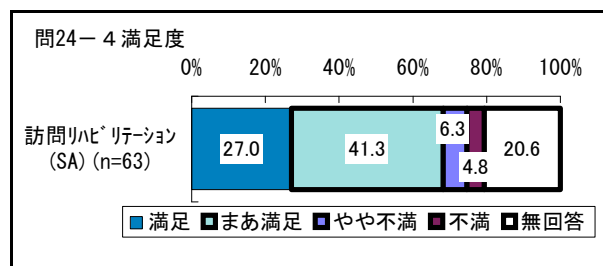
利用状況についてみると、「週 1～2 回」が 57.1%と最も多く、次いで「週 1 回未満」が 31.7%となっています。



《満足度》

問24-4 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

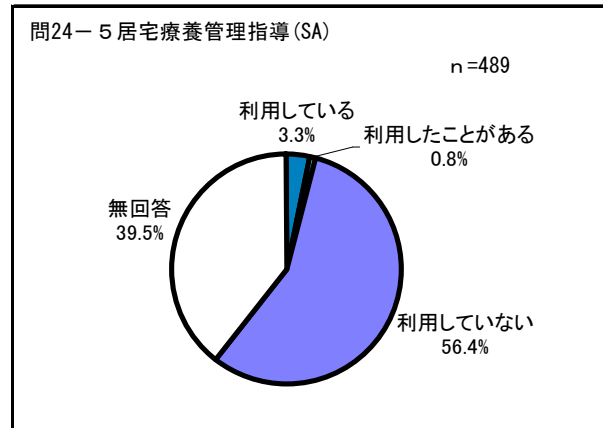
満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が 7 割弱、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が 1 割以上となっています。



問 24-5 居宅療養管理指導を利用していますか。また、利用経験がある場合、利用の頻度と満足度についてお答えください。[単数回答]

《利用》

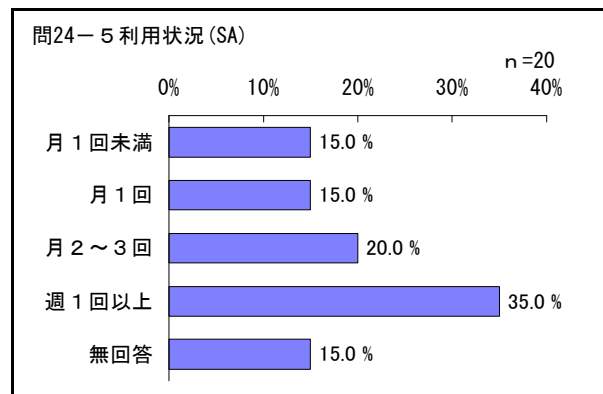
居宅療養管理指導の利用についてみると、「利用している」人は3.3%となっています。



《利用状況》

問 24-5 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

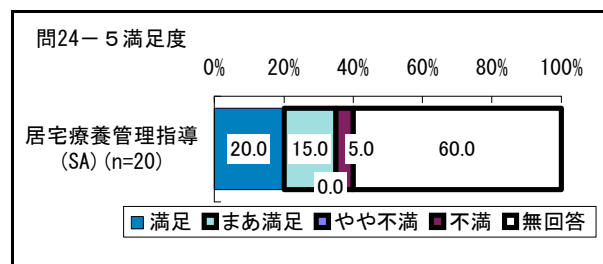
利用状況についてみると、「週1回以上」が35.0%となっています。



《満足度》

問 24-5 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

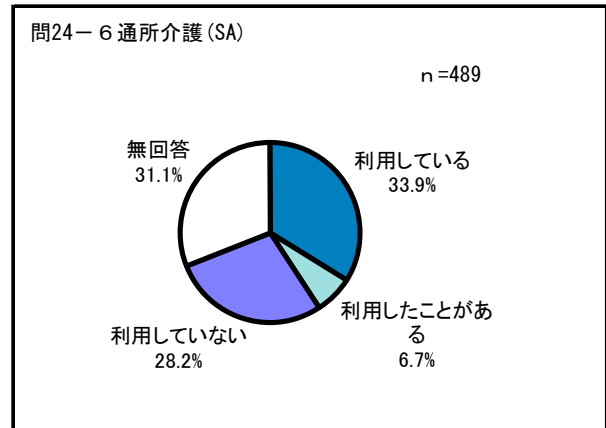
満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が3割以上となっています。



問 24-6 通所介護（デイサービス）を利用していますか。また、利用経験がある場合、利用の頻度と満足度についてお答えください。[単数回答]

《利用》

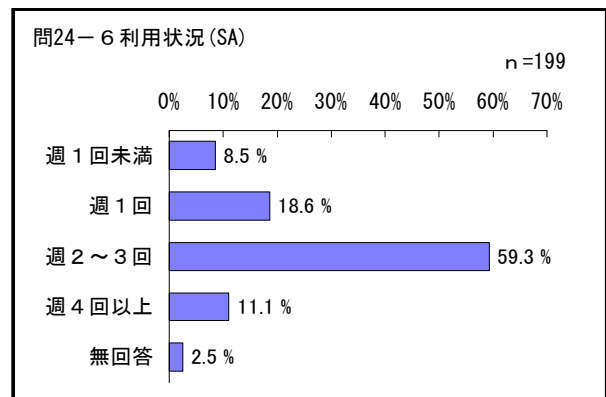
通所介護（デイサービス）の利用についてみると、「利用している」人は33.9%、「利用したことがある」（6.7%）と合わせて、利用経験のある人は全体の約4割となっています。



《利用状況》

問 24-6 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

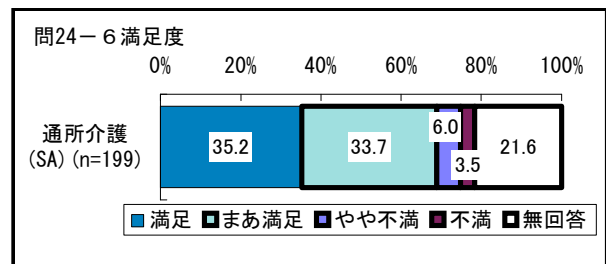
利用状況についてみると、「週2～3回」が59.3%と最も多く、次いで「週1回」が18.6%となっています。



《満足度》

問 24-6 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

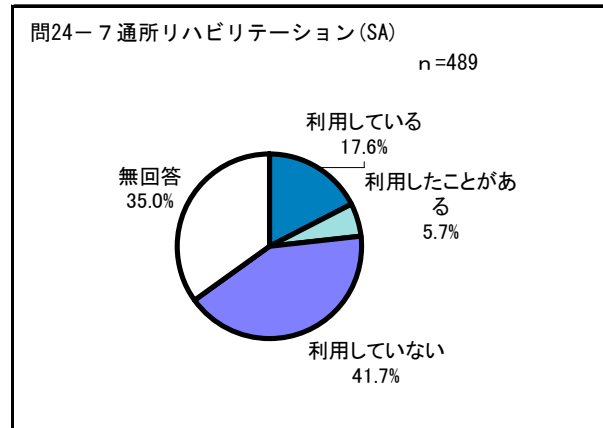
満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が約7割、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は約1割となっています。



問 24-7 通所リハビリテーション（デイケア）を利用していますか。また、利用経験がある場合、利用の頻度と満足度についてお答えください。[単数回答]

《利用》

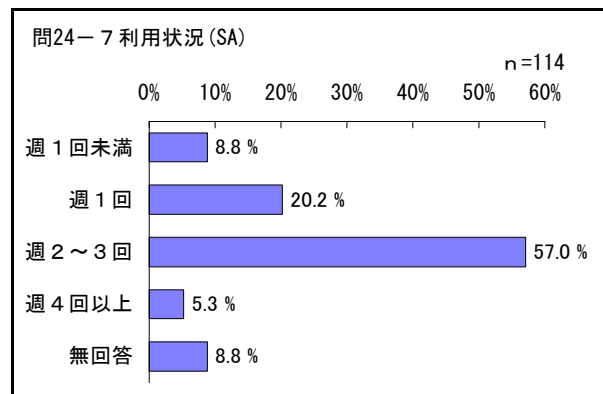
通所リハビリテーション（デイケア）の利用についてみると、「利用している」人は 17.6%、「利用したことがある」（5.7%）と合わせて、利用経験のある人は全体の 2 割強となっています。



《利用状況》

問 24-7 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

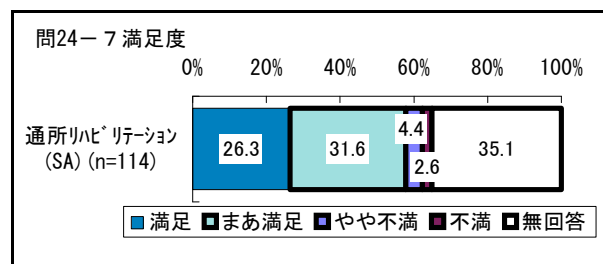
利用状況についてみると、「週 2～3 回」が 57.0%と最も多く、次いで「週 1 回」が 20.2%となっています。



《満足度》

問 24-7 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

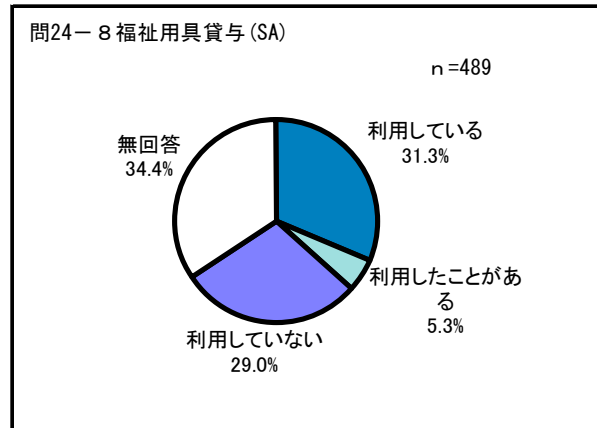
満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が 6 割弱となっています。



問 24-8 福祉用具貸与（レンタル）を利用していますか。また、利用経験がある場合、利用品目と満足度についてお答えください。[単数回答]

《利用》

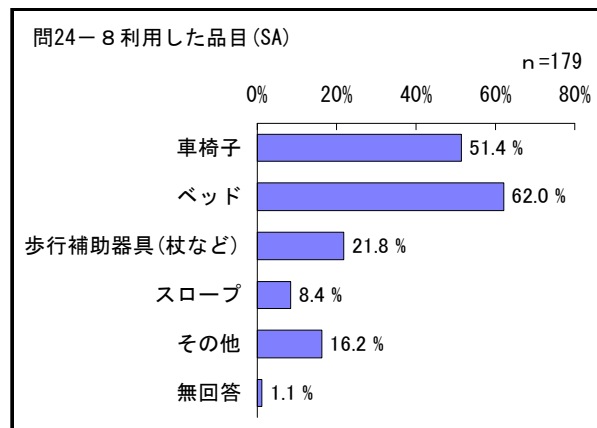
福祉用具貸与（レンタル）の利用についてみると、「利用している」人は31.3%、「利用したことがある」（5.3%）と合わせて、利用経験のある人は全体の4割弱となっています。



《利用した品目》[複数回答]

問 24-8 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

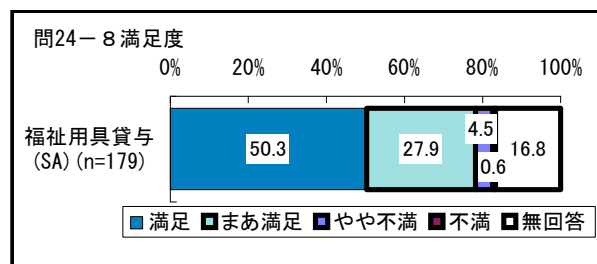
利用状況についてみると、「ベッド」が62.0%と最も多く、次いで「車椅子」が51.4%となっています。



《満足度》

問 24-8 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

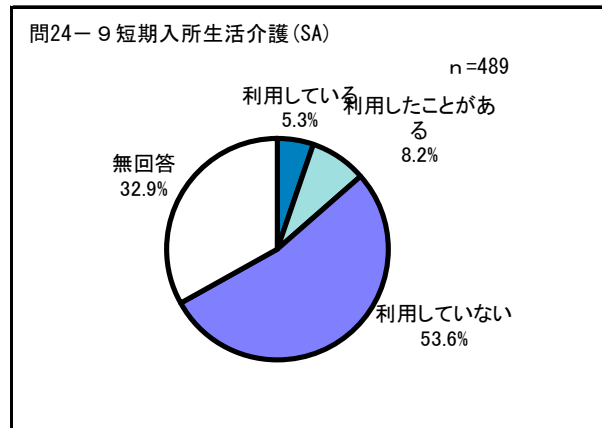
満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が8割弱となっています。



問 24-9 短期入所生活介護（特別養護老人ホーム・ショートステイ）を利用したことがありますか。また、利用経験がある場合、利用の頻度と満足度についてお答えください。[単数回答]

《利用》

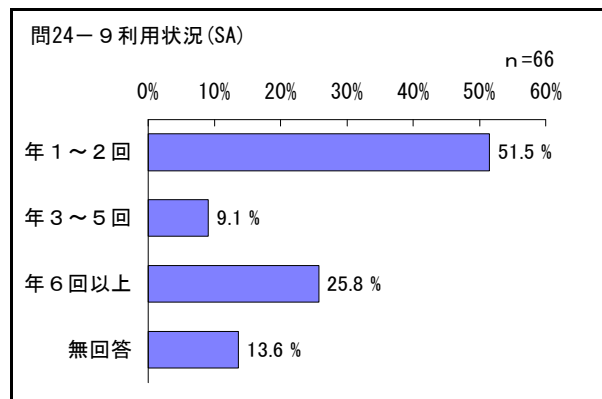
短期入所生活介護（特別養護老人ホーム・ショートステイ）の利用についてみると、「利用している」人は 5.3%、「利用したことがある」(8.2%)と合わせて、利用経験のある人は全体の 1 割強となっています。



《利用状況》

問 24-9 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

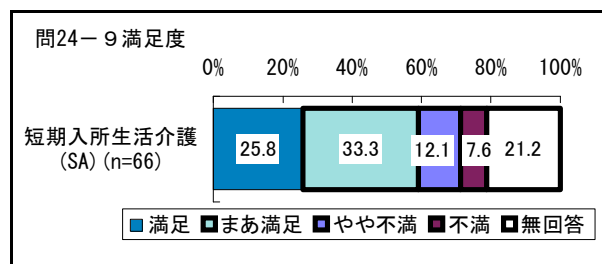
利用状況についてみると、「年 1～2 回」が 51.5%と最も多くなっています。「年 6 回以上」と、多く利用のある人は全体の 4 人に 1 人です。



《満足度》

問 24-9 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

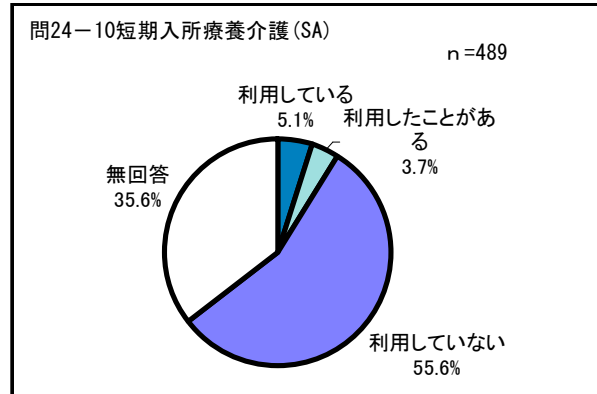
満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が約 6 割ですが、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が約 2 割と、『不満』の割合が他のサービスに比べ高くなっています。



問 24-10 短期入所療養介護（介護老人保健施設等・ショートステイ）を利用したことがありますか。また、利用経験がある場合、利用の頻度と満足度についてお答えください。[単数回答]

《利用》

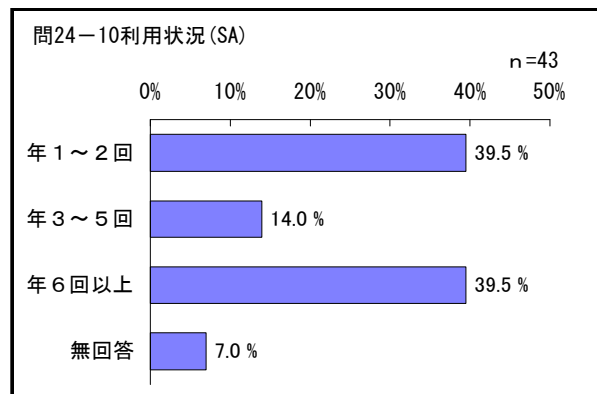
短期入所療養介護（介護老人保健施設等・ショートステイ）の利用についてみると、「利用している」人は 5.1%、「利用したことがある」(3.7%)と合わせて、利用経験のある人は全体の 1 割弱となっています。



《利用状況》

問 24-10 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

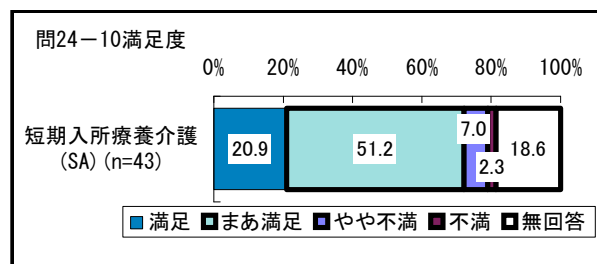
利用状況についてみると、「年 1～2 回」、「年 6 回以上」がそれぞれ 39.5% となっています。



《満足度》

問 24-10 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

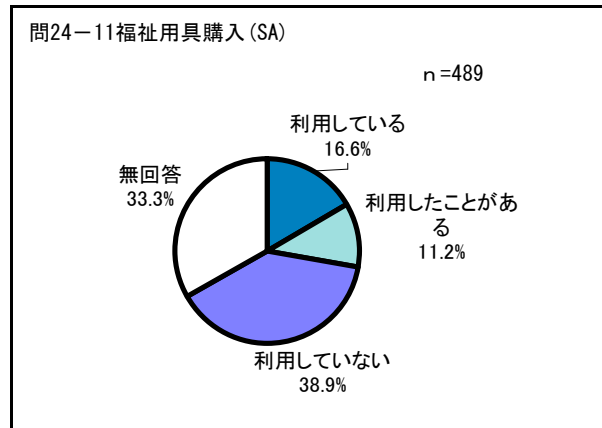
満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が 7 割以上、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が約 1 割となっています。



問 24-11 福祉用具購入（特定福祉用具販売）を利用したことがありますか。また、利用経験がある場合、利用品目と満足度についてお答えください。[単数回答]

《利用》

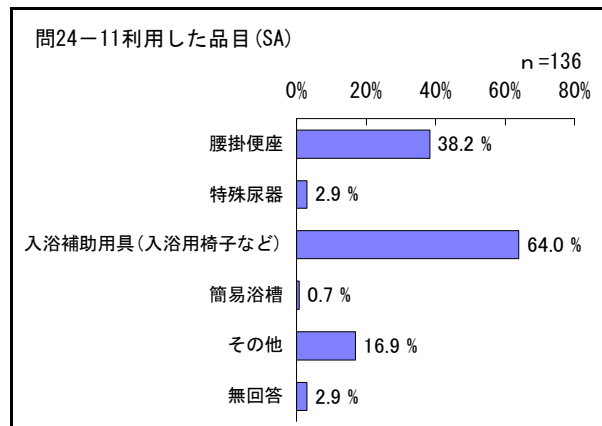
福祉用具購入（特定福祉用具販売）の利用についてみると、「利用している」人は 16.6%、「利用したことがある」（11.2%）と合わせて、利用経験のある人は全体の 3 割弱となっています。



《利用した品目》[複数回答]

問 24-11 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

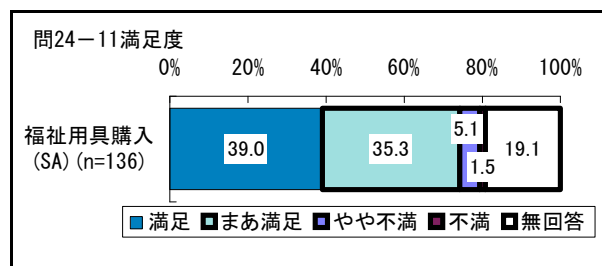
利用状況についてみると、「入浴補助用具（入浴用椅子など）」が 64.0%と最も多く、次いで「腰掛便座」が 38.2%となっています。



《満足度》

問 24-11 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

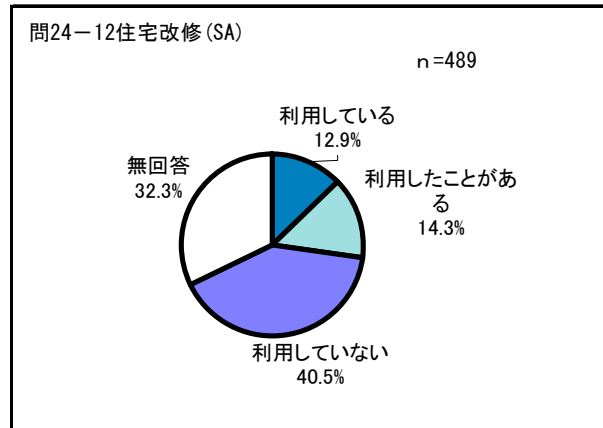
満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が 7 割以上となっています。



問 24-12 住宅改修を利用したことがありますか。また、利用経験がある場合、改修した部分と満足度についてお答えください。[単数回答]

《利用》

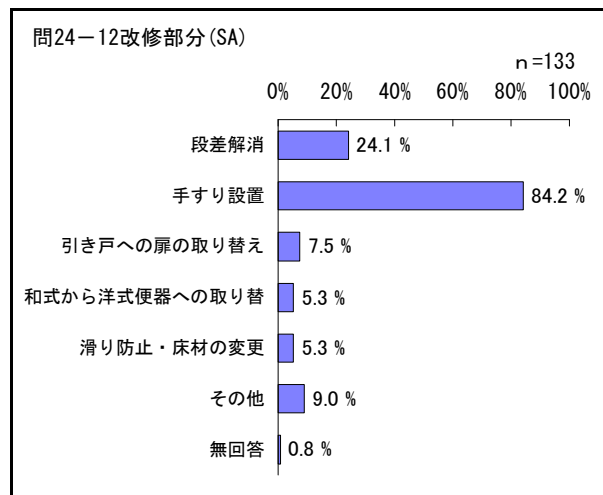
住宅改修の利用についてみると、「利用している」人は 12.9%、「利用したことがある」(14.3%) と合わせて、利用経験のある人は全体の 3 割弱となっています。



《改修部分》[複数回答]

問 24-12 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

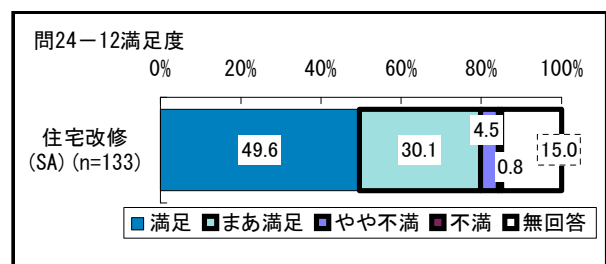
利用状況についてみると、「手すり設置」が 84.2% と最も多くなっています。



《満足度》

問 24-12 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

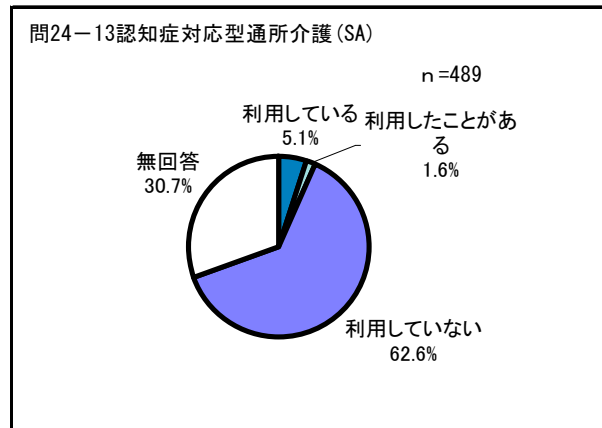
満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が約 8 割となっています。



問 24-13 地域密着型サービス・認知症対応型通所介護（デイサービス）を利用したことがありますか。また、利用経験がある場合、利用の頻度と満足度についてお答えください。[単数回答]

《利用》

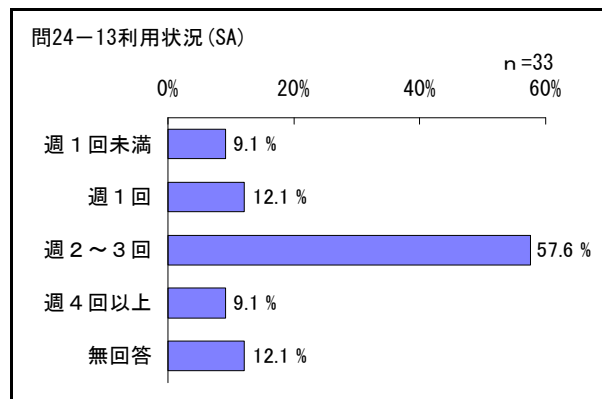
地域密着型サービス・認知症対応型通所介護（デイサービス）の利用についてみると、「利用している」人は5.1%、「利用したことがある」(1.6%)と合わせて、利用経験のある人は全体の1割弱となっています。



《利用状況》

問 24-13 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

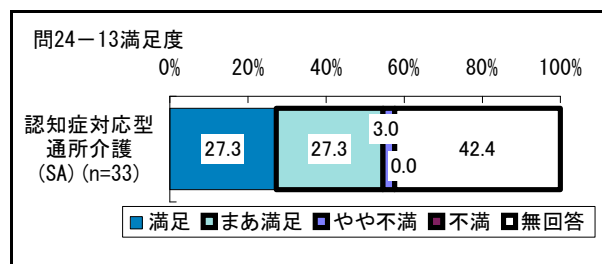
利用状況についてみると、「週 2～3 回」が 57.6%と最も多くなっています。



《満足度》

問 24-13 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

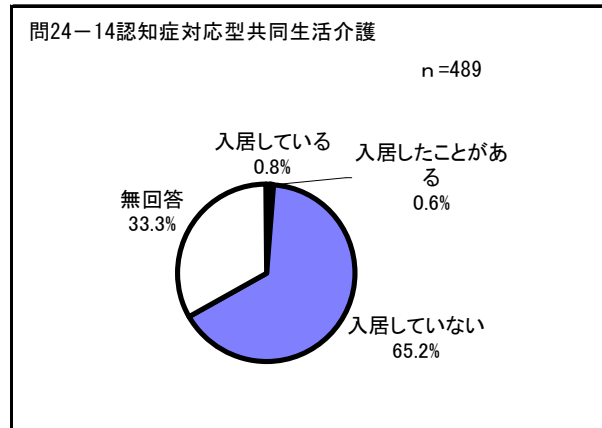
満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は5割を超えているものの、他のサービスに比べると低い割合となっています。



問 24-14 地域密着型サービス・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）に入居していますか。また、利用経験がある場合、利用の満足度についてお答えください。[単数回答]

《利用》

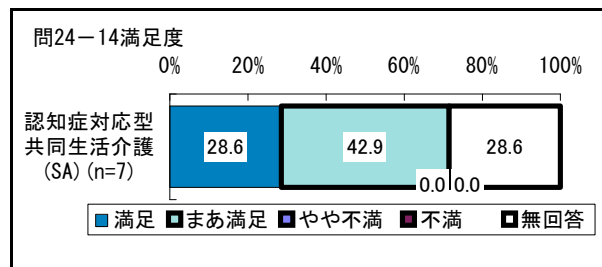
地域密着型サービス・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の利用についてみると、「利用している」人は0.8%、「利用したことがある」（0.6%）と合わせても非常に少ない結果となっています。



《満足度》

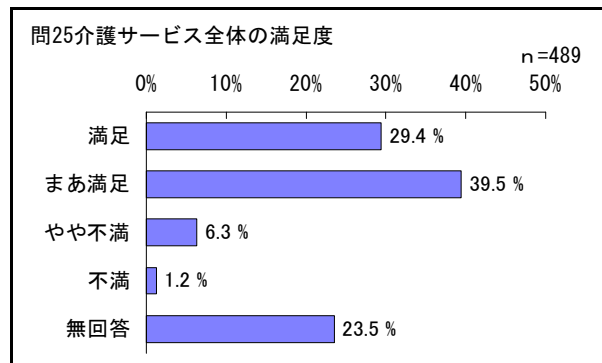
問 24-14 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は7割以上、となっています。



問 25 利用している介護サービス（介護予防サービスを含む）全体の満足度についてうかがいます。[単数回答]

介護サービス全体の満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は7割弱に上っています。しかし、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』についても7.5%と一定数見られることが分かります。



問 26 現在利用しているサービスに対するご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。[自由記入]

【訪問介護】

- 利用範囲が限られている。
 - ・回数が少ない
 - ・サービスメニューが少ない、または希望する範囲までやってもらえない
- 病院への移動にヘルパーさんの車が利用できない。
- 病院内の付き添いは保険外となる。
- ヘルパーが年長者なので何事もたのみにくい。利用時間が9時から10時30分なので買い物も頼みたいのですがスーパーが開店していない。
- たん吸引を受けてくれる事業所の数が少ない。これに対する理解、認知度が低いと思う。
- 現在はなんとか生活できているのだが、今後どのように悪くなるか予想がつかない。しかし必ず悪くなることは確かであるので、多くの事例から予想されることを教えてほしい。

【訪問リハビリ】

- 制度上の問題でリハビリ回数や事業所の数を増やせない。介護保険制度により障害者手帳のサービスを受けられない。又それに類する年齢制度のために重度障害の助成を受けられない。

【通所介護】

- 利用回数を増やしたい。
- 利用回数を増やしたいが、金額的に大変。
- 基本的サービス理念に差異があると感じる。
- 送迎の時間を揃えてほしい。
- HPやパンフレットにある内容は自由にどうぞというだけで、積極的にできる環境を作ろうとしてくれない。
- 職員がかわってしまう。多人数なので自由がない。コミュニケーションをあまりとらず片づけだけをする。
- 職員が多すぎる。

【短期入所】

- 利用時の様子がどうだったのか何の報告がなく分からなかった。
- 希望の日に利用できない。

【訪問看護】

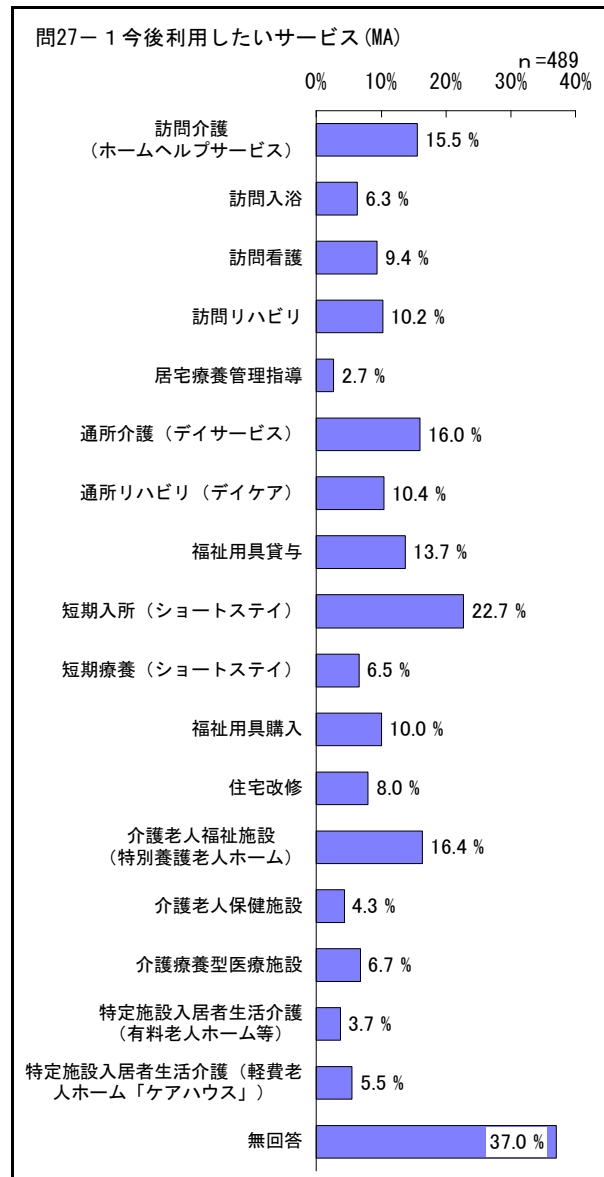
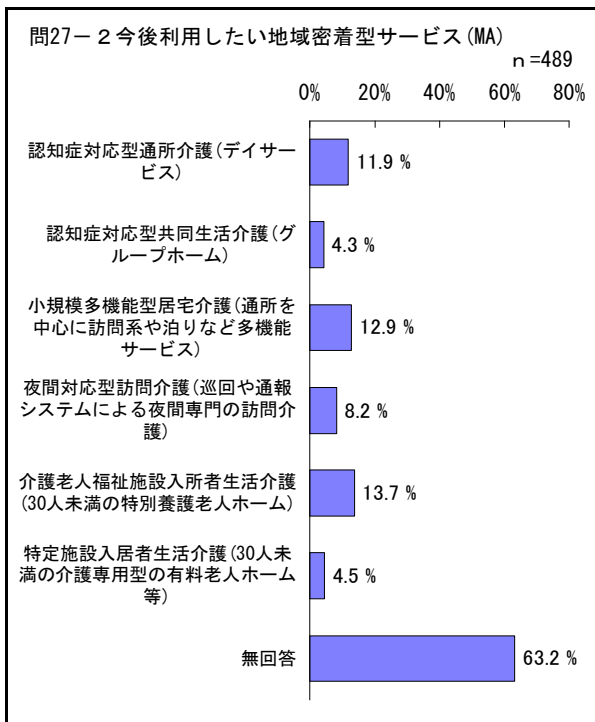
- 夜中など時間外の急な病気の時に見て貰えるシステムをおねがいしたい。

問 27-1 今後利用したいサービス（介護予防サービスを含む）は何ですか。

[複数回答]

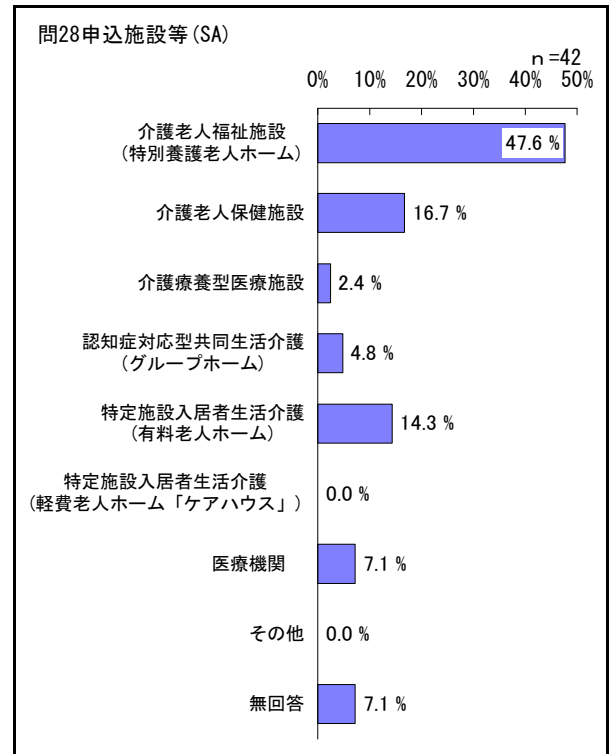
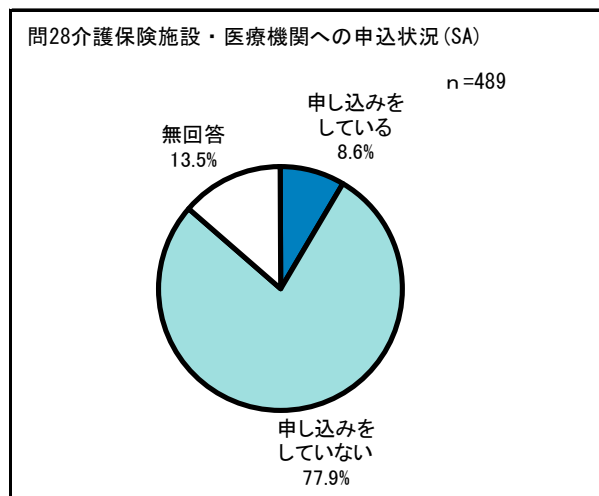
問 27-2 今後利用したい地域密着型サービスは何ですか。[複数回答]

今後利用したいサービスについてみると、「短期入所」が 22.7%と最も多く、次いで施設サービスである「介護老人福祉施設」が 16.4%となっています。今後利用したい地域密着型サービスについてみると、「介護老人福祉施設入所者生活介護（30 人未満の特別養護老人ホーム）」が 13.7%、「小規模多機能型居宅介護（通所を中心に訪問系や泊りなど多機能サービス）」が 12.9%などとなっています。



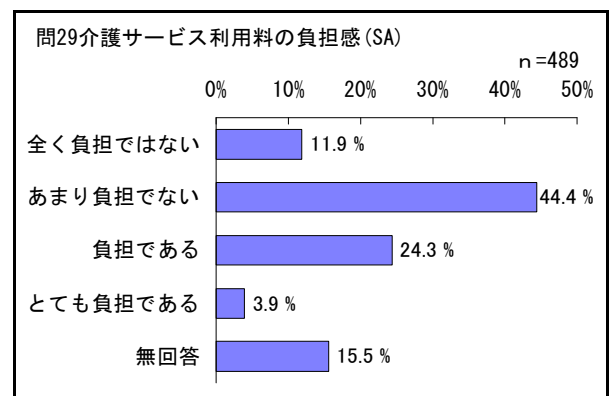
問 28 現在、介護保険施設あるいは医療機関などに入所・入院の申し込みをしていますか。[単数回答]

介護保険施設あるいは医療機関への入所・入院の申し込みをしている人は全体の 8.6%です。入所・入院の申し込み先についてみると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が 47.6%と最も多く、次いで「介護老人保健施設」が 16.7%となっています。



問 29 介護サービス利用料の負担感についてうかがいます。[単数回答]

介護サービス利用料の負担感についてみると、「あまり負担でない」が 44.4%と最も多くなっています。「負担である」、「とても負担である」を合わせた「負担を感じている」層については全体の 3割弱いることがわかります。



■要介護度別×介護サービス利用料の負担感

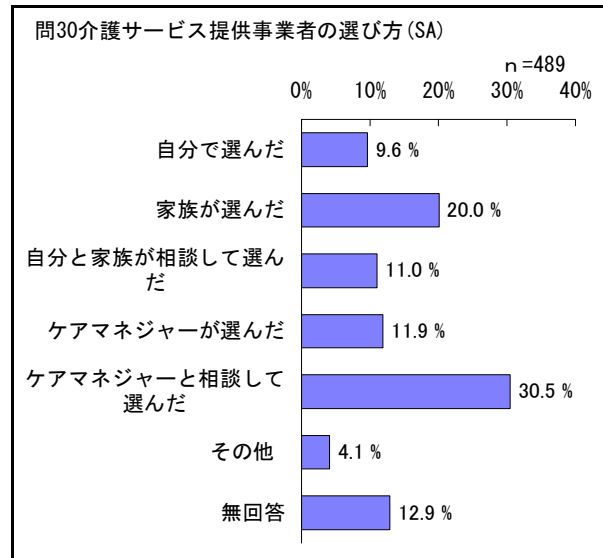
要介護度別に介護サービス利用料の負担感をみところ、要支援1、要支援2では、「全く負担ではない」が2割ほど占めているのに対し、要介護3以上では「負担である」とする回答が3割を超えており、介護度が重い方の経済的負担が高いものであることがうかがえます。(表は次ページ)

(単位：%)

	全体 (人)	で全 はく ない 負担	担あ でま ない 負	る負 担 であ	担と でて ある 負	無 回 答
要支援1	36	19.4	41.7	13.9	2.8	22.2
要支援2	80	21.3	35.0	16.3	2.5	25.0
要介護1	63	14.3	58.7	17.5	4.8	4.8
要介護2	116	11.2	44.0	24.1	4.3	16.4
要介護3	96	5.2	46.9	34.4	2.1	11.5
要介護4	41	12.2	41.5	31.7	4.9	9.8
要介護5	34	2.9	44.1	35.3	8.8	8.8

問 30 介護サービスを利用する際どのように介護サービス提供事業者を選びましたか。[単数回答]

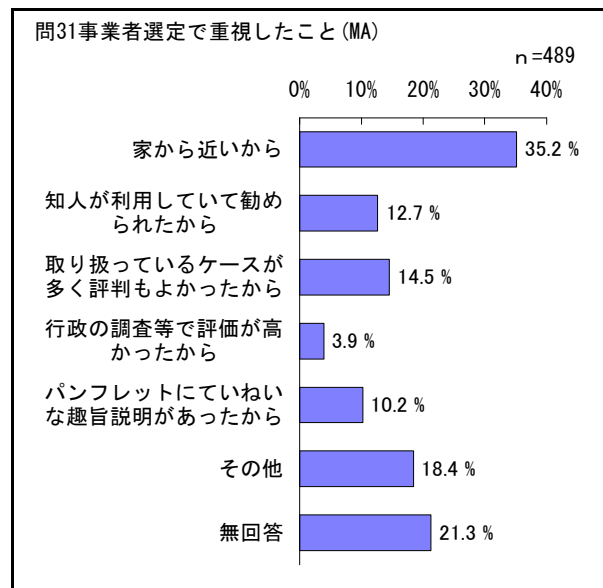
どのように介護サービス提供事業者を選んだかについてみると、「ケアマネジャーと相談して選んだ」が30.5%と最も多く、次いで「家族が選んだ」が20.0%となっています。



問 31 介護サービス提供事業者を選んだ時に重視したことは何ですか。[複数回答]

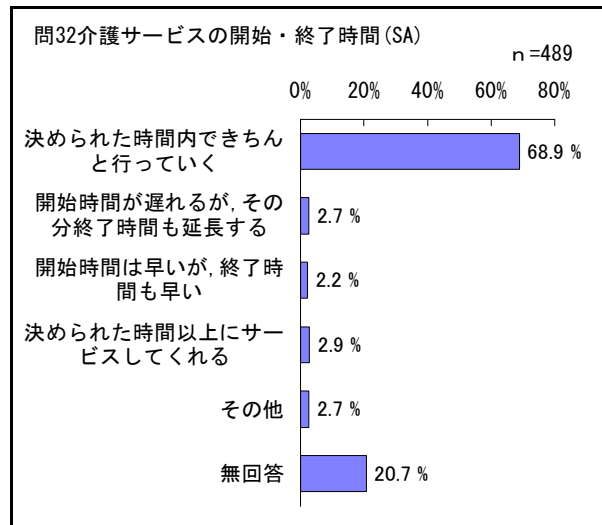
介護サービス提供事業者を選んだ時に重視したことについてみると、「家から近いから」が35.2%と最も多く、次いで「その他」が18.4%となっています。

「その他」では、「ケアマネジャーに勧められた」、「急に必要になったので空いているところにした」などが挙げられます。



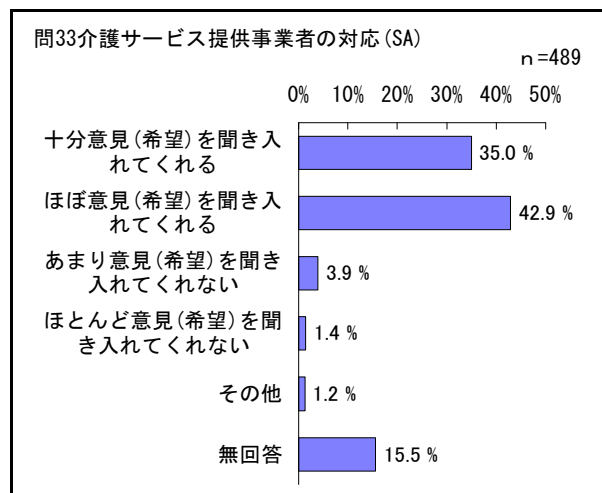
問 32 介護サービスの開始・終了時間についてうかがいます。[単数回答]

介護サービスの開始・終了時間についてみると、「決められた時間内できちんと行っていく」が68.9%と最も多くなっています。



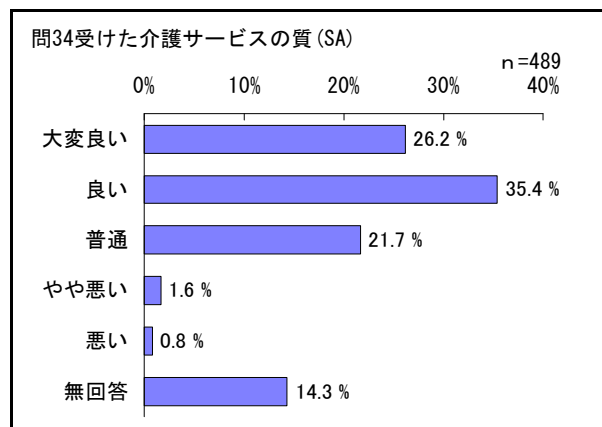
問 33 介護サービス提供事業者の対応についてうかがいます。[単数回答]

介護サービス提供事業者の対応についてみると、「ほぼ意見(希望)を聞き入れてくれる」が42.9%と最も多くなっています。「あまり意見(希望)を聞き入れてくれない」、「ほとんど意見(希望)を聞き入れてくれない」を合わせた、対応に意見が入らないと感じている人は全体の約5%ほどいることがわかります。



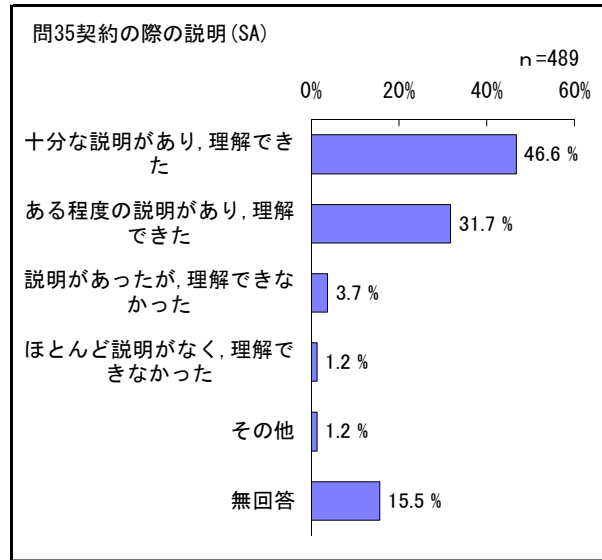
問 34 受けた介護サービスの質(サービスの内容・印象・好感度など)についてうかがいます。[単数回答]

受けた介護サービスの質についてみると、「良い」が35.4%と最も多くなっています。「やや悪い」、「悪い」と感じている人は全体の2.4%です。



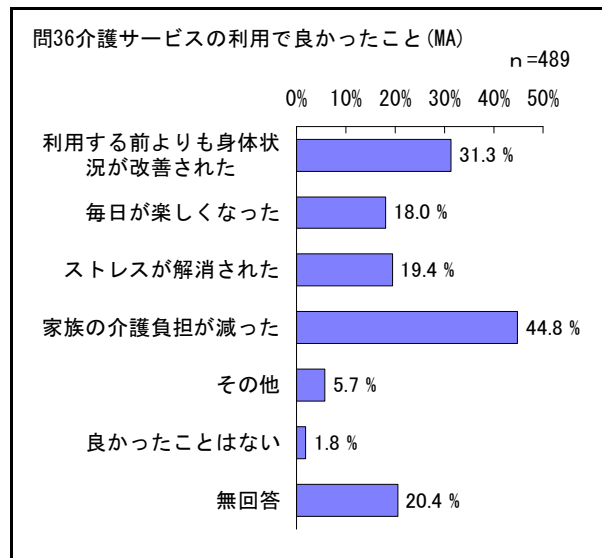
問 35 介護サービスの利用にあたり、契約をすることになっていますが、契約の際説明がありましたか。[単数回答]

契約の際説明があったかについてみると、「十分な説明があり、理解できた」が46.6%と最も多くなっています。一方、「説明があったが、理解できなかった」「ほとんど説明がなく理解できなかった」と、『理解できなかった』と感じている人は全体の約5%ほどいることが分かります。



問 36 介護サービスを利用するようになって良かったことは何ですか。[複数回答]

介護サービスを利用するようになって良かったことについてみると、「家族の介護負担が減った」が44.8%と最も多く、次いで「利用する前よりも身体状況が改善された」が31.3%となっています。



■介護サービスを利用するようになって良かったこと×要介護別

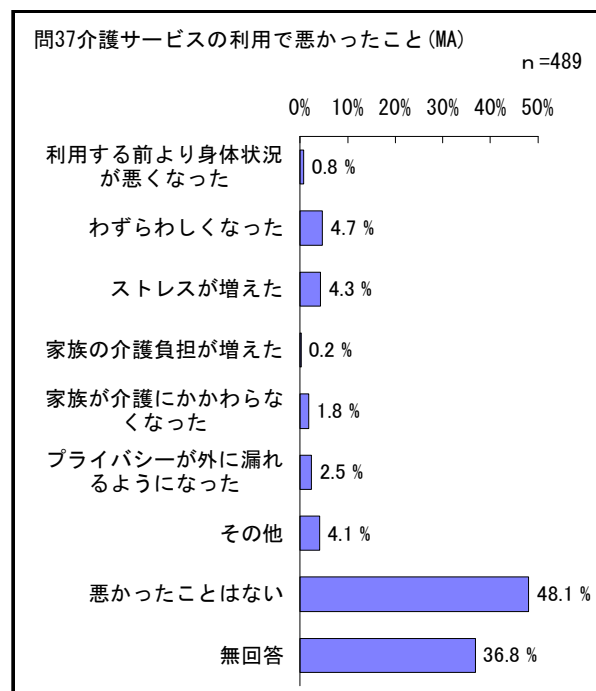
介護サービスを利用するようになって良かったことを介護度別でみると、要介護認定者では「家族の介護負担が減った」を回答する割合が多くなっています。特に要介護4以上ではその回答割合は約7割となっています。(表は次ページ)

(単位: %)

	全体 (人)	が利用する も改善され た状況よ	な日 つたが 楽しく	消 ス さ れ た ス が 解	担 家 族 の 介 護 負	そ の 他	は 良 な い っ た こ と	無 回 答
合計	489	31.3	18.0	19.4	44.8	5.7	1.8	20.4
要支援1	36	36.1	11.1	25.0	19.4	5.6	0.0	27.8
要支援2	80	27.5	12.5	17.5	16.3	10.0	1.3	33.8
要介護1	63	36.5	33.3	20.6	44.4	6.3	1.6	14.3
要介護2	116	28.4	19.8	22.4	47.4	3.4	3.4	19.8
要介護3	96	32.3	22.9	14.6	59.4	7.3	1.0	14.6
要介護4	41	31.7	7.3	19.5	70.7	4.9	0.0	12.2
要介護5	34	32.4	2.9	17.6	76.5	0.0	5.9	5.9

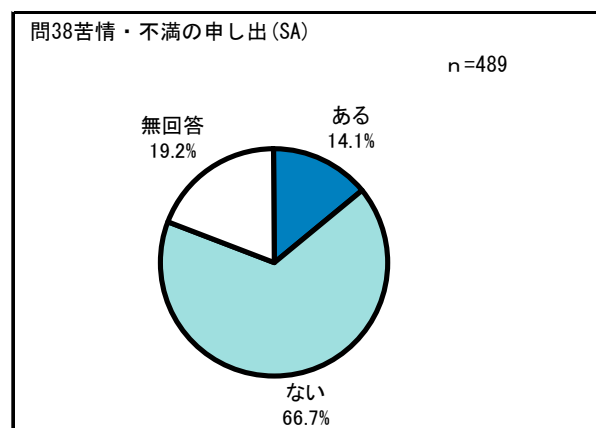
問37 介護サービスを利用するようになって悪かったことはありますか。[複数回答]

介護サービスを利用するようになって悪かったことについてみると、「悪かったことはない」が48.1%と最も多くなっていますが、悪かったと思う点を挙げた回答では「わずらわしくなった」(4.7%)、「ストレスが増えた」(4.3%)などがみられます。



問38 介護サービスを利用してから苦情・不満を申し出たことはありますか。[単数回答]

介護サービスを利用してから苦情・不満を申し出たことが「ある」人は全体の14.1%となっています。



問 38 「ある」を選んだ回答者

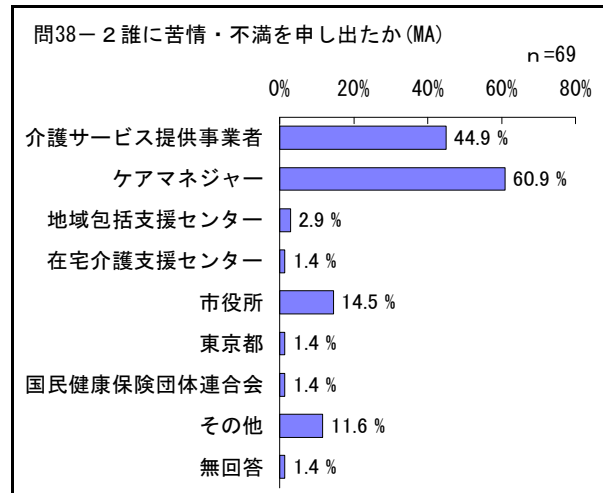
問 38-1 さしつかえなければ、苦情・不満の内容をご記入ください。[自由記入]

- ・初めの頃一日中腰掛なので疲れた様、普段家で午後1時間くらい床で寝る又は休む事になっているのでできるだけそのように配慮してもらいたいと話したところ早速要望を聞いて頂きました。
- ・スタッフが少なくサービスが行き届かない
- ・入浴で頭を洗う時に耳に水が入らない様に耳栓をする様に希望したが、行われなかったので業者をかえた
- ・ケアプランの時間から事業所の都合で変更される事が多かった。訪問時にお願いしたい事を理解してくれない人がいた。訪問時間に遅れても謝罪がなかった。
- ・食事の内容
- ・デイサービスの送迎時間が予定通りでなく別宅で暮らしている家族が送り出しをするのに不便で負担になっている。毎日予定時間よりも10分から15分早くついていた。
- ・少しでも調子が悪いとすぐ電話があり、迎えに来てほしいとこちらの都合を聞かないで言うことがあったので
- ・勝手に関係ない部屋に入ってこられた。
- ・利用料領収書が他人のものが送られてきて本人の物がどこへ行ったのかわからないといわれたため、きちんとしてほしいと言った。ショートステイではおむつ持参しなくてよいのに、そのことを知られず半年ほどずっと持って行っていたが、持参したものを全て使われていたのできちんと事前説明してほしいと言った。医療費控除対象になるはずの項目が対象にされずに計算されていたので、訂正してほしいと言った。
- ・認知症者はめまぐるしく状況が変わるので、決められた内容のサービスだけでは難しいため、利用者が安心できる事をおもにしてほしい。
- ・ケアマネージャーが何もしてくれなかった。
- ・利用日時を間違えた。
- ・職員の対応に不満があった
- ・ヘルパーによる盗難事件が何度か有りました。
- ・糖尿病の説明をしていたのに砂糖入りのコーヒーを出されたため、施設での過ごし方を再度確かめた。
- ・ヘルパーを変えないでほしい。
- ・サービスの回数が少ない。
- ・デイサービスを利用している施設の責任者が代わってサービス内容が悪くなった。
- ・担当者が時間にルーズだったり人がころころ変わるので困っている。

問 38 「ある」を選んだ回答者

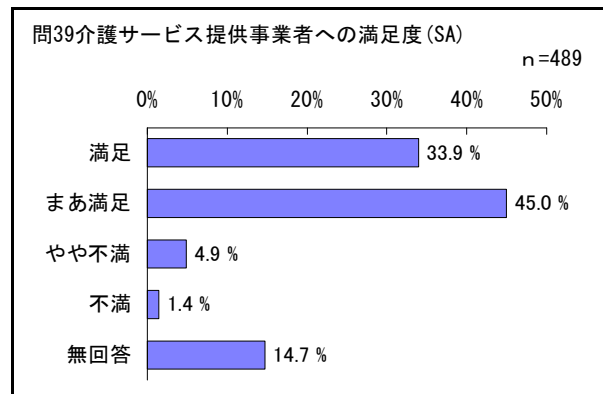
問 38-2 誰に苦情・不満を申し出ましたか。[複数回答]

誰に苦情・不満を申し出たかについてみると、「ケアマネジャー」が 60.9%と最も多く、次いで「介護サービス提供事業者」が 44.9%となっています。



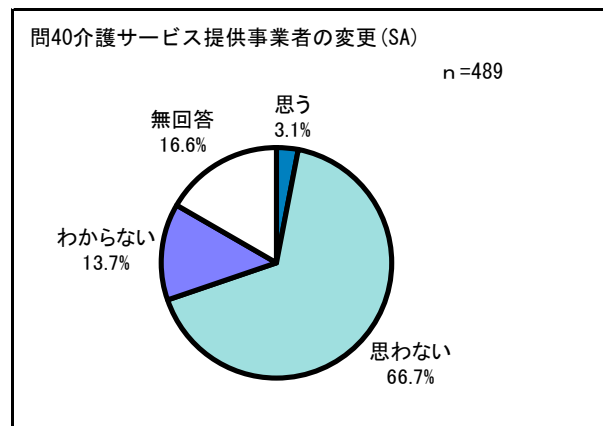
問 39 現在利用している介護サービス提供事業者への満足度についてうかがいます。[単数回答]

満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は 8割弱となっていますが、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』も 6.3%と一定数見られます。



問 40 今後、現在利用している介護サービスで介護サービス提供事業者を変更したいと思いませんか。[単数回答]

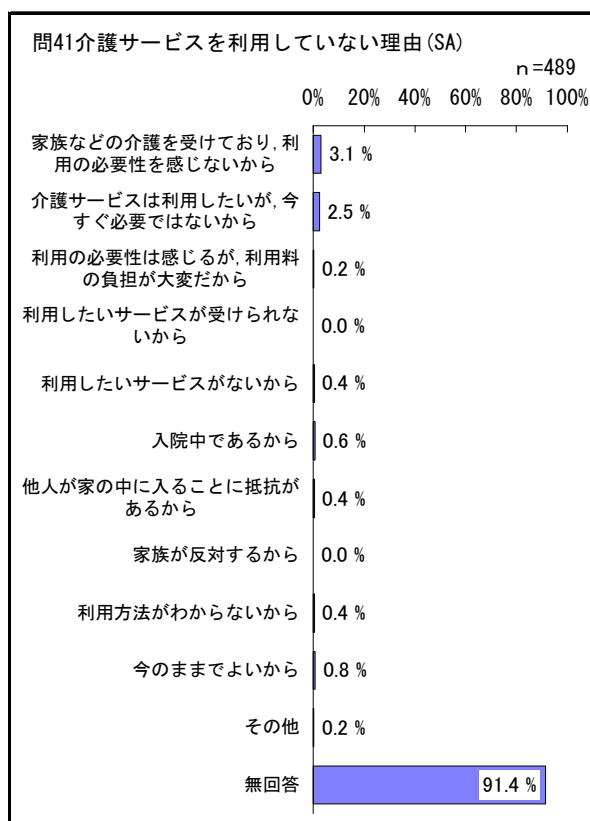
現在利用している介護サービス提供事業者を変更したいと思うかについてみると、「思わない」が 66.7%と最も多くなっています。



6. 現在、介護サービスを利用していない方について

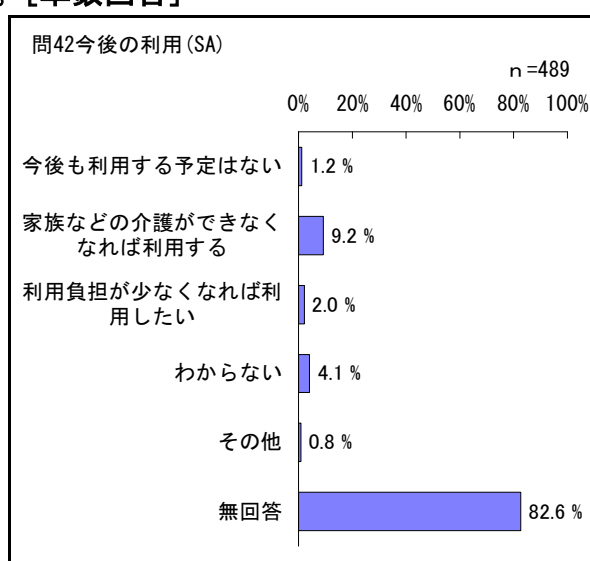
問 41 あなたが介護サービスを利用していない理由は何ですか。[単数回答]

介護サービスを利用していない理由についてみると、「家族などの介護を受けており、利用の必要性を感じないから」が3.1%と最も多く、次いで「介護サービスは利用したいが、今すぐ必要ではないから」が2.5%となっています。



問 42 今後の利用についてうかがいます。[単数回答]

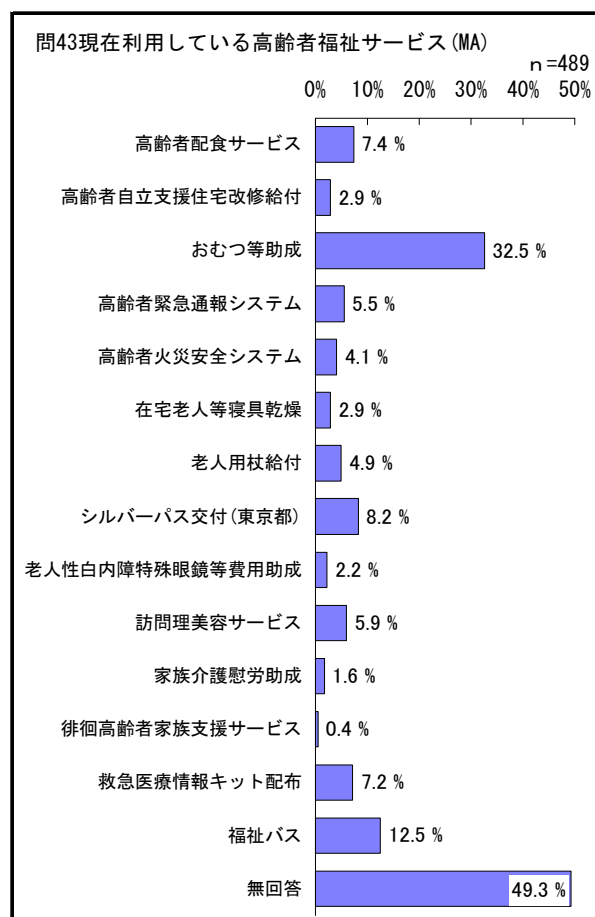
今後の利用についてみると、「家族などの介護ができなくなれば利用する」が9.2%と最も多くなっています。



7. 高齢者福祉サービスについて

問 43 現在利用している高齢者福祉サービスについてうかがいます。[複数回答]

現在利用している高齢者福祉サービスについてみると、「おむつ等助成」が32.5%と最も多くなっています。



問 43-1 高齢者施策に追加してほしいサービスなどありましたらお書きください。

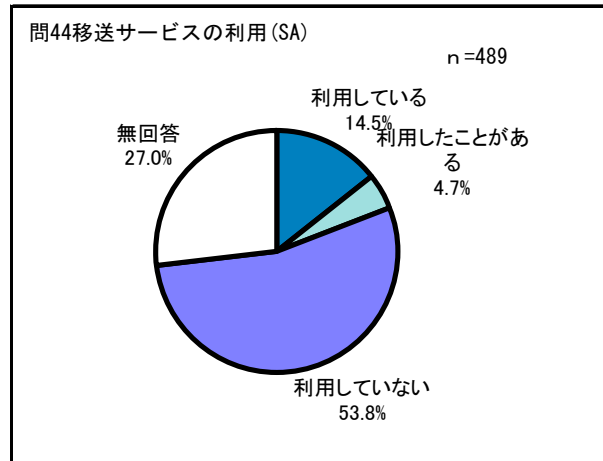
[自由記入]

- ・ 家族会立ち上げのサポート
- ・ 独居高齢者の孤独死対策となってしまった場合の対応を広く市民に知らせて安心してもらう施策
- ・ 福祉バス、往復ができればうれしい、病院がコースに入っていないが残念
- ・ 将来の変化を予想した準備や警告がほしい。
- ・ 家は妻が40代なのですが、昼食などの配食サービスが受ければありがたいです。
- ・ 通院するときの送迎サービス、買い物をした重い物を自宅に届ける配送サービス。
- ・ ヘルパーさんの仕事の範囲内に居外の庭はきも加えていただけたなら有り難いと思います。一律に禁止でなく、できることは自分で、できない部分を補って頂くことを取り入れてほしいです。

問 44 移送サービスを利用していますか。また、利用している場合はどの程度利用していますか。[単数回答]

《利用》

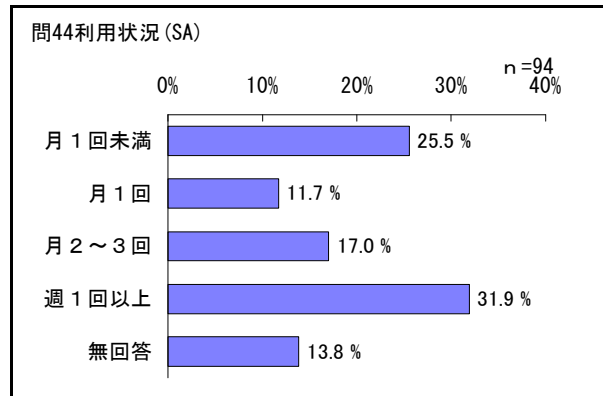
移送サービスの利用についてみると、「利用している」人は 14.5%、「利用したことがある」(4.7%) と合わせて、利用経験のある人は全体の約 2 割となっています。



《利用状況》

問 44 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

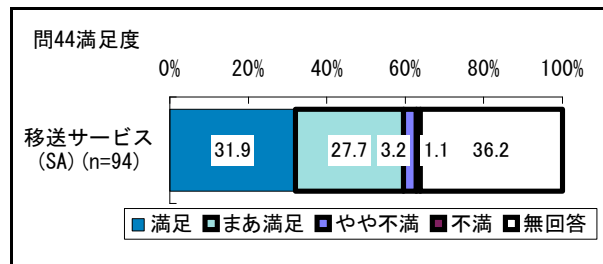
移送サービスの利用状況についてみると、「週 1 回以上」が 31.9% と最も多く、次いで「月 1 回未満」が 25.5% となっています。



《満足度》

問 44 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

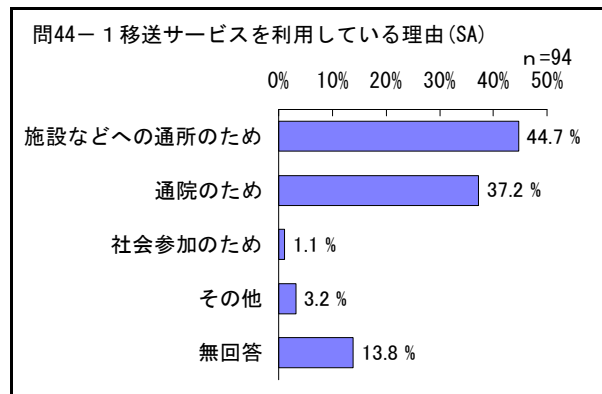
移送サービスの満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が約 6 割となっています。



問 44 「利用している」、「利用したことがある」を選んだ回答者

問 44-1 移送サービスを利用している主な理由は何ですか。[単数回答]

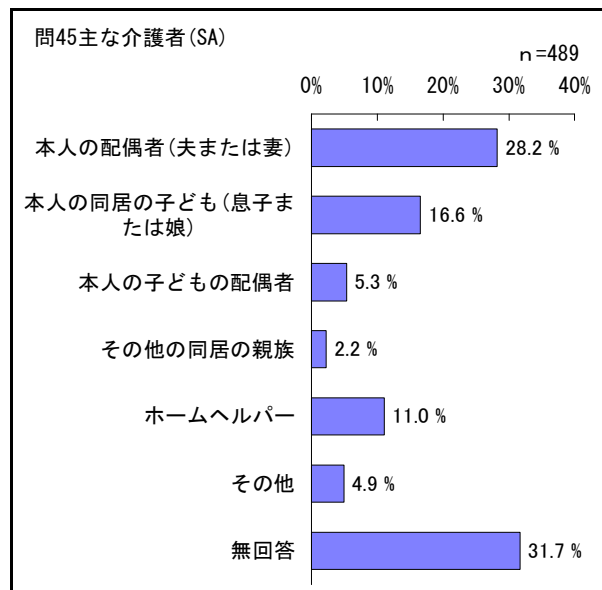
移送サービスを利用している主な理由についてみると、「施設などへの通所のため」が44.7%と最も多く、次いで「通院のため」が37.2%となっています。



8. 主な介護者がお答えください

問 45 主な介護者は誰ですか。[単数回答]

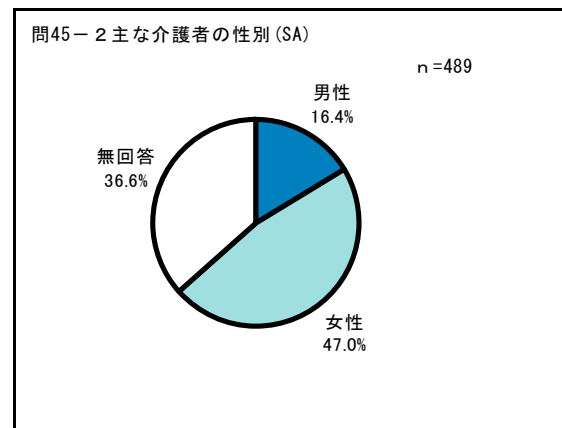
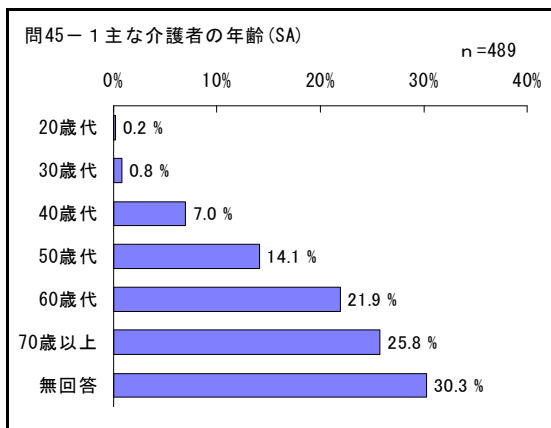
主な介護者は誰かについてみると、「本人の配偶者（夫または妻）」が28.2%と最も多く、次いで「本人の同居の子ども（息子または娘）」が16.6%となっています。



問 45-1 主な介護者の年齢はいくつですか。[単数回答]

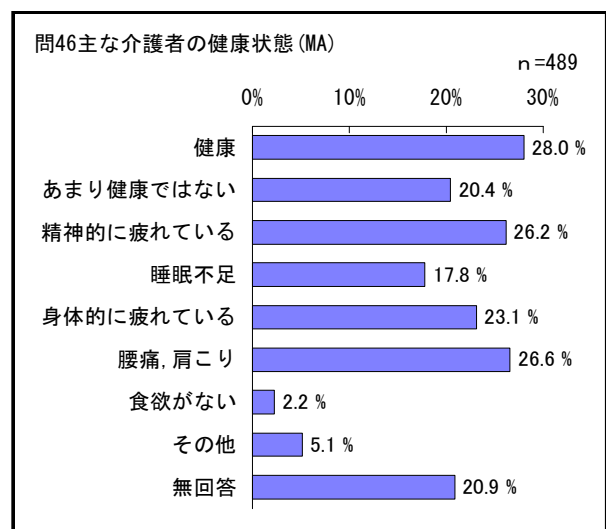
問 45-2 家庭における男女平等を推進しているところですが、主な介護者の性別はどちらですか。[単数回答]

主な介護者の年齢についてみると、「70歳以上」が25.8%と最も多く、次いで「60歳代」が21.9%となるなど年齢が上がるごとに増加していることがわかります。主な介護者の性別についてみると、「女性」が47.0%と多くなっています。



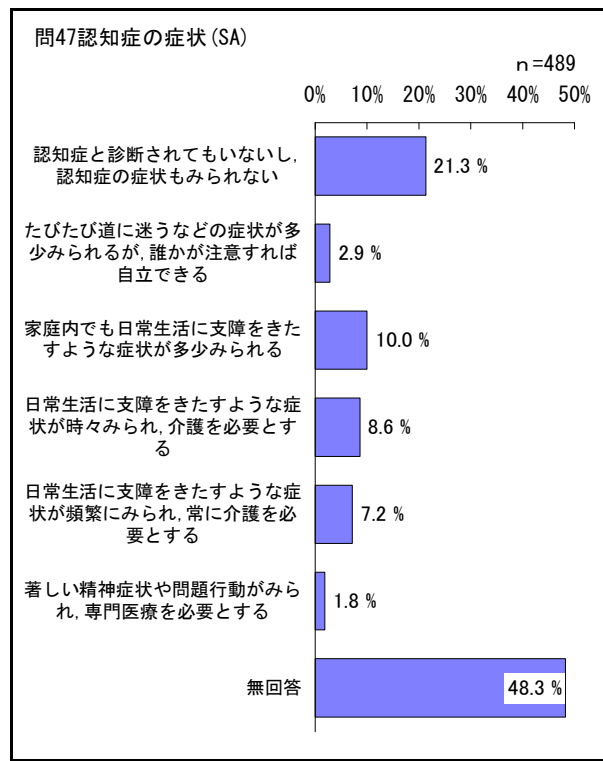
問 46 主な介護者の健康状態についてうかがいます。[複数回答]

主な介護者の健康状態についてみると、「健康」である人が28.0%ともっとも多くなっていますが、それ以外では、「腰痛、肩こり」が26.6%、「精神的に疲れている」が26.2%などの回答が目立ちます。



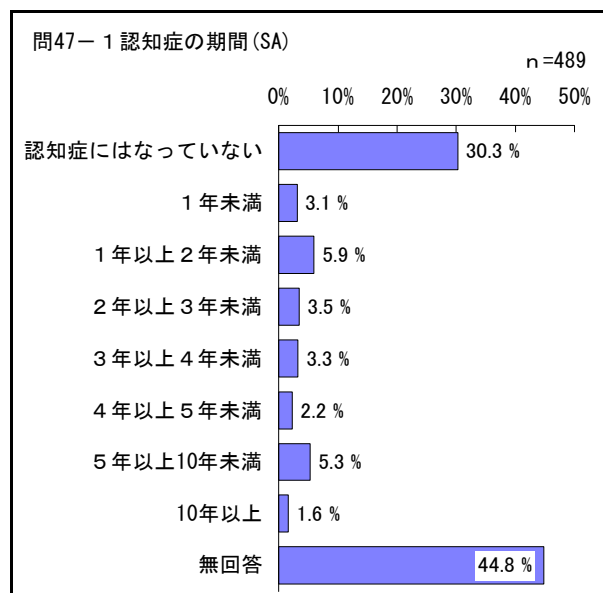
問 47 本人が、医師より認知症と診断されている場合や家族からみて認知症と思われる場合、認知症の症状はどの程度ですか。[単数回答]

認知症の症状の程度についてみると、「認知症と診断されてもいないし、認知症の症状もみられない」が21.3%と最も多くなっていますが、それ以外の回答では「家庭内でも日常生活に支障をきたすような症状が多少見られる」との回答が10.0%となっています。



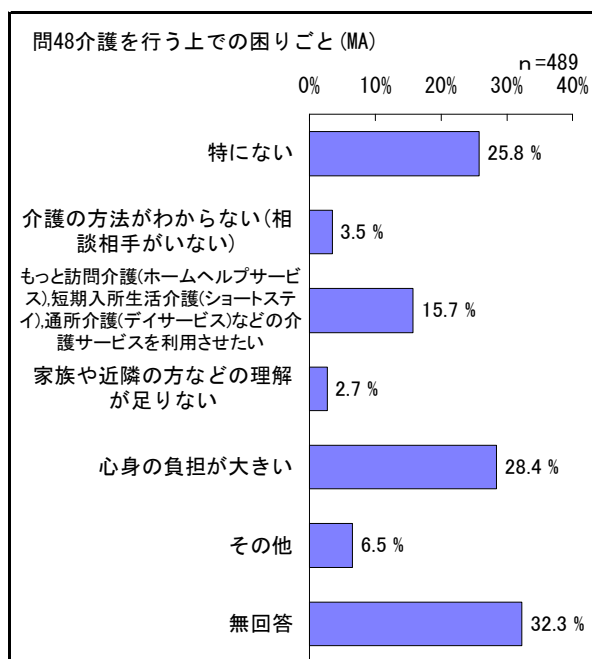
問 47-1 認知症になられている場合、どのくらいたちますか。[単数回答]

認知症になられていた年数についてみると、「認知症にはなっていない」が30.3%と最も多くなっていますが、期間があるとの回答では「1年以上2年未満」(5.9%)、5年以上10年未満(5.3%)などの回答が目立ちます。



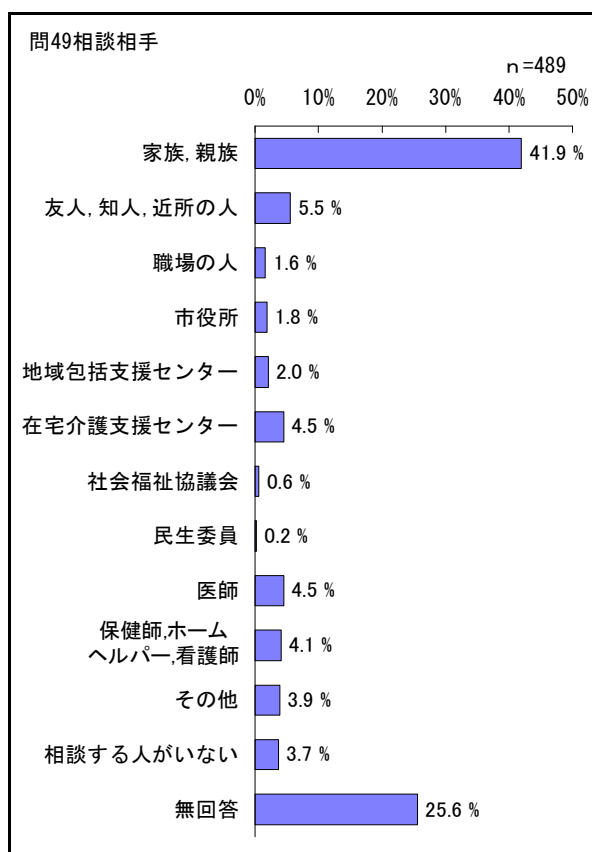
問 48 主な介護者が、介護を行う上で困っていることは何ですか。[複数回答]

主な介護者が、介護を行う上で困っていることについてみると、「特にない」が25.8%と一定数見られますが、『困っていることがある』回答の中では「心身の負担が大きい」(28.4%)が全体でも最も多い回答となっています。



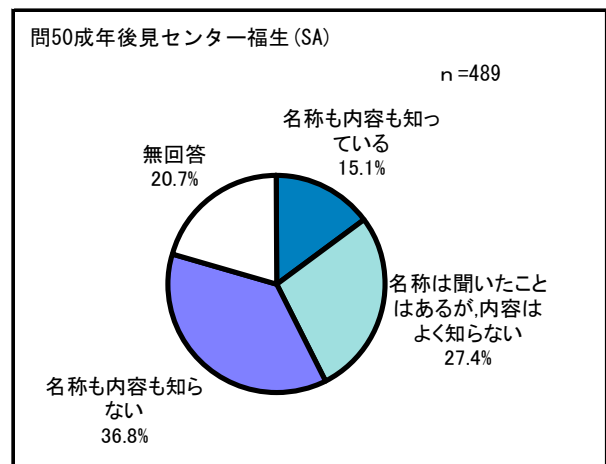
問 49 介護者が、悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。[単数回答]

介護者の相談相手についてみると、「家族、親族」が41.9%と最も多くなっています。



問 50 「成年後見センター福生」では、認知症等判断能力が十分でないため、日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用手続きなどの援助や代行、利用料の支払いなどを行い、地域で自立した生活を送れるように支援する「地域福祉権利擁護事業」（福祉サービス利用援助事業）や認知症等のため判断能力が不十分であるため、本人に代わって後見人が各種契約行為、金融機関との取引や本人の財産管理などを行い、悪徳商法の被害、高齢者虐待などから保護し、支援する「成年後見制度」など福祉サービス総合支援事業を実施していますが「成年後見センター福生」をご存知ですか。[単数回答]

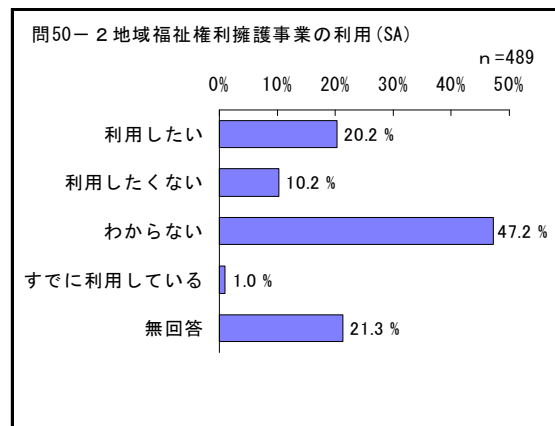
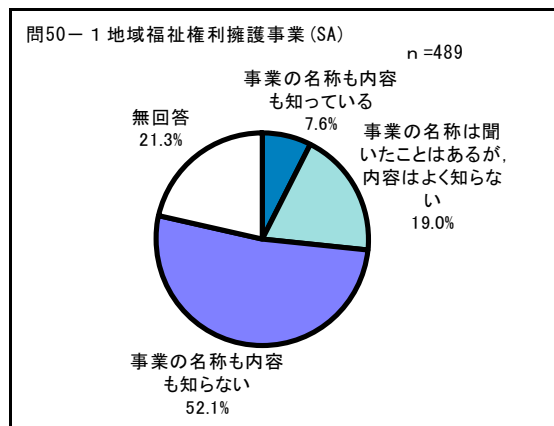
成年後見センター福生についてみると、「名称も内容も知らない」が36.8%と最も多くなっています。



問 50-1 「地域福祉権利擁護事業」についてお聞きします。[単数回答]

問 50-2 介護を受けている方の判断能力が十分でなくなった場合、「地域福祉権利擁護事業」を利用したいですか。[単数回答]

地域福祉権利擁護事業の認知度についてみると、「事業の名称も内容も知らない」が52.1%と最も多く、次いで「事業の名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が19.0%となっています。今後、地域福祉権利擁護事業を利用したいかについてみると、「わからない」が47.2%と最も多く、次いで「利用したい」が20.2%となっています。



問 50-3 「成年後見制度」についてお聞きします [単数回答]

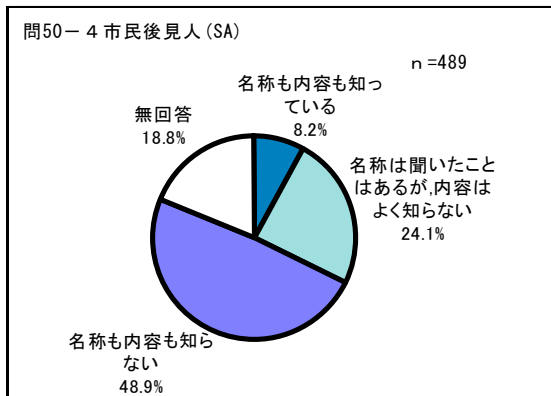
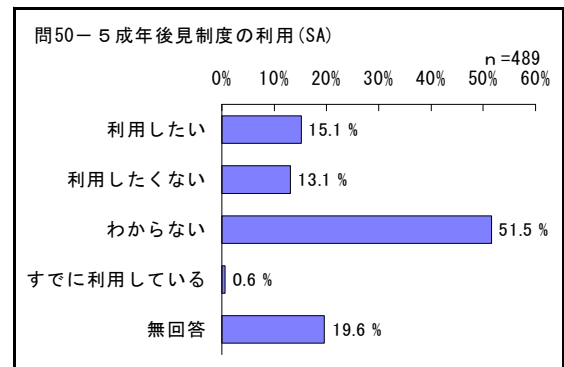
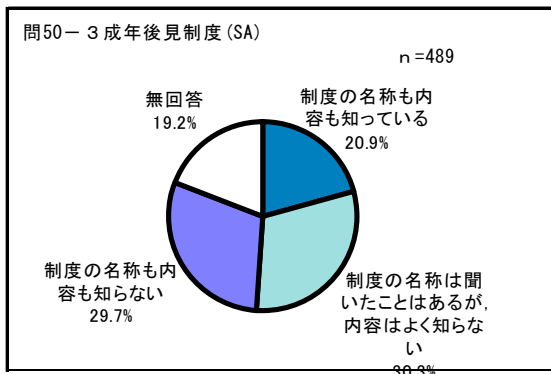
問 50-4 「市民後見人」についてお聞きします [単数回答]

問 50-5 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「成年後見制度」を利用したいですか。 [単数回答]

成年後見制度の認知度についてみると、「制度の名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が 30.3%と最も多く、次いで「制度の名称も内容も知らない」が 29.7%となっています。

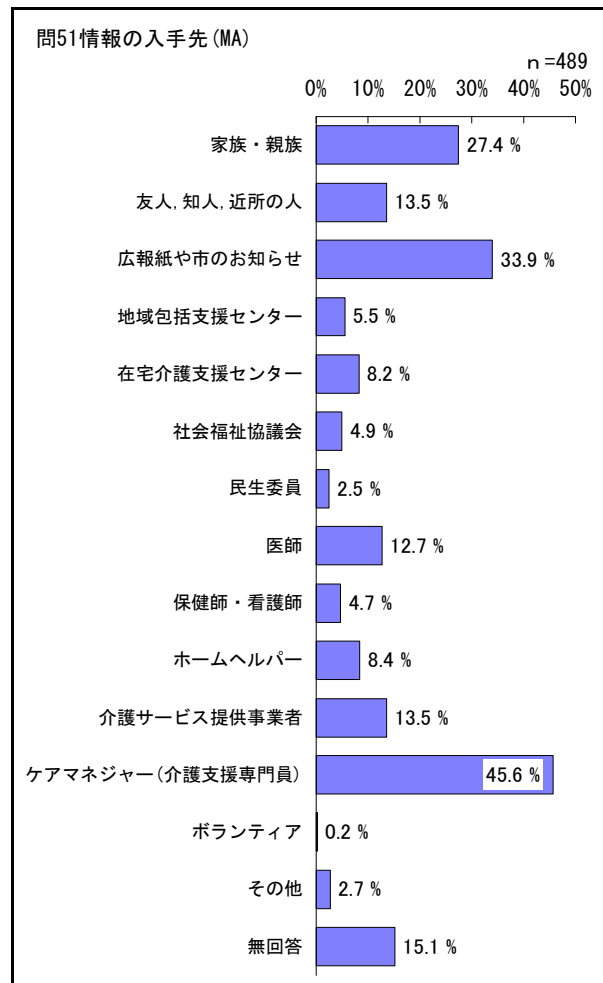
市民後見人の認知度についてみると、「名称も内容も知らない」が 48.9%と最も多く、次いで「名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が 24.1%となっています。

成年後見制度を利用したいかについてみると、「わからない」が 51.5%と最も多く、「利用したい」は 15.1%となっています。



問 51 高齢者福祉や保健に関する情報の入手先は次のどれですか。[複数回答]

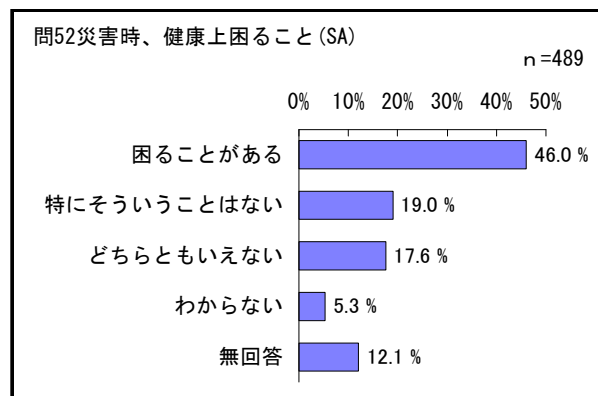
情報の入手先についてみると、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が 45.6%と最も多く、次いで「広報紙や市のお知らせ」が 33.9%となっています。



9. 災害対策について

問 52 災害などが発生した時、数日間医療機関で受診や医療を受けられなかった場合健康上困ることがありますか。[単数回答]

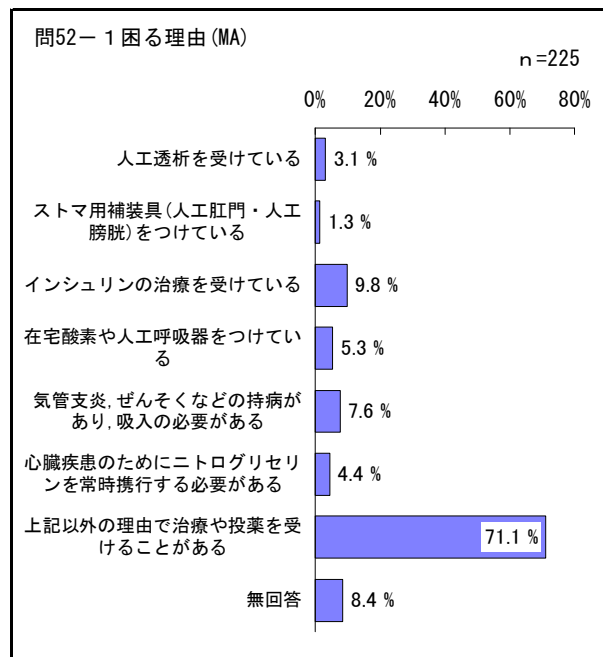
災害時、健康上困ることについてみると、「困ることがある」が 46.0%と最も多く、次いで「特にそういうことはない」が 19.0%となっています。



問 52 「困ることがある」を選んだ回答者

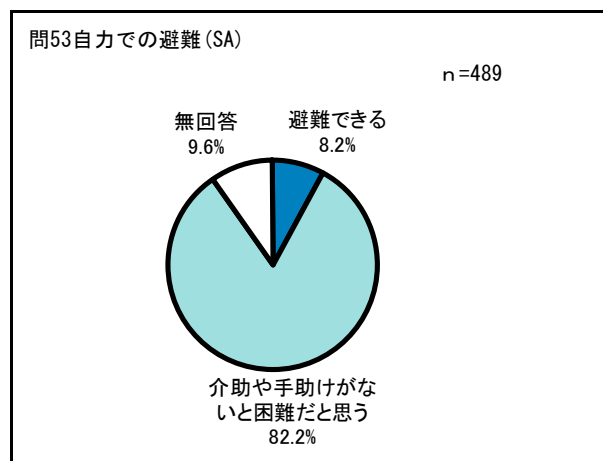
問 52-1 それはどのような理由によるものですか。[複数回答]

理由についてみると、「上記以外の理由で治療や投薬を受けることがある」が71.1%と最も多くなっています。



問 53 震災や水害などの災害発生時に、あなたは自力で避難することができますか。[単数回答]

災害発生時に、あなたは自力で避難することができるかについてみると、「介助や手助けがないと困難だと思う」が82.2%と最も多くなっています。

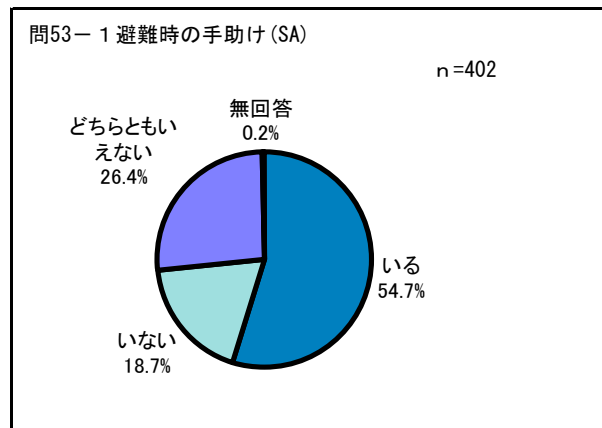


問 53 「介助や手助けがないと困難だと思う」を選んだ回答者

問 53-1 災害発生に伴う避難時に、身近に手助けしてくれる人はいますか。

[単数回答]

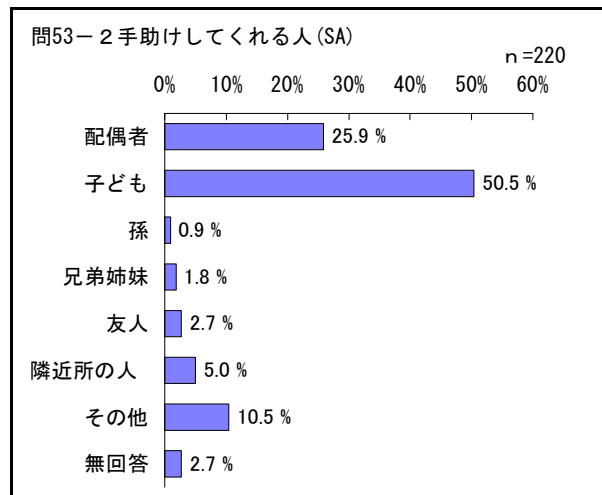
災害発生に伴う避難時に、身近に手助けしてくれる人がいるかについてみると、「いる」が54.7%、「いない」が18.7%、となっています。



問 53-1 「いる」と選んだ回答者

問 53-2 誰ですか。[単数回答]

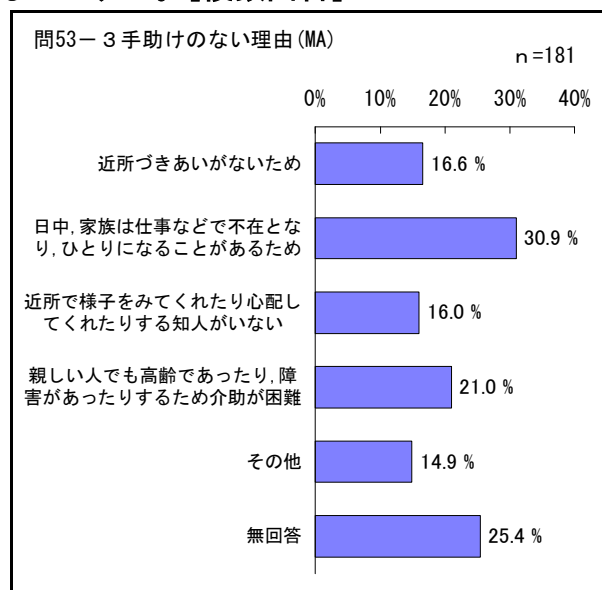
災害発生に伴う避難時に、身近に手助けしてくれる人は誰かについてみると、「子ども」が50.5%と最も多く、次いで「配偶者」が25.9%となっています。



問 53-1 「いない」、「どちらともいえない」を選んだ回答者

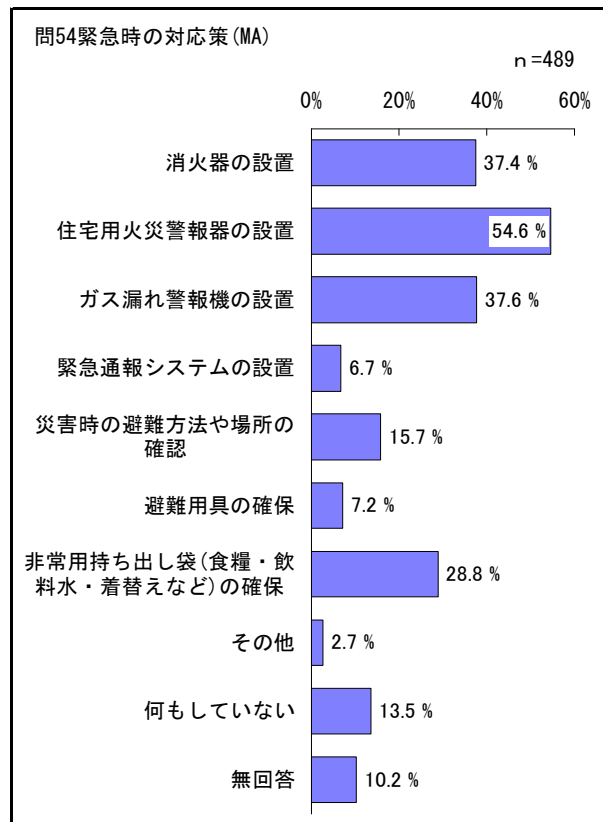
問 53-3 それはどのような理由によるものですか。[複数回答]

災害時、身近に手助けしてくれる人がいない理由についてみると、「日中、家族は仕事などで不在となり、ひとりになることがあるため」が30.9%と最も多く、次いで「親しい人でも高齢であったり、障害があったりするため介助が困難」が21.0%となっています。



問 54 ご家庭で緊急時の対応策として、どのような準備をしていますか。[複数回答]

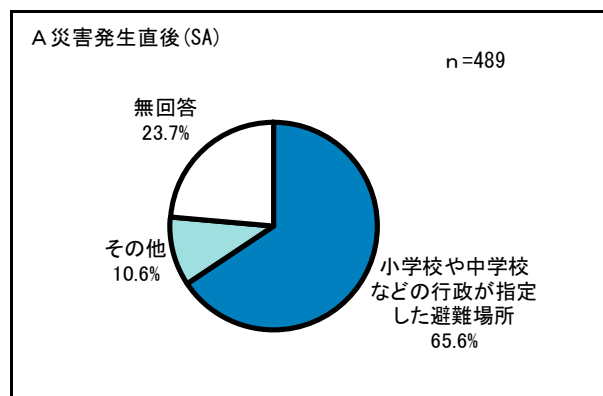
ご家庭で緊急時の対応策として、どのような準備をしているかについてみると、「住宅用火災警報器」が54.6%と最も多く、次いで「ガス漏れ警報機の設置」が37.6%、「消火器の設置」が37.4%となっています。



問 55 もしも災害により自宅で生活するのが困難な状態になった場合、あなたの生活するところはどこになるとお考えですか。[単数回答]

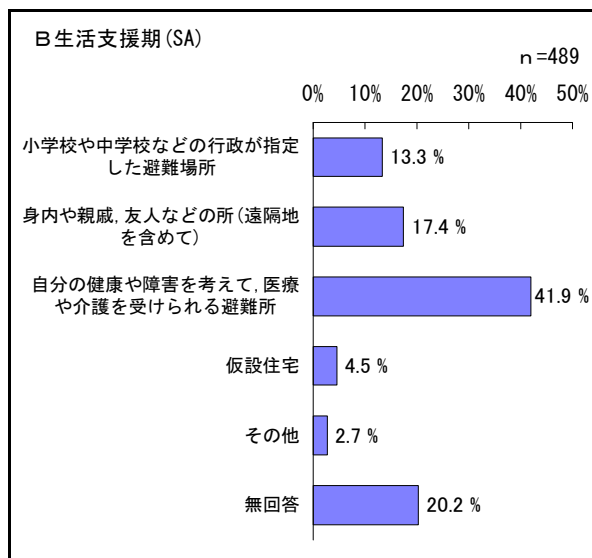
《A：災害発生直後》(発生時から1週間程度)

災害発生直後、生活するところはどこになると思うかについてみると、「小学校や中学校などの行政が指定した避難場所」が65.6%と最も多くなっています。



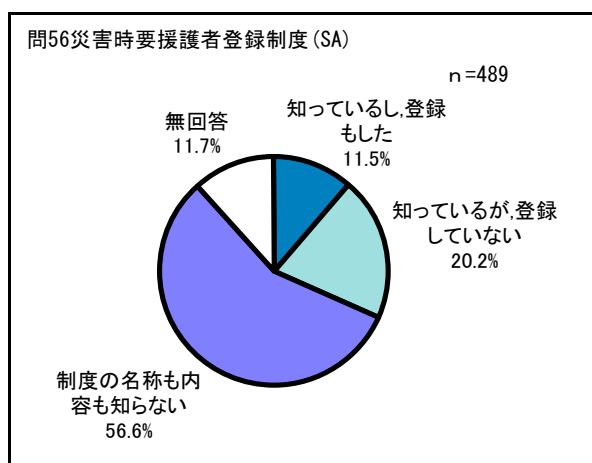
《B：生活支援期》（発生から1週間以上経過後）

生活支援期、生活するところはどこになると思うかについてみると、「自分の健康や障害を考慮して、医療や介護を受けられる避難所」が41.9%と最も多く、「身内や親戚、友人などの所（遠隔地を含めて）」が17.4%となっています。



問 56 「災害時要援護者登録制度」は、災害発生時に自力で安全な場所へ避難することが困難な方が予め申請し、市の災害時要援護者台帳に登録することにより、その情報を地域の自主防災組織、民生委員・児童委員のほか、消防団、消防署、警察署、社会福祉協議会にも提供し、災害が発生した時の安否確認や避難誘導等の支援活動を迅速にできるようにする制度ですが、ご存知ですか。[単数回答]

「災害時要援護者登録制度」についてみると、「制度の名称も内容も知らない」が56.6%と最も多くなっています。「知っているし、登録もした」は11.5%となっています。



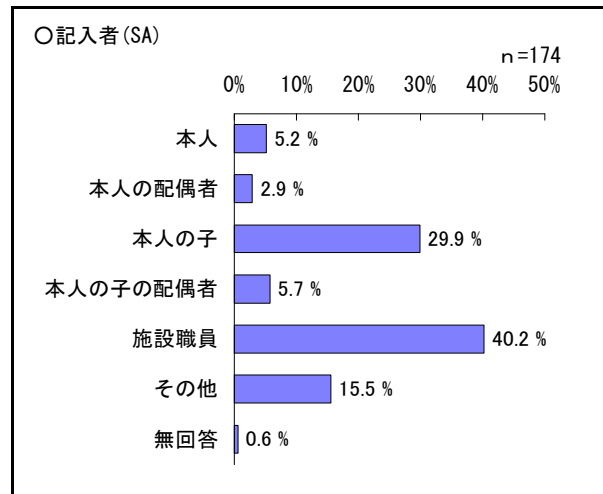
IV

施設入所者

回答者の属性 (単位：人)	
性別	
男	32
女	141
無回答	1
年齢	
64歳以下	2
65-69歳	4
70-74歳	5
75-79歳	21
80-84歳	39
85歳以上	101
無回答	2
入所施設	
介護老人福祉施設	114
介護老人保健施設	37
介護療養型医療施設	19
特定施設	2
無回答	2

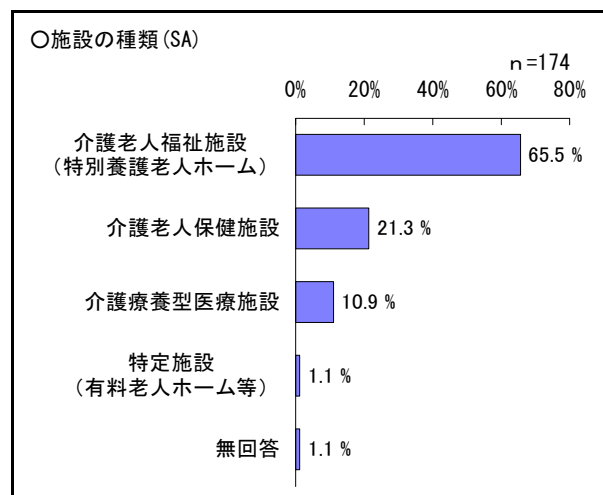
○調査票記入者 [単数回答]

調査の記入者は、「施設職員」が約4割、「本人の子」が約3割となっています。



○現在の入所（入院）施設の種類の種類 [単数回答]

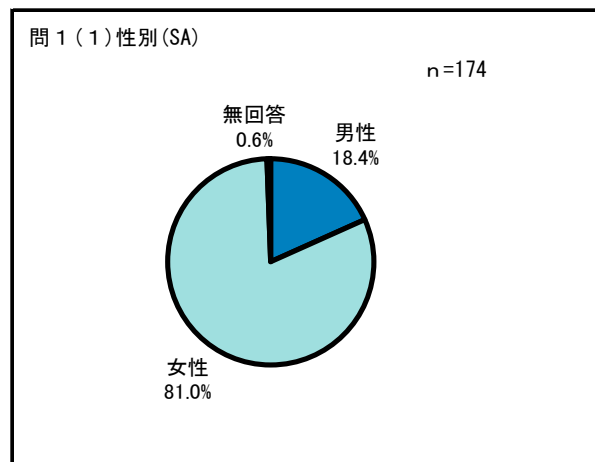
現在の入所（入院）施設の種類の種類についてみると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が6割を超えて最も多くなっています。



1. 入所されているご本人のことについて

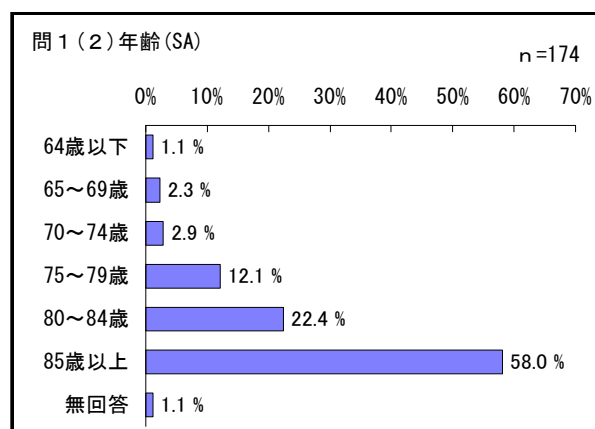
問1(1) 性別 [単数回答]

回答者の性別は「男性」が2割弱、「女性」が約8割となっています。



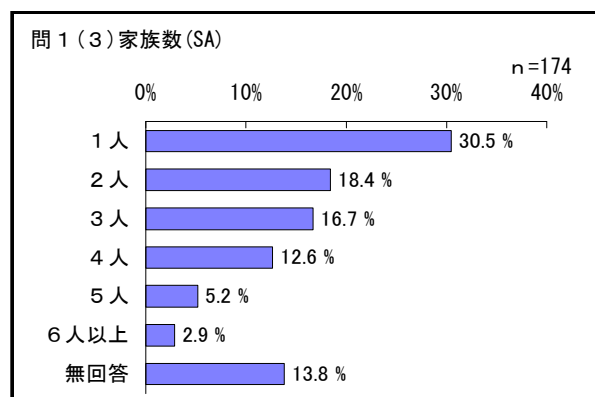
問1(2) 年齢 [単数回答]

年齢についてみると、「85歳以上」が58.0%と最も多く、次いで「80～84歳」が22.4%となっています。



問1(3) 家族数(本人を含めて) [単数回答]

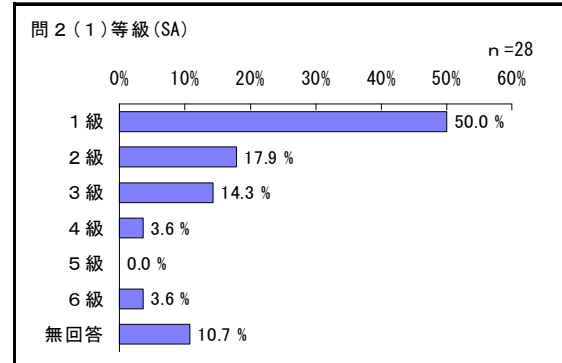
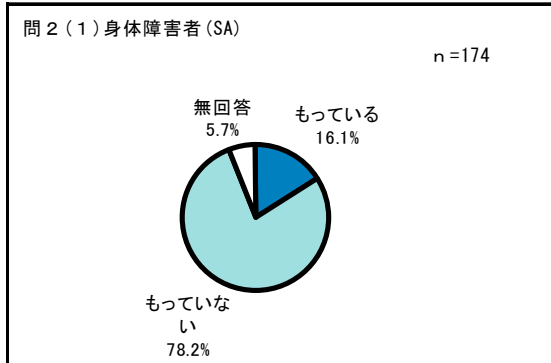
家族数についてみると、「1人」が30.5%と最も多く、次いで「2人」が18.4%となっています。



問2 あなたは、障害者手帳などの交付を受けていますか。

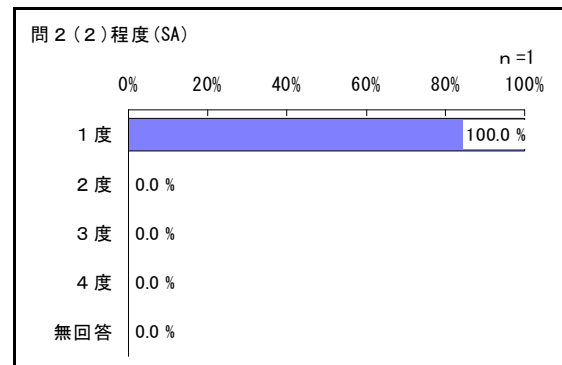
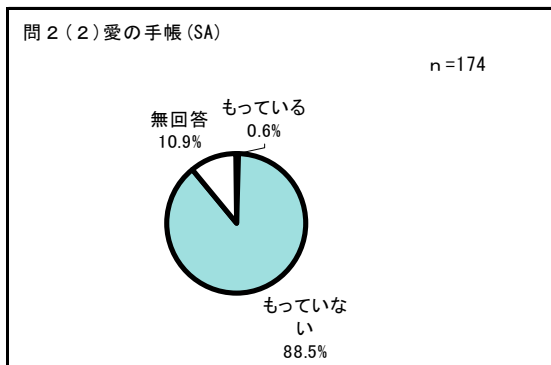
(1) 身体障害者手帳 [単数回答]

身体障害者手帳についてみると、「もっている」人は全体の16.1%です。等級についてみると、「1級」が50.0%と最も多く、次いで「2級」が17.9%となっています。



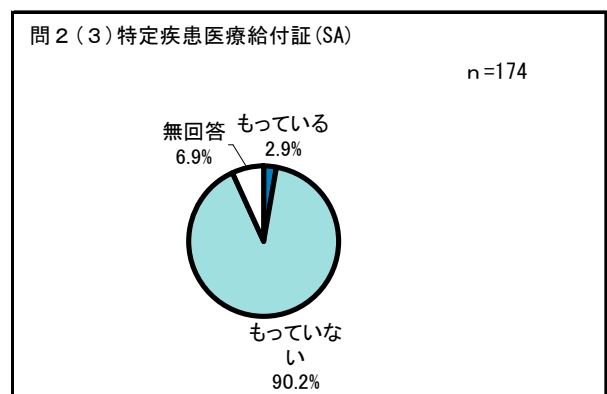
(2) 愛の手帳 [単数回答]

愛の手帳の交付についてみると、「もっている」との回答は0.6%（1名）でした。等級については、「1度」と回答されています。



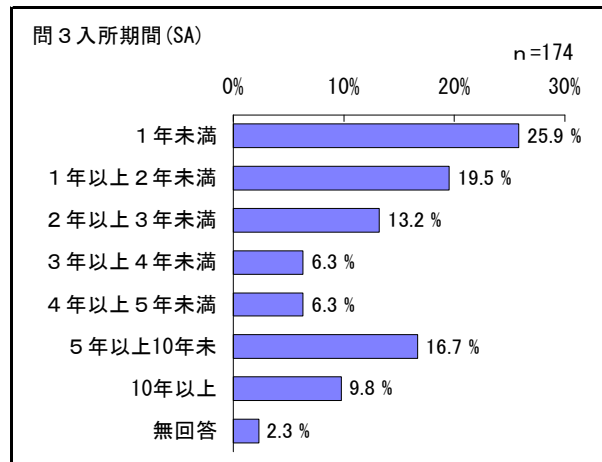
(3) 特定疾患医療給付証（難病医療費助成制度の受給証） [単数回答]

特定疾患医療給付証の交付についてみると、「もっている」方は2.9%となっています。



問3 現在の施設へ入所（入院）して何年になりますか。[単数回答]

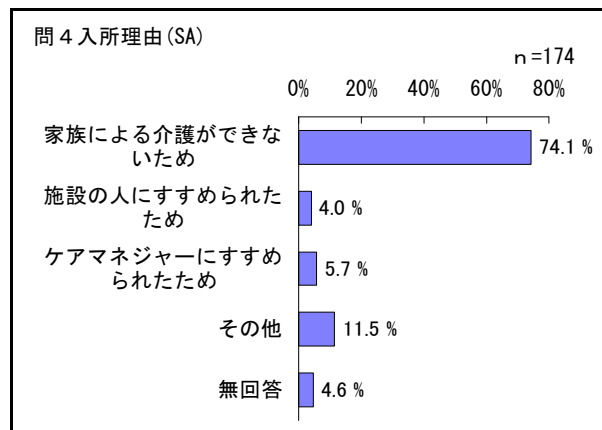
入所（入院）して何年になるかについてみると、「1年未満」が25.9%と最も多く、次いで「1年以上2年未満」が19.5%となっています。



問4 どのような理由で入所（入院）しましたか。[単数回答]

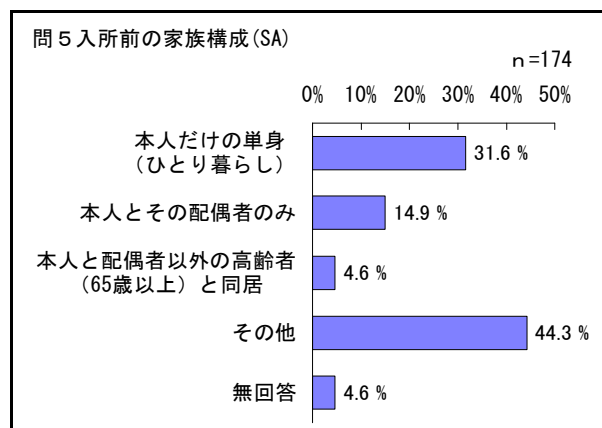
入所した理由についてみると、「家族による介護ができないため」が74.1%と最も多くなっています。

「その他」では、「転院・転所が必要になった」、「1人での生活が困難になった」などがあげられます。



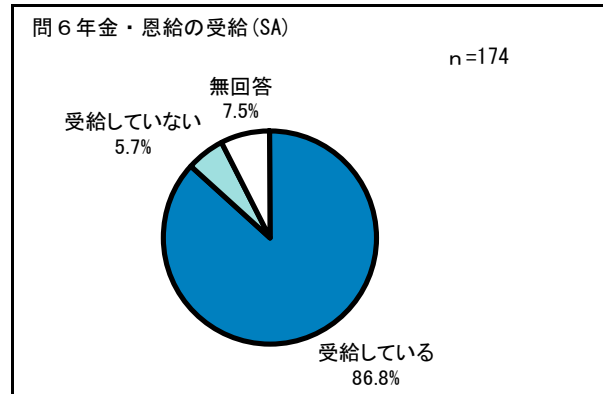
問5 入所（入院）前のご家庭の状況についてうかがいます。[単数回答]

入所前のご家庭の状況についてみると、「その他」が44.3%と最も多く、次いで「本人だけの単身（ひとり暮らし）」が31.6%となっています。



問6 あなたは年金・恩給を受給していますか。[単数回答]

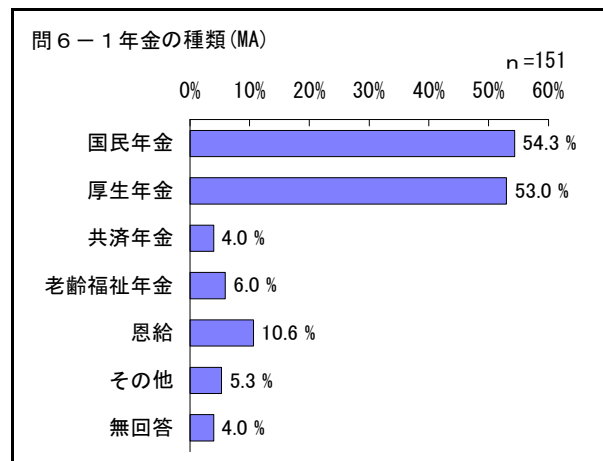
年金・恩給を受給しているかについてみると、「受給している」が86.8%となっています。



問6 「受給している」を選んだ回答者

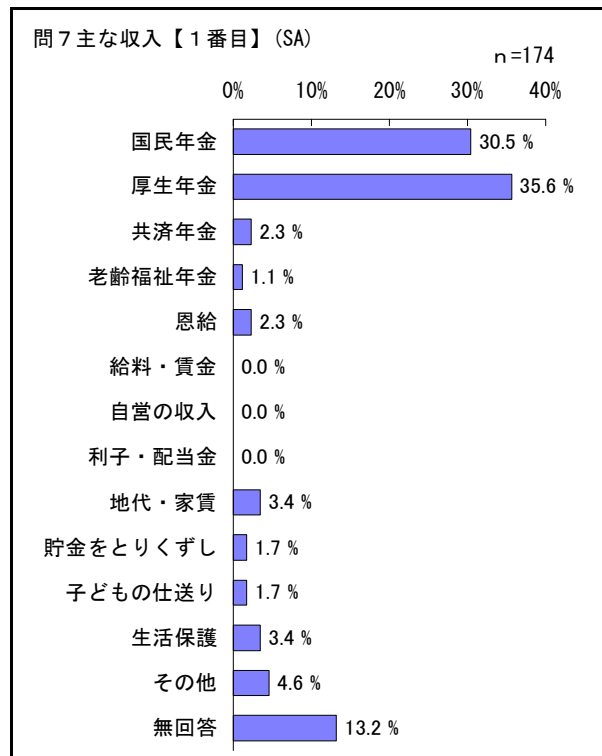
問6-1 あなたの受給している年金の種類は何ですか。[複数回答]

受給している年金の種類は何かについてみると、「国民年金」が54.3%と最も多く、次いで「厚生年金」が53.0%となっています。



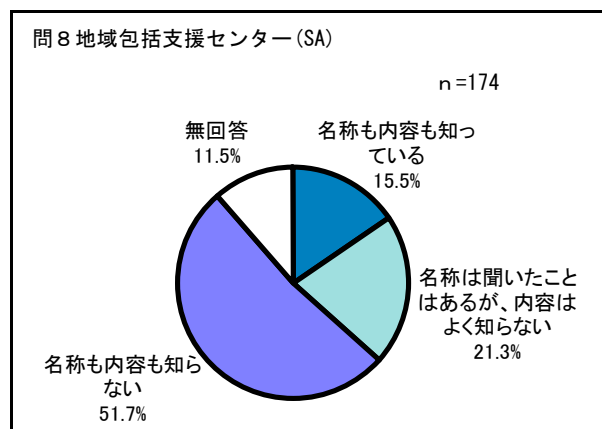
問7 あなたの主な収入は次のうちどれですか。[最も収入額の多いもの]

最も額の高い収入では、「厚生年金」が35.6%で最も多く、次いで「国民年金」が30.5%となっています。



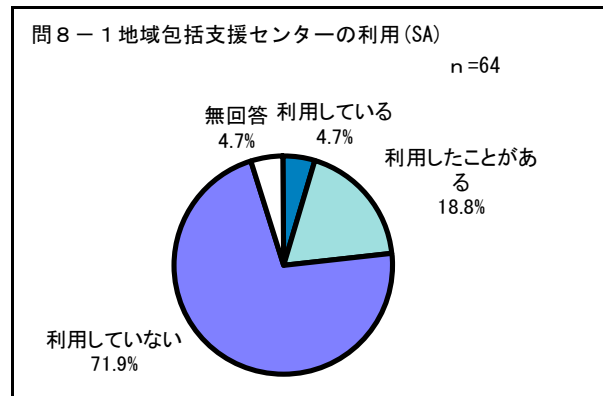
問8 地域にあるさまざまな社会資源（福祉ニーズを充足するために活用される施設、機関、個人、集団、資金、法律、知識、技術等の総称）を使って、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点として、市が主体となり平成18年度から「地域包括支援センター」が設置されました。ここでは、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等が中心となって、介護予防に関する管理をはじめとする高齢者への総合的な支援が行われていますが、ご存じですか。[単数回答]

「地域包括支援センター」を知っているかについてみると、「名称も内容も知らない」が51.7%と最も多く、次いで「名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が21.3%となっています。



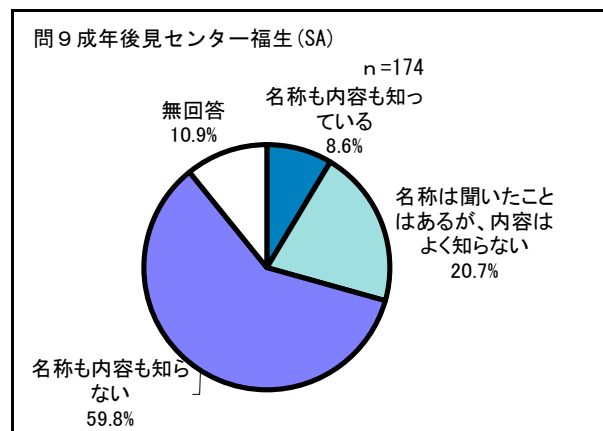
問 8 - 1 相談等で地域包括支援センターを利用していますか(したことがありますか)。[単数回答]

「地域包括支援センター」を利用しているかについてみると、「利用していない」が71.9%と最も多くなっています。



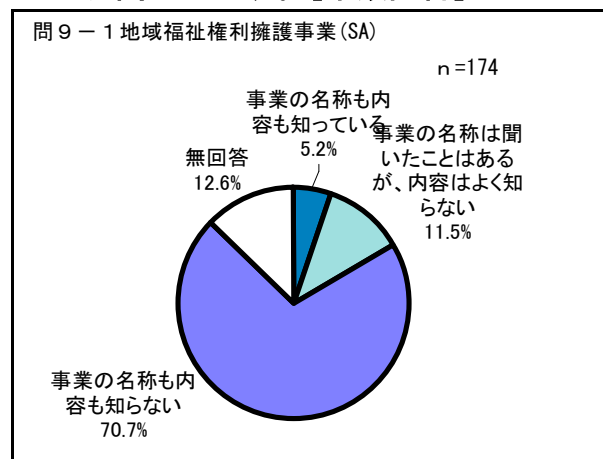
問 9 「成年後見センター福生」では、認知症等判断能力が十分でないため、日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用手続きなどの援助や代行、利用料の支払いなどを行い、地域で自立した生活を送れるように支援する「地域福祉権利擁護事業」(福祉サービス利用援助事業)や認知症等のため判断能力が不十分であるため、本人に代わって後見人が各種契約行為、金融機関との取引や本人の財産管理などを行い、悪徳商法の被害、高齢者虐待などから保護し、支援する「成年後見制度」など福祉サービス総合支援事業を実施していますが「成年後見センター福生」をご存知ですか。[単数回答]

「成年後見センター福生」の認知度についてみると、「名称も内容も知らない」が59.8%と最も多く、次いで「名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が20.7%となっています。



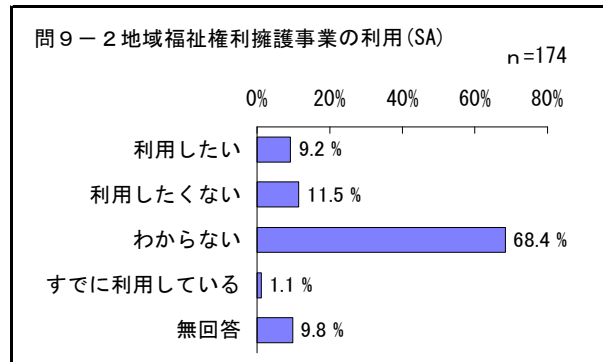
問 9 - 1 「地域福祉権利擁護事業」についてお聞きします。[単数回答]

「地域福祉権利擁護事業」を知っているかについてみると、「事業の名称も内容も知らない」が70.7%と最も多く、次いで「事業の名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が11.5%となっています。



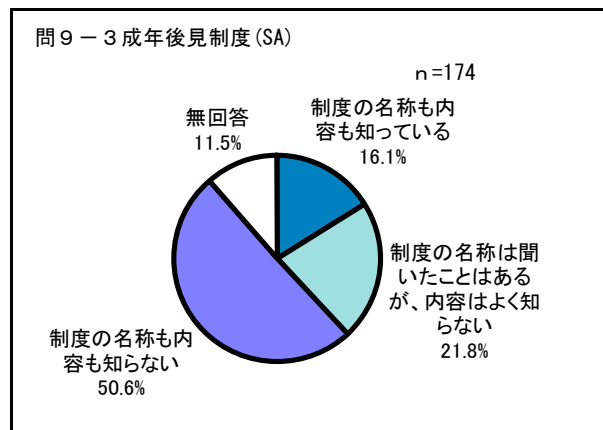
問 9 - 2 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「地域福祉権利擁護事業」を利用したいですか。[単数回答]

地域福祉権利擁護事業を利用したいかについてみると、「わからない」が68.4%と最も多くなっており、「利用したい」との回答は約1割です。



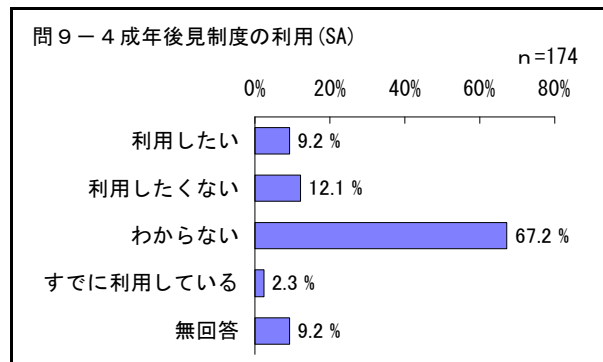
問 9 - 3 「成年後見制度」についてお聞きします。[単数回答]

成年後見制度を知っているかについてみると、「制度の名称も内容も知らない」が50.6%と最も多く、次いで「制度の名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が21.8%となっています。



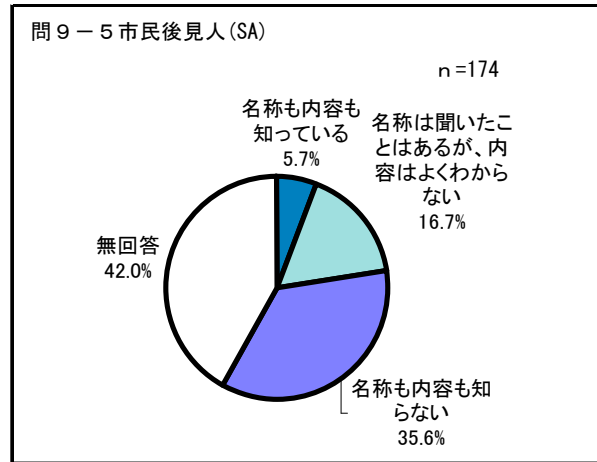
問 9 - 4 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「成年後見制度」を利用したいですか。[単数回答]

成年後見制度を利用したいかについてみると、「わからない」が67.2%と最も多くなっており、「利用したい」との回答は約1割です。



問9-5 「市民後見人」についてお聞きします。[単数回答]

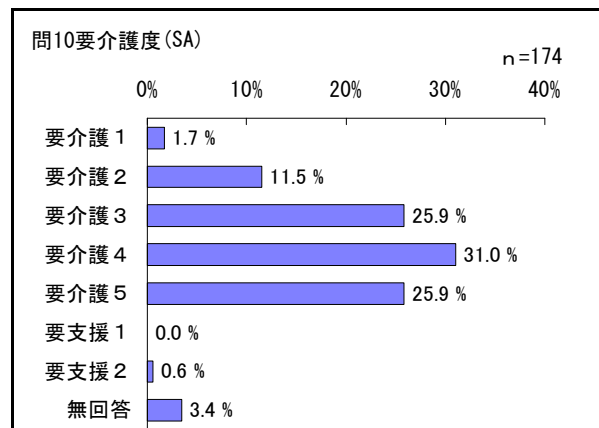
市民後見人についてみると、「名称も内容も知らない」が35.6%と最も多く、次いで「名称は聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が16.7%となっています。



2. 介護保険の要介護認定と申請について

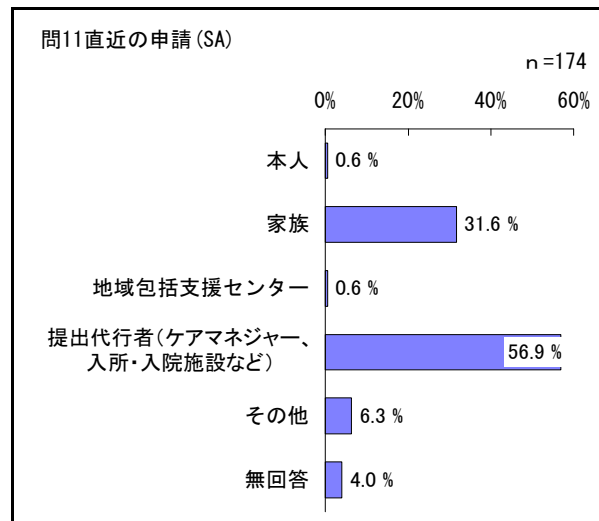
問10 現在認定されている介護度は、次のどれですか。[単数回答]

介護度についてみると、「要介護4」が31.0%と最も多く、次いで「要介護3」、「要介護5」がそれぞれ25.9%となっています。



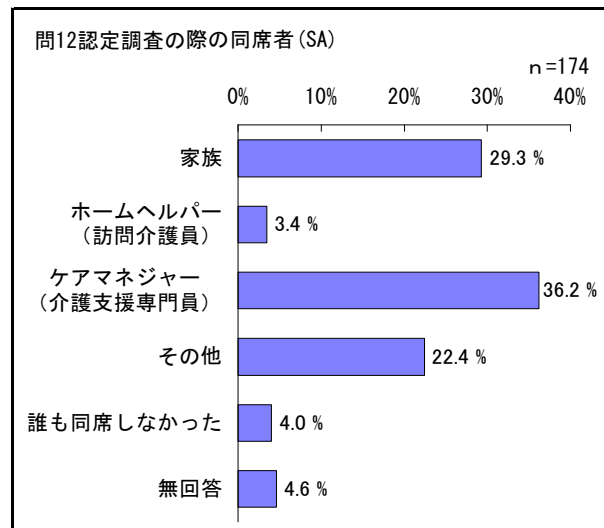
問11 直近の申請は誰が行いましたか。[単数回答]

申請は誰が行ったかについてみると、「提出代行者（ケアマネジャー、入所・入院施設など）」が56.9%と最も多く、次いで「家族」が31.6%となっています。



問 12 認定調査の際、誰が同席しましたか。[単数回答]

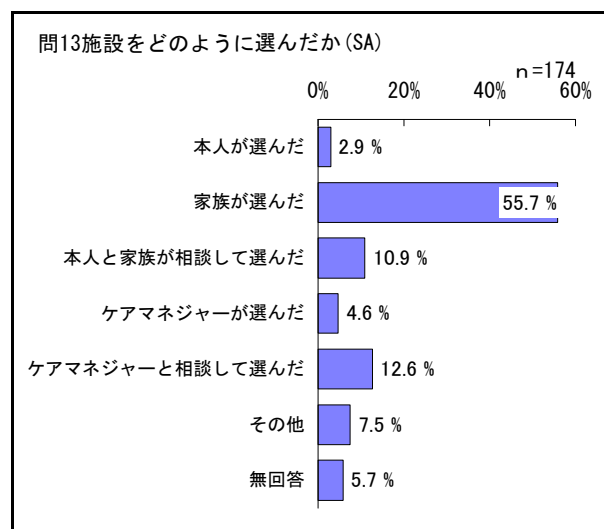
認定調査の際、誰が同席したかについてみると、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が 36.2%と最も多く、次いで「家族」が 29.3%となっています。



3. 介護サービスについて

問 13 入所（入院）している施設をどのように選びましたか。[単数回答]

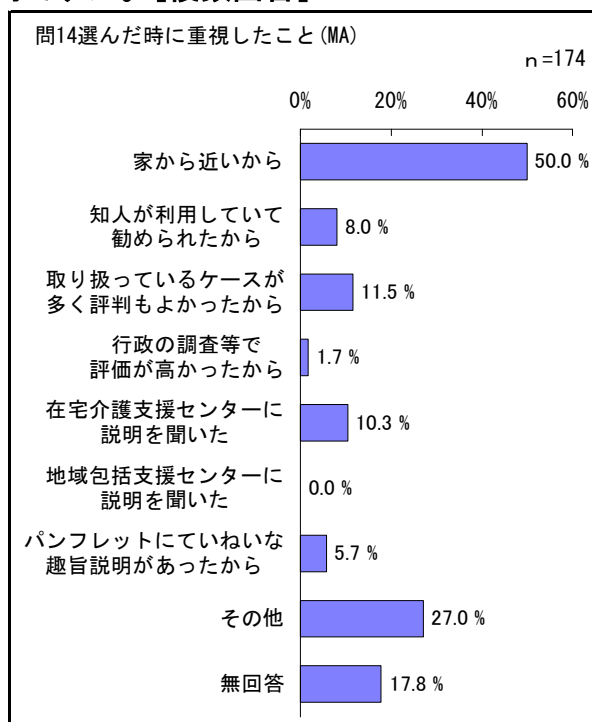
施設をどのように選んだかについてみると、「家族が選んだ」が 55.7%と最も多く、次いで「ケアマネジャーと相談して選んだ」が 12.6%となっています。



問 14 施設を選んだ時に重視したことは何ですか。[複数回答]

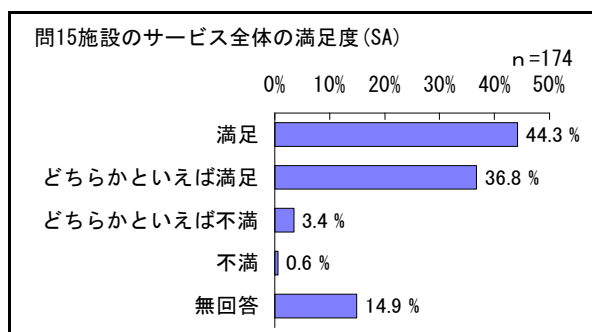
施設を選んだ時に重視したことについてみると、「家から近いから」が 50.0%と最も多く、次いで「その他」が 27.0%となっています。

「その他」の回答では、「ケアマネジャーに紹介を受けた」、「一番先に受け入れてくれた、他に施設がなかった」などがあげられます。



問 15 現在、入所・入院している施設のサービス全体の満足度についてうかがいます。[単数回答]

満足度についてみると、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は8割を超えています。「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は 4.0%です。

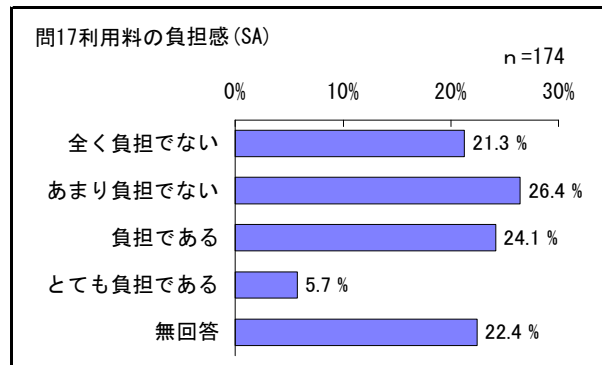


問 16 現在利用している施設に対する改善点・要望がありましたら自由にお書きください。[自由記入]

- ・日中ホールで座っていることが多く、楽しい活動が少ない。転倒するリスクが高いことでかなり神経質になっており、本人の歩行能力を低下させている。
- ・面会時間の終了時間が早い。
- ・やはり手が足りないのですが、欲を言えばもう少しきめ細かく気をつけていただけたらと思います。
- ・施設には頻繁に行ってます。親切・丁寧に本人に接していただいています。感謝しています。
- ・食事の質をもう少し良くしてほしい。看護師さん、ワーカーさんの精神面での質の向上。
- ・もっとリハビリの時間を増やしてほしい。
- ・見舞いに行く時、リハビリしている部屋を通らなければならないので、改善してほしい。
- ・4人部屋なので個室が望ましいが、利用料が心配（高くなる）。
- ・スタッフの人数が増えたら（経営的な面はありますが）、入所者も働く人もゆとりができ、ケアの質や量もよくなるのではと思います。
- ・施設の制度上、家族の要望がかなわないことがある。例：常用していた薬が減らされる。外泊が希望どおりにならない。
- ・入所料金が高額である。
- ・特養施設に入れない限り、約1年で次の施設を探さなくてはなりません。もう少し長くいられるような行政になれば、母も落ち着けるし家族も安心できます。
- ・施設ケアマネと家族との相性が悪い。ケアマネジャーの態度に疑問。専門用語が多く、家族にはわかりにくい。相談員とケアマネの違いがはっきりしていない。
- ・日の出中央病院に入院しているが、福生市内にも同様な施設がほしい。
- ・介護ヘルパーの入所者に対する対応に開きがある。
- ・本人の状態をあまり考えず、医学的根拠なしに軽度と決めつけ無理をさせている点がある。職員に暴言をはかれ、家族から注意したが、もし本人が独り身で身内がない場合、そのままかエスカレートするおそれがあると感じた。現在を非を認め、あらためた様子。
- ・私物がなくなった。
- ・入所者との接点を多くしてほしい。
- ・隣の人がうるさい等の生活面。
- ・老人保健施設にいますが、家賃収入だけでは少々無理です。特別老人ホームに早く入所できればと毎日不安です。
- ・改善点や要望は山ほどある。それを言ったところで変わるとは思えない。福祉現場の質の低さを改めて知ることになった。高齢者（高齢者になれば）モノ扱い。これでは介護職員の待遇改善など必要ない。

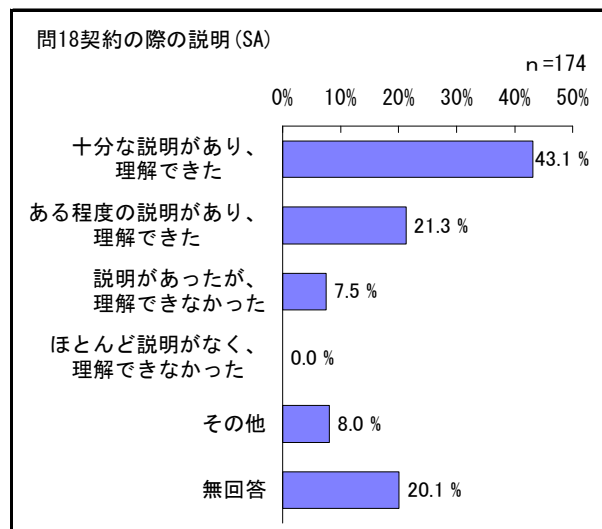
問 17 現在あなたが支払う利用料の負担感についてうかがいます。[単数回答]

利用料の負担感についてみると、「負担である」と「とても負担である」を合わせた『負担』を感じているとの回答は約3割となっています。



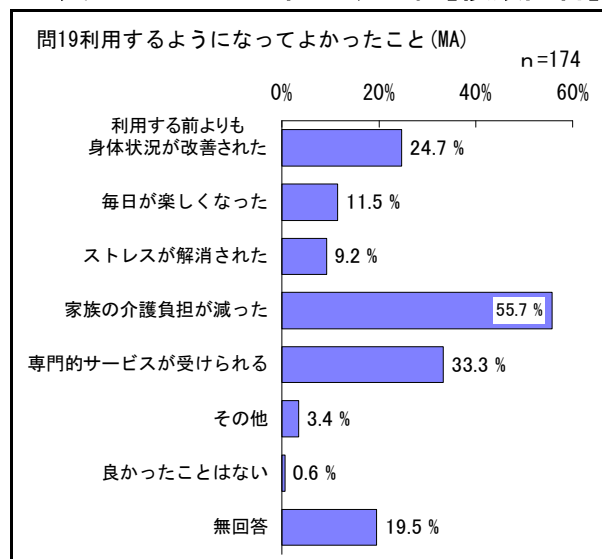
問 18 施設サービスの利用にあたり、契約をすることになっていますが、契約の際説明がありましたか。[単数回答]

契約の際説明があったかについてみると、「十分な説明があり、理解できた」が43.1%と最も多くなっています。「説明があったが理解できなかった」は7.5%となっています。



問 19 施設サービスを利用するようになって良かったことは何ですか。[複数回答]

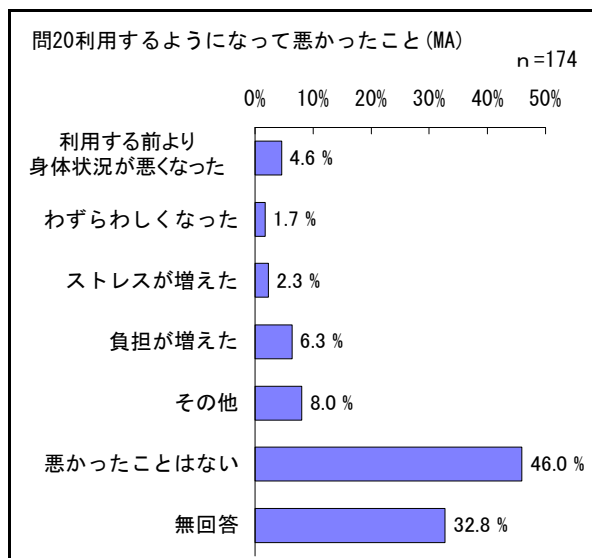
施設サービスを利用するようになって良かったことについてみると、「家族の介護負担が減った」が55.7%と最も多く、次いで「専門的サービスが受けられる」が33.3%となっています。



問 20 施設サービスを利用するようになって悪かったことはありますか。
[複数回答]

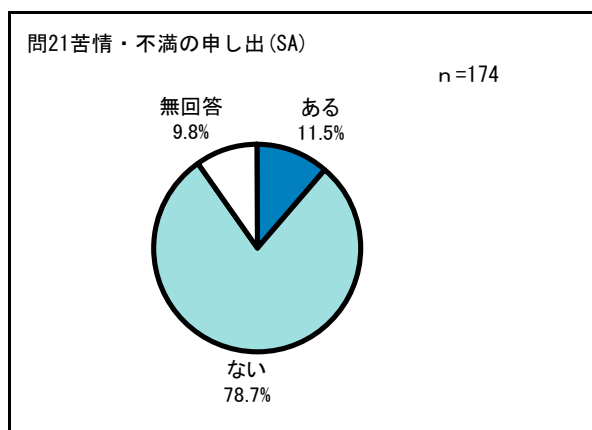
施設サービスを利用するようになって悪かったことについてみると、「悪かったことはない」が46.0%と最も多くなっていますが、『悪かったことがある』との回答の中では「その他」が8.0%、「負担が増えた」が6.3%などが目立ちます。

その他では、「共同生活上のトラブル」などがあります。



問 21 施設サービスを利用してから苦情・不満を申し出たことはありますか。
[単数回答]

苦情・不満を申し出たことはあるかについてみると、「ある」と回答した人は全体の11.5%となっています。



問 21 「ある」を選んだ回答者

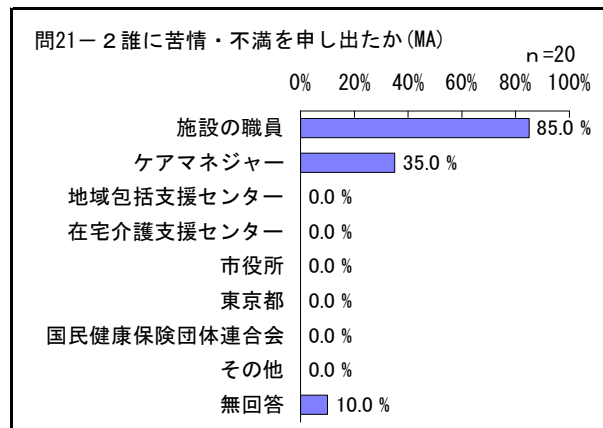
問 21-1 さしつかえなければ、苦情・不満の内容をご記入ください。

- ・入れ歯を入れてほしい。センサーのついた椅子はやめてほしい。
- ・(パーキンソン病の薬を服用中) 朝、昼、夕のほかに、体調に合わせて様子を見ながら服用する薬もあり、入所前より薬の管理は本人がやっているのに、ケアマネが変わったら薬を取り上げる(その都度渡す)…とのことで。精神的にダメージを受け、回復するのに3か月位かかりました。今は自分で管理。
- ・心ない言葉を言われた。
- ・介護の際骨折をしてしまったこと。今後も病院にお世話になること、本人も高齢で骨も弱かったこともあり、医師の説明で了承した。
- ・認知症による不穏行動、暴言暴力行為が頻回であった(入所時)。職員、他の入所者へ。精神科受診、服薬調整実施した既往あり。
- ・認知症状強度、職員、他利用者への暴言は日常的にある。食事席は他の利用者から離れ一人席で対応。
- ・認知症で本人が被害妄想がひどかった頃、家族や知らない人まで電話をかけまくり困り、その後電話を取り外した。その困ったときのことがケアプランには取り上げられなかったこと。
- ・介護同伴中(買い物同伴)に付き添ったケアの女子職員から、大勢の前で聞こえよがしに私の瘦身(やせてる)をあざ笑うように言われて、大変恥ずかしい思いをしたので、ケアセンターの最高責任者に訴えた。
- ・「アレをしてはダメ、コレもダメ」と施設の都合を優先しており、利用者のことなど考えていない。特に食事など時間がかかるにもかかわらず時間で片付けてしまうので食べられない。やせてきた。ストレスが多い。無口になった。日用品代を取っているのにティッシュは家族が負担する。言葉遣いは丁寧だが実はほとんどなく怖いところ。
- ・施設の職員が足りないように思います。大変な仕事ですし、人間相手ですから、もっと給料が増え、職員数が増えれば良いと思います。

問 21 「ある」を選んだ回答者

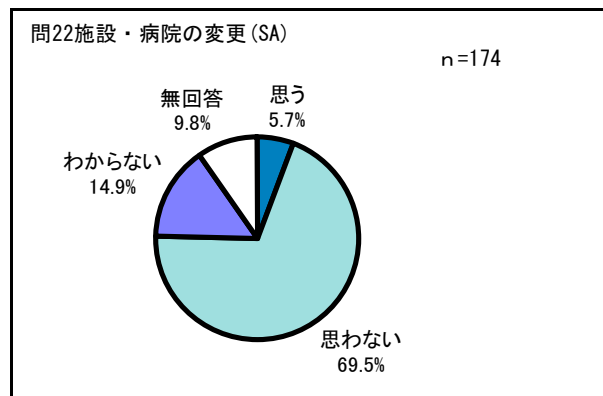
問 21-2 誰に苦情・不満を申し出ましたか。[複数回答]

誰に苦情・不満を申し出たかについてみると、「施設の職員」が 85.0%、次いで「ケアマネジャー」がそれぞれ 35.0% となっています。



問 22 今後、現在利用している施設・病院を変更したいと思いますか。[単数回答]

現在利用している施設・病院を変更したいと思うかについてみると、「思わない」が 69.5%と最も多くなっています。

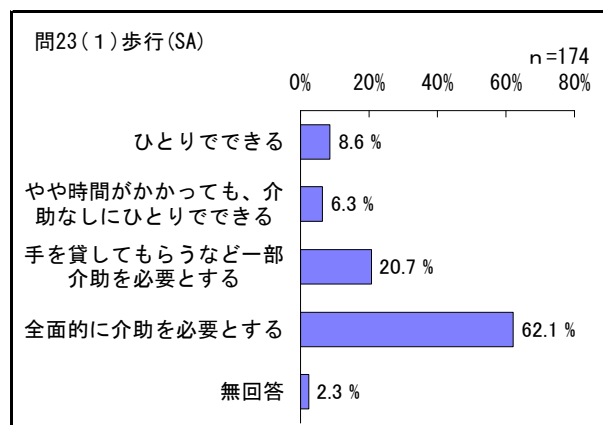


4. 本人の身体や介護の状況について

問 23 あなたの日常生活動作についてうかがいます。[単数回答]

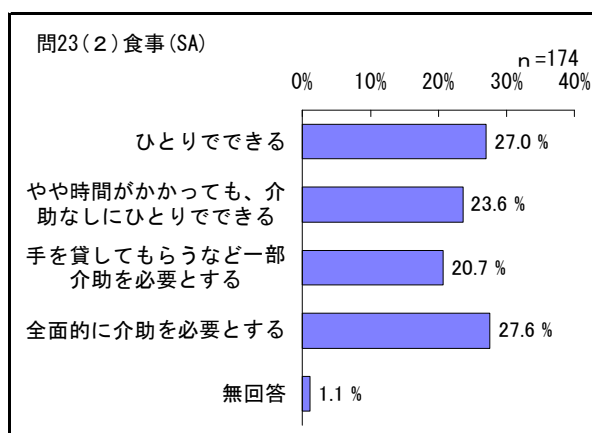
(1) 歩行はひとりでできますか。つえや歩行器などを使用しない場合でお答えください。

歩行はひとりでできるかについてみると、「全面的に介助を必要とする」が 62.1%と最も多く、次いで「手を貸してもらうなど一部介助を必要とする」が 20.7%となっています。



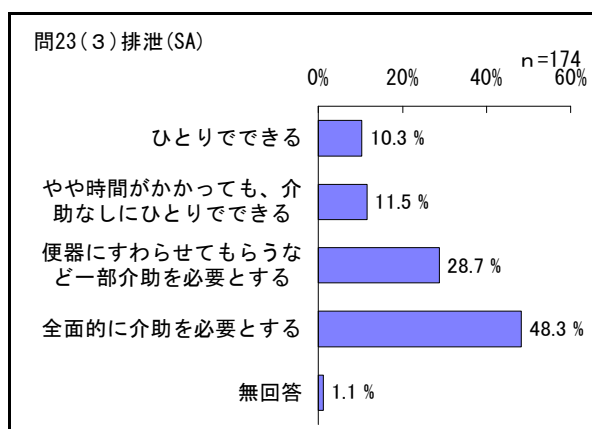
(2) 食事はひとりでできますか。自助具（補助する器具）などを使用している方は、使用した場合でお答えください。

食事はひとりでできるかについてみると、「全面的に介助を必要とする」が27.6%と最も多く、次いで「ひとりでできる」が27.0%となっています。



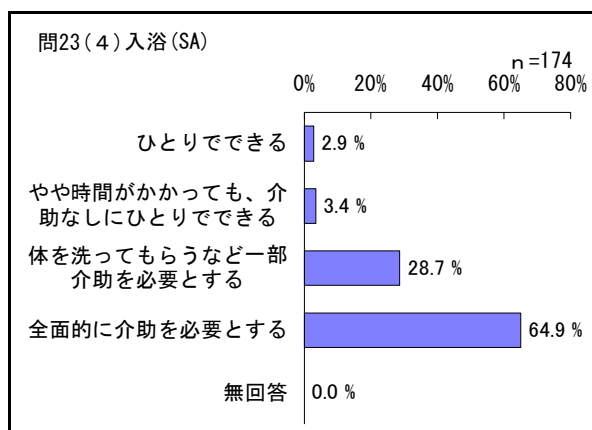
(3) 排泄はひとりでできますか。つえ・便器などを使用している方は、使用した場合でお答えください。

排泄はひとりでできるかについてみると、「全面的に介助を必要とする」が48.3%と最も多く、次いで「便器にすわらせてもらうなど一部介助を必要とする」が28.7%となっています。



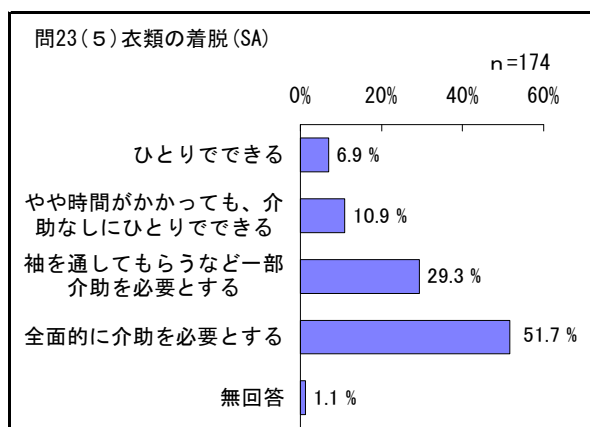
(4) 入浴はひとりでできますか。

入浴はひとりでできるかについてみると、「全面的に介助を必要とする」が64.9%と最も多く、次いで「体を洗ってもらうなど一部介助を必要とする」が28.7%となっています。



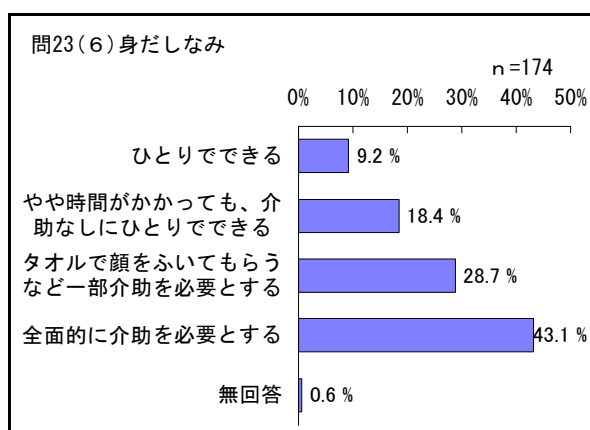
(5) 衣類の着脱はひとりでできますか。

衣類の着脱はひとりでできるかについてみると、「全面的に介助を必要とする」が51.7%と最も多く、次いで「袖を通してもらうなど一部介助を必要とする」が29.3%となっています。



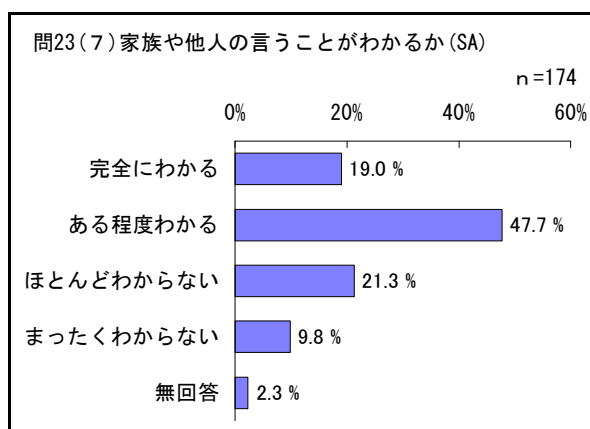
(6) 洗顔、歯みがき、整髪などの身だしなみについてはひとりでできますか。

洗顔、歯みがき、整髪などの身だしなみはひとりでできるかについてみると、「全面的に介助を必要とする」が43.1%と最も多く、次いで「タオルで顔をふいてもらうなど一部介助を必要とする」が28.7%となっています。



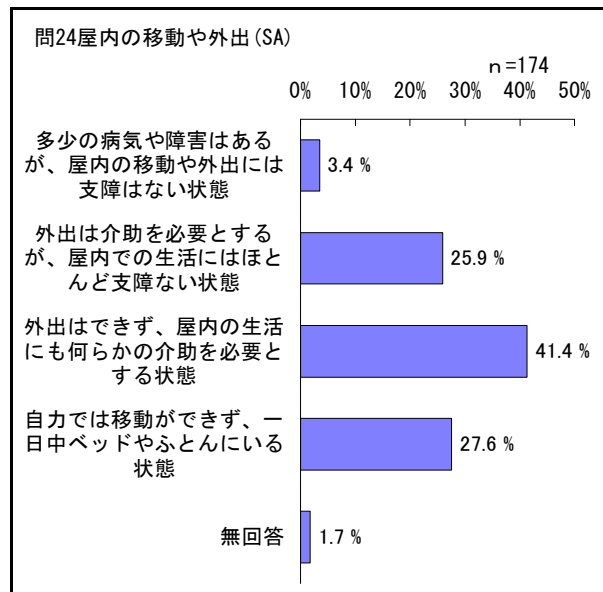
(7) 家族や他人の言うことが本人にわかりますか。

本人にわかるかについてみると、「ある程度わかる」が47.7%と最も多く、次いで「ほとんどわからない」が21.3%となっています。



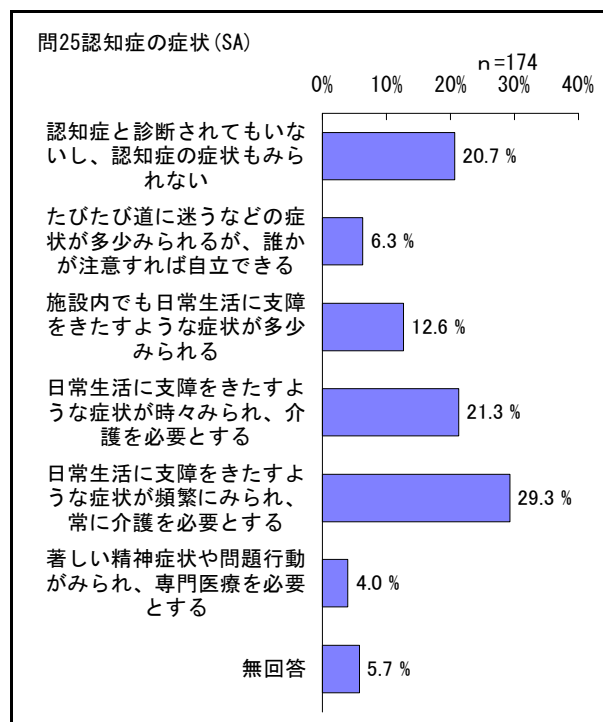
問 24 屋内の移動や外出はどのような状態ですか。[単数回答]

外出の状態についてみると、「外出はできず、屋内の生活にも何らかの介助を必要とする状態」が41.4%と最も多く、次いで「自力では移動ができず、一日中ベッドやふとんにいる状態」が27.6%となっています。



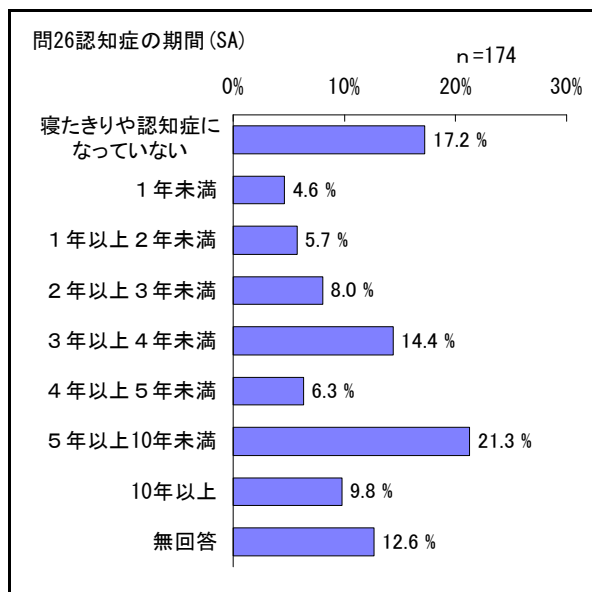
問 25 本人が、医師より認知症と診断されている場合や家族（施設職員）からみて認知症と思われる場合、認知症の症状はどの程度ですか。[単数回答]

認知症の症状についてみると、「日常生活に支障をきたすような症状が頻繁にみられ、常に介護を必要とする」が29.3%と最も多く、次いで「日常生活に支障をきたすような症状が時々みられ、介護を必要とする」が21.3%となっています。



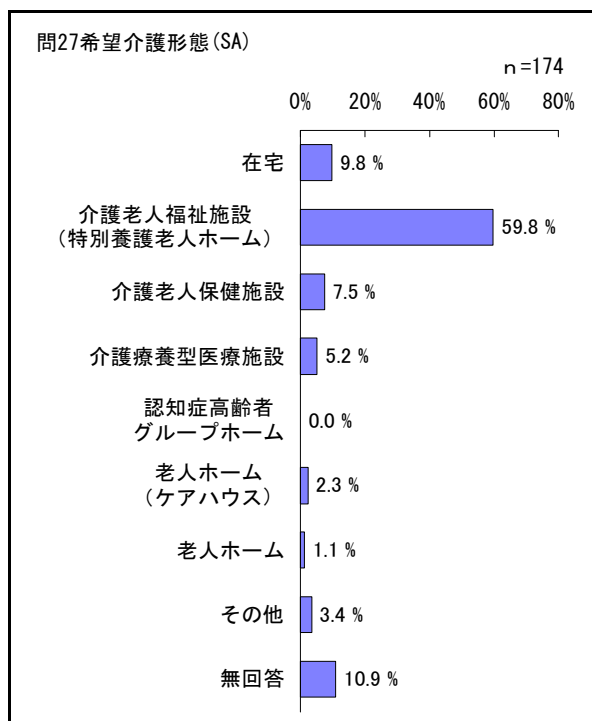
問 26 寝たきりや認知症になられている場合、どのくらいたちますか。[単数回答]

寝たきりや認知症になられた年数についてみると、「寝たきりや認知症になっていない」が17.2%と最も多くなっていますが、寝たきりや認知症の期間があるとする回答では「5年以上 10年未満」が21.3%となっているのが目立ちます。



問 27 本人の希望として、今後、どこで介護を受けたいとお考えですか。[単数回答]

今後どこで介護を受けたいかについてみると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が59.8%と最も多く、次いで「在宅」が9.8%となっています。



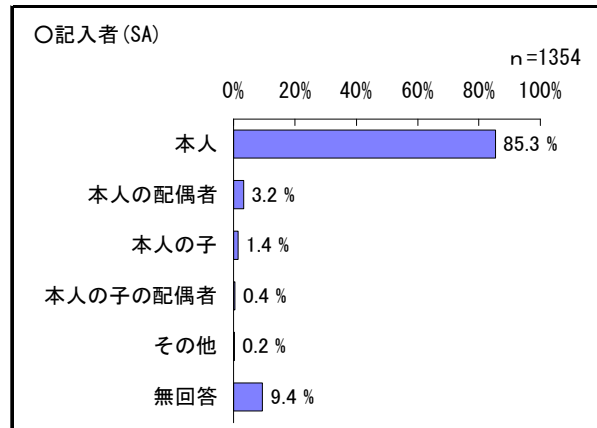
V

一般高齢者

回答者の属性 (単位：人)		
性別	男	738
	女	588
	無回答	28
年齢	65-69 歳	410
	70-74 歳	400
	75-79 歳	273
	80-84 歳	187
	85 歳以上	78
	無回答	6

○調査票記入者【単数回答】

記入者についてみると、「本人」が8割を超えています。



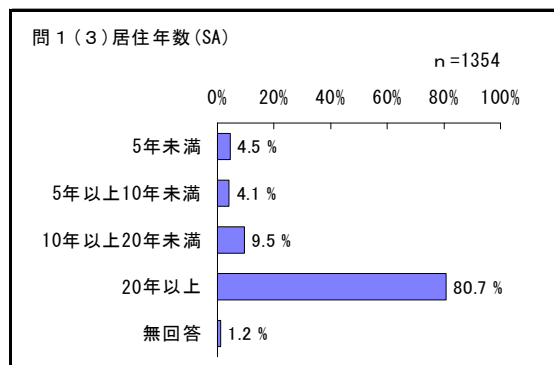
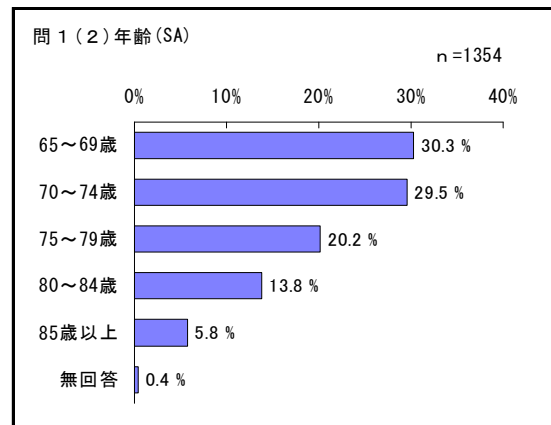
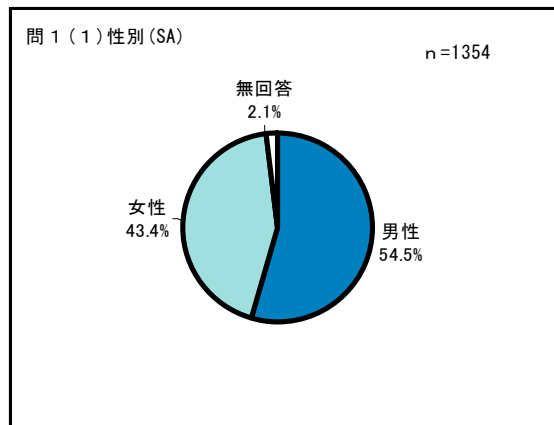
1. ご本人のことについて

問1 あなたの性別、年齢、居住年数についてうかがいます。

(1) 性別、(2) 年齢、(3) 福生市での居住年数【単数回答】

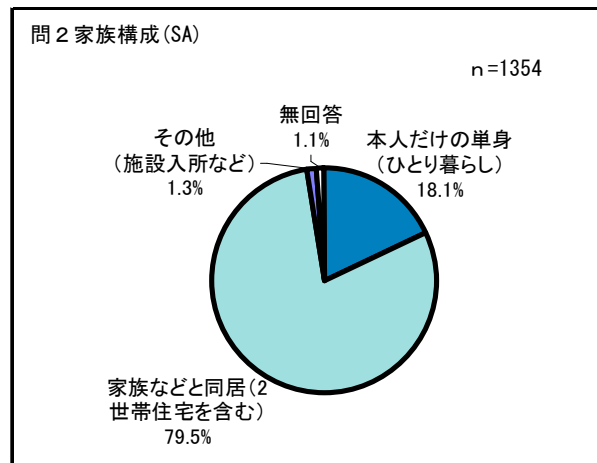
性別についてみると、「男性」が54.5%となっています。年齢についてみると、年齢が低くなるにつれ割合は多くなっています。

福生市での居住年数についてみると、「20年以上」が約8割を占めています。



問2 家族構成を教えてください。[単数回答]

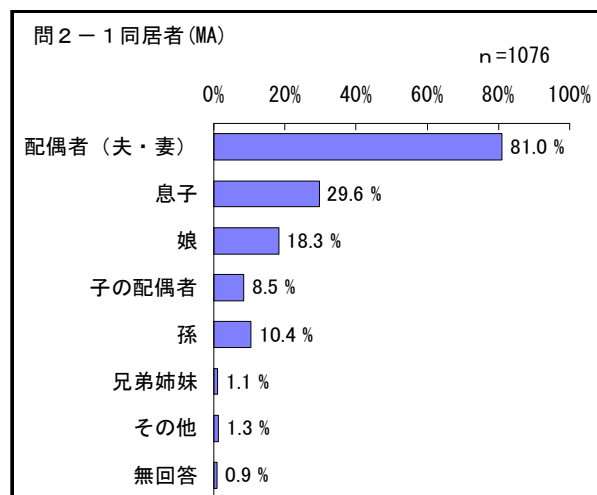
家族についてみると、「家族などと同居」が79.5%と最も多く、次いで「本人だけの単身（ひとり暮らし）」が18.1%となっています。



問2 「家族などと同居」を選んだ回答者

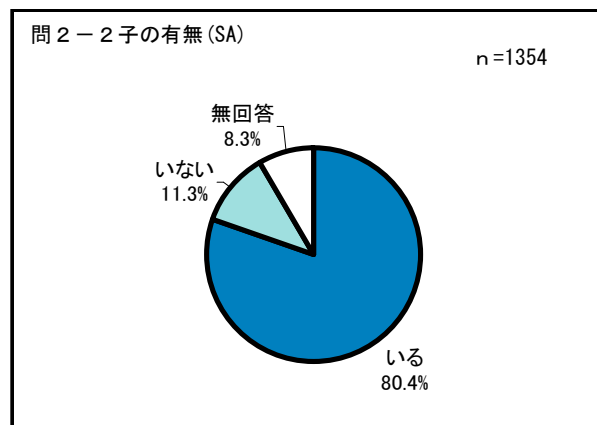
問2-1 同居されている方はどなたですか。[複数回答]

同居者についてみると、「配偶者（夫・妻）」が81.0%と最も多く、次いで「息子」が29.6%となっています。



問2-2 お子さんはいますか。[単数回答]

お子さんの有無についてみると、「いる」が8割を占めています。



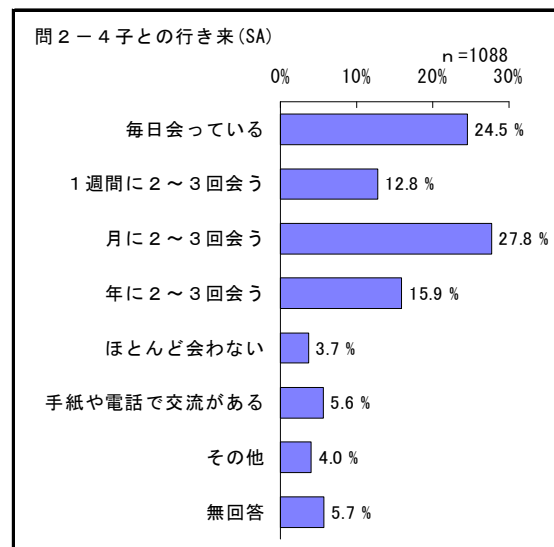
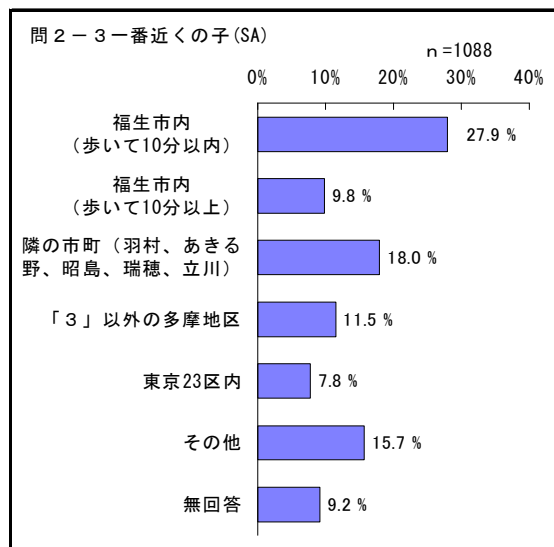
問 2-2 「いる」を選んだ回答者

問 2-2 一番近くにいるお子さんはどこに住んでいますか。[単数回答]

問 2-3 お子さんとはどの程度行き来がありますか。[単数回答]

一番近くにいるお子さんのお住まいの地区についてみると、「福生市内（歩いて 10 分以内）」が 27.9%と最も多く、次いで「隣の市町（羽村、あきる野、昭島、瑞穂、立川）」が 18.0%となっています。

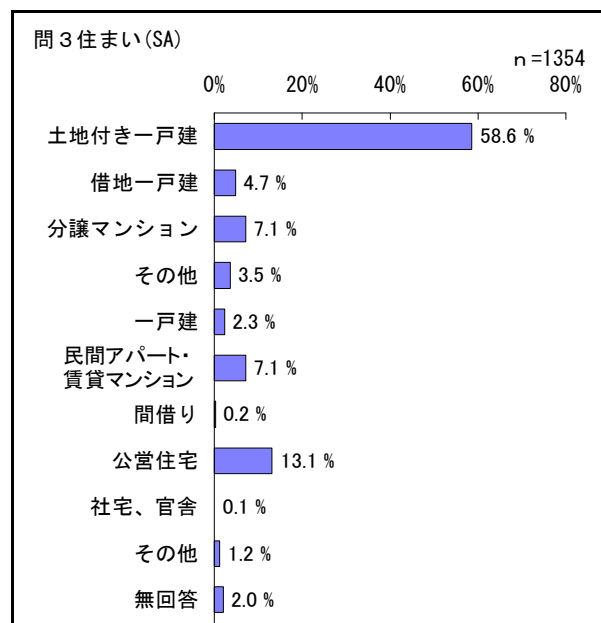
行き来の程度についてみると、「月に 2～3 回会う」が 27.8%と最も多く、次いで「毎日会っている」が 24.5%となっています。



2. 住まいと収入について

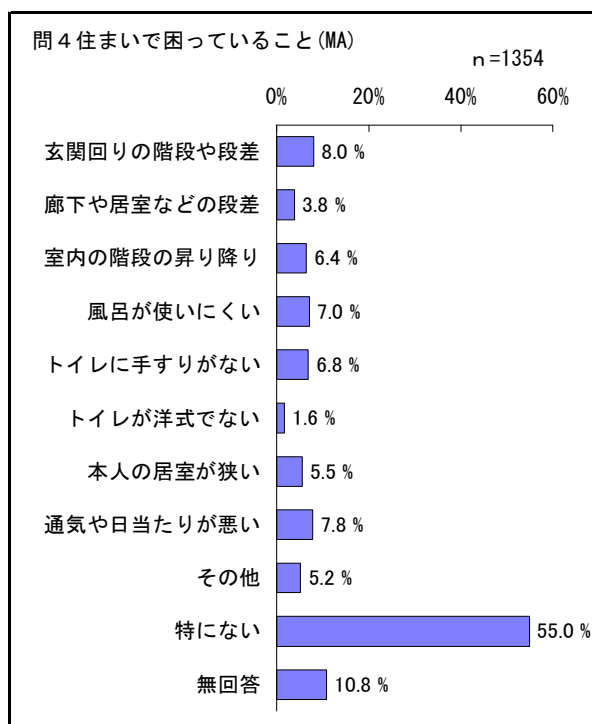
問 3 あなたのお住まいは次のどれですか。[単数回答]

住まいについてみると、「土地付き一戸建」が 58.6%と最も多くなっています。



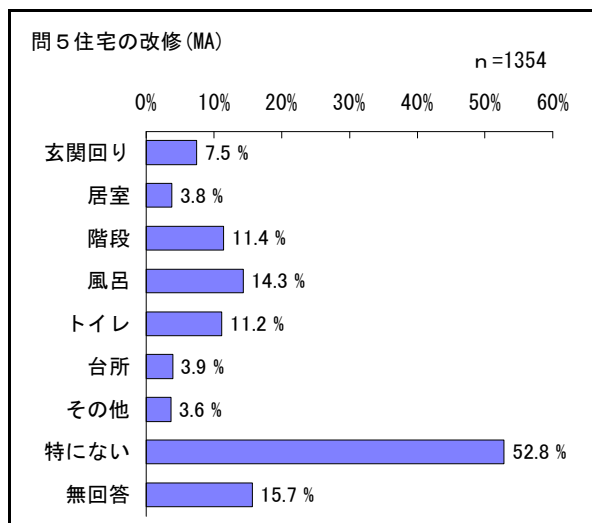
問4 現在、お住まいで困っていることは何ですか。[複数回答]

困っていることについてみると、「特にない」が55.0%と最も多くなっていますが、『困っていることがある』との回答の中では「玄関周りの階段や段差」(8.0%)、「通気や日当たりが悪い」(7.8%)などの回答が高くなっています。



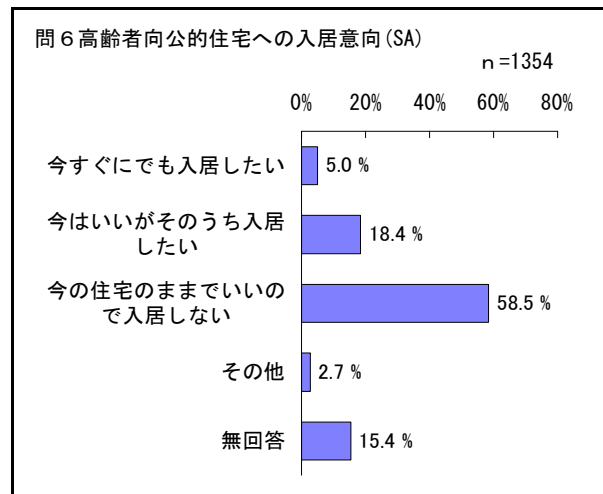
問5 身体の不自由さを補ったり、将来に備えて手すりをつけたり、段差をなくすなど住宅の改修を考えていますか。[複数回答]

住宅の改修を考えているかについてみると、「特にない」が52.8%と最も多くなっていますが、『改修を考えている箇所』としては、「風呂」(14.3%)、「階段」(11.4%)、「トイレ」(11.2%)となっています。



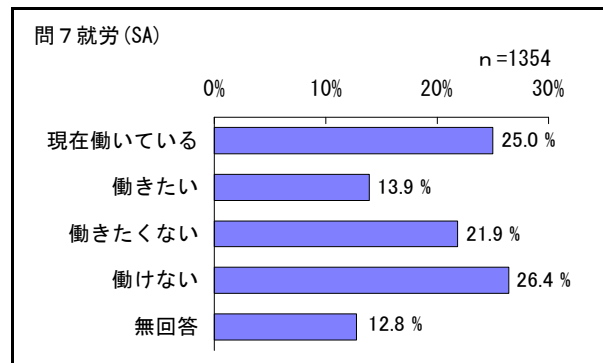
問6 高齢者の生活に配慮した公的住宅に入居したいと思いますか。[単数回答]

公的住宅に入居したいと思うかについてみると、「今の住宅のままでいいので入居しない」が58.5%と最も多くなっています。



問7 あなたは現在働いていますか。また、今後適当な仕事があれば働きたいと思えますか。[単数回答]

就労状況と今後についてみると、「働けない」が26.4%と最も多く、次いで「現在働いている」が25.0%となっています。



■年齢別×就労状況と今後

就労状況と今後について年齢別でみると、65～69歳では41.5%が、また、70～74歳でも25.8%が就労しているとの回答があります。また、この65歳から74歳では、「働きたい」とする回答が約2割となっています。

しかし、75歳以上になると、「働けない」とする回答割合が4割を超えて多くなっています。

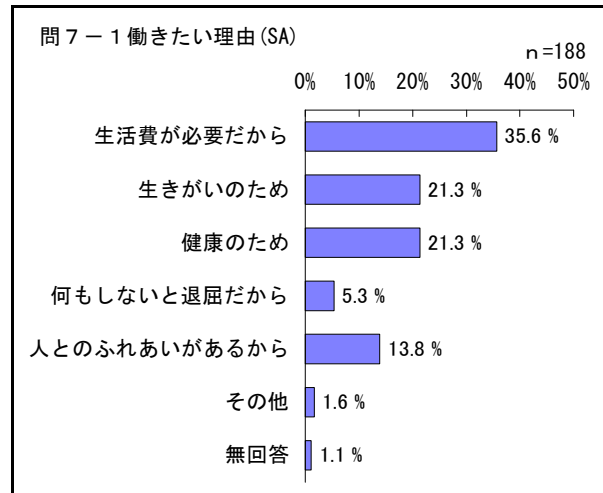
(単位: %)

	全体 (人)	現在 働いて いる	働 きたい	働 きた くない	働 け ない	無 回 答
合計	1354	25.0	13.9	21.9	26.4	12.8
65～69歳	410	41.5	18.3	22.7	8.8	8.8
70～74歳	400	25.8	16.8	26.8	22.3	8.5
75～79歳	273	11.4	12.5	19.8	40.3	16.1
80～84歳	187	13.4	5.9	17.6	41.7	21.4
85歳以上	78	10.3	1.3	10.3	56.4	21.8

問7 「働きたい」を選んだ回答者

問7-1 その主な理由は何ですか。[単数回答]

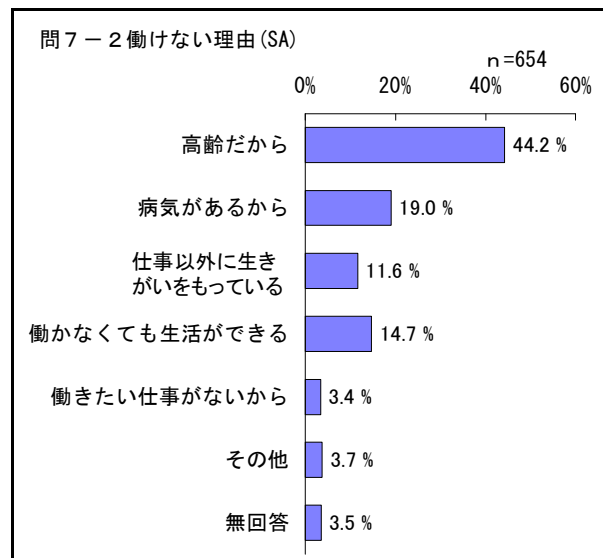
主な理由についてみると、「生活費が必要だから」が35.6%と最も多く、次いで「生きがいのため」、「健康のため」がそれぞれ21.3%となっています。



問7 「働きたくない」、「働けない」を選んだ回答者

問7-2 その主な理由は何ですか。[単数回答]

主な理由についてみると、「高齢だから」が44.2%と最も多く、次いで「病気があるから」が19.0%となっています。

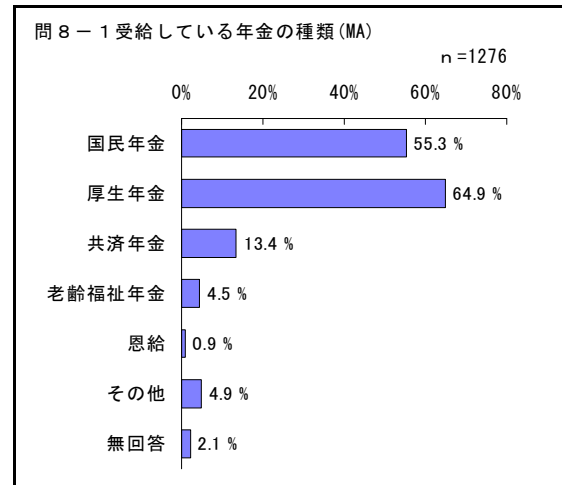
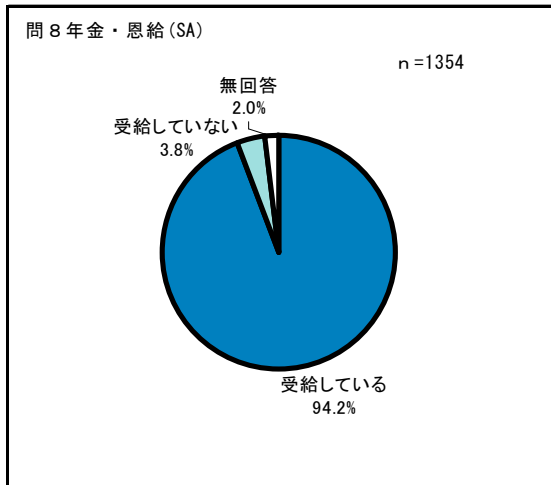


問8 あなたは年金・恩給を受給していますか。[単数回答]

問8-1 あなたの受給している年金の種類は何ですか。[複数回答]

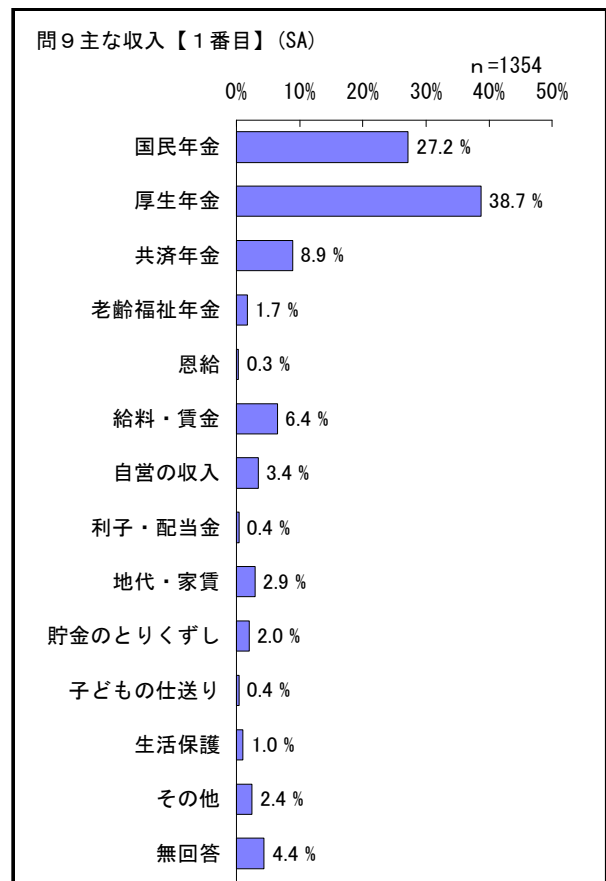
年金・恩給の受給についてみると、「受給している」が94.2%となっています。

受給している年金の種類についてみると、「厚生年金」が64.9%と最も多く、次いで「国民年金」が55.3%となっています。



問9 あなたの主な収入は次のうちどれですか。[最も収入額の多いもの]

最も収入額の多いものとして、「厚生年金」が38.7%と最も多く、次いで「国民年金」が27.2%となっています。

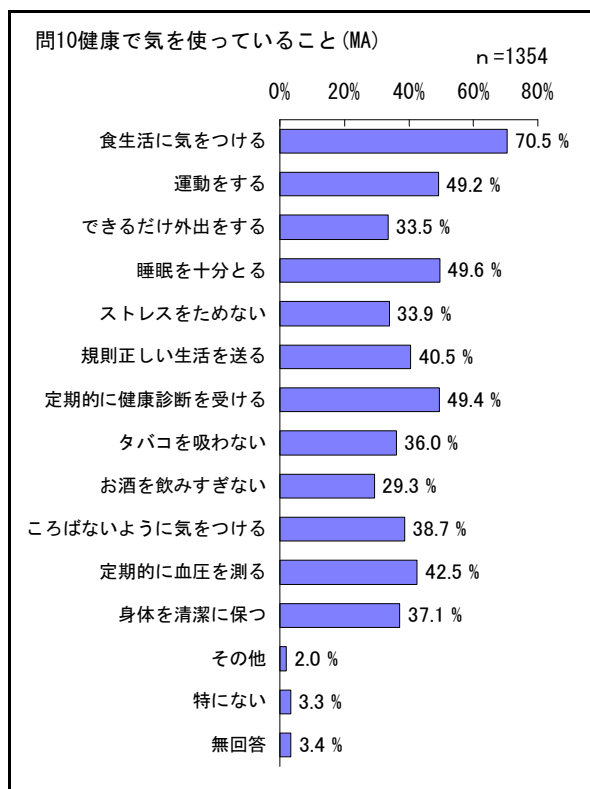


3. 本人の健康状態などについて

問10 あなたは、普段、健康についてどのようなことに気を使っていますか。

[複数回答]

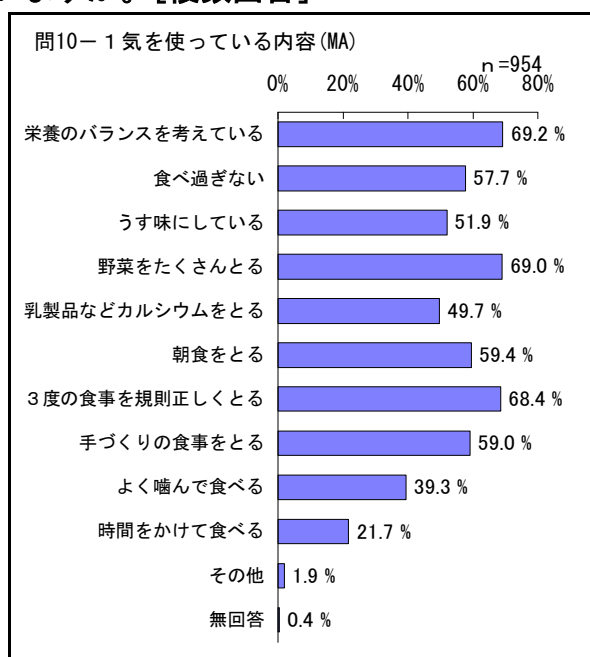
健康に気をつけていることについてみると、「食生活に気をつける」が70.5%と最も多く、次いで「睡眠を十分とる」(49.6%)、「定期的に健康診断を受ける」(49.4%)、「運動をする」(49.2%)などが続いています。



問10 「食生活に気をつける」を選んだ回答者

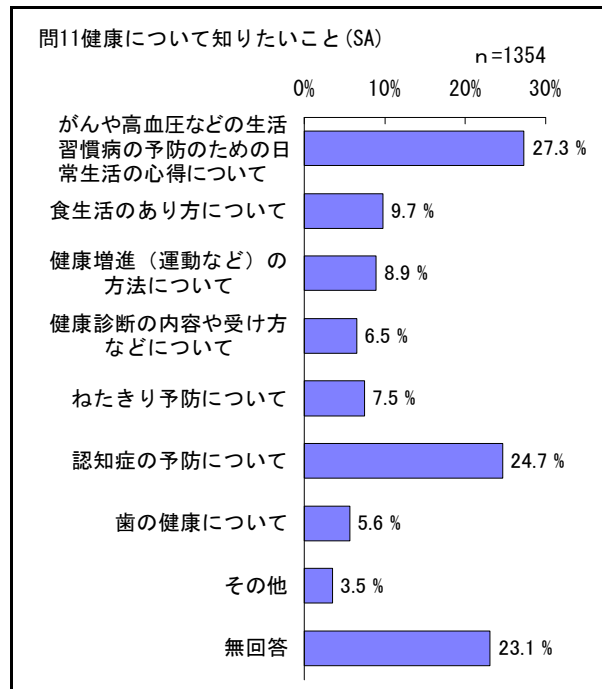
問10-1 どのようなことに気を使っていますか。[複数回答]

食生活に気を使っていることについてみると、「栄養のバランスを考えている」が69.2%と最も多く、次いで「野菜をたくさんとる」が69.0%、「3度の食事を規則正しくとる」が68.4%などとなっています。



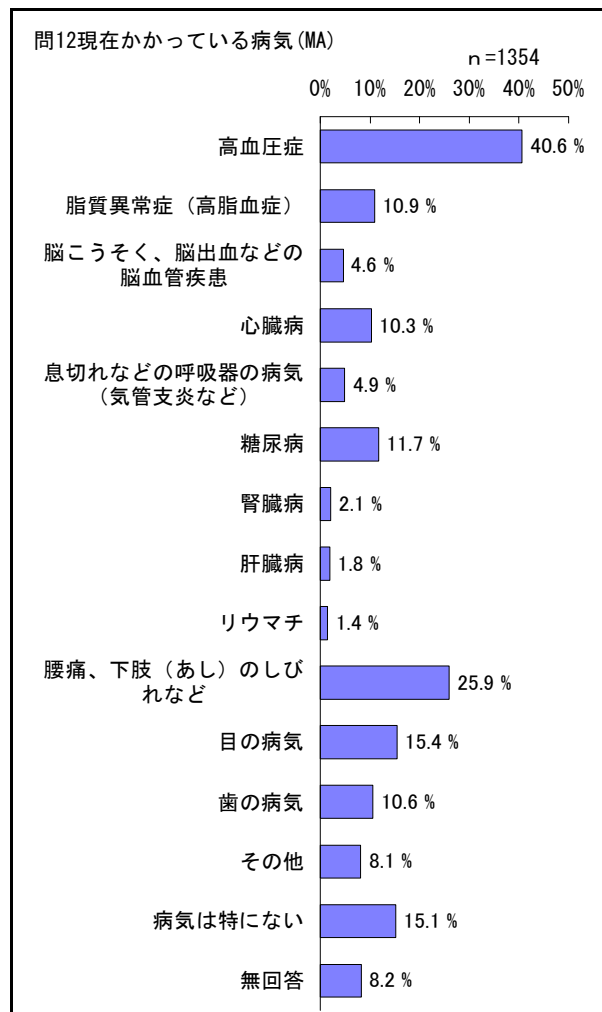
問 11 健康について知りたいことは何ですか。[単数回答]

健康について知りたいことについてみると、「がんや高血圧などの生活習慣病の予防のための日常生活の心得について」が27.3%と最も多く、次いで「認知症の予防について」が24.7%となっています。



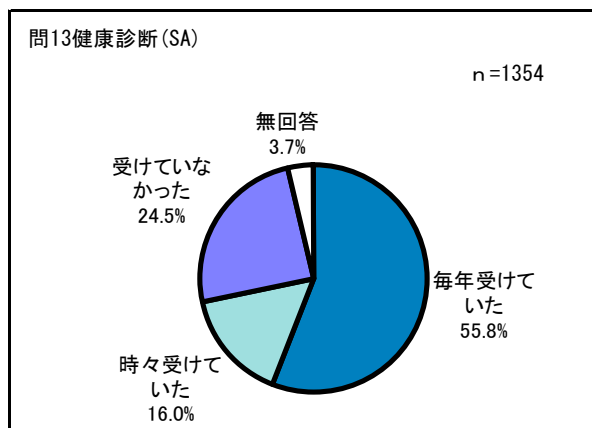
問 12 あなたは、現在病気をお持ちですか。もしあるとすればその病名は何ですか。[複数回答]

現在病気を持っているかについてみると、「高血圧症」が40.6%と最も多く、次いで「腰痛、下肢（あし）のしびれなど」が25.9%となっています。



問 13 市で実施している健康診断を受けていましたか。[単数回答]

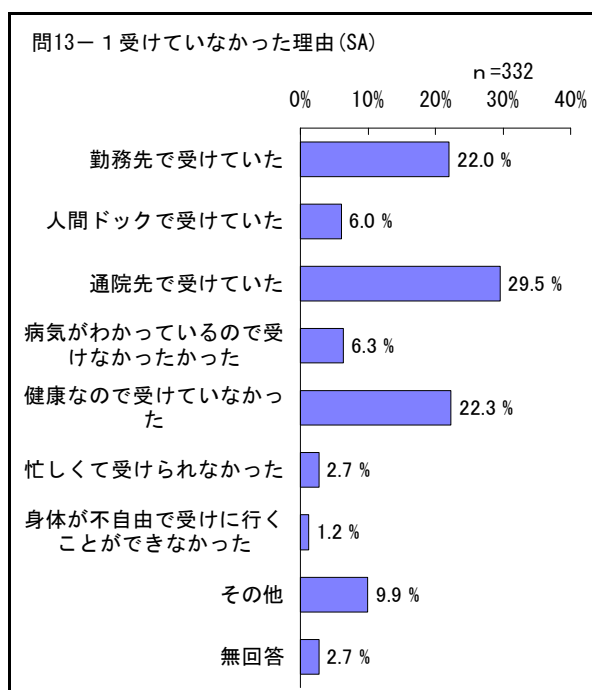
健康診断の受診についてみると、「毎年受けていた」が 55.8%と最も多く、「受けていなかった」との回答は 24.5%となっています。



問 13 「受けていなかった」を選んだ回答者

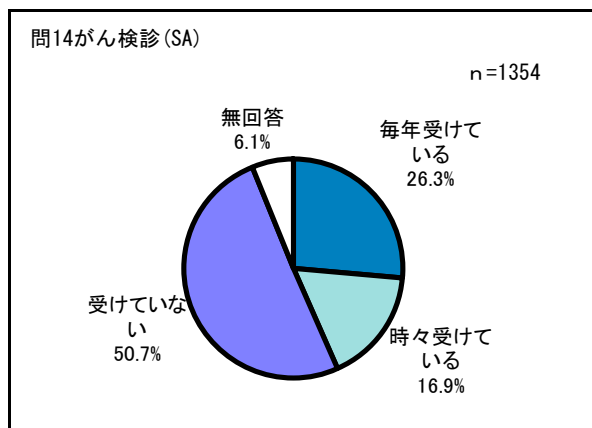
問 13-1 「受けていなかった」主な理由は何ですか。[単数回答]

主な理由についてみると、「通院先で受けていた」が 29.5%と最も多く、次いで「健康なので受けていなかった」が 22.3%、「勤務先で受けていた」が 22.0%となっています。



問 14 市で実施しているがん検診（大腸・胃・肺・乳・子宮・口腔・前立腺）を受けていますか。[単数回答]

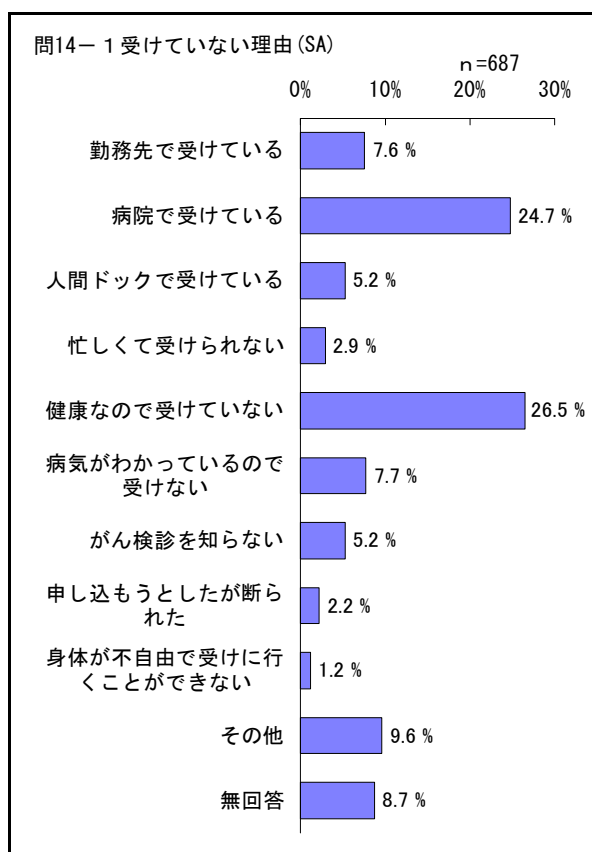
がん検診の受診についてみると、「受けていない」が 50.7%と最も多く、「毎年受けている」人は全体の 26.3%となっています。



問 14 「受けていない」を選んだ回答者

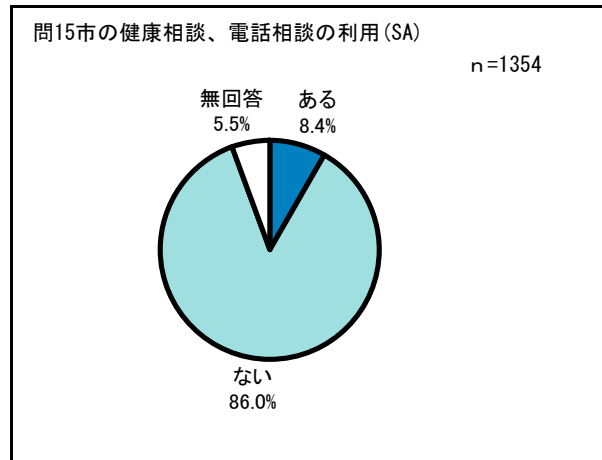
問 14-1 「受けていない」主な理由は何ですか。[単数回答]

受けていない主な理由についてみると、「健康なので受けていない」が 26.5%と最も多く、次いで「病院で受けている」が 24.7%となっています。



問 15 市で行っている健康相談、電話相談を利用したことはありますか。
[単数回答]

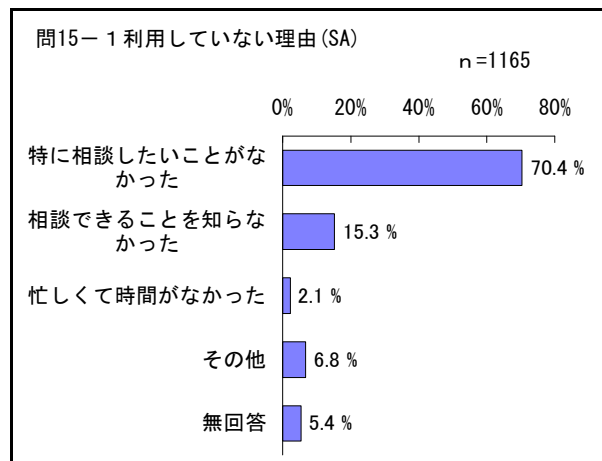
健康相談、電話相談を利用したことがあるかについてみると、「ない」が86.0%と最も多くなっています。



問 15 「ない」を選んだ回答者

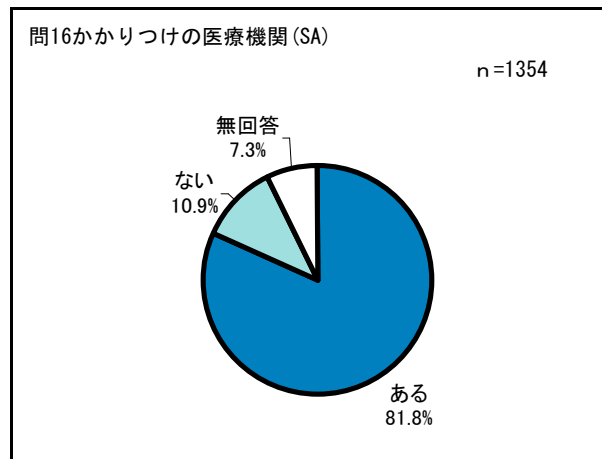
問 15-1 健康相談や電話相談を利用したことがないのはなぜですか。[単数回答]

利用したことがないのはなぜかについてみると、「特に相談したいことがなかった」が70.4%と最も多く、次いで「相談できることを知らなかった」が15.3%となっています。



問 16 あなたは、かかりつけの医療機関（診療所・医院・病院）がありますか。
[単数回答]

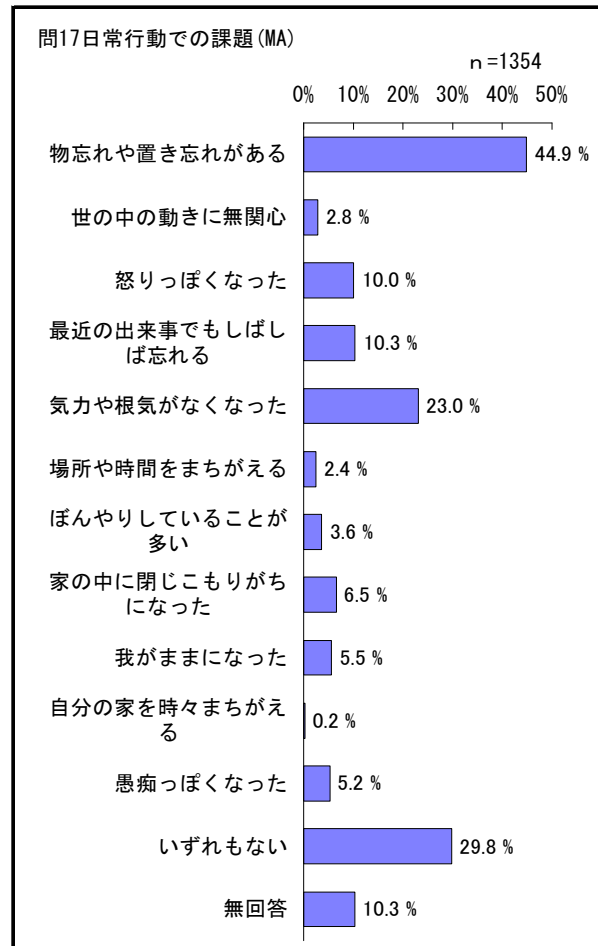
今かかりつけの医療機関があるかについてみると、「ある」が81.8%と最も多くなっています。



4. 本人の日常生活について

問 17 あなたは、日常行動で次のような事を自分で感じたり他人に言われたりしたことがありますか。[複数回答]

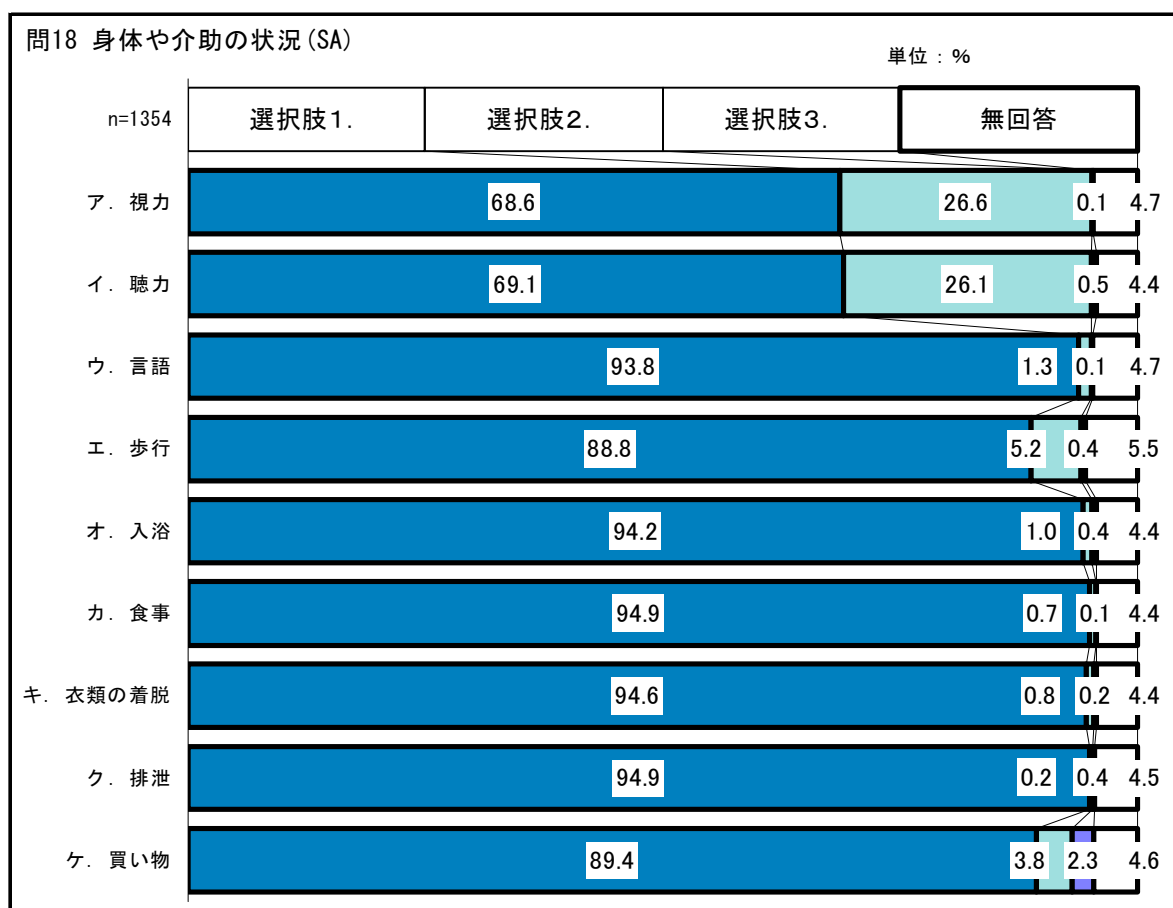
日常の行動で感じたり、他人に言われることについてみると、「物忘れや置き忘れがある」が44.9%と最も多く、次いで「いずれもない」が29.8%となっています。



問 18 あなたの身体や介助の状況についてうかがいます。[単数回答]

(※ 選択肢は以下のとおりです。)

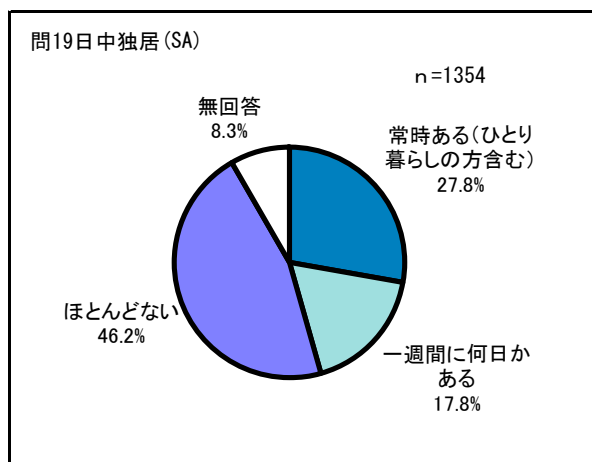
ア. 視力	1. 普通に見える	2. 見えにくい	3. ほとんど見えない
イ. 聴力	1. 普通に聞こえる	2. 聞こえにくい	3. ほとんど聞こえない
ウ. 言語	1. 普通に話せる	2. 少し話せる	3. ほとんど話せない
エ. 歩行	1. 普通に歩ける	2. 一部介助が必要	3. 全部介助が必要
オ. 入浴	1. 自分でできる	2. 一部介助が必要	3. 全部介助が必要
カ. 食事	1. 自分でできる	2. 一部介助が必要	3. 全部介助が必要
キ. 衣類の着脱	1. 自分でできる	2. 一部介助が必要	3. 全部介助が必要
ク. 排泄	1. 自分でできる	2. 一部介助が必要	3. 全部介助が必要
ケ. 買い物	1. 自分で行ける	2. 同伴者で行く	3. 自分では行けない



身体や介助の状況については、すべての項目で1に該当する『不自由を感じていない』選択肢が6割を超えてもっとも高くなっています。2に該当する『少し不自由を感じている』選択肢については、「視力」(見えにくい:26.6%)、「聴力」(聞こえにくい:26.1%)が目立ちます。3に該当する『不自由を感じている』選択肢では、ほとんどの項目で1%を下回りごくわずかな回答となっていますが、「買い物」については2.3%が自分では行けないという結果となっています。

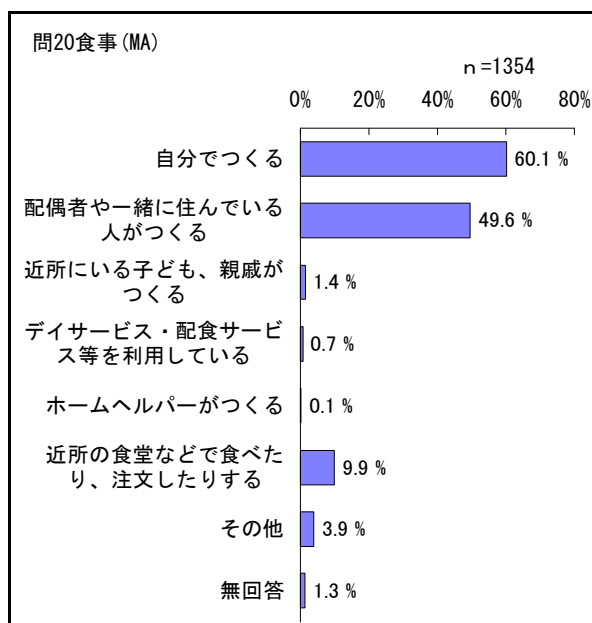
問 19 家族が仕事や学校に行っているため、あなたが日中ひとりになることはありますか。[単数回答]

あなたが日中ひとりになることについてみると、「常時ある（ひとり暮らしの方含む）」と回答した方は 27.8%おり、「一週間に何日かある」（17.8%）と合わせた『ひとりになることがある』方は全体の 4 割を超えています。



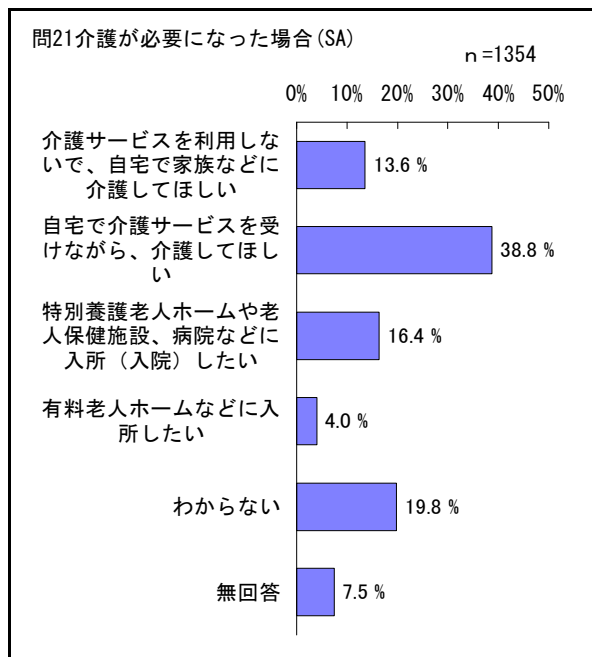
問 20 あなたは、ふだん、食事をどのようにしていますか。[複数回答]

食事をどのようにしているかについてみると、「自分でつくる」が 60.1%と最も多く、次いで「配偶者や一緒に住んでいる人がつくる」が 49.6%となっています。



問 21 今後、仮にあなたに介護が必要になった場合、どのようにしたいとお考えですか。[単数回答]

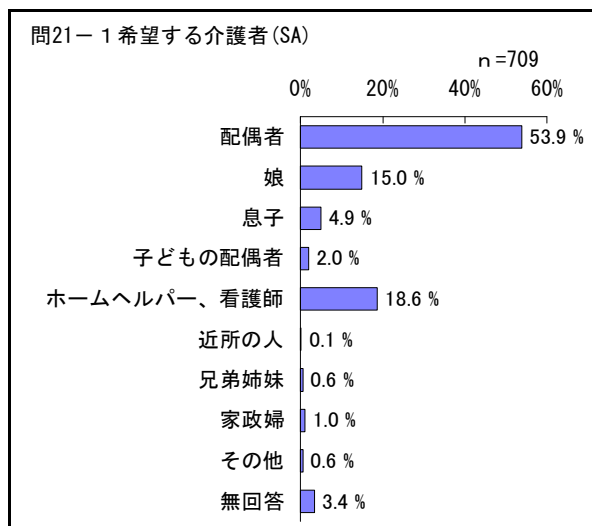
今後どのようにしたいかについてみると、「自宅で介護サービスを受けながら、介護してほしい」が 38.8%と最も多く、次いで「わからない」が 19.8%となっています。



問 21 「介護サービスを利用しないで、自宅で家族などに介護してほしい」、「自宅で介護サービスを受けながら、介護してほしい」を選んだ回答者

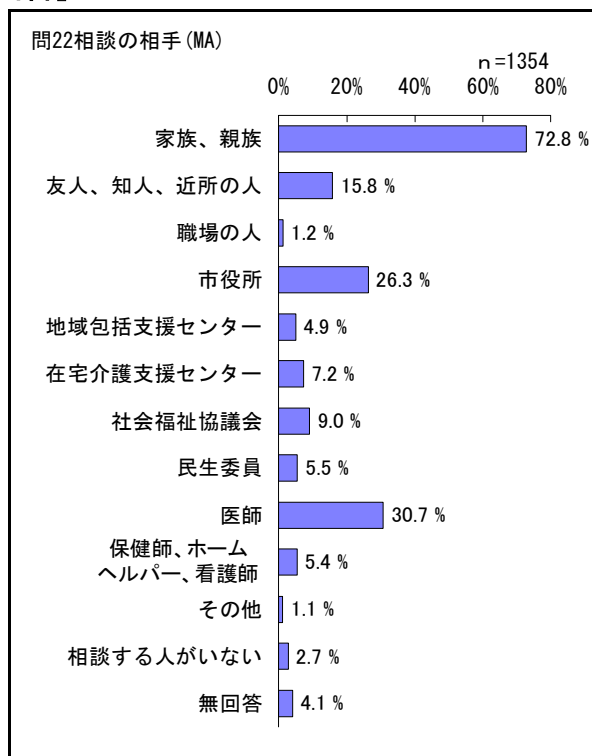
問 21-1 誰に介護してほしいですか。[単数回答]

誰に介護してほしいかについてみると、「配偶者」が 53.9%と最も多く、次いで「ホームヘルパー、看護師」が 18.6%となっています。



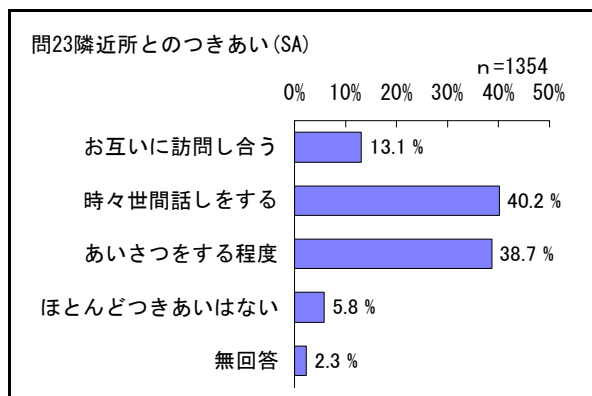
問 22 ふだん、健康や福祉のことで困ったとき、誰に相談しますか。あるいは誰に相談したいとお考えですか。[複数回答]

誰に相談するかについてみると、「家族、親族」が72.8%と最も多く、次いで「医師」が30.7%となっています。



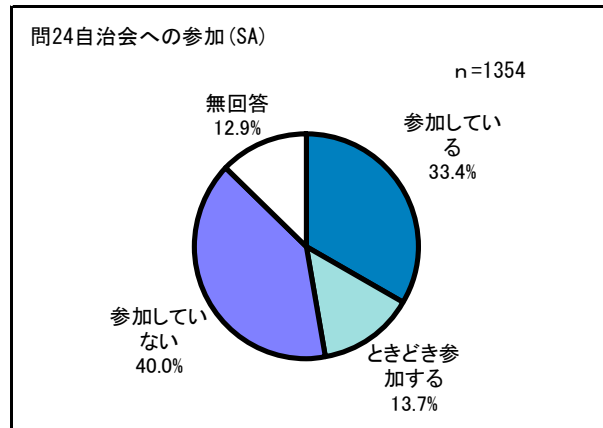
問 23 あなたは、隣近所とどの程度のつきあいをしていますか。[単数回答]

隣近所とどの程度のつきあいをしているかについてみると、「時々世間話しをする」が40.2%と最も多く、次いで「あいさつをする程度」が38.7%となっています。



問 24 あなたは、地域や各種の団体に加入したり、団体が行う行事や事業に参加したりしていますか。[単数回答]

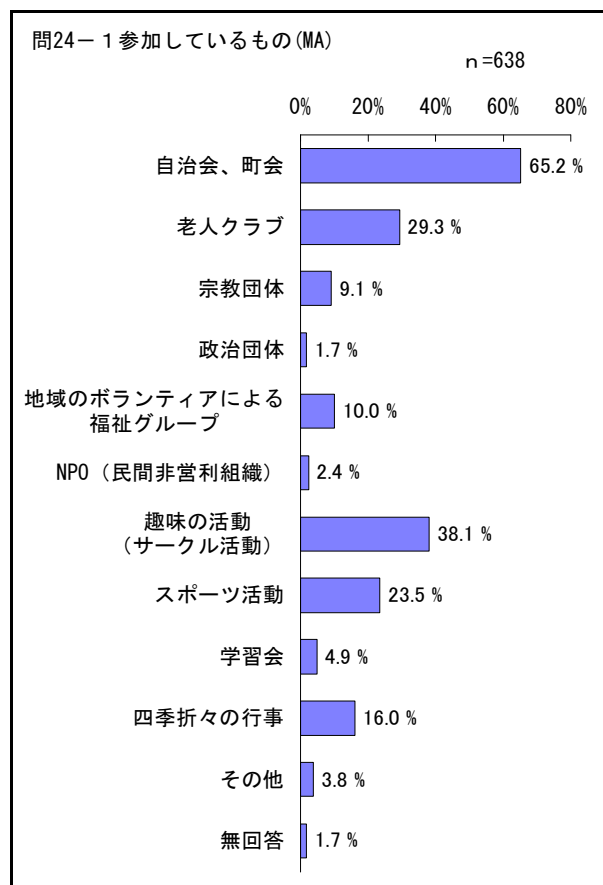
地域や各種の団体や事業への参加についてみると、「参加している」が 33.4% となっています。



問 24 「参加している」、「ときどき参加する」を選んだ回答者

問 24-1 「参加している」ものは何ですか。[複数回答]

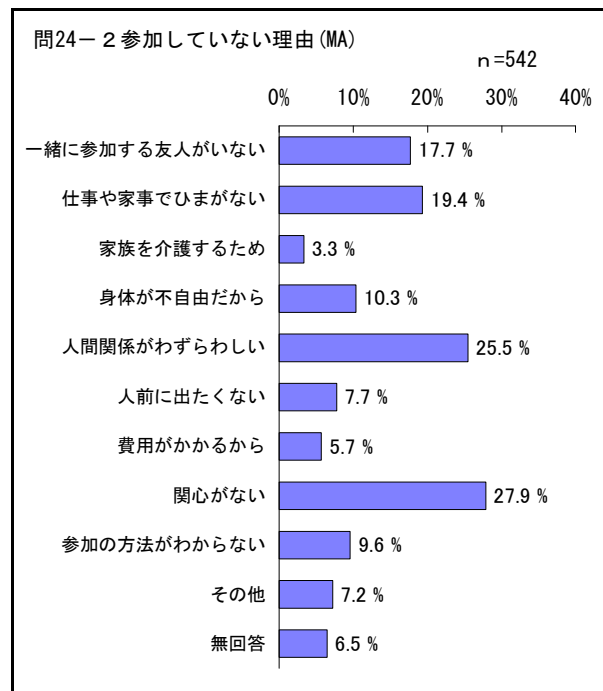
参加しているものについてみると、「自治会、町会」が 65.2%と最も多く、次いで「趣味の活動（サークル活動）」が 38.1%となっています。



問 24 「参加していない」を選んだ回答者

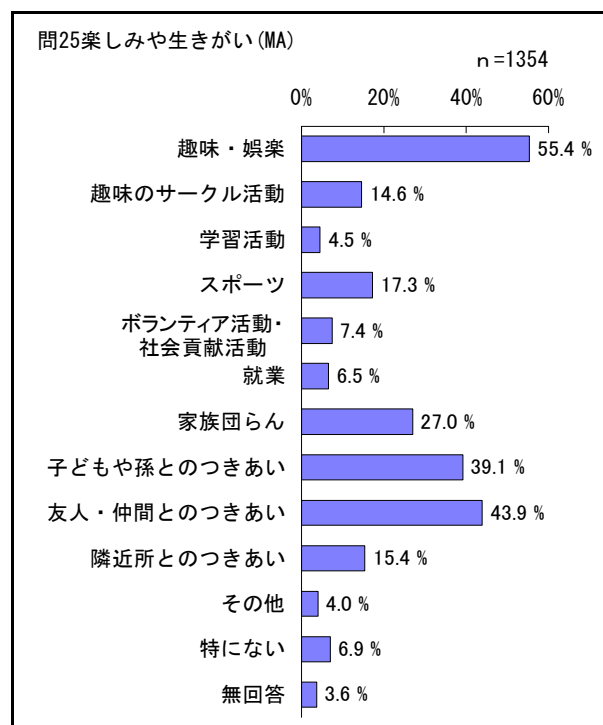
問 24-2 「参加していない」主な理由はどれですか。[複数回答]

主な理由についてみると、「関心がない」が27.9%と最も多く、次いで「人間関係がわずらわしい」が25.5%となっています。



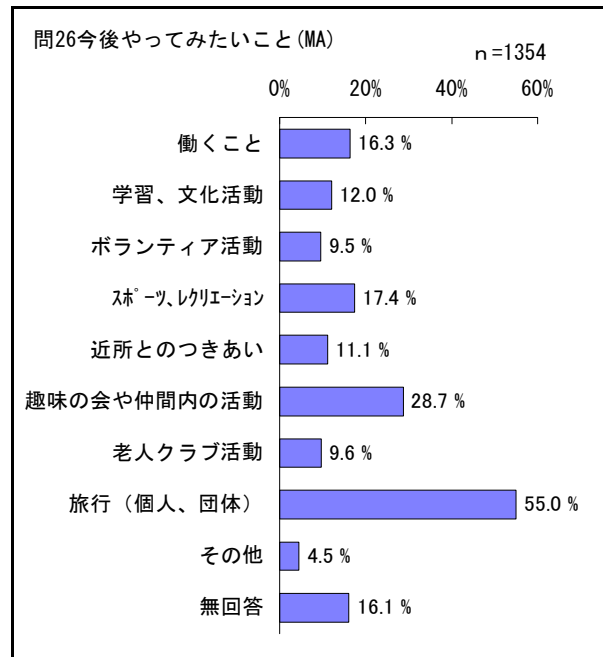
問 25 あなたの楽しみや生きがいは何ですか。[複数回答]

楽しみや生きがいについてみると、「趣味・娯楽」が55.4%と最も多く、次いで「友人・仲間とのつきあい」が43.9%となっています。



問 26 あなたが今後やってみたいことはどんなことですか。[複数回答]

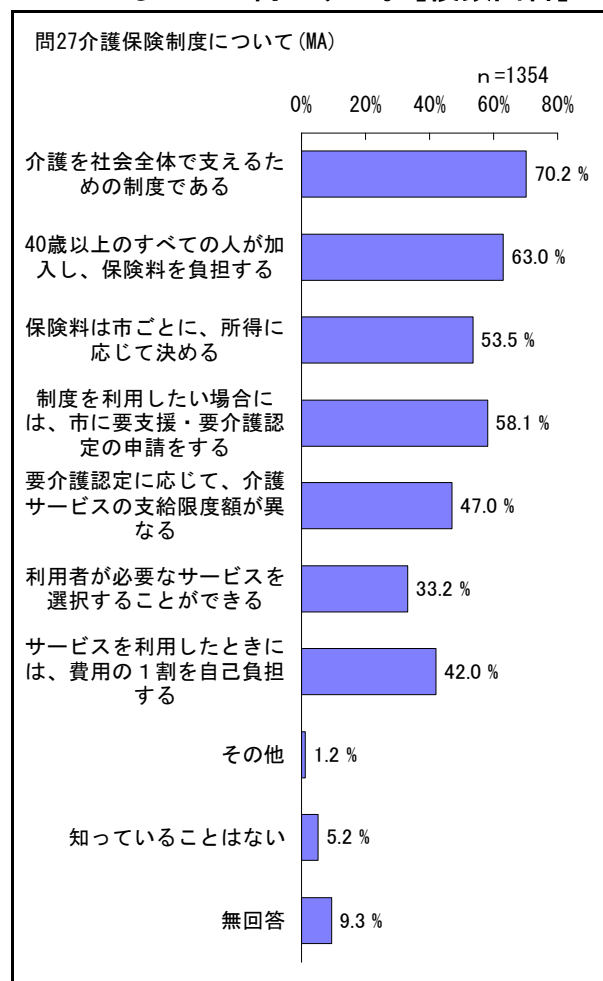
今後やってみたいことについてみると、「旅行（個人、団体）」が 55.0%と最も多く、次いで「趣味の会や仲間内の活動」が 28.7%となっています。



5. 介護保険について

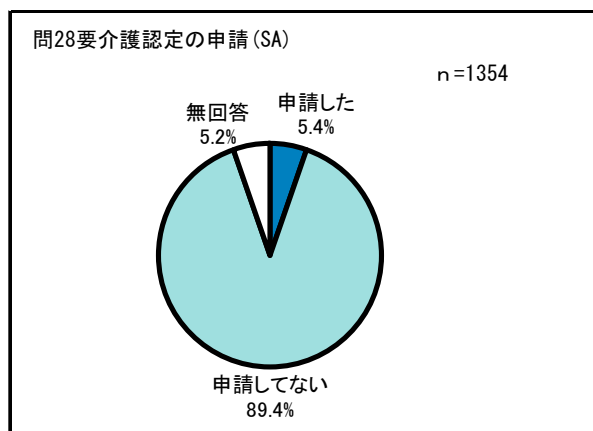
問 27 あなたが、介護保険制度について知っていることは何ですか。[複数回答]

介護保険制度についてみると、「介護を社会全体で支えるための制度である」が 70.2%と最も多く、次いで「40歳以上のすべての人が加入し、保険料を負担する」が 63.0%となっています。



問 28 あなたは、介護保険制度の要介護認定の申請をしたことがありますか。
[単数回答]

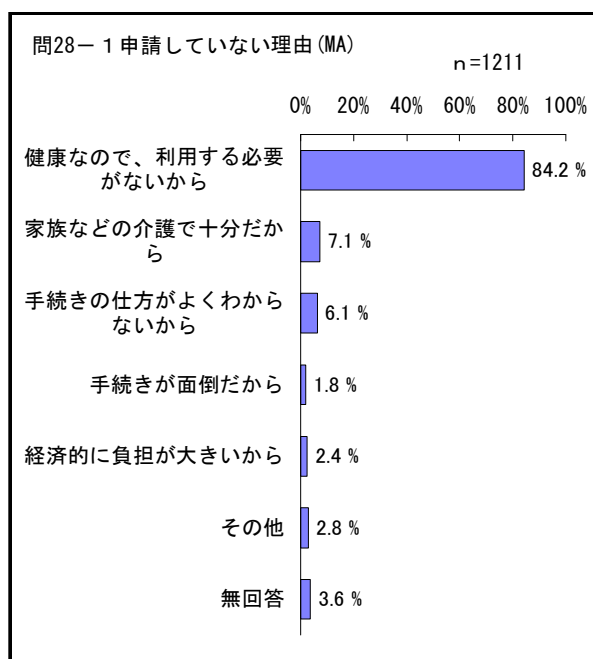
要介護認定の申請をしたことがあるかについてみると、「申請した」人は全体の5.4%となっています。



問 28 「申請していない」を選んだ回答者

問 28-1 要介護認定を申請していない理由は何ですか。[複数回答]

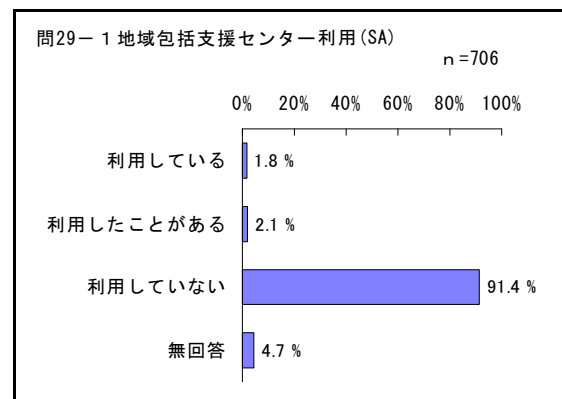
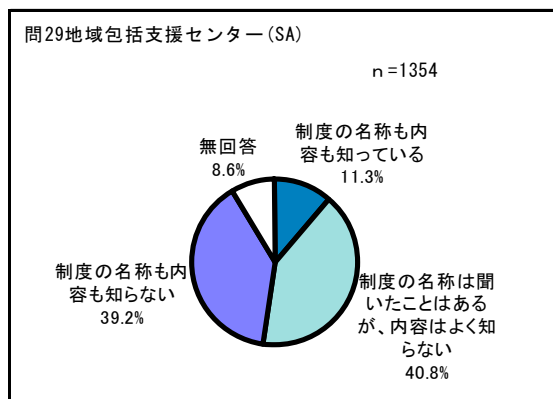
申請していない理由についてみると、「健康なので、利用する必要がないから」が84.2%と最も多くなっています。



問 29 「地域包括支援センター」は、地域高齢者の心身の健康維持や生活の安定、保健・福祉・医療の向上、財産管理、虐待防止など様々な課題に対して、地域における総合的なマネジメントを担い、課題解決に向けた取り組みを実践していくことをその主な業務としていますが、ご存知ですか。[単数回答]

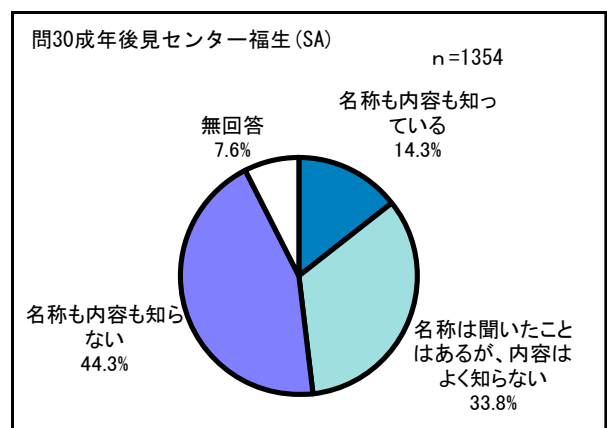
問 29-1 地域包括支援センターを利用していますか（したことがありますか）。
[単数回答]

地域包括支援センターの認知度についてみると、「制度の名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が40.8%と最も多く、次いで「制度の名称も内容も知らない」が39.2%となっています。地域包括支援センターの利用についてみると、「利用している」は1.8%となっています。



問 30 「成年後見センター福生」では、認知症等判断能力が十分でないため、日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用手続きなどの援助や代行、利用料の支払いなどを行い、地域で自立した生活を送れるように支援する「地域福祉権利擁護事業」（福祉サービス利用援助事業）や認知症等のため判断能力が不十分であるため、本人に代わって後見人が各種契約行為、金融機関との取引や本人の財産管理などを行い、悪徳商法の被害、高齢者虐待などから保護し、支援する「成年後見制度」など福祉サービス総合支援事業を実施していますが「成年後見センター福生」をご存知ですか。[単数回答]

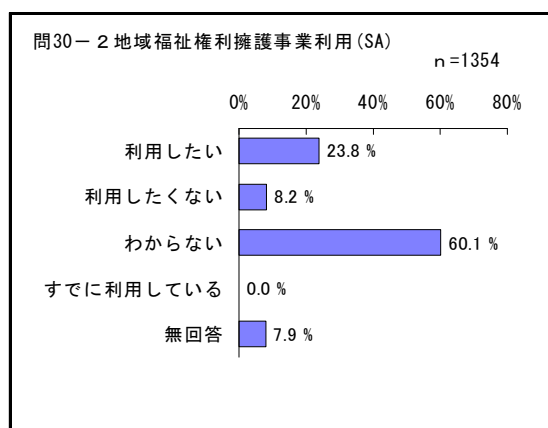
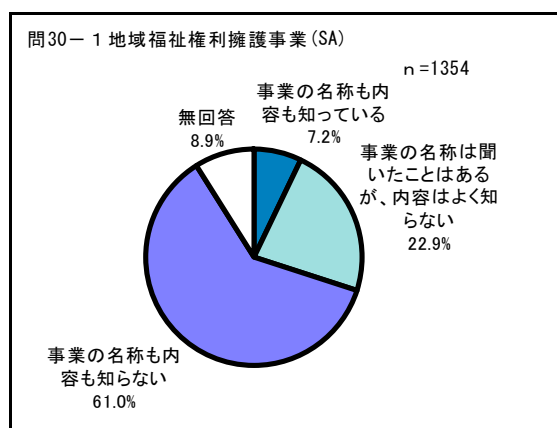
成年後見センター福生についてみると、「名前も名称も知らない」が44.3%と最も多くなっています。



問 30-1 「地域福祉権利擁護事業」についてお聞きします。[単数回答]

問 30-2 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「地域福祉権利擁護事業」を利用したいですか。[単数回答]

「地域福祉権利擁護事業」の認知度ついてみると、「事業の名称も内容も知らない」が 61.0%と最も多く、次いで「事業の名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が 22.9%となっています。「地域福祉権利擁護事業」の今後の利用意向についてみると、「わからない」が 60.1%と最も多く、次いで「利用したい」が 23.8%となっています。



問 30-3 「成年後見制度」についてお聞きします。[単数回答]

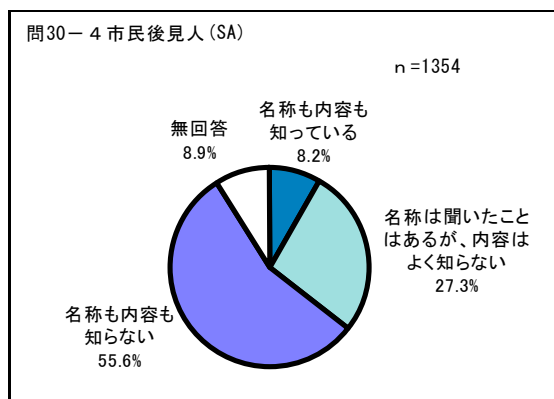
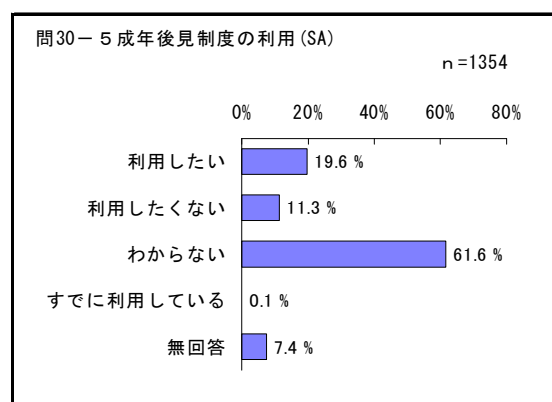
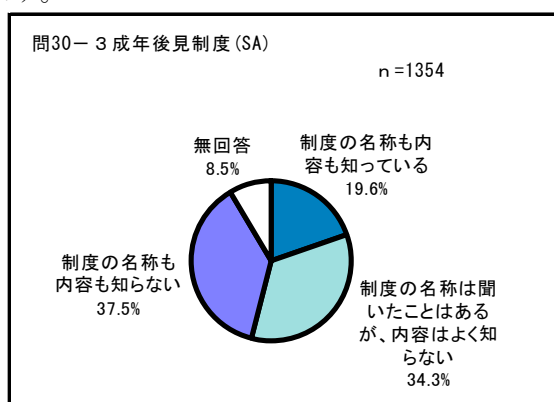
問 30-4 「市民後見人」についてお聞きします。[単数回答]

問 30-5 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「成年後見制度」を利用したいですか。[単数回答]

成年後見制度の認知度についてみると、「制度の名称も内容も知らない」が37.5%と最も多く、次いで「制度の名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が34.3%となっています。

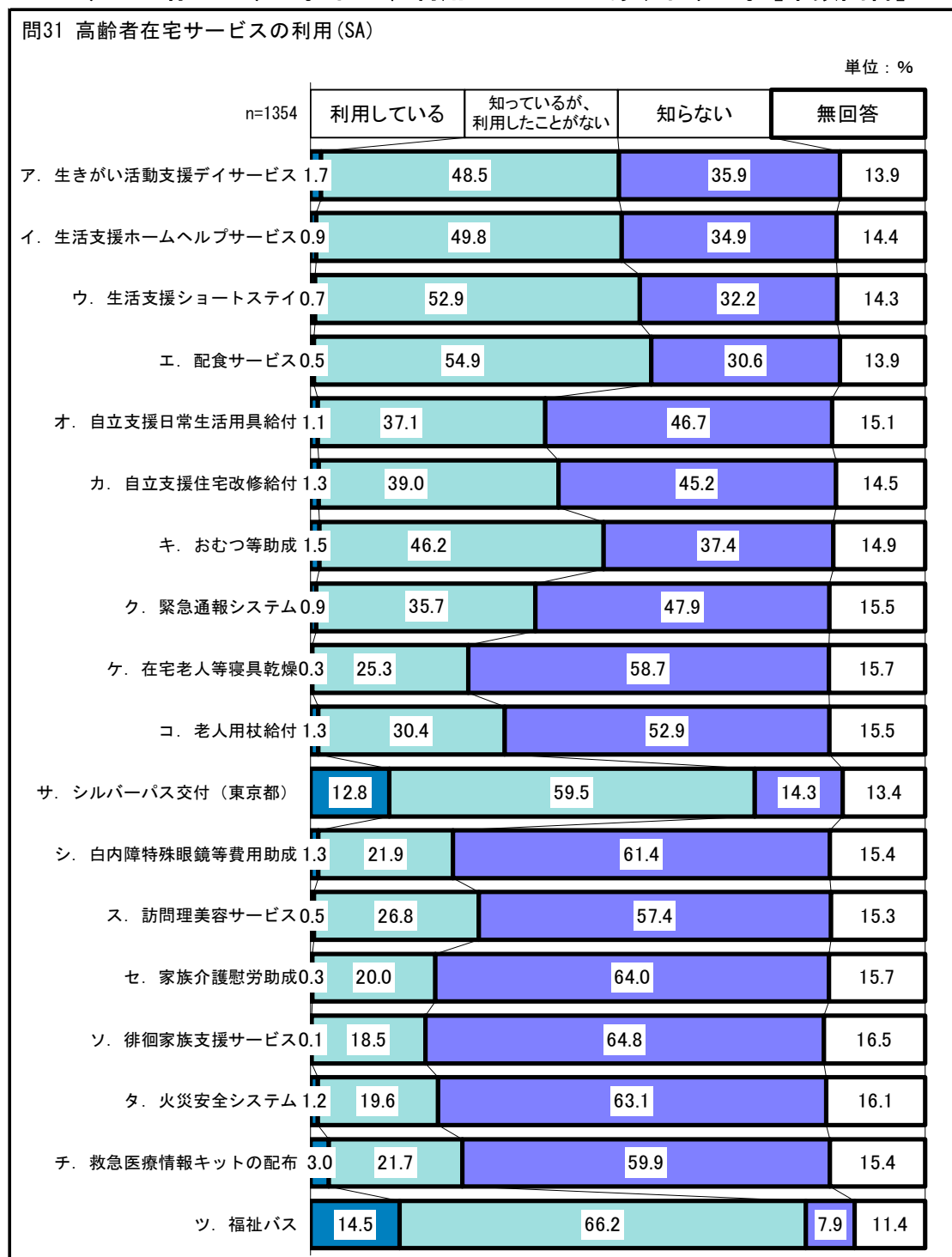
市民後見人の認知度についてみると、「名称も内容も知らない」が55.6%と最も多く、次いで「名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が27.3%となっています。

成年後見制度の今後の利用意向についてみると、「わからない」が61.6%と最も多くなっています。



6. 在宅サービスについて

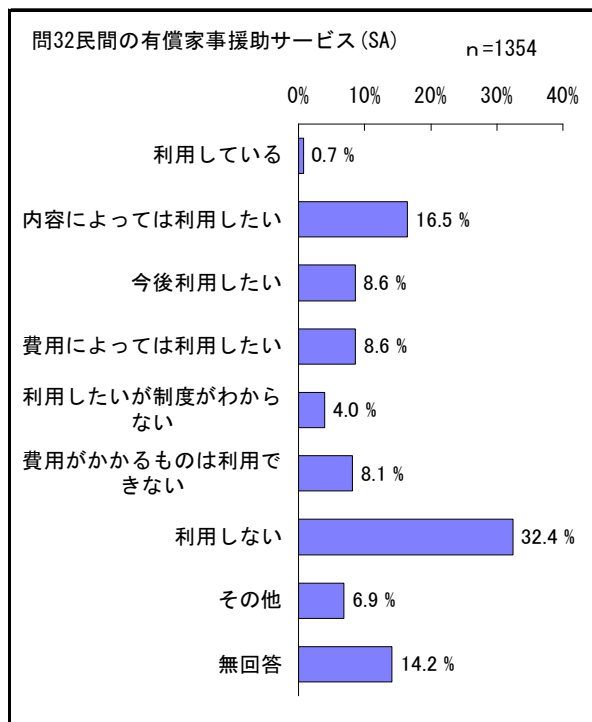
問 31 市では、介護保険制度以外に、次のような高齢者在宅サービスを行っていませんがご存じですか。また、利用したことがありますか。[単数回答]



高齢者在宅サービスの利用についてみると、「福祉バス」(14.5%)、「シルバーパス交付 (東京都)」(12.8%)を除く全てのサービスで利用は3%以下となっています。

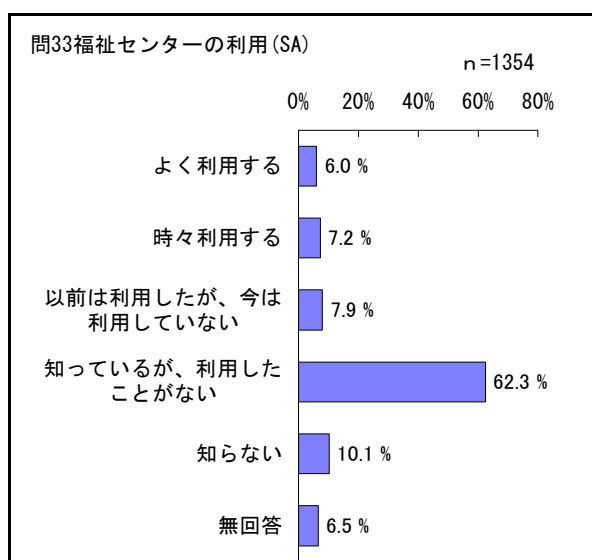
問 32 あなたは、食事のしたく、掃除、買物、話し相手、通院の付き添い、洗濯、留守番などの家事援助を中心とした民間の有償家事援助サービスを利用したいと思いますか。[単数回答]

有償家事援助サービスを利用したいかについてみると、「利用しない」が32.4%と最も多く、次いで「内容によっては利用したい」が16.5%となっています。



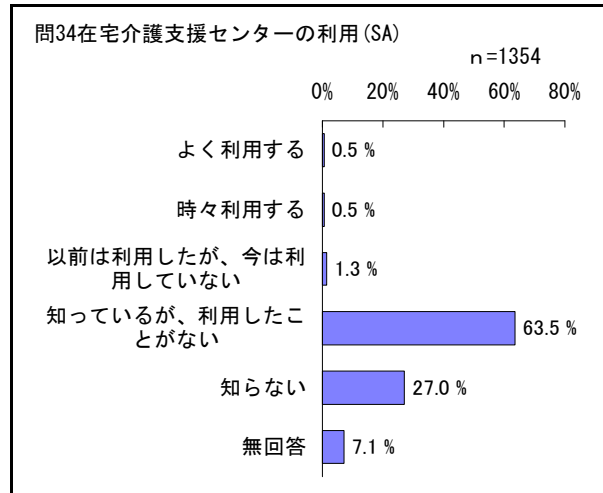
問 33 あなたは、福祉センターを利用したことがありますか。[単数回答]

福祉センターを利用したことがあるかについてみると、「知っているが、利用したことがない」が62.3%と最も多くなっています。



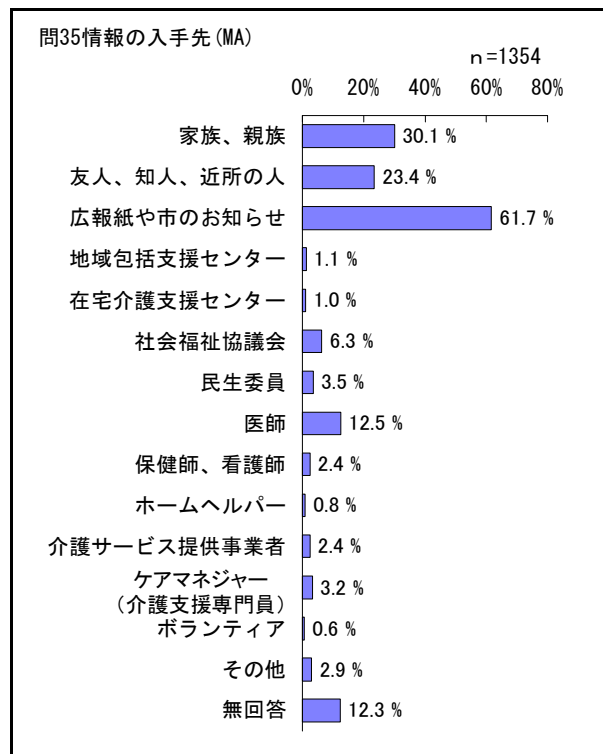
問 34 あなたは、在宅介護支援センターを利用したことがありますか。[単数回答]

今在宅介護支援センターを利用したことがあるかについてみると、「知っているが、利用したことがない」が63.5%となっています。



問 35 高齢者福祉や保健に関する情報の入手先は次のどれですか。[複数回答]

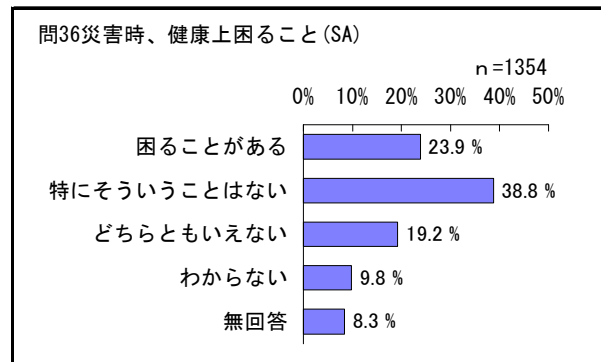
情報の入手先についてみると、「広報紙や市のお知らせ」が61.7%と最も多く、次いで「家族、親族」30.1%となっています。



7. 災害対策について

問 36 災害などが発生した時、数日間医療機関で受診や医療を受けられなかった場合、健康上困ることがありますか。[単数回答]

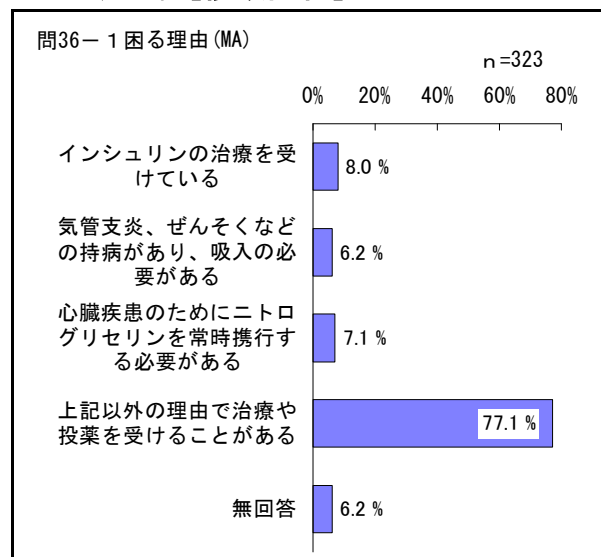
災害時に健康上困ることについてみると、「特にそういうことはない」が38.8%と最も多くなっていますが、「困ることがある」と回答している人も23.9%みられます。



問 36 「困ることがある」を選んだ回答者

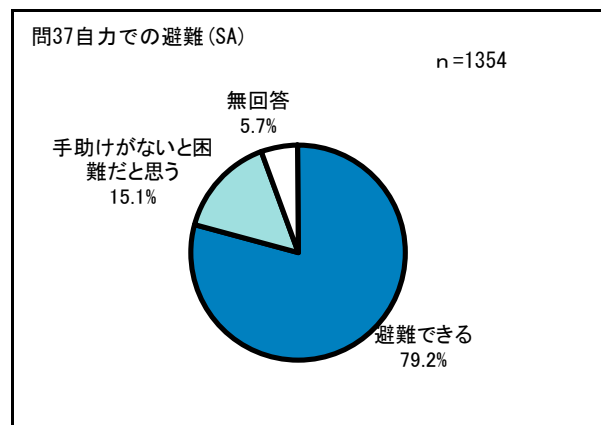
問 36-1 それはどのような理由によるものですか。[複数回答]

理由についてみると、「上記以外の理由で治療や投薬を受けることがある」が77.1%と最も多くなっています。



問 37 震災や水害などの災害発生時に、あなたは自力で避難することができますか。[単数回答]

自力で避難することができるかについてみると、「避難できる」が79.2%と最も多くなっていますが、「手助けがないと困難だと思う」と回答されている方も15.1%みられます。

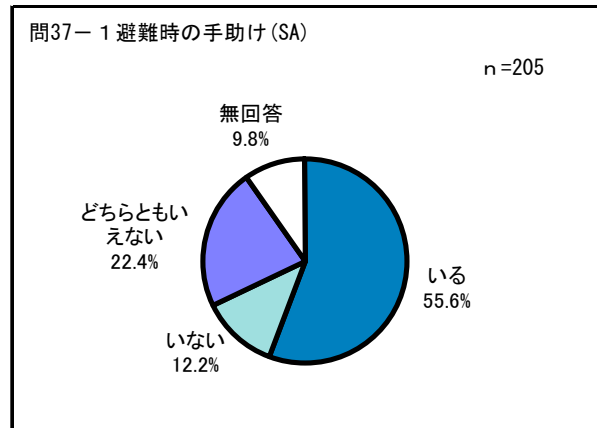


問 37 「手助けがないと困難だと思う」を選んだ回答者

問 37-1 災害発生に伴う避難時に、身近に手助けしてくれる人はいますか。

[単数回答]

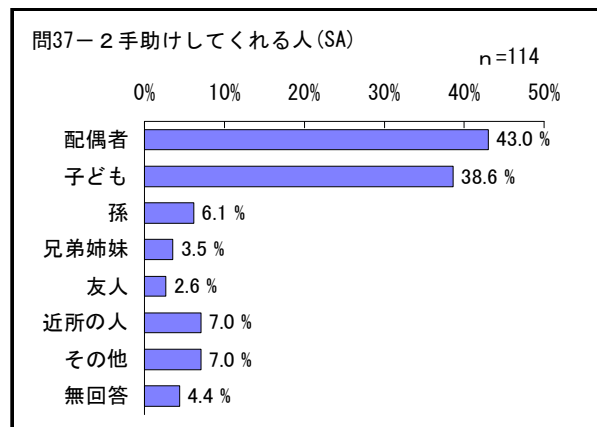
身近に手助けしてくれる人がいるかについてみると、「いる」が 55.6%と最も多くなっていますが、「いない」も 12.2%みられます。



問 37-1 「いる」を選んだ回答者

問 37-2 誰ですか。[単数回答]

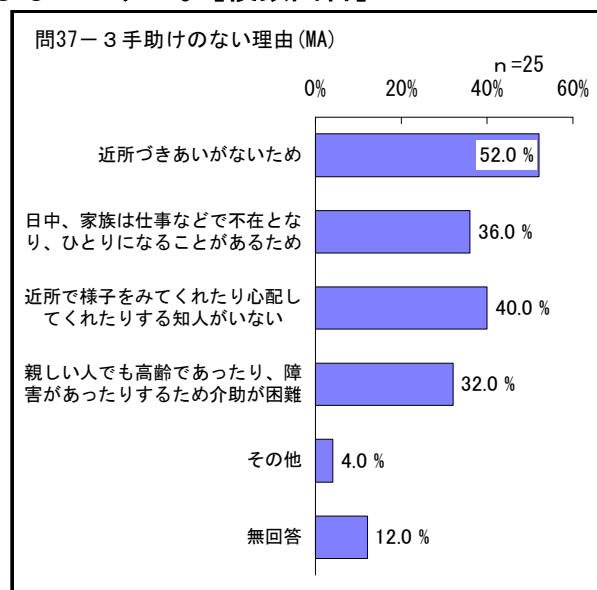
避難時に手助けしてくれる人についてみると、「配偶者」が 43.0%で最も多く、次いで「子ども」が 38.6%となっています。



問 37-1 「いない」、「どちらともいえない」を選んだ回答者

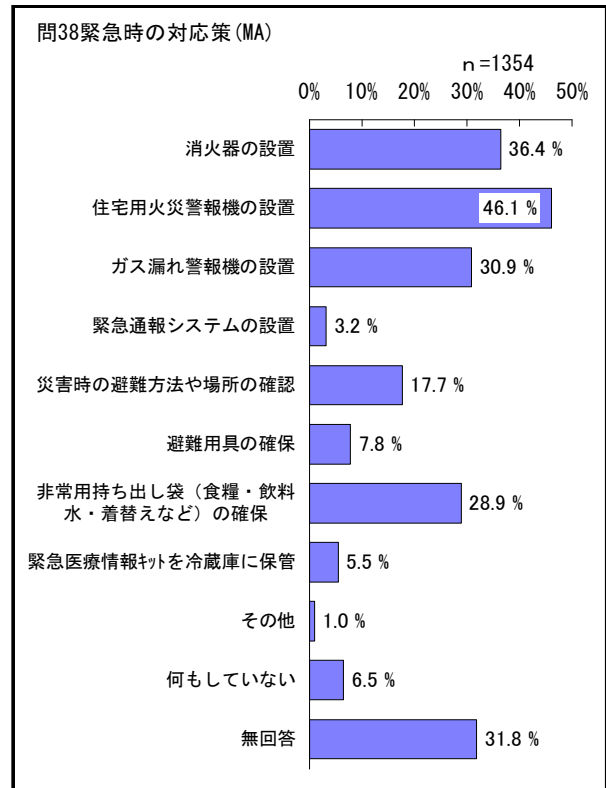
問 37-3 それはどのような理由によるものですか。[複数回答]

理由についてみると、「近所づきあいがいないため」が 52.0%と最も多く、次いで「近所で様子を見てくれたり心配してくれたりする知人がいない」が 40.0%となっています。



問 38 ご家庭で緊急時の対応策として、どのような準備をしていますか。
[複数回答]

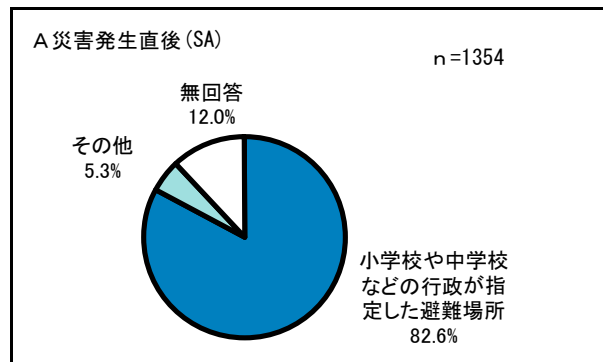
緊急時の対応策についてみると、「住宅用火災警報器の設置」が46.1%と最も多く、次いで「消火器の設置」が36.4%となっています。



問 39 もしも災害により自宅で生活するのが困難な状態になった場合、あなたの生活するところはどこになるとお考えですか。[単数回答]

《A：災害発生直後》
(発生時から1週間程度)

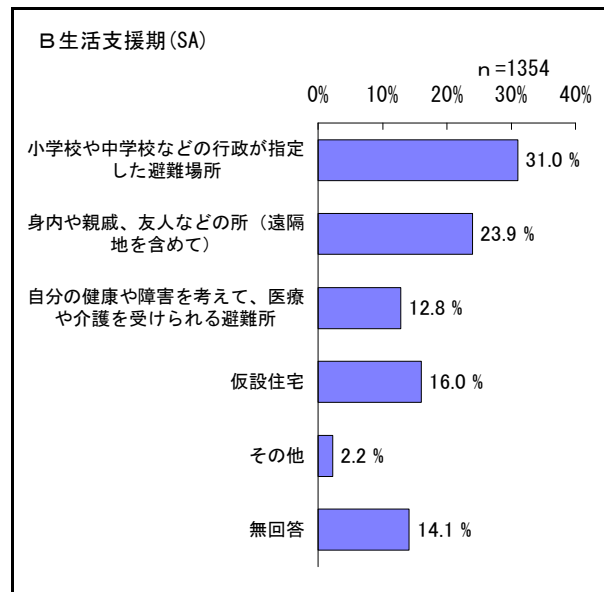
災害発生直後の生活場所についてみると、「小学校や中学校などの行政が指定した避難場所」が82.6%と最も多くなっています。



《B：生活支援期》

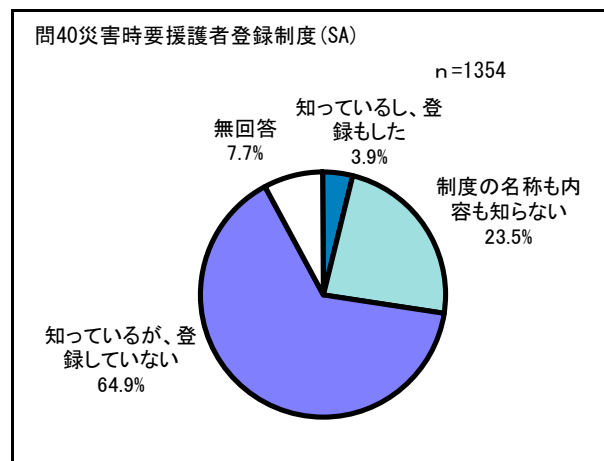
(発生から1週間以上経過後)

生活支援期、生活するところについてみると、「小学校や中学校などの行政が指定した避難場所」が31.0%と最も多く、次いで「身内や親戚、友人などの所（遠隔地を含めて）」が23.9%となっています。



問 40 「災害時要援護者登録制度」は、災害発生時に自力で安全な場所へ避難することが困難な方が予め申請し、市の災害時要援護者台帳に登録することにより、その情報を地域の自主防災組織、民生委員・児童委員のほか、消防団、消防署、警察署、社会福祉協議会にも提供し、災害が発生した時の安否確認や避難誘導等の支援活動を迅速にできるようにする制度ですが、ご存知ですか。[単数回答]

災害時要援護者登録制度についてみると、「知っているが登録していない」が64.9%と最も多く、「知っているし、登録もした」との回答は3.9%となっています。



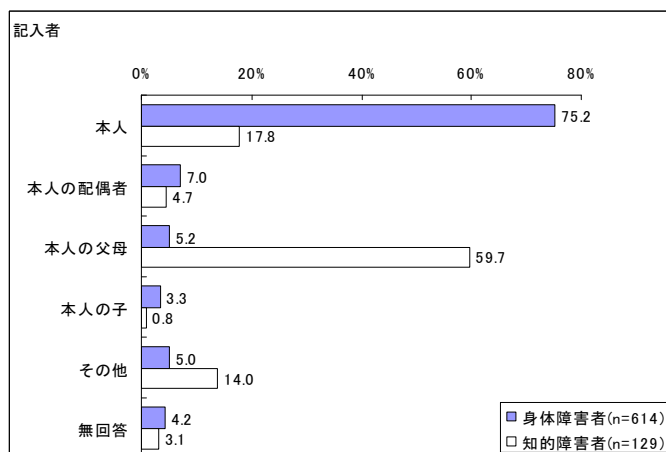
VI

身体・知的障害者

回答者の属性(身体障害者) (単位:人)	
性別	
男	323
女	290
無回答	1
年齢	
5歳以下	5
6-18歳	12
19-69歳	347
70歳以上	241
無回答	9
回答者の属性(知的障害者) (単位:人)	
性別	
男	84
女	45
無回答	0
年齢	
5歳以下	7
6-18歳	31
19-69歳	86
70歳以上	3
無回答	2

○調査票記入者 [単数回答]

記入者についてみると、身体障害者では「本人」が約7割5分、知的障害者では「本人の父母」が約6割と、多くなっています。

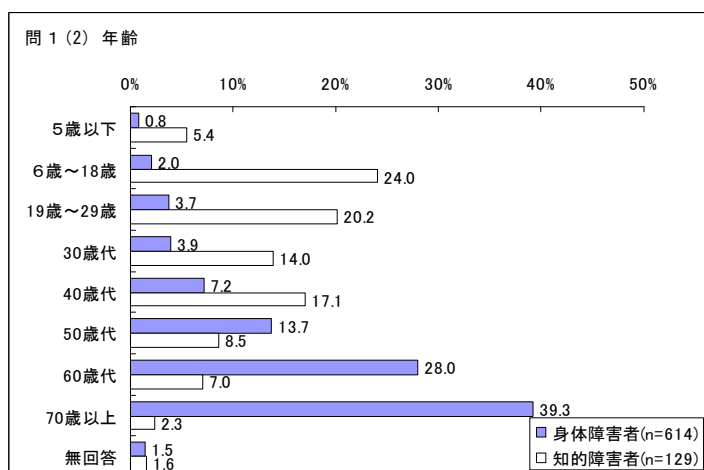
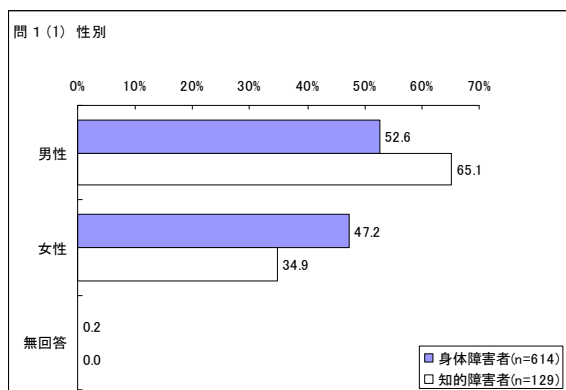


1 身体障害者手帳や愛の手帳をお持ちのご本人のことについて

問1 (1) 性別、(2) 年齢 [単数回答]

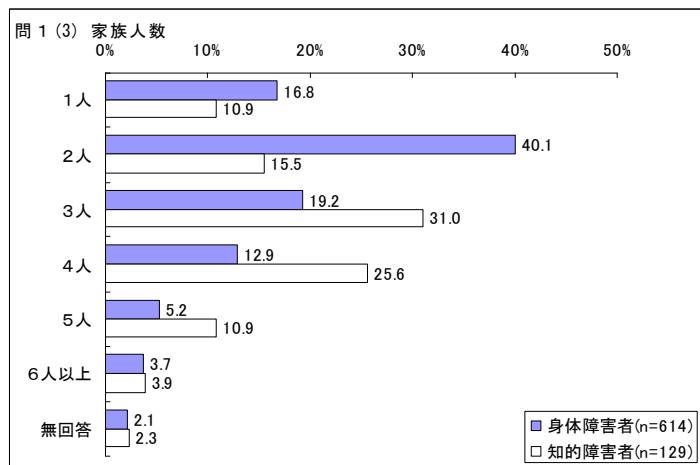
性別についてみると、身体・知的障害者ともに「男性」が「女性」を上回っています。

年齢についてみると、身体障害者では「70歳以上」が4割弱、知的障害者では「6歳～18歳」が2割5分弱と、最も多くなっています。



(3) 家族人数（本人を含めて）[単数回答]

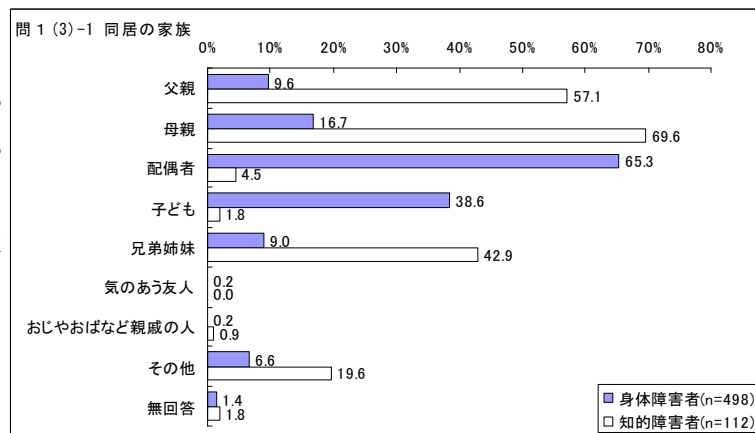
家族人数についてみると、身体障害者では「2人」が40.1%、知的障害者では「3人」が31%と最も多くなっています。



問1(3)で 「1人」以外を選んだ回答者

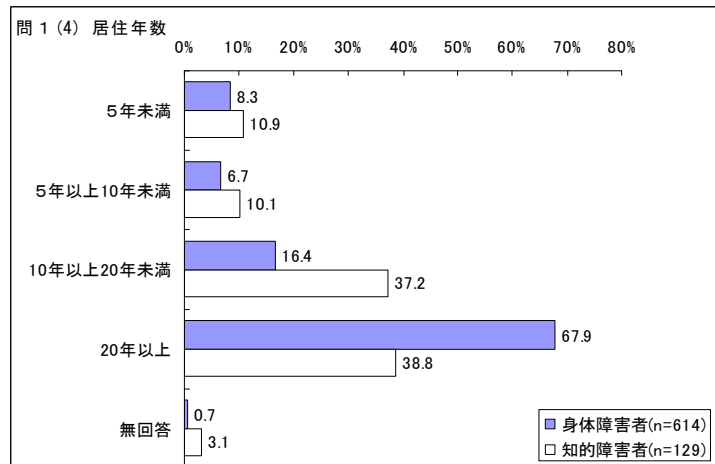
(3) - 1 現在、あなたは誰と一緒に住んでいますか。[複数回答]

誰と一緒に住んでいるかについてみると、身体障害者では「配偶者」が65.3%と最も多く、次いで「子ども」が38.6%となっています。また知的障害者では、「母親」が69.6%と最も多く、次いで「父親」が57.1%となっています。



(4) 福生市での居住年数 [単数回答]

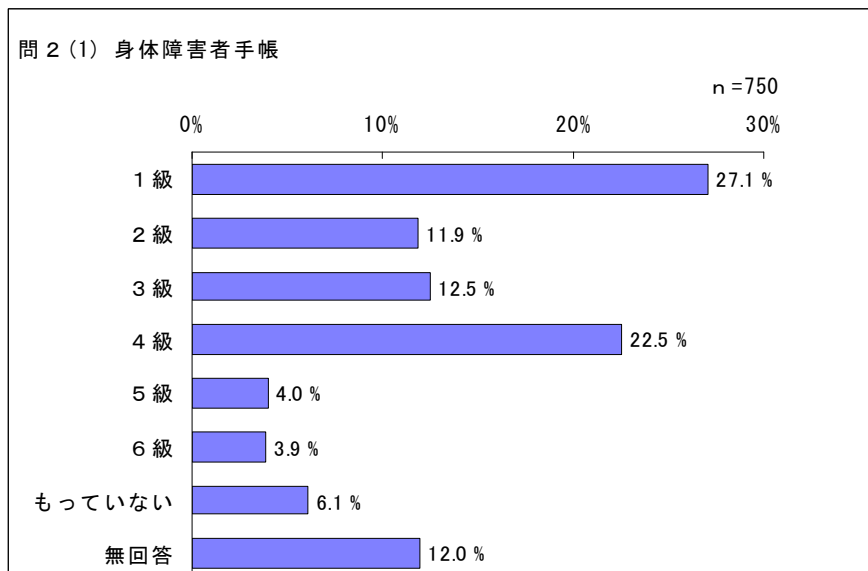
福生市での居住年数についてみると、身体・知的障害者ともに「20年以上」が最も多く、それぞれ 67.9%（身体）、38.8%（知的）となっています。



問 2 お手持ちの手帳と障害の程度についてうかがいます。 [単数回答]

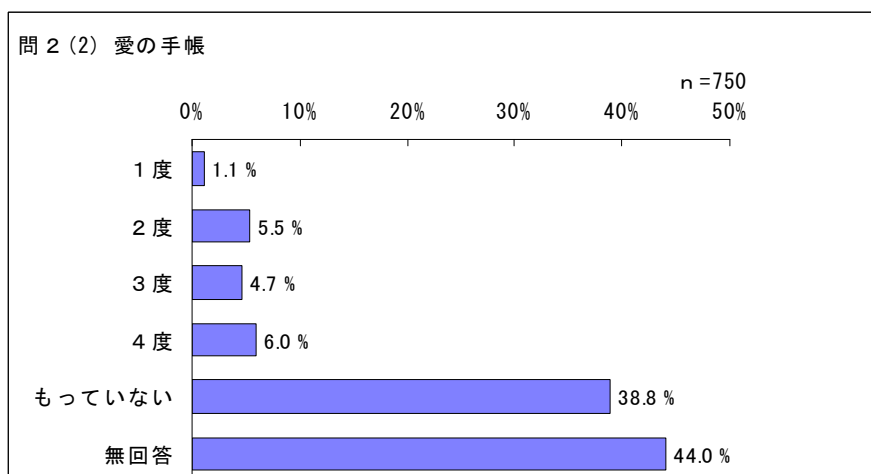
(1) 身体障害者手帳

身体障害者手帳についてみると、「1級」が 27.1%と最も多く、次いで「4級」が 22.5%となっています。



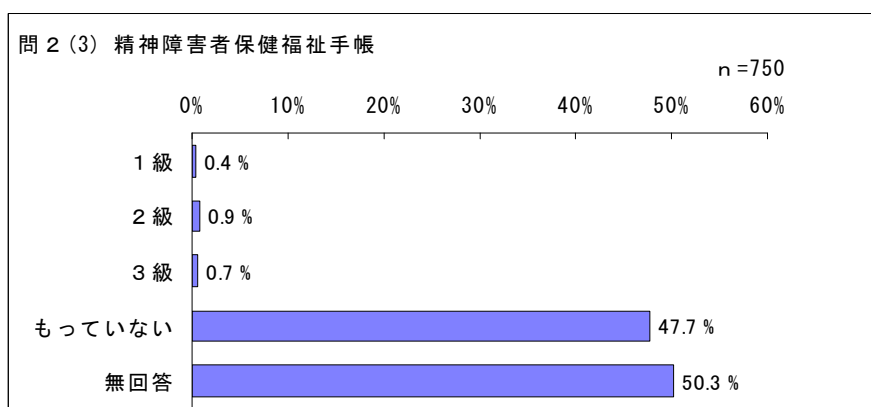
(2) 愛の手帳

愛の手帳についてみると、「無回答」が44%と最も多く、次いで「もっていない」が38.8%となっています。



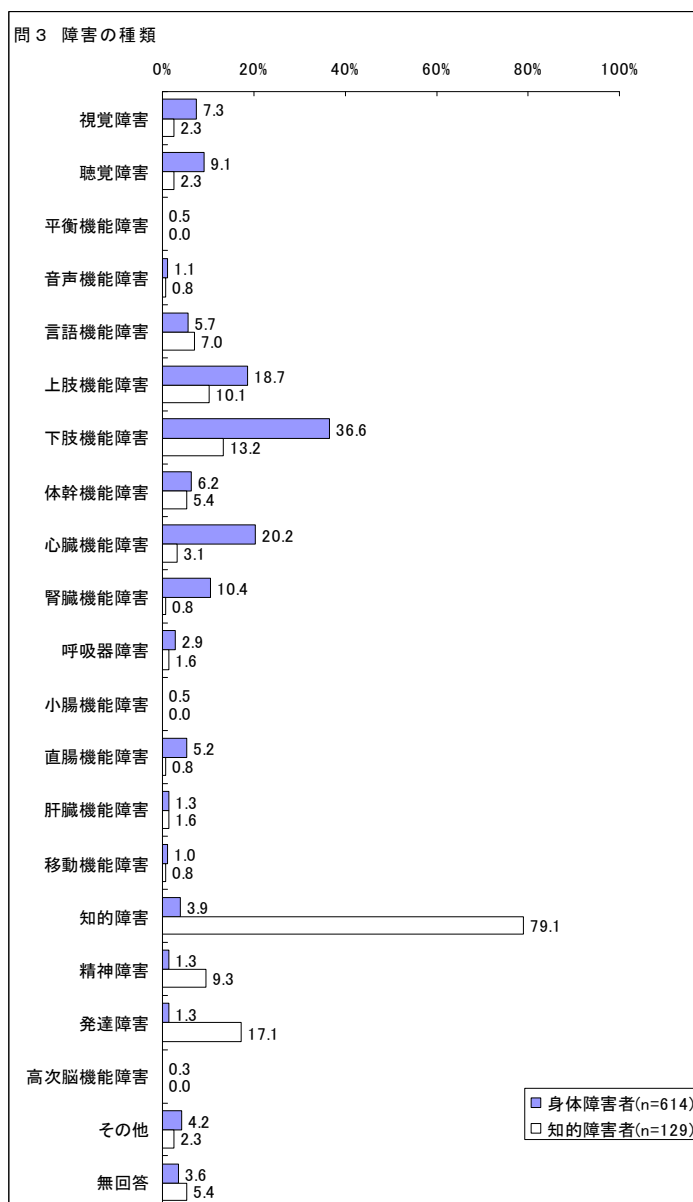
(3) 精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳についてみると、「無回答」が50.3%と最も多く、次いで「もっていない」が47.7%となっています。



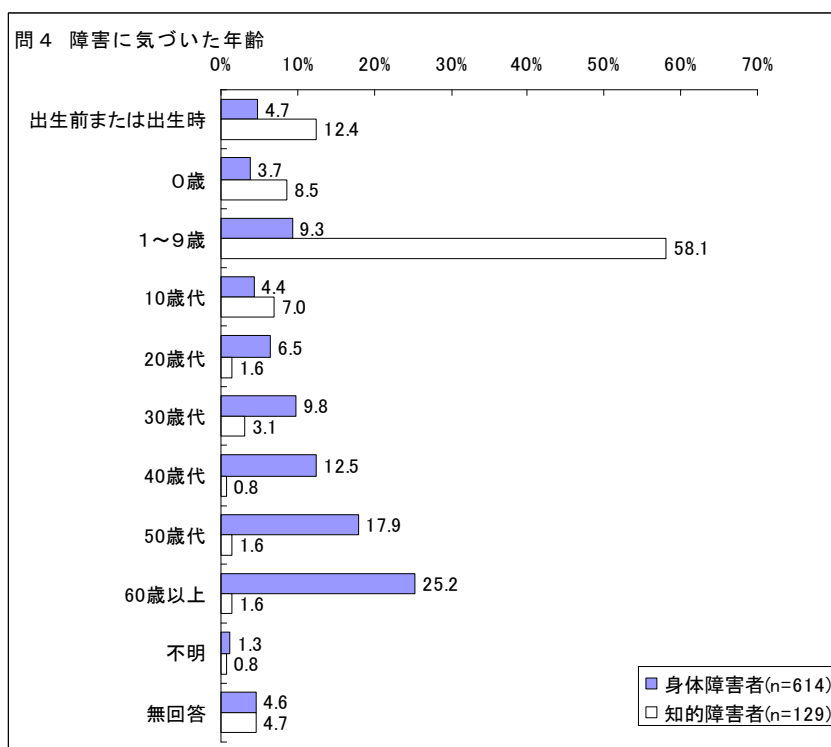
問3 障害の種類についてうかがいます。[複数回答]

障害の種類についてみると、身体障害者では「下肢機能障害」が36.6%と最も多く、次いで「心臓機能障害」が20.2%となっています。また知的障害者では「知的障害」が79.1%、次いで「発達障害」が17.1%となっています。



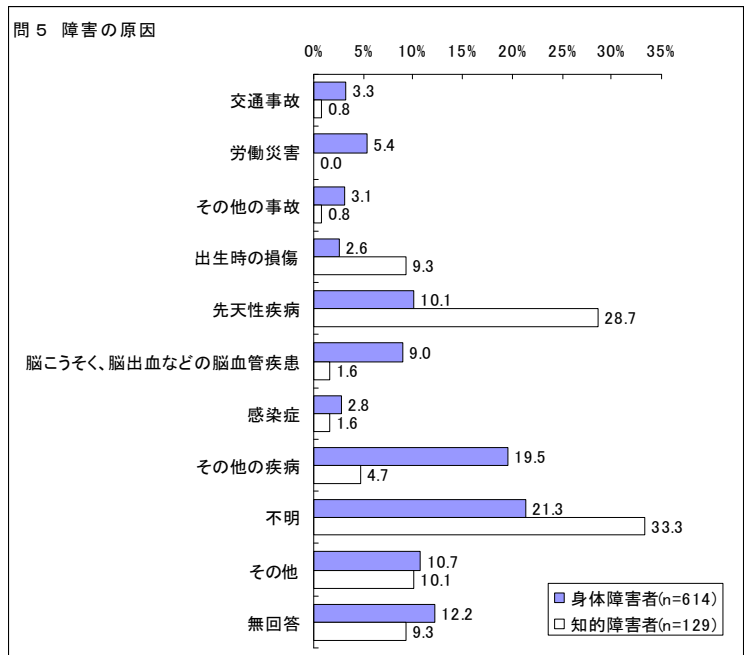
問4 障害に気づかれたのは何歳ごろでしたか。[単数回答]

障害に気づいたのは何歳ごろかについてみると、身体障害者では「60歳以上」が25.2%と最も多く、次いで「50歳代」が17.9%となっています。また、知的障害者では「1～9歳」が58.1%と最も多く、次いで「出生前または出生時」が12.4%となっています。



問5 障害の原因は何ですか。[単数回答]

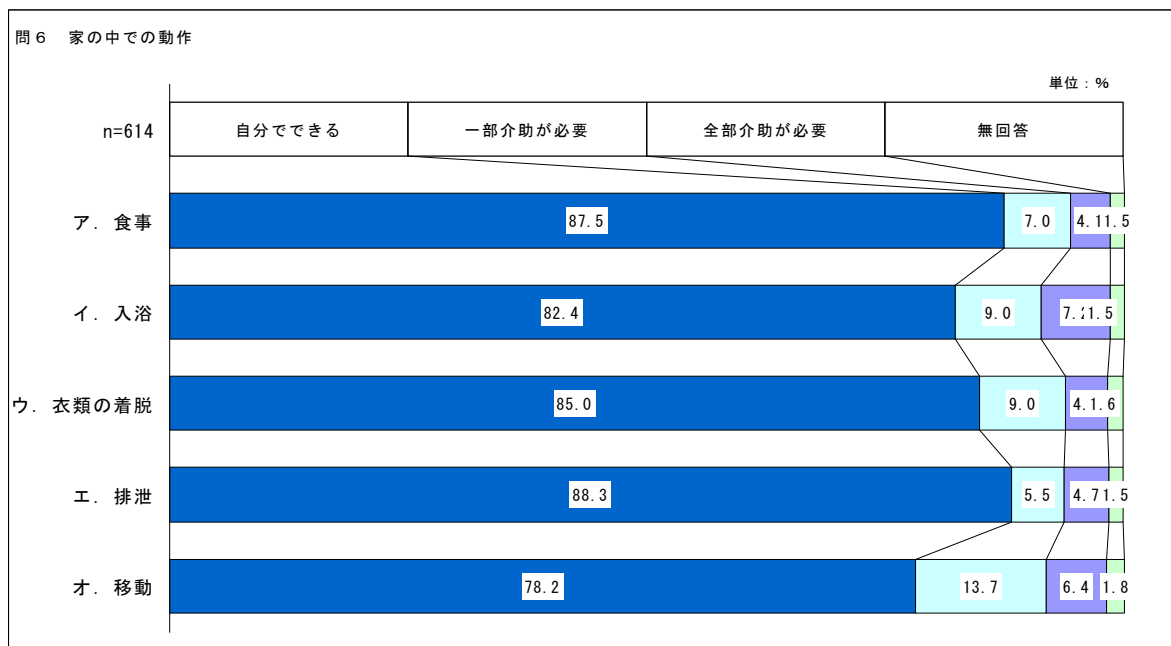
障害の原因についてみると、身体障害者では「不明」が21.3%と最も多く、次いで「その他の疾病」が19.5%となっています。また、知的障害者では「不明」が33.3%と最も多く、次いで「先天性疾病」が28.7%となっています。



問6 家の中での次の動作についてうかがいます。[単数回答]

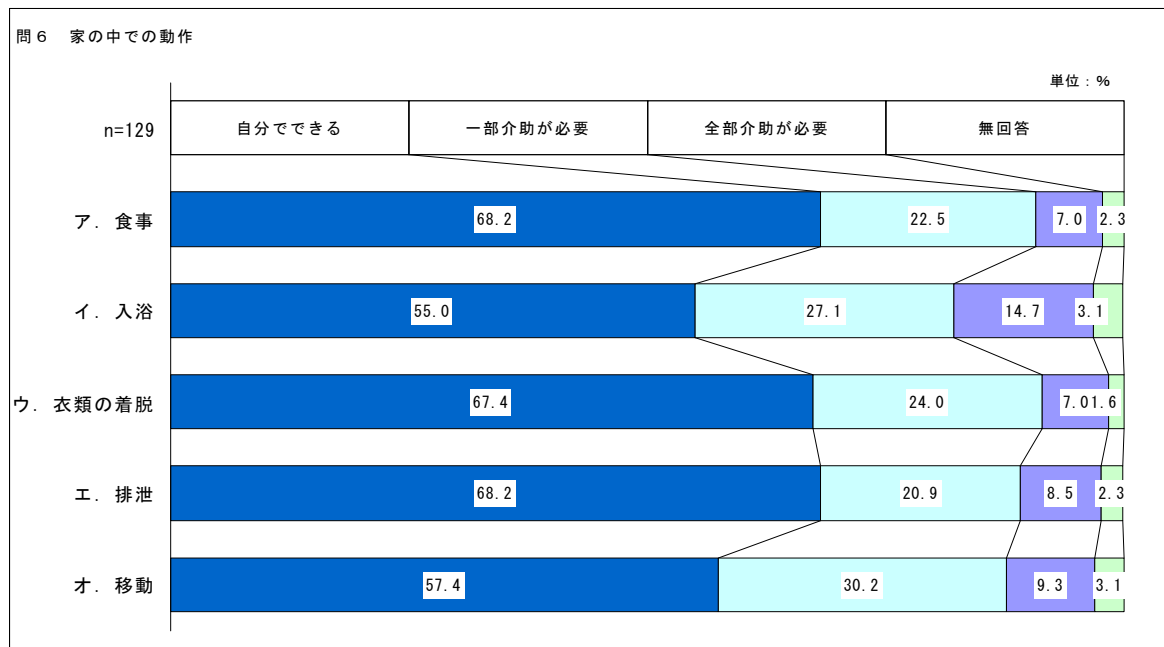
<身体障害者>

家の中での動作についてみると、身体障害者では、いずれも「自分でできる」が8割前後以上となっています。



<知的障害者>

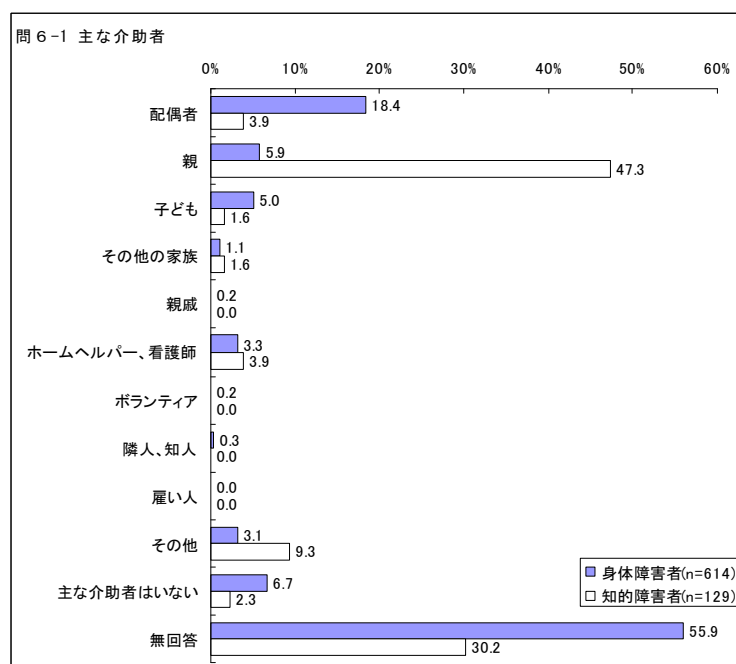
家の中での動作についてみると、知的障害者では『食事』、『衣類の着脱』、『排泄』、『移動』が「自分でできる」のは6割弱～7割弱で、『入浴』ではやや少なく5割台半ばとなっています。



問6で 1つでも「一部介助が必要」、「全部介助が必要」を選んだ回答者

問6-1 主な介助者は誰ですか。[単数回答]

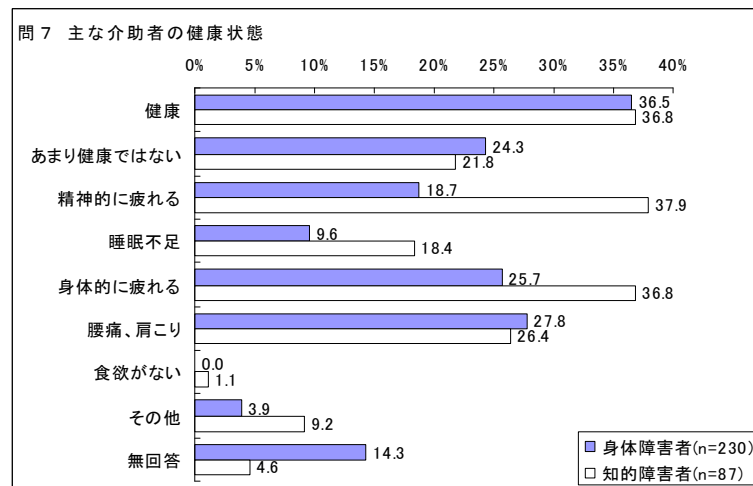
主な介助者についてみると、身体障害者では「無回答」が55.9%と最も多く、次いで「配偶者」が18.4%、知的障害者では「親」が47.3%と最も多くなっています。



問6-1で「主な介助者はいない」以外を選んだ回答者

問7 主な介助者の健康状態についてうかがいます。[複数回答]

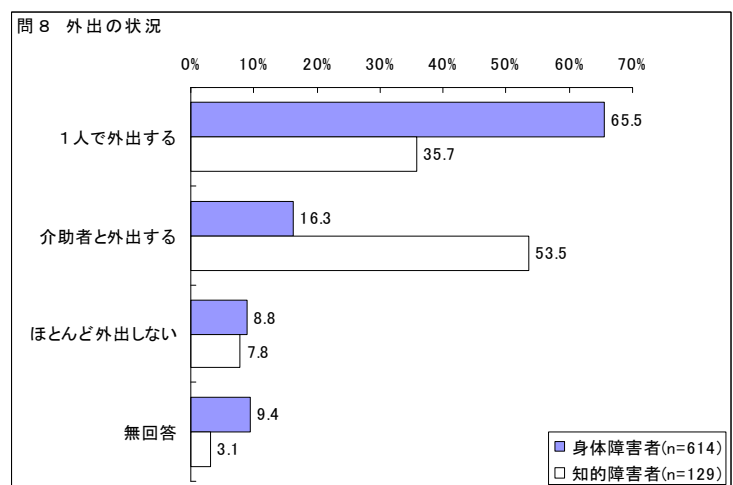
主な介助者の健康状態についてみると、身体障害者では「健康」が36.5%と最も多く、次いで「腰痛、肩こり」が27.8%となっています。また、知的障害者では「精神的に疲れる」が37.9%と最も多く、次いで「健康」と「身体的に疲れる」がともに36.8%となっています。



2 日常生活について

問8 買い物、趣味、遊び、散歩などで家から外出されますか (通学、通院、通勤、施設に通うことは除きます)。[単数回答]

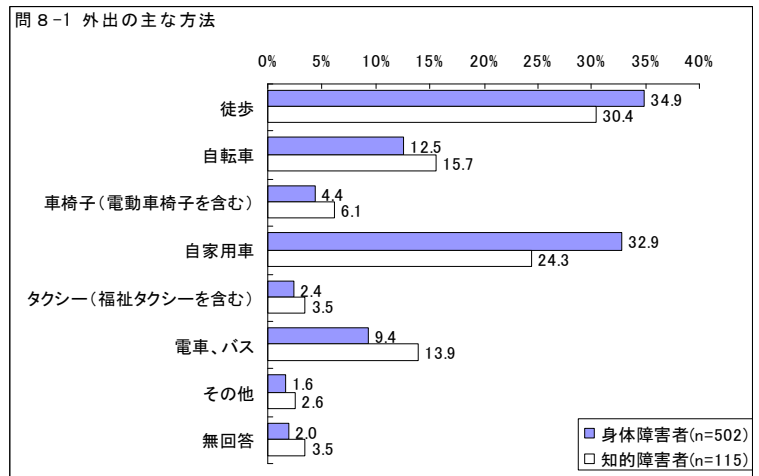
外出状況についてみると、身体障害者では「1人で外出する」が65.5%、知的障害者では「介助者と外出する」が53.5%と最も多くなっています。



問8で 「1人で外出する」、「介助者と外出する」を選んだ回答者

問8-1 外出する主な方法は何ですか。[単数回答]

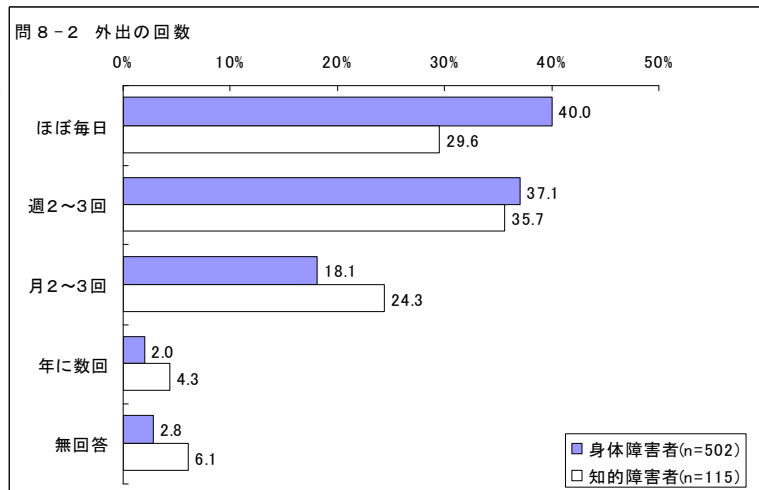
外出する主な方法についてみると、身体障害者では「徒歩」が34.9%と最も多く、次いで「自家用車」が32.9%となっています。また、知的障害者でも「徒歩」が30.4%と最も多く、次いで「自家用車」が24.3%となっています。



問8で 「1人で外出する」、「介助者と外出する」を選んだ回答者

問8-2 外出の回数ほどのくらいですか。[単数回答]

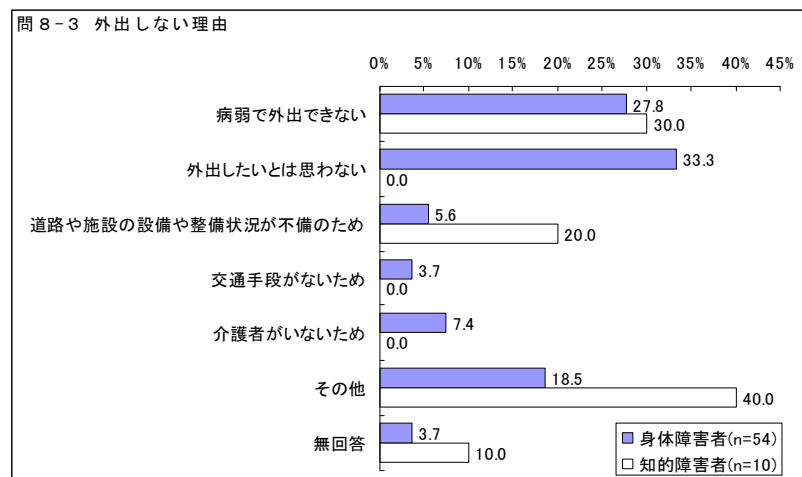
外出の回数についてみると、身体障害者では「ほぼ毎日」が40%、知的障害者では「週2～3回」が35.7%と最も多くなっています。



問8で「ほとんど外出しない」を選んだ回答者

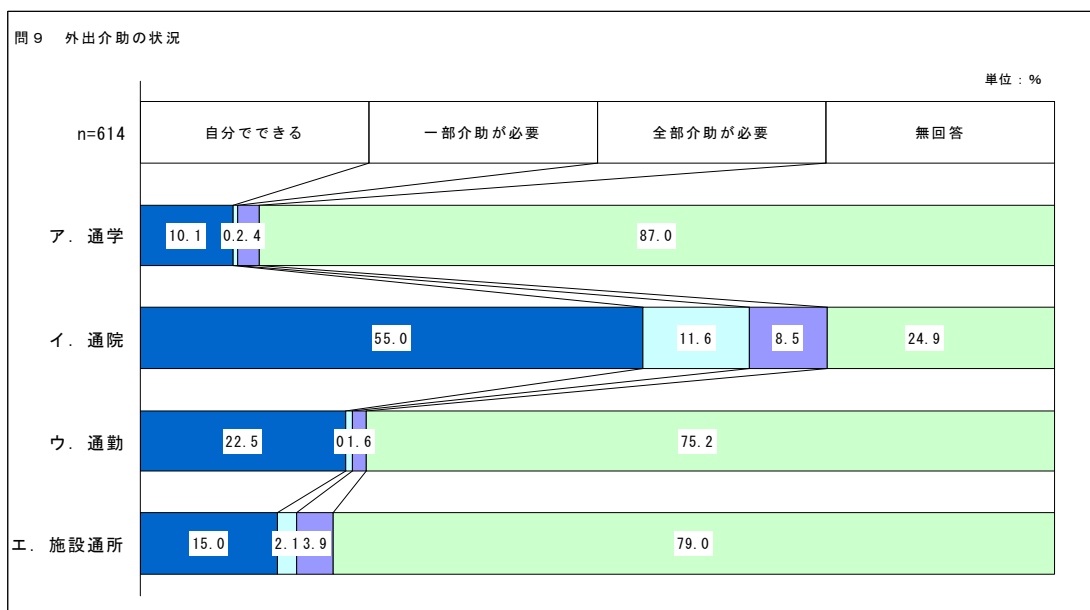
問8-3 外出しない理由は何ですか。[単数回答]

外出しない理由についてみると、身体障害者では「外出したいとは思わない」が33.3%と最も多く、次いで「病弱で外出できない」が27.8%、知的障害者では「その他」が40%と最も多く、次いで「病弱で外出できない」が30%となっています。



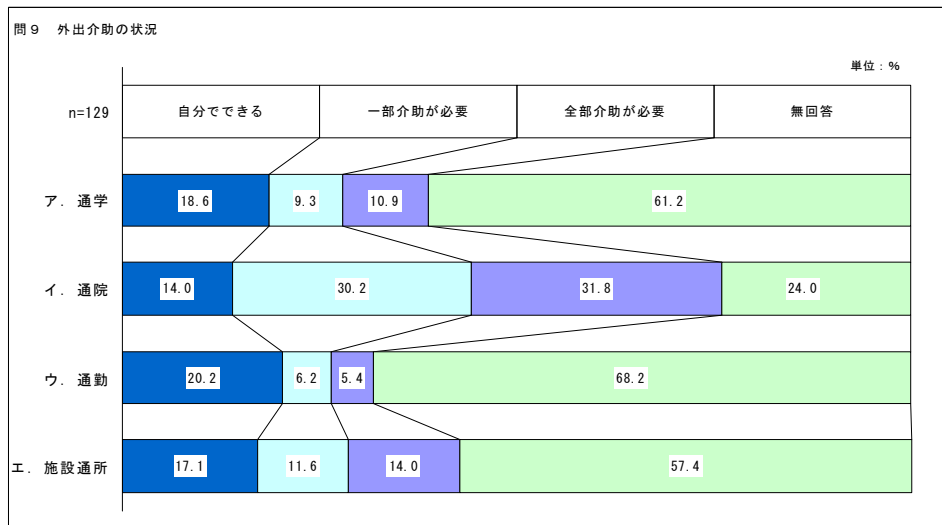
問9 次のア～エまでの外出は、介助が必要ですか。「自分でできる」か「一部介助が必要」を選んだ場合は、その主な交通手段と外出の回数もお答えください。
[単数回答]

(1) 外出の状況 <身体障害者>



外出時の介助の状況についてみると、身体障害者では『通院』で、「自分でできる」が5割台半ばとなっています。

(1) 外出の状況 <知的障害者>

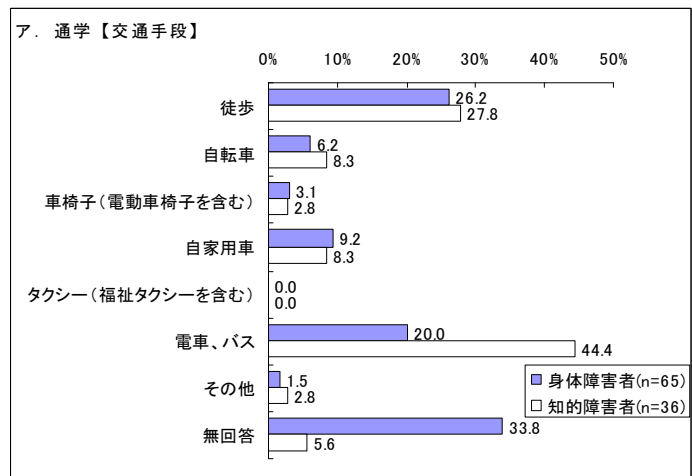


外出時の介助の状況についてみると、知的障害者では『通院』で、「一部介助が必要」、「全部介助が必要」が多くなっています。

ア：通学

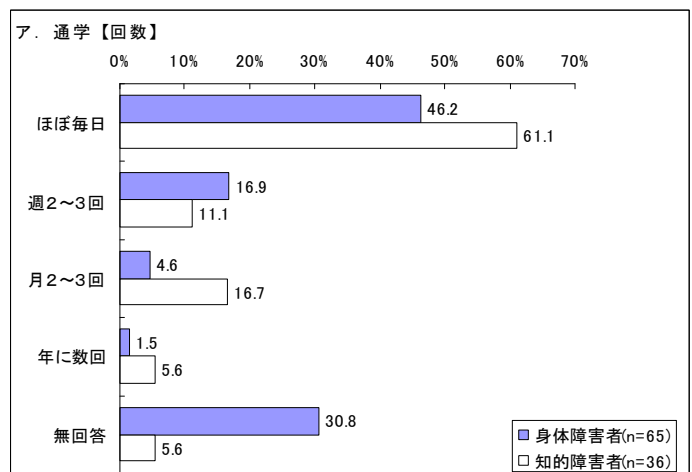
(2) 【交通手段】

通学の交通手段についてみると、身体障害者では「無回答」が33.8%と最も多く、次いで「徒歩」が26.2%となっています。知的障害者では、「電車、バス」が44.4%と最も多くなっています。



(3) 【回数】

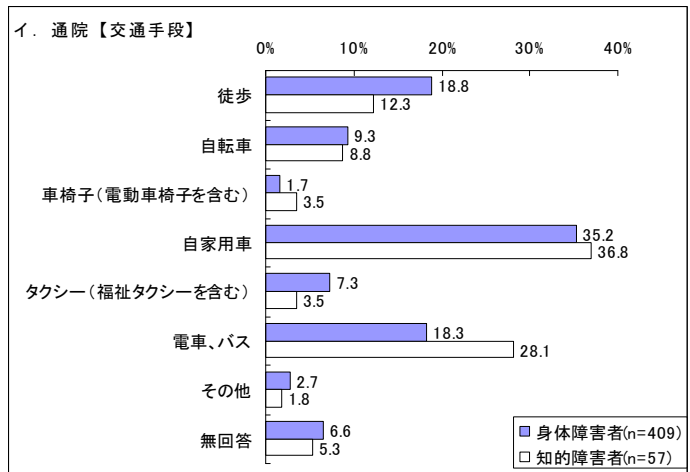
通学の回数についてみると、身体障害者では「ほぼ毎日」が46.2%と最も多くなっています。知的障害者も同様、「ほぼ毎日」が61.1%と最も多くなっています。



イ：通院

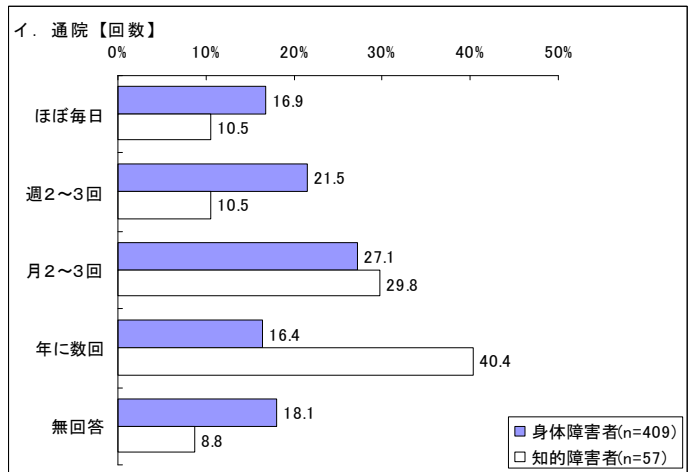
(2) 【交通手段】

通院の交通手段についてみると、身体障害者では「自家用車」が35.2%と最も多く、次いで「徒歩」が18.8%となっています。知的障害者も同様、「自家用車」が36.8%と最も多く、次いで「電車、バス」が28.1%となっています。



(3) 【回数】

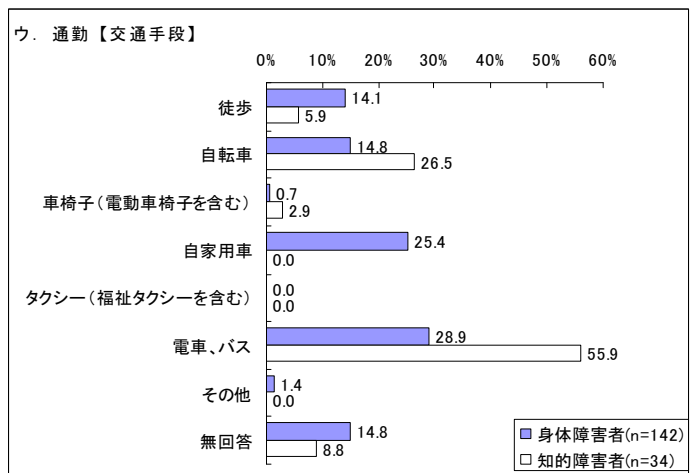
通院の回数についてみると、身体障害者では「月2～3回」が27.1%と最も多く、次いで「週2～3回」が21.5%となっています。知的障害者では、「年に数回」が40.4%と最も多く、次いで「月2～3回」が29.8%となっています。



ウ：通勤

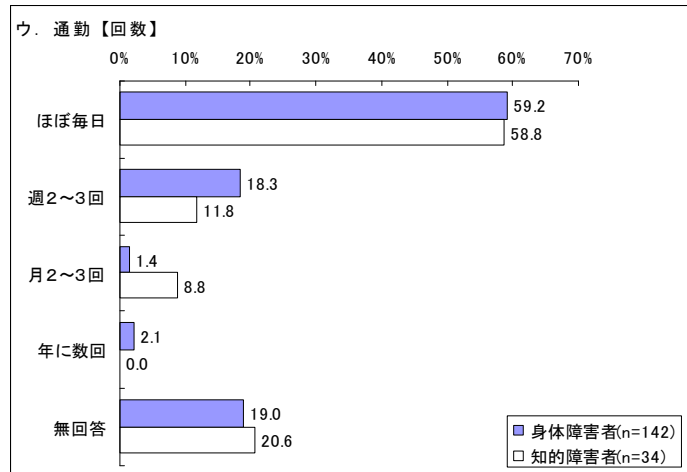
(2) 【交通手段】

通勤の交通手段についてみると、身体障害者では「電車、バス」が28.9%と最も多く、次いで「自家用車」が25.4%となっています。また、知的障害者では「電車、バス」が55.9%と最も多く、次いで「自転車」が26.5%となっています。



(3) 【回数】

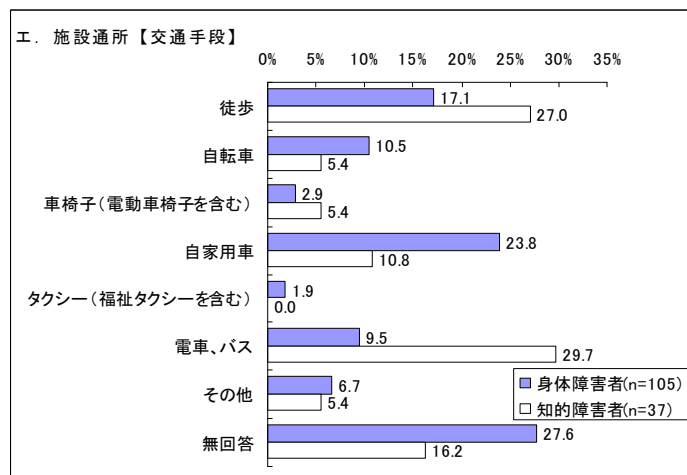
通勤の回数についてみると、身体障害者では「ほぼ毎日」が59.2%と最も多く、次いで「無回答」が19.0%となっています。知的障害者も同様、「ほぼ毎日」が58.8%と最も多く、次いで「無回答」が20.6%となっています。



工：施設通所

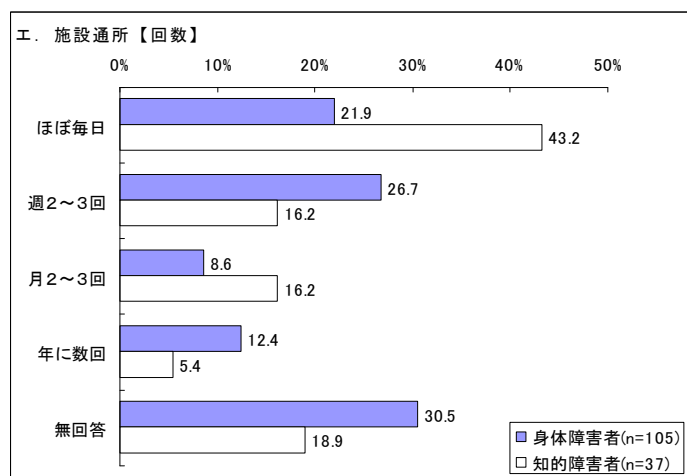
(2) 【交通手段】

施設通所の交通手段についてみると、身体障害者では「無回答」が27.6%と最も多く、次いで「自家用車」が23.8%となっています。また、知的障害者では「電車、バス」が29.7%と最も多く、次いで「徒歩」が27%となっています。



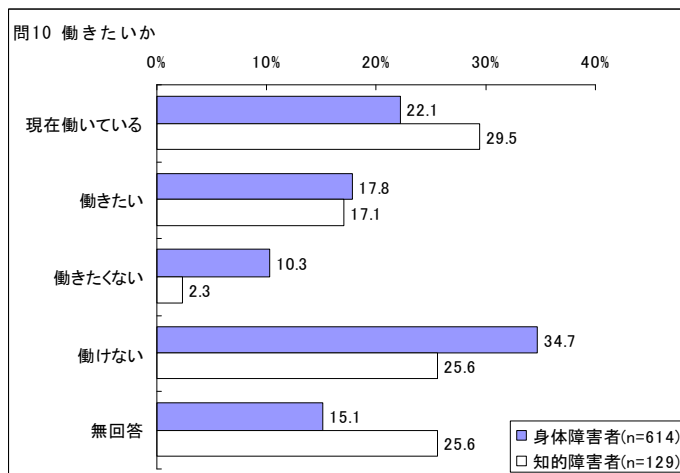
(3) 【回数】

施設通所の回数についてみると、身体障害者では「無回答」が30.5%と最も多く、次いで「週2~3回」が26.7%となっています。また、知的障害者では「ほぼ毎日」が43.2%と最も多く、次いで「無回答」が18.9%となっています。



問 10 あなたは、適当な仕事があれば働きたいと思いますか。[単数回答]

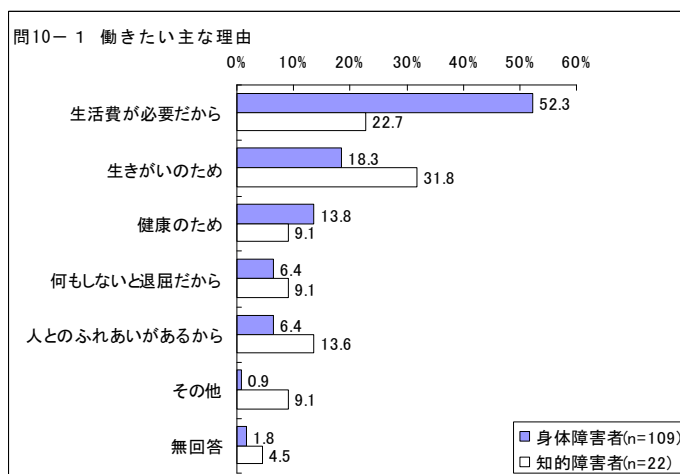
適当な仕事があれば働きたいと思うかについてみると、身体障害者では「働けない」が34.7%と最も多く、次いで「現在働いている」が22.1%となっています。また、知的障害者では「現在働いている」が29.5%と最も多く、次いで「働けない」が25.6%となっています。



問 10 で 「働きたい」を選んだ回答者

問 10-1 「働きたい」と答えた方にうかがいます。その主な理由は何ですか。[単数回答]

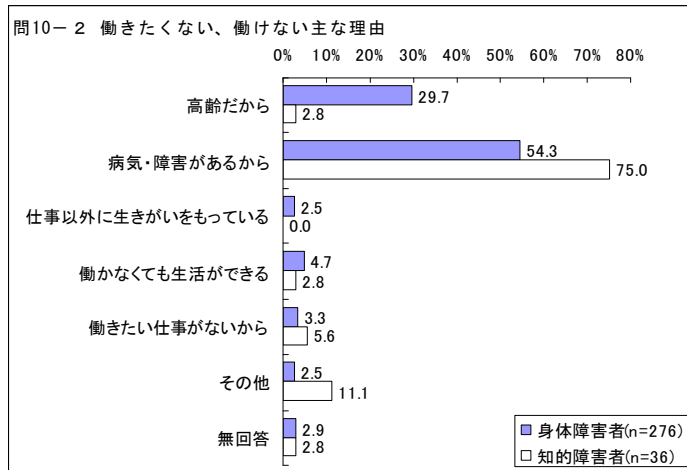
主な理由についてみると、身体障害者では「生活費が必要だから」が52.3%と最も多く、次いで「生きがいのため」が18.3%となっています。また、知的障害者では「生きがいのため」が31.8%と最も多く、次いで「生活費が必要だから」が22.7%となっています。



問 10 で 「働きたくない」、「働けない」を選んだ回答者

問 10-2 「働きたくない、働けない」と答えた方にうかがいます。その主な理由は何ですか。[単数回答]

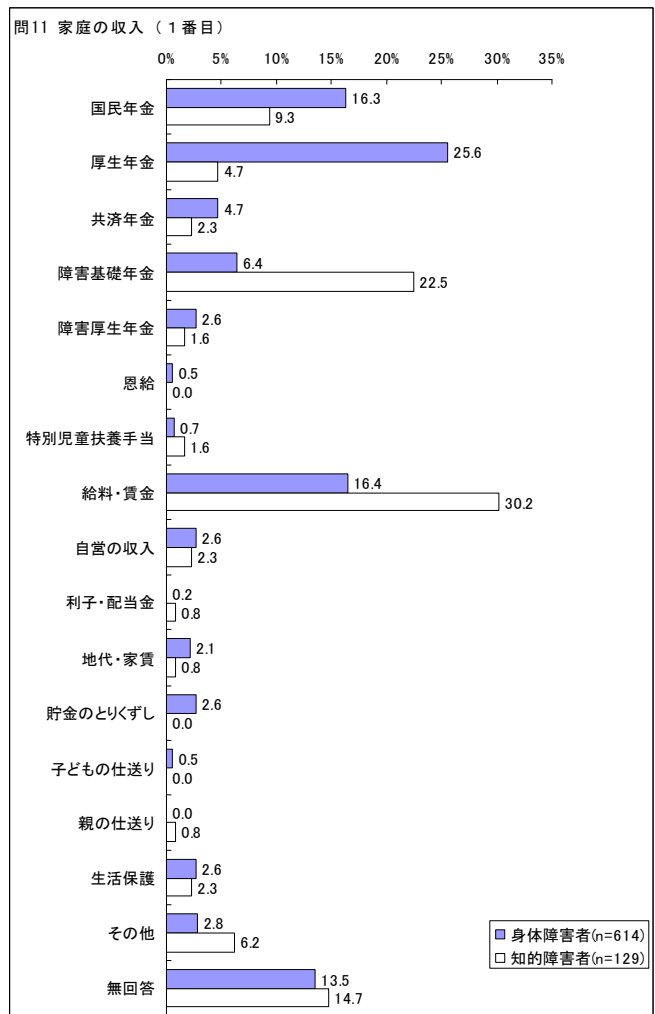
主な理由についてみると、身体障害者では「病気・障害があるから」が54.3%と最も多く、次いで「高齢だから」が29.7%となっています。また、知的障害者では「病気・障害があるから」が75%と最も多くなっています。



問 11 あなたの家庭の収入は次のうちどれですか。[金額の多い順に3つ以内]

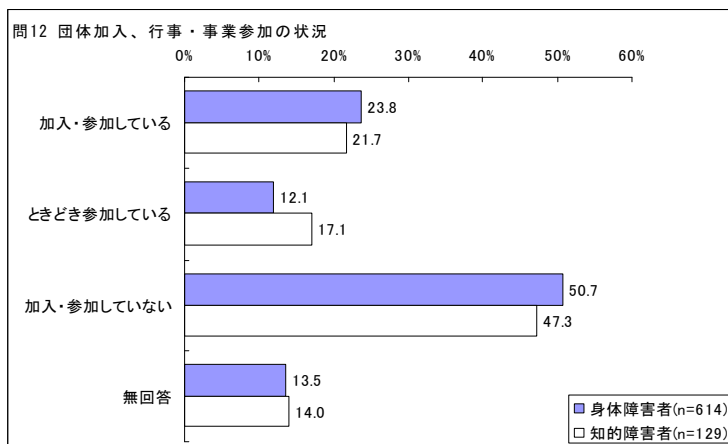
最も収入額の多いものでみると、身体障害者では「厚生年金」が25.6%で最も多く、次いで「給料・賃金」が16.4%となっています。

知的障害者では、「給料・賃金」が30.2%で最も多く、次いで「障害基礎年金」が22.5%となっています。



問 12 あなたは、地域や各種の団体に加入したり、団体が行う行事や事業に参加したりしていますか。[単数回答]

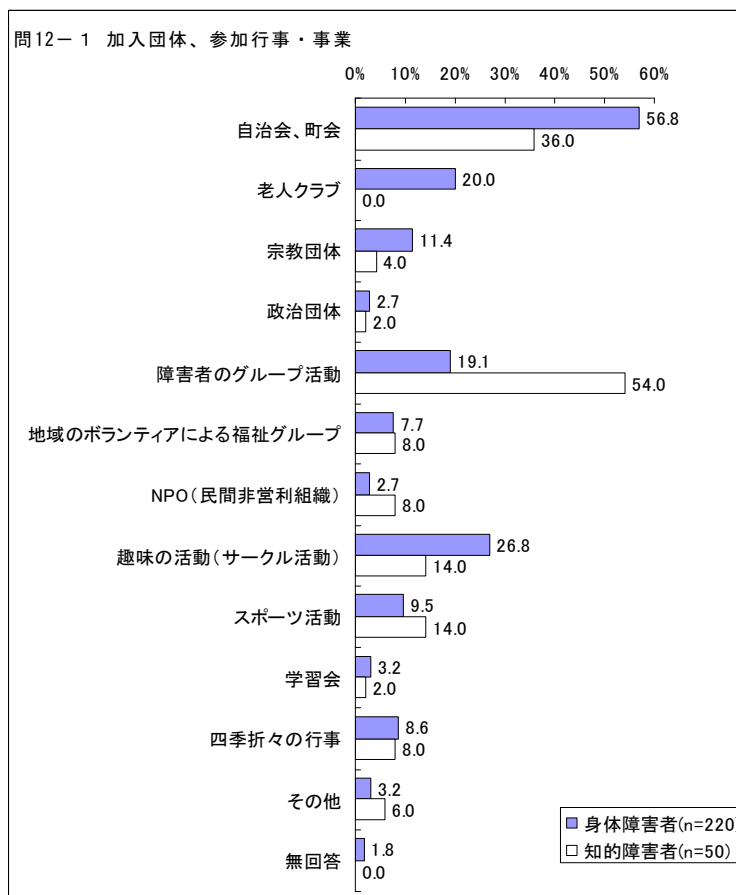
地域や各種の団体に加入したり、参加したりしているかについてみると、身体、知的障害者ともに「加入・参加していない」が最も多く、それぞれ 50.7% (身体)、47.3% (知的) となっています。



問 12で 「加入・参加している」、「ときどき参加している」を選んだ回答者

問 12-1 「加入・参加している、ときどき参加している」と答えた方にうかがいます。それは何ですか。[複数回答]

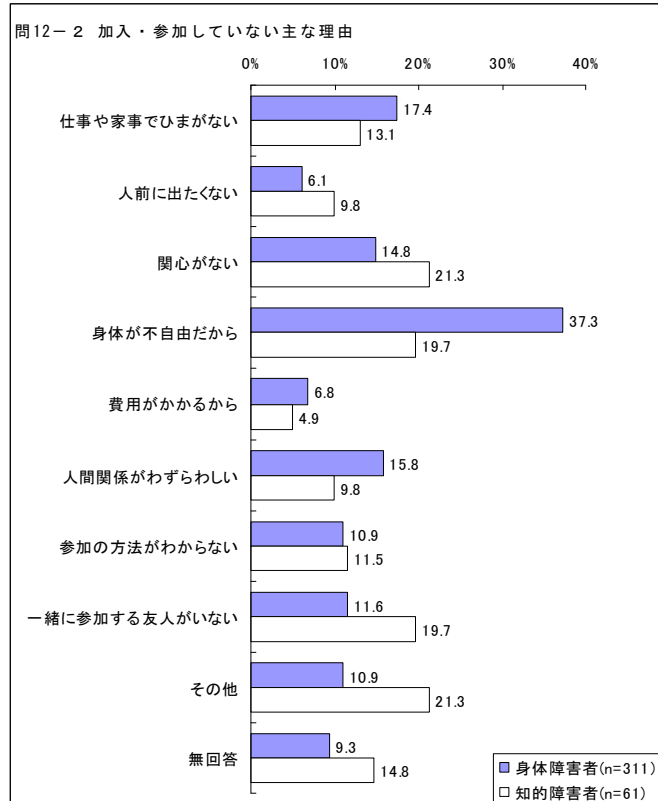
「加入・参加している、ときどき参加している」のは何かについてみると、身体障害者では「自治会、町会」が 56.8% と最も多く、次いで「趣味の活動（サークル活動）」が 26.8% となっています。また、知的障害者では「障害者のグループ活動」が 54% と最も多く、次いで「自治会、町会」が 36% となっています。



問 12で 「加入・参加していない」を選んだ回答者

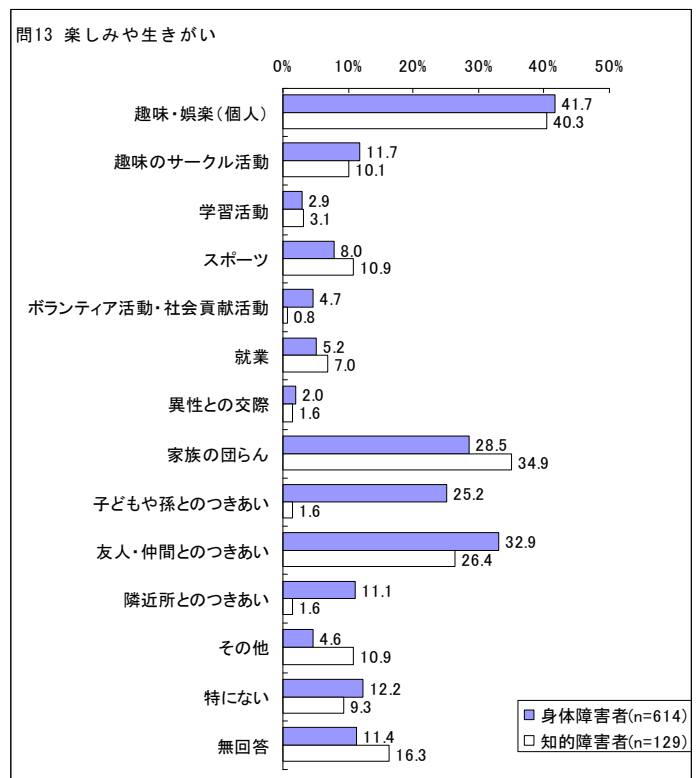
問 12-2 「加入・参加していない」主な理由は何ですか。[複数回答]

主な理由についてみると、身体障害者では「身体が不自由だから」が37.3%と最も多く、次いで「仕事や家事でひまがない」が17.4%となっています。また、知的障害者では「関心がない」と「その他」がともに21.3%と最も多くなっています。



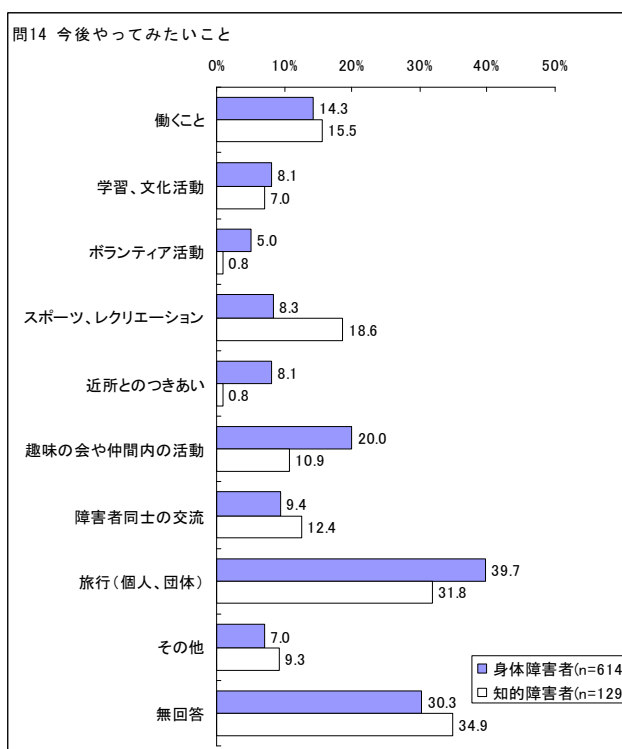
問 13 あなたの楽しみや生きがいは何ですか。[複数回答]

楽しみや生きがいについてみると、身体障害者では「趣味・娯楽（個人）」が41.7%と最も多く、次いで「友人・仲間とのつきあい」が32.9%となっています。また、知的障害者では「趣味・娯楽（個人）」が40.3%と最も多く、次いで「家族の団らん」が34.9%となっています。



問 14 あなたが今後やってみたいことはどんなことですか。[複数回答]

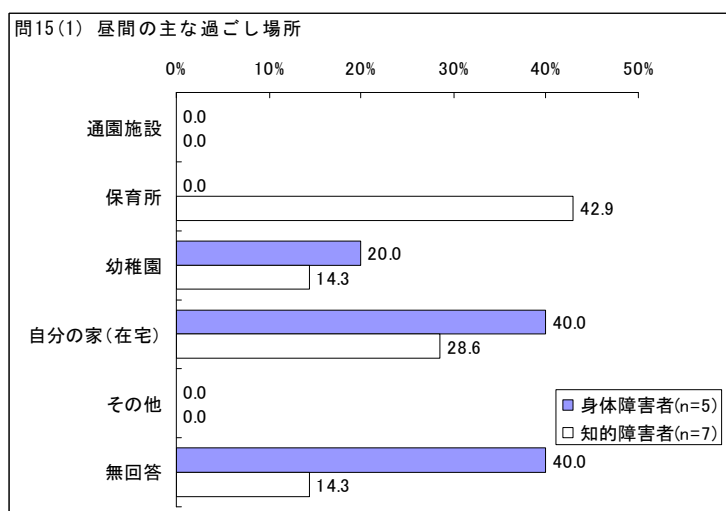
今後やってみたいことについてみると、身体障害者では「旅行（個人、団体）」が 39.7%と最も多く、次いで「趣味の会や仲間内の活動」が 20%となっています。また、知的障害者では「無回答」が 34.9%と最も多く、次いで「旅行（個人、団体）」が 31.8%となっています。



問 15 あなたは昼間、主にどこで過ごしていますか。[単数回答]

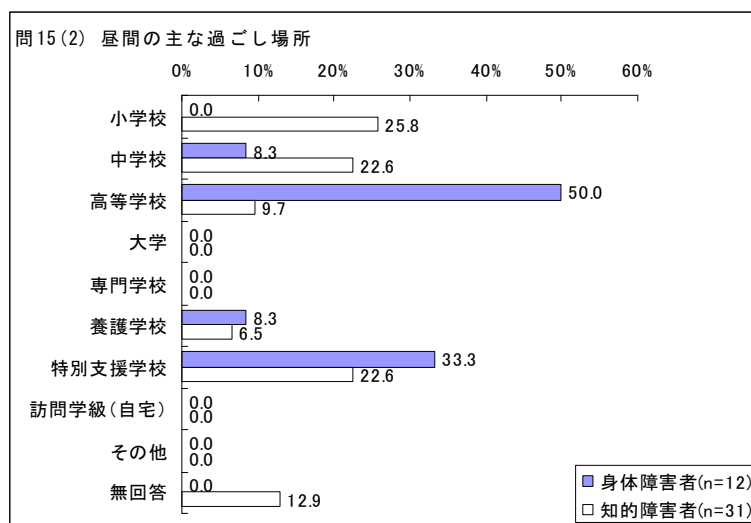
(1) 未就学の方（学校へ入学前の方）

未就学の方において、昼間、主にどこで過ごしているかについてみると、身体障害者では「自分の家（在宅）」と「無回答」がともに 40%と最も多く、知的障害者では「保育所」が 42.9%と最も多くなっています。



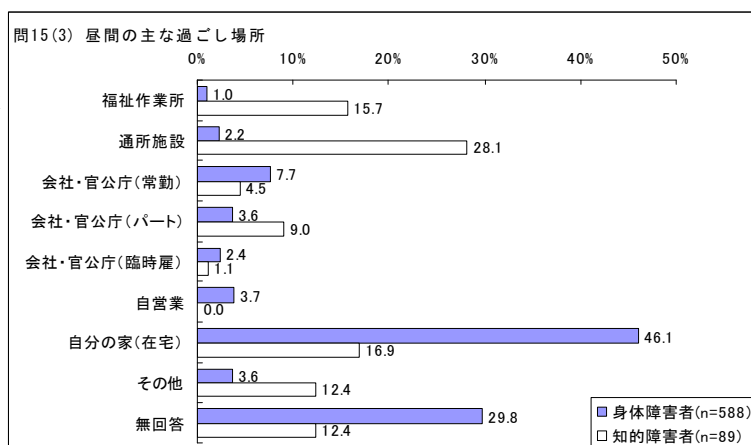
(2) 学校で学んでいる方

学校で学んでいる方において、昼間、主にどこで過ごしているかについてみると、身体障害者では「高等学校」が50%、知的障害者では「小学校」が25.8%と、最も多くなっています。



(3) 成人の方

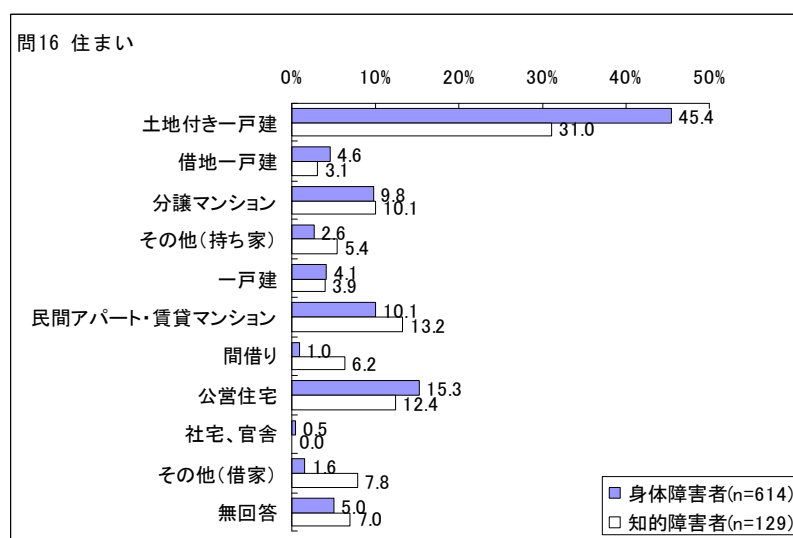
成人の方において、昼間、主にどこで過ごしているかについてみると、身体障害者では「自分の家(在宅)」が46.1%と最も多く、次いで「無回答」が29.8%となっています。また、知的障害者では「通所施設」が28.1%と最も多く、次いで「自分の家(在宅)」が16.9%となっています。



3 現在のお住まいについて

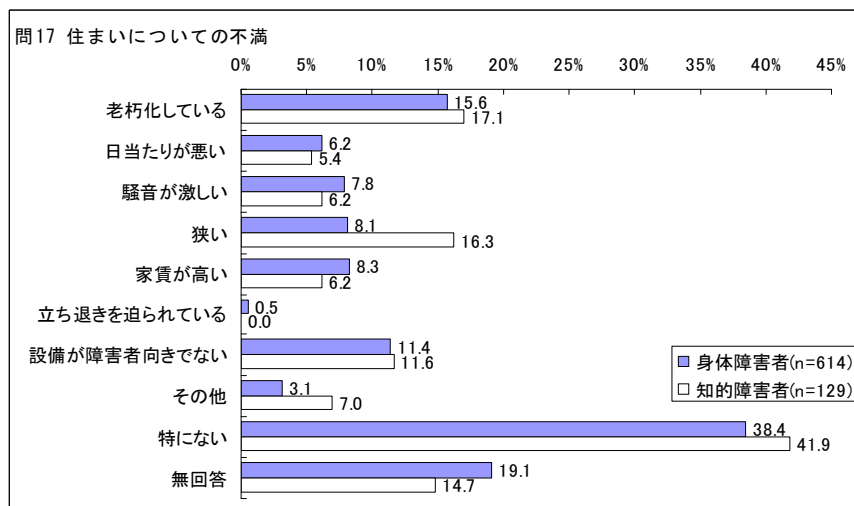
問16 お住まいは次のどれですか。[単数回答]

住まいについてみると、身体障害者では「土地付き一戸建」が45.4%と最も多く、次いで「公営住宅」が15.3%となっています。また、知的障害者では「土地付き一戸建」が31%と最も多く、次いで「民間アパート・賃貸マンション」が13.2%となっています。



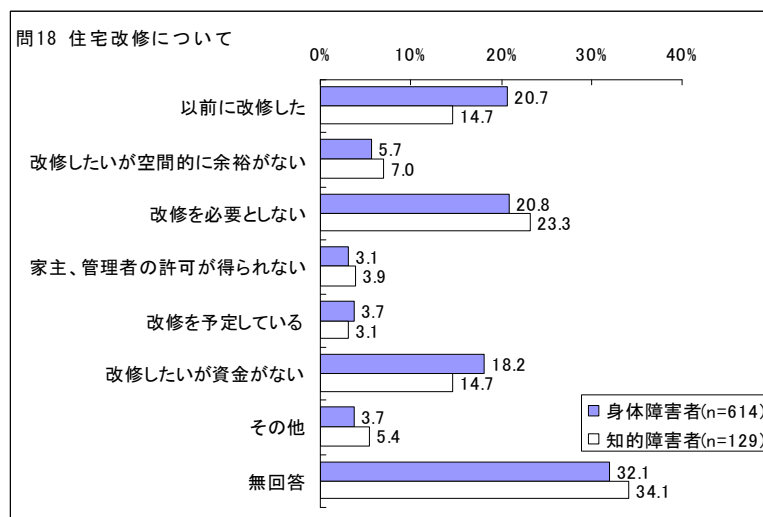
問17 現在、お住まいで困っていることは何ですか。[複数回答]

困っていることについてみると、身体障害者では「特にない」が38.4%と最も多く、次いで「無回答」が19.1%となっています。また、知的障害者では「特にない」が41.9%と最も多く、次いで「老朽化している」が17.1%となっています。



問 18 「玄関、居室、風呂場、トイレ、台所」などの住宅の改修についてうかがいます。[複数回答]

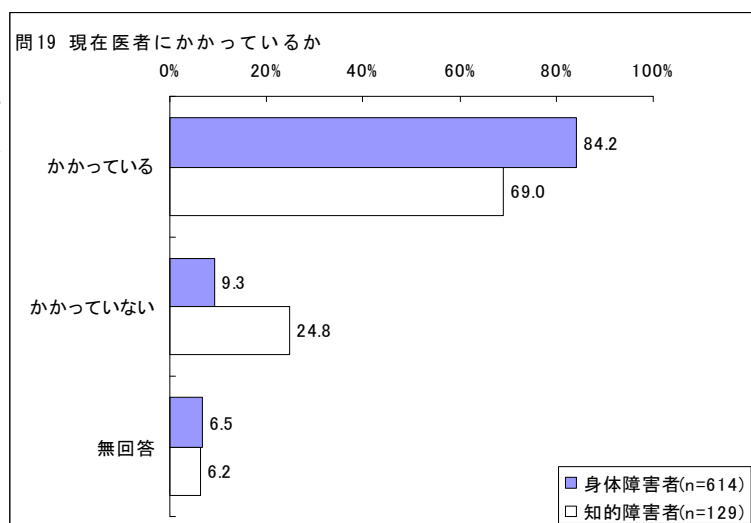
住宅の改修についてみると、身体障害者では「無回答」が32.1%と最も多く、次いで「改修を必要としない」が20.8%となっています。また、知的障害者では「無回答」が34.1%と最も多く、次いで「改修を必要としない」が23.3%となっています。



4 健康状態について

問 19 あなたは、現在お医者さんにかかっていますか。[単数回答]

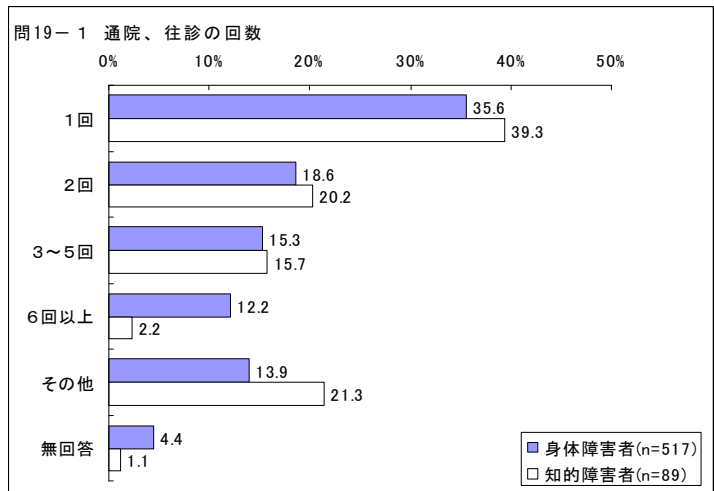
現在お医者さんにかかっているかについてみると、身体、知的障害者ともに「かかっている」が最も多く、それぞれ84.2%（身体）、69%（知的）となっています。



問 19 で 「かかっている」を選んだ回答者

問 19-1 1か月の通院または往診の回数ほどのくらいですか。[単数回答]

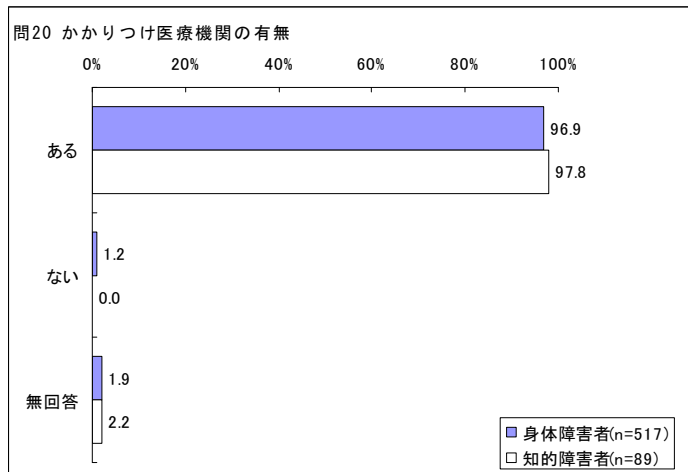
通院または往診の回数についてみると、身体障害者では「1回」が35.6%と最も多く、次いで「2回」が18.6%となっています。知的障害者も同様、「1回」が39.3%と最も多く、次いで「その他」が21.3%となっています。



問 19 で 「かかっている」を選んだ回答者

問 20 あなたは、かかりつけの医療機関（診療所・医院・病院）がありますか。[単数回答]

かかりつけの医療機関があるかについてみると、身体、知的障害者ともに「ある」が最も多く、それぞれ96.9%（身体）、97.8%（知的）となっています。



問 21 医療について（歯科も含め）困ったことや要望がありましたらお聞かせください。（具体的に記入してください）[自由記入]

内容	身体障害	知的障害
「かかりつけ」の意味がよくわからない。ふだん「ひんぱん」に胃薬をもらっているクリニックはあります。	○	-
医療費が高くて少しのことではがまんしてしまう。安く、または無料になればと願っている。	-	○

往診可能な開業医が少ない。	○	-
近くに歯科医がない。	○	-
目の手術を受けましたが、だめで二度手術をされたが、6年たっても治らず、ドライアイになってほかの病院に行ってる。よい病院を紹介してほしい。	○	-
医療費が高い。	○	-
薬代が大きな負担になっている。	○	-
ピッタリ合った入れ歯が作れない。作った歯医者さんに言ったら難しいと言われました。歯医者さんもたくさんあって、どこが良いのかわからない。	○	-
かかりつけ病院が遠い（三鷹市）。	○	-
知的障害児（者）が病気になった場合、暴れたりするので受け入れ先がないのが困ります。	○	○
自閉症でも対応できる市内の歯科医等がどこにあるのか教えてほしい。自閉症（てんかん）で手帳を交付されてから、定期的に診察・検査・薬の投与もあります。その他の病気も気を付けていても、やはり意志の疎通がうまくいかず、病気にかかってしまい、自立支援法でこのてんかんの診察以外はすべて3割負担の医療費がかかっています。痛みを自分で表現できず、病気を発見するのが遅れてもいます。他の医療費も1割にしてほしい。	-	○
主治医が日の出町なので、リハビリは福生市で受けられずで、リハビリを日の出町まで通っている。	○	-
市内に高度医療施設が欲しい。	○	-
愛の手帳3度ですが、医療費が高いので心配です。2度は安いのでしょうか。	○	○
病院の診療費や薬代が高すぎて困る（気軽に病院へかかれたい）。	○	-
病院へかかりたいが、行く時間がとれない（日中、一緒に行ける人がいない）。	-	○
歯科等は近所にある歯科へ行けない。治療に時間がかかりすぎる。予約が1～2か月に1回の割合になる。	-	○
今はひとりで都内の病院に行くことができるが、今後ひとりで行けなくなった時、近くの病院にしなくてはならなくなったならどこに決める？病院がない。	○	-
歯科の治療をしたいのですが、歩行困難のために交通費がかかるので困っています。	○	-
障害者に少し理解が足りない。嫌がる医者もいる。	-	○
「障」所得制限を解除してもらいたい。	○	-

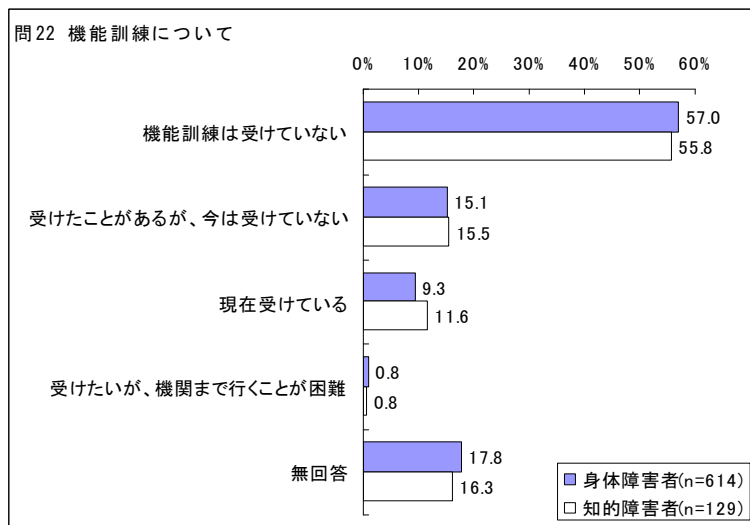
近所の病院にかかりたくても断られることもある。理由は障害や持病もあるが、自閉傾向も強く、大声をあげることも原因のようです。病気も特性も理解してくれる地域のかかりつけ医を見つけるまでは大変でした。	○	○
高齢のため、先生は親身に応じてくれない。もう高齢だから「仕方ない」ということがあるようにも見える。「これはダメ、こうしたらどうか」など、具体的に助言してほしい。	○	-
かかりつけの医療機関が遠い。複数の科にかかっているのに、1つの病院が良いが、通うのが大変。近隣の病院（福生病院）に事情は話してあるが、病気が特殊なため、なかなか対応（専門の先生がいなかったり）が難しいと言われた。近くにもいけば緊急時本当に助かる。	○	-
専門の医療機関（大学病院）に通院しているので、電車での通院が大変。	○	○
緊急時、対応をスムーズにしてほしい。	-	○
交通手段。電動車いす→電車→タクシーなので。	○	-
現在、東京小児療育病院で月に1回程度のリハビリを行っているが、高校生になったため、月～金しかリハビリができないため、通院は長い休み（夏・冬・春）でないと難しい。近所の病院でも同様のリハビリが午後7時くらいから土日に行えると、機能不全に役立つと考えている。	○	-
最近医療が必要となった場合、紹介状がないと受診できない。紹介状があっても、内容により受診が無理な場合があるとか。私の母は、デイサービス等受けられないため、介護度1のままで入院し、病院にて3か月にもなりますが、無理に役所で見通しの日を得ていただくことになりましたが、新しい介護度が出るまで、約1か月、どうしてよいのかひとり頭を痛めています。	○	-
信用のできる医者がない。	○	-
医療費が高い。	○	-
車いすのまま治療してもらえる歯科があるといいです。	○	-
仕事が見つからず、体調悪くても歯医者や病院に行けません。死ぬことも考えました。	○	-
無職で診療費がかさむ。	○	-
市内の歯科にかかっているが、バリアフリーではないので困る。	○	-
障害に関する精神的な相談をしてくれる医療機関が知りたい（介護者のケアを含め）。	-	○
ドアの開閉を軽く、開閉ができやすいようなものにしてほしい。	○	-
待ち時間が長い（病院での）。薬の代金が高い。	○	-

医療費が高い(13,000円/月以上)。	○	-
病院に自家発電がないので、停電になると透析にもものすごく影響が出て、大変困ります。医療機関は基本、(計画)停電から除外すべきだと思いますがいかがでしょうか。	○	-
難病が2つ(合併症)になり、大腿骨頭壊死については「人工関節置換術」をしたために医療券が取り消された。いずれ「交換」するので医療費が必要です。	○	-
知的障害者でも気兼ねなく通院できるところがない。	-	○
本人を連れていかないと薬をくれないこと！連れていっても見もしないくせに。	○	-
(障害の特性上)呼ばれても聞こえない。初めて行く医療機関は付き添いが必要。	○	-
歯科の診察台への乗り移りが大変。	○	-
歯科は長くかかりすぎ、お金が高すぎる。	○	-
ペースメーカーが体内に入っておりますので、医療機関で使用する器具が障害をおこさないかと心配なときが多くあります。	○	-
病院で長時間待つのが困難である。	○	-
夜間透析をやっている病院を増やしてほしい。	○	-
靴からスリッパに履き替えるのが困る。	○	-
病院によっては親切なところもありますが、私は難聴のため、アナウンスなどで名前を呼ばれることだけは不便に感じる人が多いです(呼ぶ時は直接来て下さいとお願いしても、忘れられることがあるので困る)。目で見えてわかるようにしてほしい。	○	-
障害年金受給のための、都から要求される障害の診断書発行の手数料が高額で困っている。	○	-
福生市には緊急手術(例えば心筋梗塞など)ができるような大病院がない。	○	-
眼科、耳鼻科、家庭医が少ないような気がします。	○	-
福生で主治医をもちたいのですが、特殊な病気のため、医師が見つからない。詳しい診療の病院が探せる資料等がほしい。	○	-
何か所かの病院にかかっていますが、今のところ、困ったことも要望もありません。よくしてもらっています。	○	-
車いす利用(ひとりで)でもかかれる病院がない。福生市は歯医者はやダメです(バリアフリーになっていない)。	○	-
予約して行くが、その時間になっても待たされる(毎回)。	○	-
高齢化したときの在宅医療の充実。	○	-

問 22 あなたは、身体機能低下の防止や維持向上のため機能訓練を受けていますか。

[単数回答]

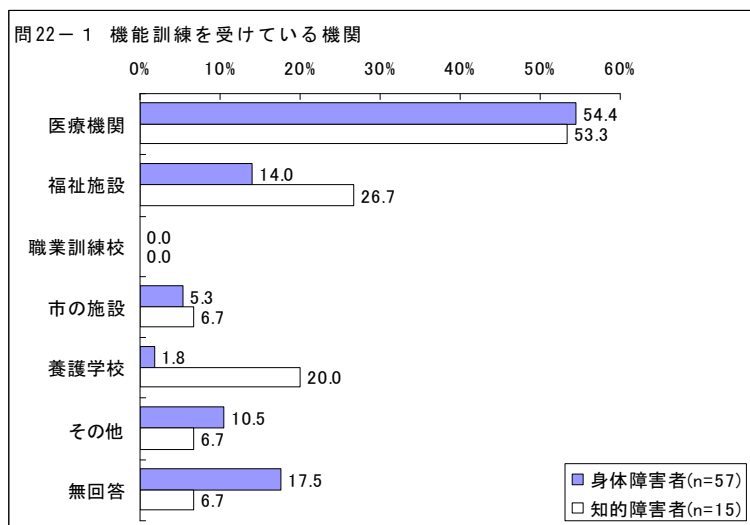
機能訓練を受けているかについてみると、身体、知的障害者ともに「機能訓練は受けていない」が最も多く、それぞれ57%（身体）、55.8%（知的）となっています。



問 22 で 「現在受けている」を選んだ回答者

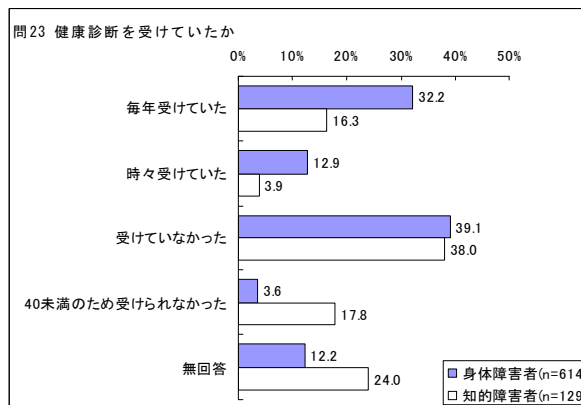
問 22-1 受けている機関はどこですか。[複数回答]

機能訓練を受けている機関についてみると、身体、知的障害者ともに「医療機関」が最も多く、それぞれ54.4%（身体）、53.3%（知的）となっています。



問 23 市で実施している健康診断を受けていましたか。[単数回答]

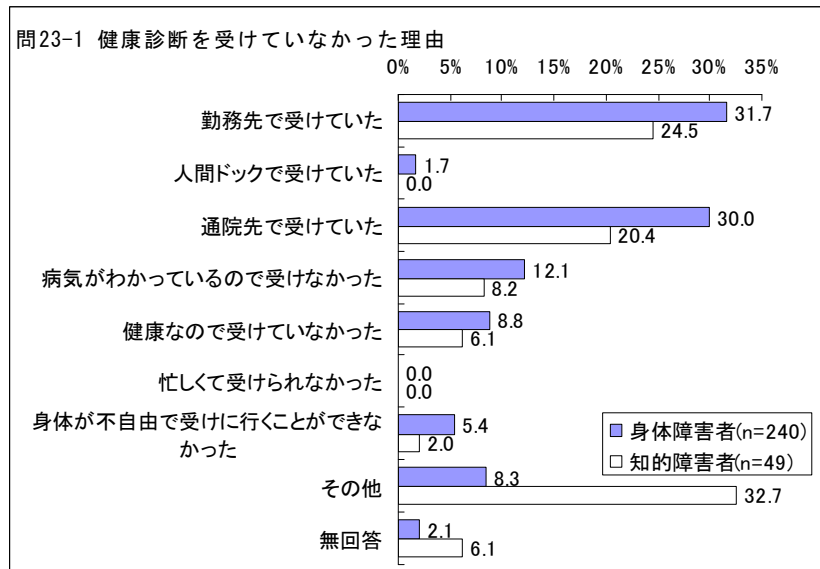
市で実施している健康診断を受けていたかについてみると、身体、知的障害者ともに「受けていなかった」が最も多く、それぞれ39.1%（身体）、38%（知的）となっています。



問 23 で 「受けていなかった」を選んだ回答者

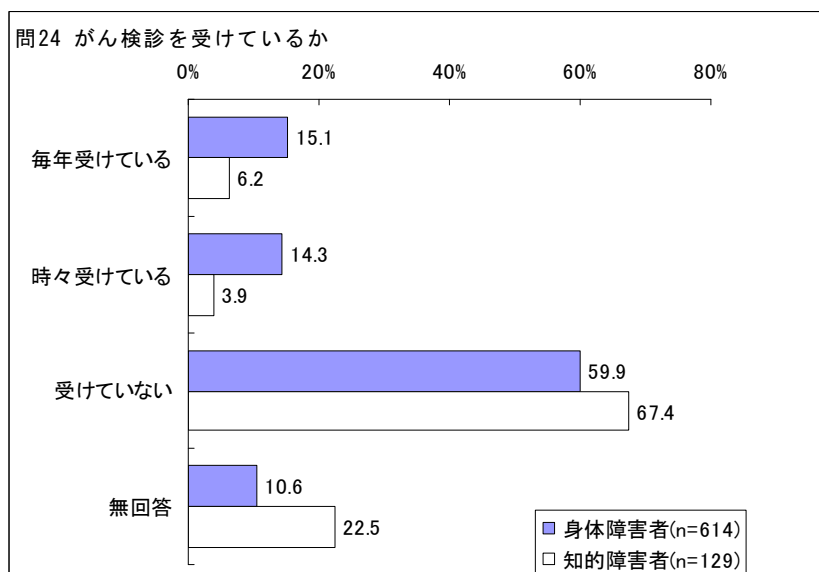
問 23-1 「受けていなかった」主な理由は何ですか。[単数回答]

「受けていなかった」主な理由についてみると、身体障害者では「勤務先で受けていた」が 31.7%と最も多く、次いで「通院先で受けていた」が 30%となっています。また、知的障害者では「その他」が 32.7%と最も多く、次いで「勤務先で受けていた」が 24.5%となっています。「その他」では、「施設入所のため」、「子どもの時から障害なので何となく」などが挙げられています。



問 24 市で実施しているがん検診（大腸・胃・肺・乳・子宮・口腔・前立腺）を受けていますか。[単数回答]

がん検診を受けているかについてみると、身体、知的障害者ともに「受けていない」が最も多く、それぞれ 59.9%（身体）、67.4%（知的）となっています。

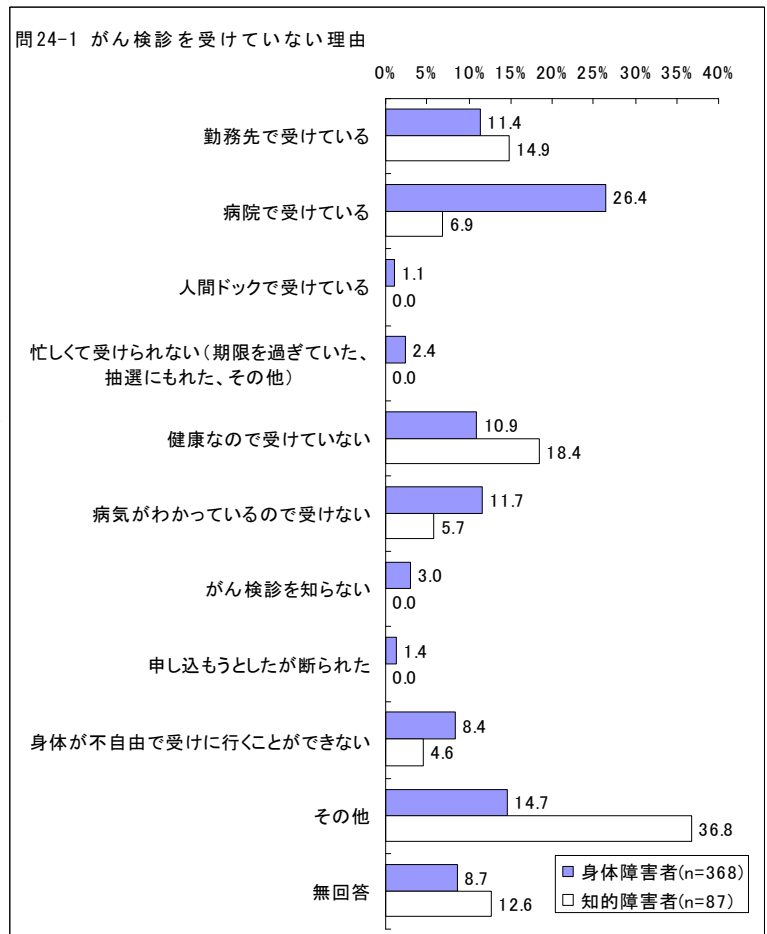


問 24 で 「受けていない」 を選んだ回答者

問 24-1 「受けていない」 主な理由は何ですか。 [単数回答]

「受けていない」 主な理由についてみると、身体障害者では「病院で受けている」が 26.4%と最も多く、次いで「その他」が 14.7%となっています。また、知的障害者では「その他」が 36.8%と最も多く、次いで「健康なので受けていない」が 18.4%となっています。

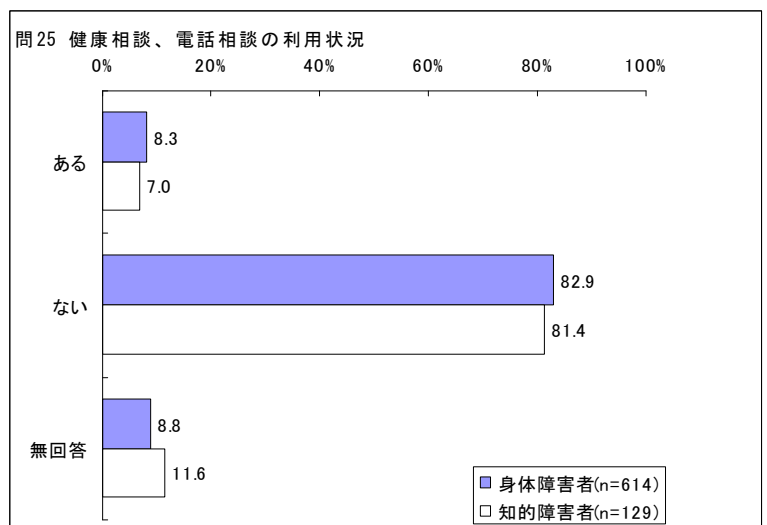
「その他」では、「施設入所のため」、「年齢が達していないから」などが挙げられています。



問 25 市で行っている健康相談、電話相談を利用したことがありますか。

[単数回答]

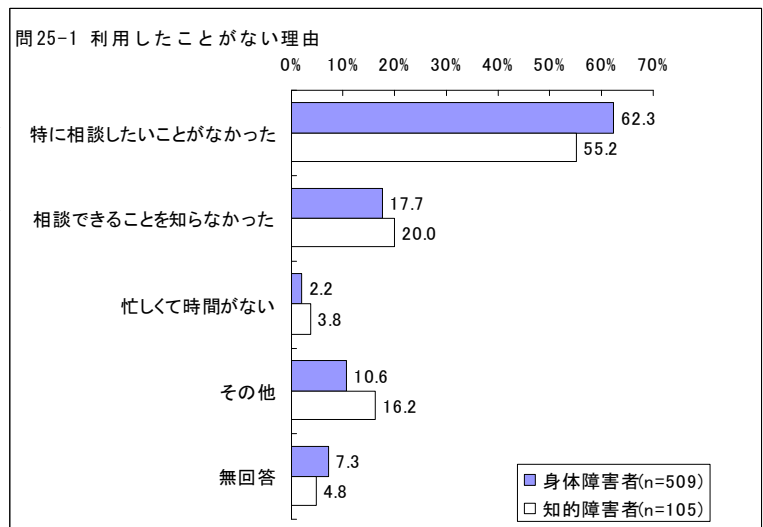
健康相談、電話相談を利用したことがあるかについてみると、身体、知的障害者ともに「ない」が最も多く、それぞれ 82.9% (身体)、81.4% (知的) となっています。



問 25 で 「ない」 を選んだ回答者

問 25-1 健康相談や電話相談を利用したことがないのはなぜですか。[単数回答]

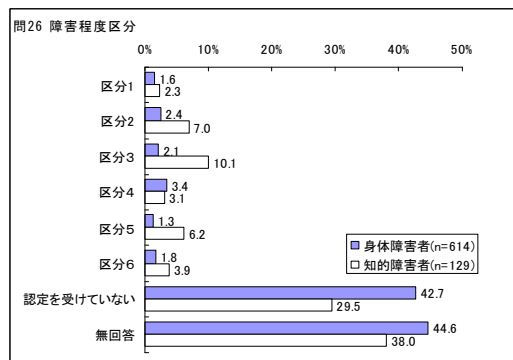
健康相談や電話相談を利用したことがない理由についてみると、身体、知的障害者ともに「特に相談したいことがなかった」が最も多く、それぞれ 62.3%（身体）、55.2%（知的）となっています。



5 障害者福祉サービスについて

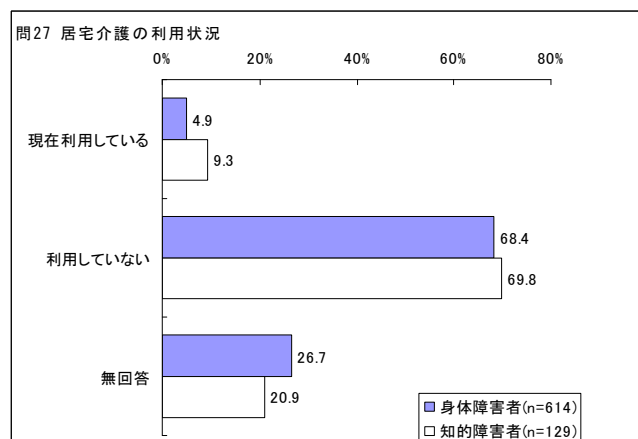
問 26 障害福祉サービスの必要量を定める障害程度区分は次のうちどれですか。[単数回答]

障害程度区分についてみると、身体、知的障害者ともに「無回答」が最も多く、それぞれ 44.6%（身体）、38%（知的）となっています。ともに次いで「認定を受けていない」が多くなっています。



問 27 自宅で、食事、掃除、身の回りの世話などのお手伝いをする居宅介護（ホームヘルプ）の利用状況についてうかがいます。[単数回答]

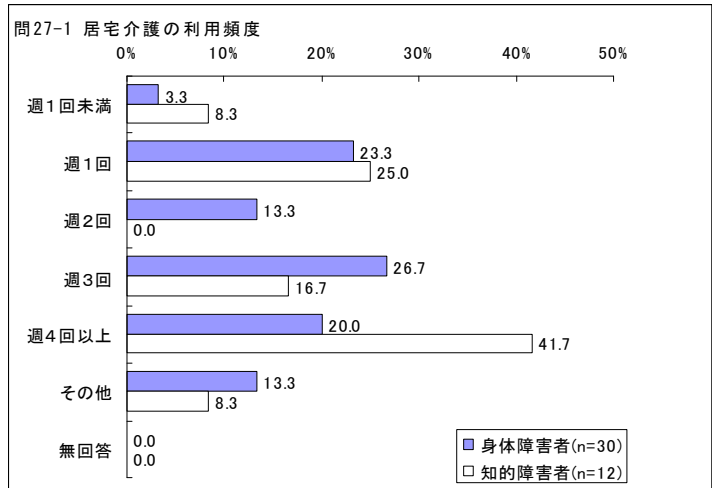
居宅介護（ホームヘルプ）の利用状況についてみると、身体、知的障害者ともに「利用していない」が最も多く、それぞれ 68.4%（身体）、69.8%（知的）となっています。



問 27 で 「現在利用している」を選んだ回答者

問 27-1 どの程度利用していますか。[単数回答]

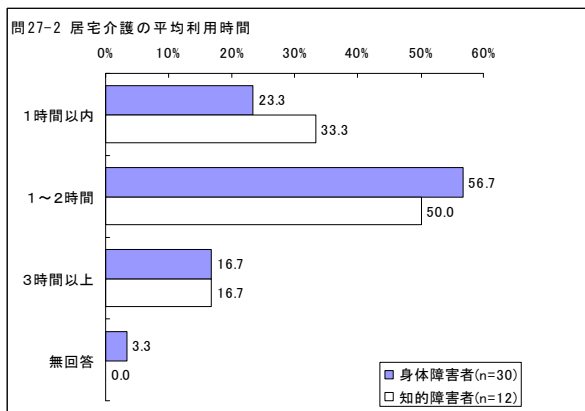
利用頻度についてみると、身体障害者では「週3回」が26.7%と最も多く、知的障害者では「週4回以上」が41.7%と最も多くなっています。



問 27 で 「現在利用している」を選んだ回答者

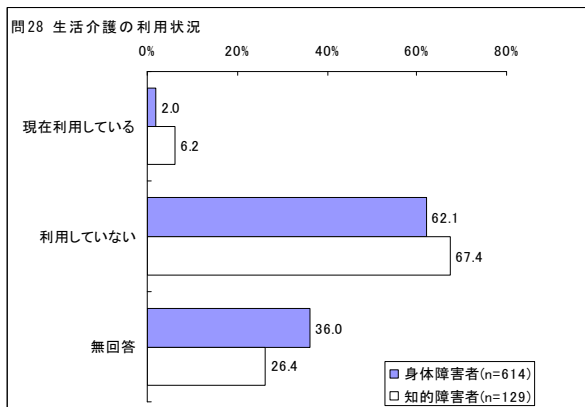
問 27-2 1回あたり平均して何時間程度利用していますか。[単数回答]

1回あたりの利用時間についてみると、身体、知的障害者ともに「1～2時間」が最も多く、それぞれ56.7%（身体）、50%（知的）となっています。



問 28 昼間、入浴、排せつ、食事の世話などのお手伝いをする、生活介護（デイサービス）の利用状況についてうかがいます。[単数回答]

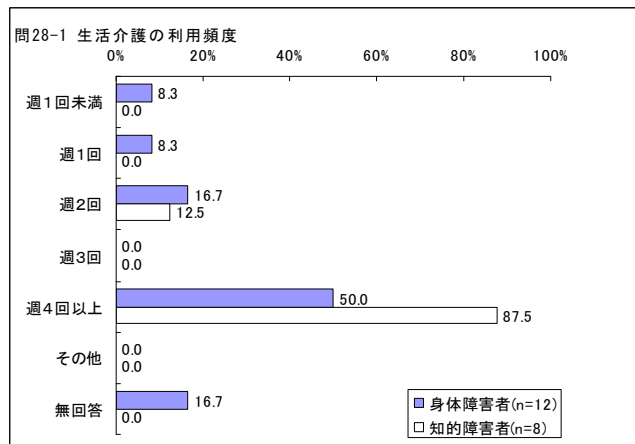
生活介護（デイサービス）の利用状況についてみると、身体、知的障害者ともに「利用していない」が最も多く、それぞれ62.1%（身体）、67.4%（知的）となっています。



問 28 で 「現在利用している」を選んだ回答者

問 28-1 どの程度利用していますか。[単数回答]

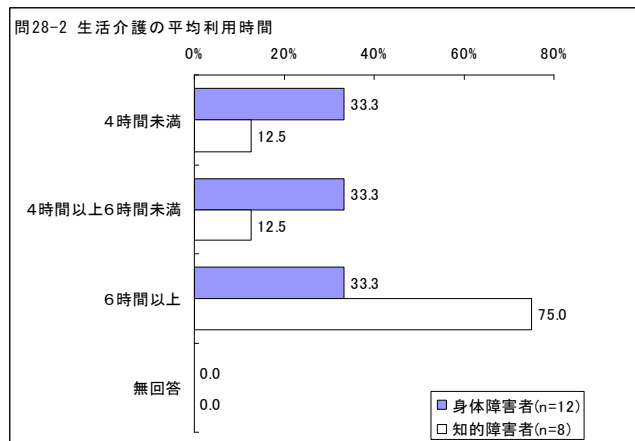
利用頻度についてみると、身体、知的障害者ともに「週4回以上」が最も多く、それぞれ 50%（身体）、87.5%（知的）となっています。



問 28 で 「現在利用している」を選んだ回答者

問 28-2 1回あたり平均して何時間程度利用していますか。[単数回答]

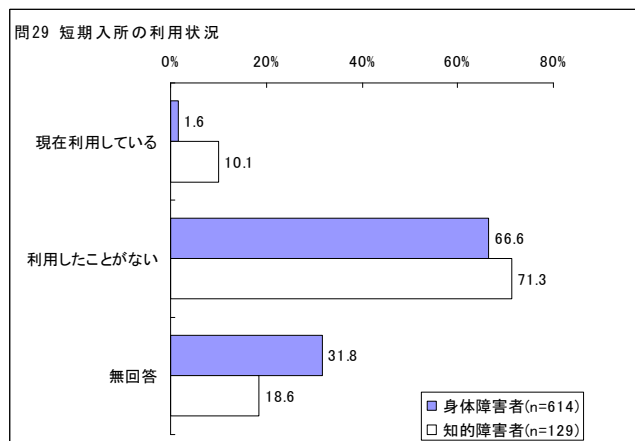
1回あたりの利用時間についてみると、身体障害者では「4時間未満」と「4時間以上6時間未満」と「6時間以上」（すべて 33.3%）に回答が分散しており、知的障害者では「6時間以上」が 75%と最も多くなっています。



問 29 家族の疾病などにより、在宅で生活することが困難になった際のサービスである短期入所（ショートステイ）の利用状況についてうかがいます。

[単数回答]

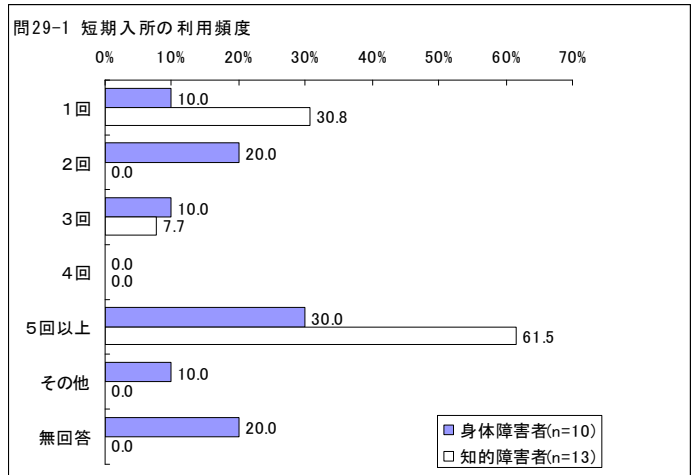
短期入所（ショートステイ）の利用状況についてみると、身体、知的障害者ともに「利用したことがない」が最も多く、それぞれ 66.6%（身体）、71.3%（知的）となっています。



問 29 で 「現在利用している」を選んだ回答者

問 29-1 1年間に何回利用したことがありますか。[単数回答]

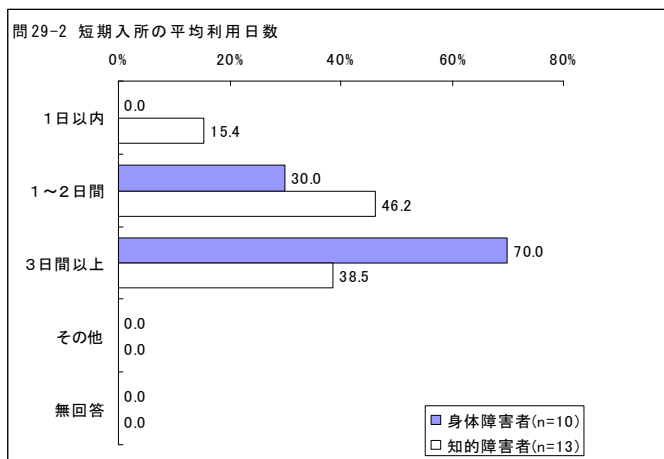
利用頻度についてみると、身体、知的障害者ともに「5回以上」が最も多く、それぞれ 30%（身体）、61.5%（知的）となっています。



問 29 で 「現在利用している」を選んだ回答者

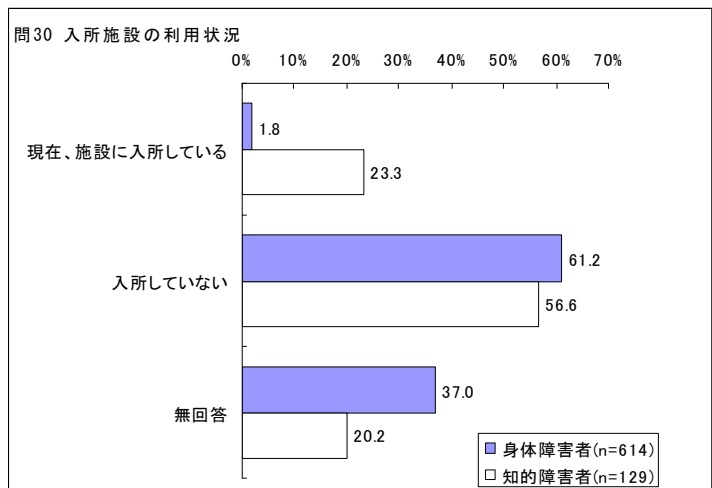
問 29-2 1回あたり平均して何日程度利用しましたか。[単数回答]

1回あたりの利用日数についてみると、身体障害者では「3日間以上」が70%と最も多く、知的障害者では「1～2日間」が46.2%と最も多くなっています。



問 30 施設の利用状況についてうかがいます。[単数回答]

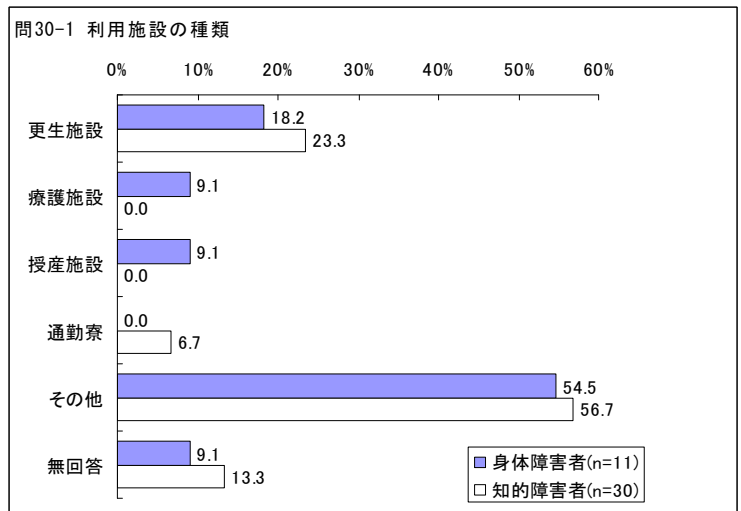
入所施設の利用状況についてみると、身体、知的障害者ともに「入所していない」が最も多く、それぞれ 61.2%（身体）、56.6%（知的）となっています。



問 30 で 「現在、施設に入所している」を選んだ回答者

問 30-1 利用している施設の種類の種類は何ですか。[単数回答]

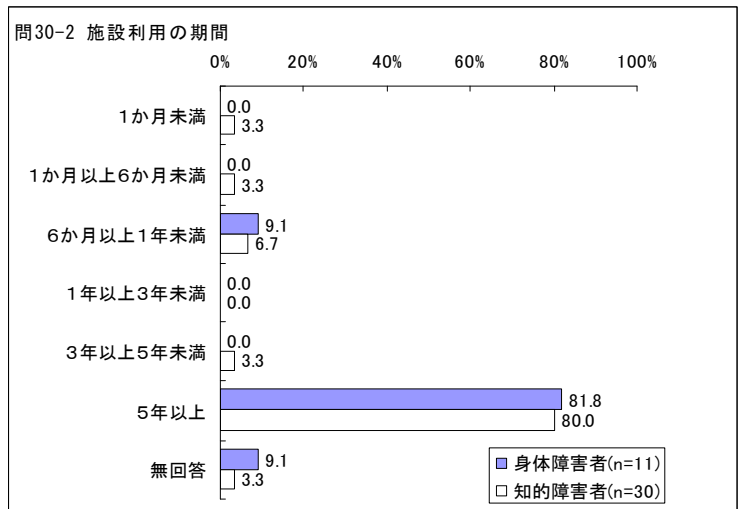
利用している施設の種類の種類についてみると、身体、知的障害者とも「その他」が最も多く、それぞれ 54.5%（身体）、56.7%（知的）となっています。「その他」では「グループホーム」や「障害者支援施設」が挙げられています。



問 30 で 「現在、施設に入所している」を選んだ回答者

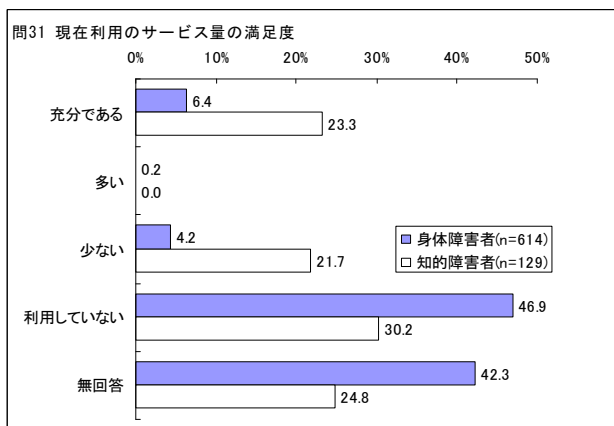
問 30-2 利用を始めてからどの程度の期間利用していますか。[単数回答]

施設の利用期間についてみると、身体、知的障害者ともに「5年以上」が最も多く、それぞれ 81.8%（身体）、80%（知的）となっています。



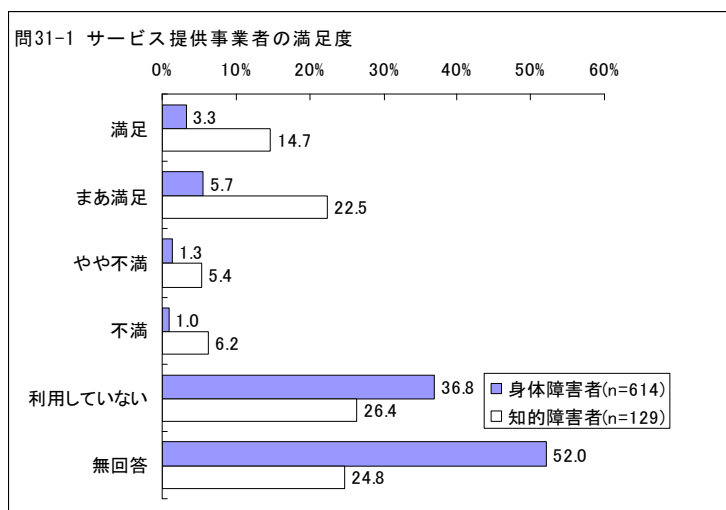
問 31 自立支援制度全般について、現在、利用しているサービス量は充分だと思えますか。[単数回答]

現在利用しているサービス量についてみると、身体、知的障害者とも「利用していない」が最も多く、それぞれ 46.9%、30.2%となっています。



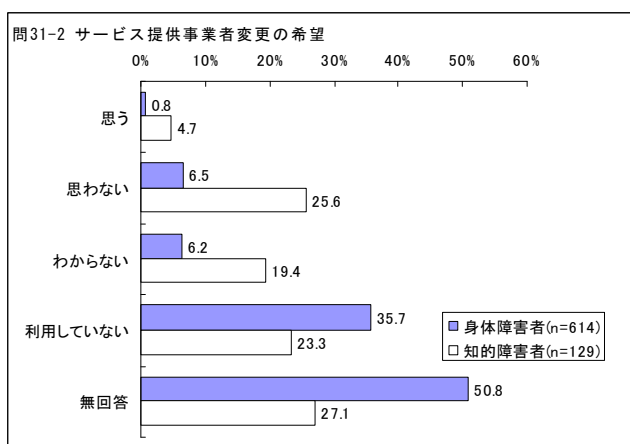
問 31-1 現在、利用している全てのサービスの内容や量を含めてサービス提供事業者には満足していますか。[単数回答]

サービス提供事業者には満足度しているかについてみると、身体障害者では「無回答」が52%、知的障害者では「利用していない」が26.4%と最も多くなっています。



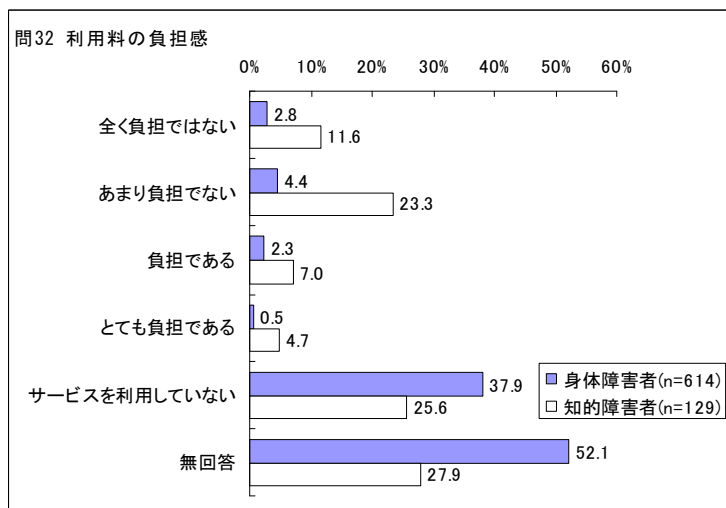
問 31-2 今後、サービス提供事業者を変更したいと思いますか。[単数回答]

サービス提供事業者を変更したいと思うかについてみると、身体、知的障害者ともに「無回答」が最も多く、それぞれ50.8% (身体)、27.1% (知的) となっています。



問 32 現在支払っている利用料の負担感についてうかがいます。[単数回答]

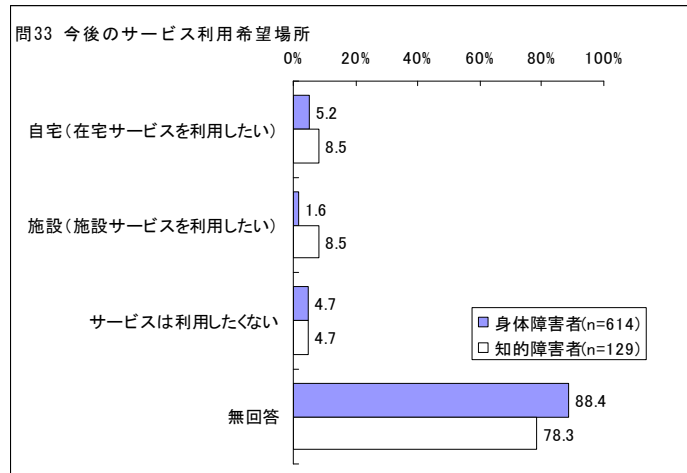
利用料の負担感についてみると、身体、知的障害者とも「無回答」が最も多く、それぞれ52.1% (身体)、27.9% (知的) となっています。



6 在宅サービスを利用している方について

問 33 今後、サービスをどこで利用したいですか。[単数回答]

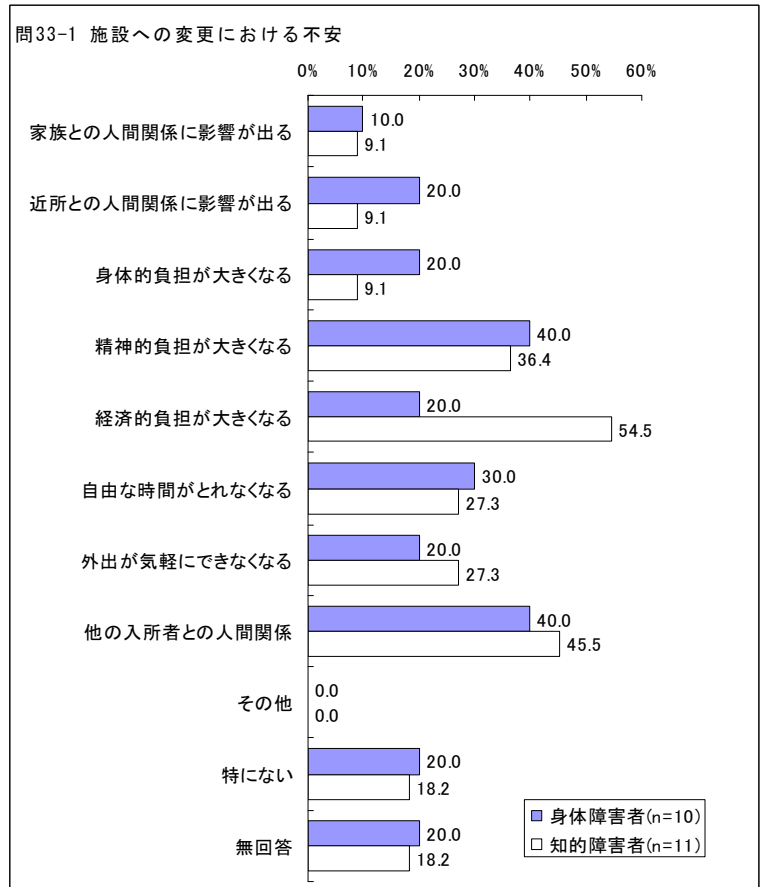
今後、サービスをどこで利用したいかについてみると、回答のあった中では、身体障害者では「自宅（在宅サービスを利用したい）」が5.2%と最も多く、知的障害者では「自宅」と「施設（施設サービスを利用したい）」がともに8.5%と最も多くなっています。



問 33 で 「施設(施設サービスを利用したい)」を選んだ回答者

問 33-1 施設でのサービスに変更するにあたって、不安などがありますか。 [複数回答]

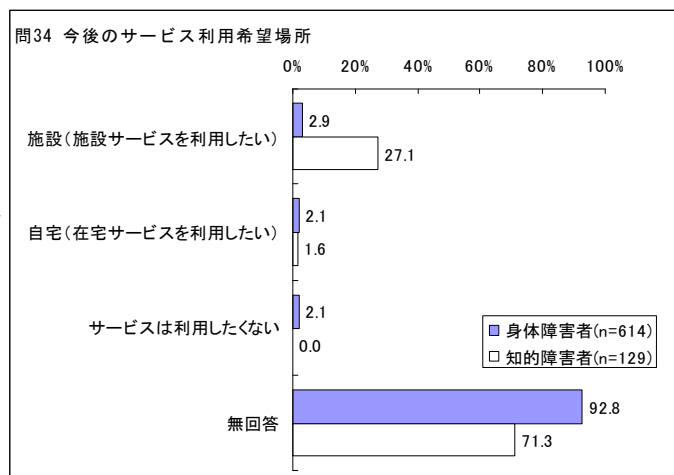
施設でのサービスに変更するにあたっての不安についてみると、身体障害者では「精神的負担が大きくなる」と「他の入所者との人間関係」が40.0%と最も多くなっています。知的障害者では「経済的負担が大きくなる」が54.5%と最も多く、次いで「他の入所者との人間関係」が45.5%となっています。



7 施設サービスを利用している方について

問 34 今後、サービスをどこで利用したいですか。[単数回答]

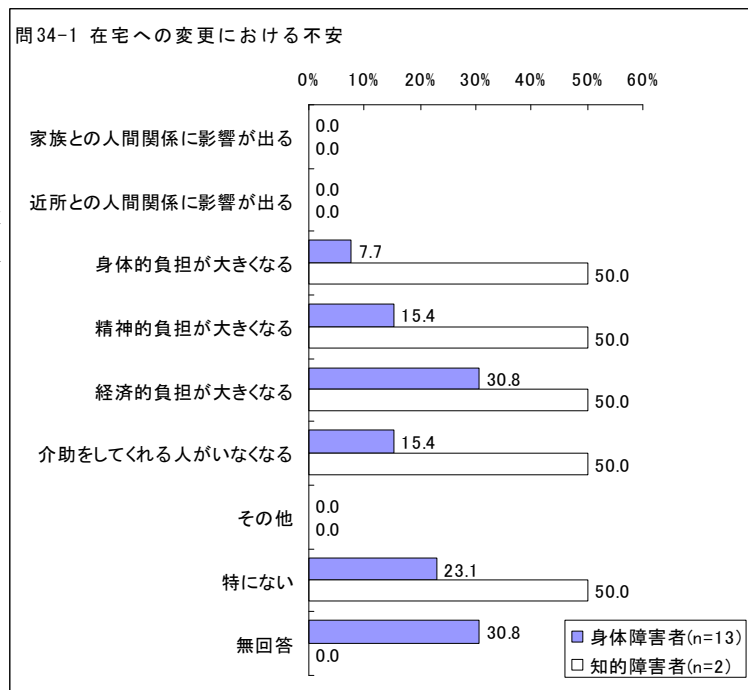
今後、サービスをどこで利用したいかについてみると、回答のあった中では、身体、知的障害者ともに「施設（施設サービスを利用したい）」が最も多く、それぞれ2.9%（身体）、27.1%（知的）となっています。



問 34 で 「自宅(在宅サービスを利用したい)」を選んだ回答者

問 34-1 在宅でのサービスに変更するにあたって、不安などがありますか。[複数回答]

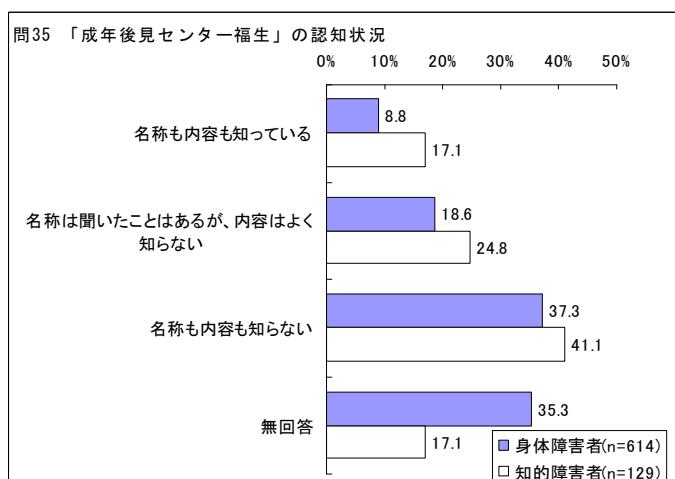
在宅でのサービスに変更するにあたっての不安についてみると、身体障害者では「経済的負担が大きくなる」と「無回答」がともに30.8%と最も多く、知的障害者では「身体的負担が大きくなる」、「精神的負担が大きくなる」、「経済的負担が大きくなる」、「介助をしてくれる人がいなくなる」、「特にない」がいずれも50%となっています。



8 その他の福祉サービスについて

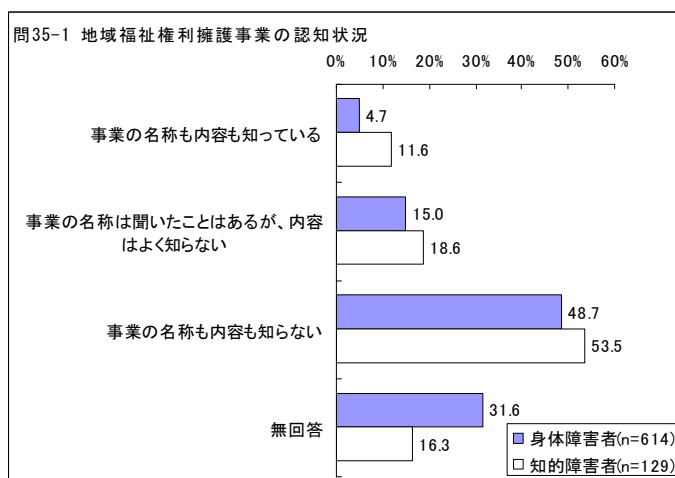
問 35 「成年後見センター福生」では、認知症、知的障害または精神障害により判断能力が十分でないため、日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用手続きなどの援助や代行、利用料の支払いなどを行い、地域で自立した生活を送れるように支援する「地域福祉権利擁護事業」（福祉サービス利用援助事業）や認知症等のため判断能力が不十分であるため、本人に代わって後見人が各種契約行為、金融機関との取引や本人の財産管理などを行い、悪徳商法の被害、高齢者虐待などから保護し、支援する「成年後見制度」など福祉サービス総合支援事業を実施していますが、「成年後見センター福生」をご存知ですか。[単数回答]

「成年後見センター福生」の認知度についてみると、身体障害者では「名称も内容も知らない」が 37.3%と最も多く、次いで「無回答」が 35.3%となっています。知的障害者でも「名称も内容も知らない」が 41.1%と最も多く、次いで「名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が 24.8%となっています。



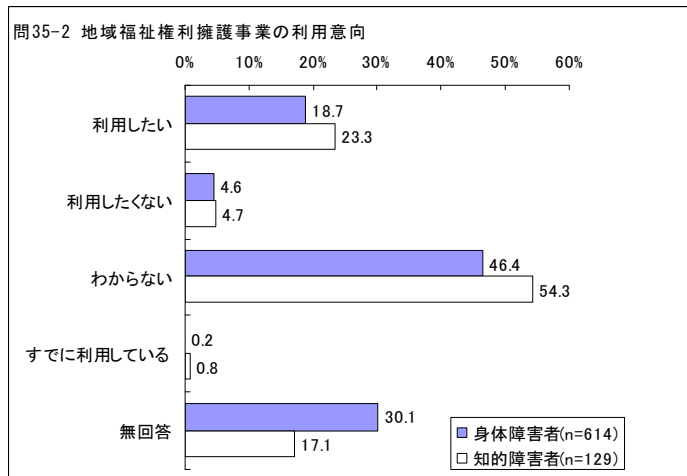
問 35-1 「地域福祉権利擁護事業」についてお聞きします。[単数回答]

「地域福祉権利擁護事業」の認知度についてみると、身体障害者では「事業の名称も内容も知らない」が 48.7%と最も多く、次いで「無回答」が 31.6%となっています。知的障害者でも「事業の名称も内容も知らない」が 53.5%と最も多く、次いで「事業の名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が 18.6%となっています。



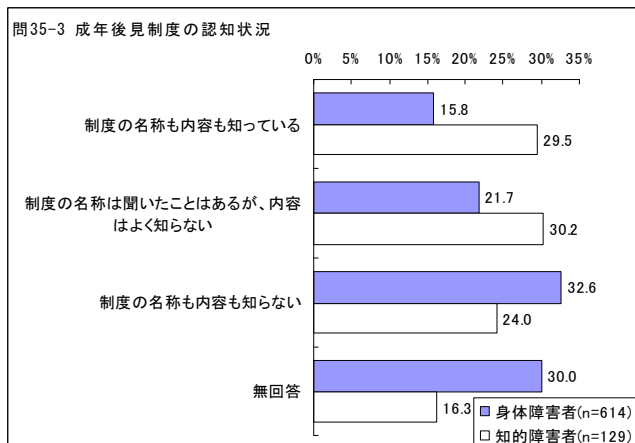
問 35-2 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「地域福祉権利擁護事業」を利用したいですか。[単数回答]

今後、「地域福祉権利擁護事業」を利用したいかについてみると、身体障害者では「わからない」が46.4%と最も多く、次いで「無回答」が30.1%となっています。知的障害者でも「わからない」が54.3%と最も多く、次いで「利用したい」が23.3%となっています。



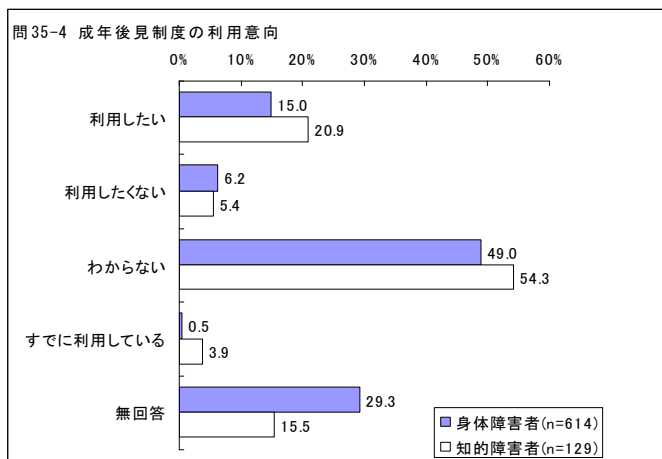
問 35-3 「成年後見制度」についてお聞きします。[単数回答]

「成年後見制度」の認知度についてみると、身体障害者では「制度の名称も内容も知らない」が32.6%と最も多く、次いで「無回答」が30%となっています。知的障害者では「制度の名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が30.2%と最も多く、次いで「制度の名称も内容も知らない」が24.0%となっています。



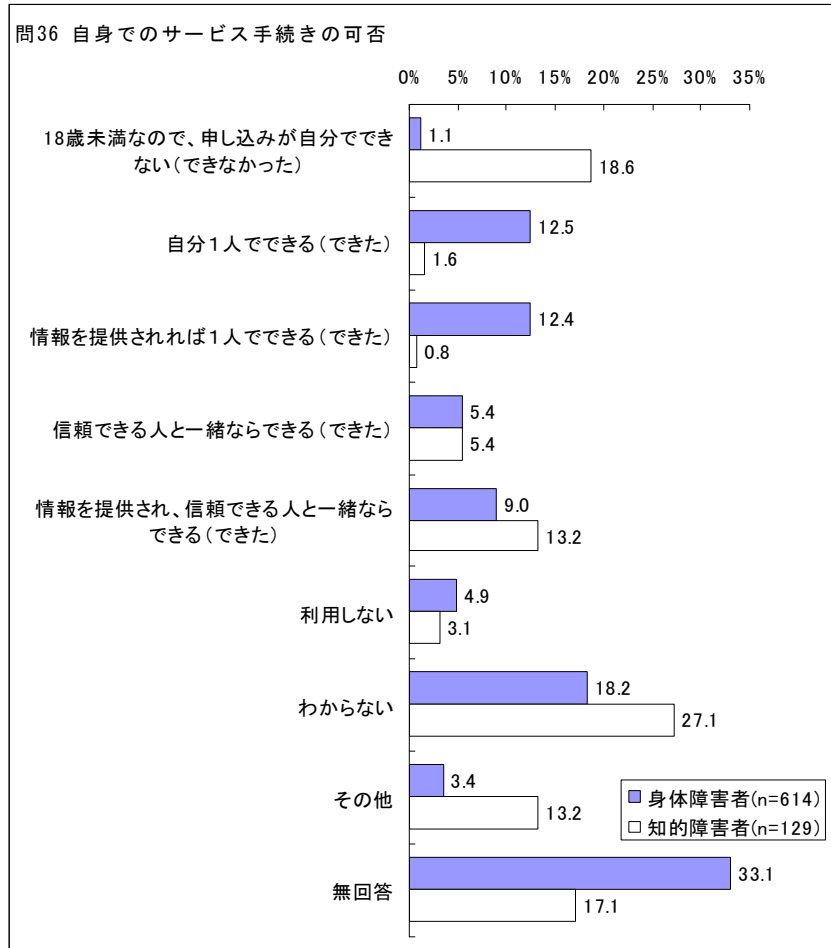
問 35-4 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「成年後見制度」を利用したいですか。[単数回答]

今後、「成年後見制度」を利用したいかについてみると、身体障害者では「わからない」が49%と最も多く、次いで「無回答」が29.3%となっています。知的障害者でも「わからない」が54.3%と最も多く、次いで「利用したい」が20.9%となっています。



問 36 福祉施設の利用やホームヘルプ、グループホーム、ショートステイなどを利用する際にサービスの申し込みが必要になりますが、あなたが直接申し込みをされる（された）場合、ご自身で手続きができますか（できましたか）。

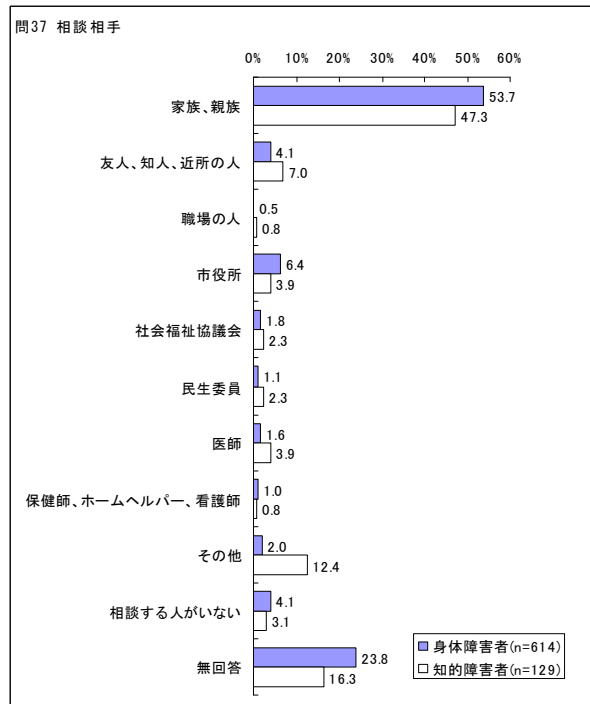
[単数回答]



自身で手続きができる（できた）かについてみると、身体障害者では「無回答」が33.1%と最も多く、次いで「わからない」が18.2%となっています。また、知的障害者では「わからない」が27.1%と最も多く、次いで「18歳未満なので、申し込みが自分できない（できなかった）」が18.6%となっています。

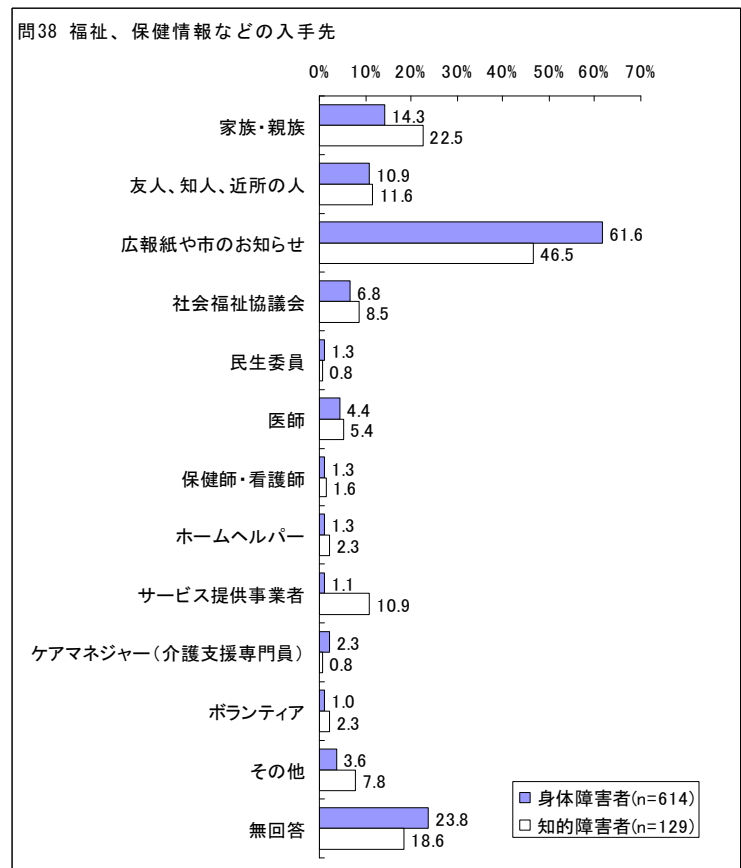
問 37 あなたや介助者が、生活上の悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。
[単数回答]

悩みや困ったことを相談する相手についてみると、身体障害者では「家族、親族」が53.7%と最も多く、次いで「無回答」が23.8%となっています。また、知的障害者でも「家族、親族」が47.3%と最も多く、次いで「無回答」が16.3%となっています。



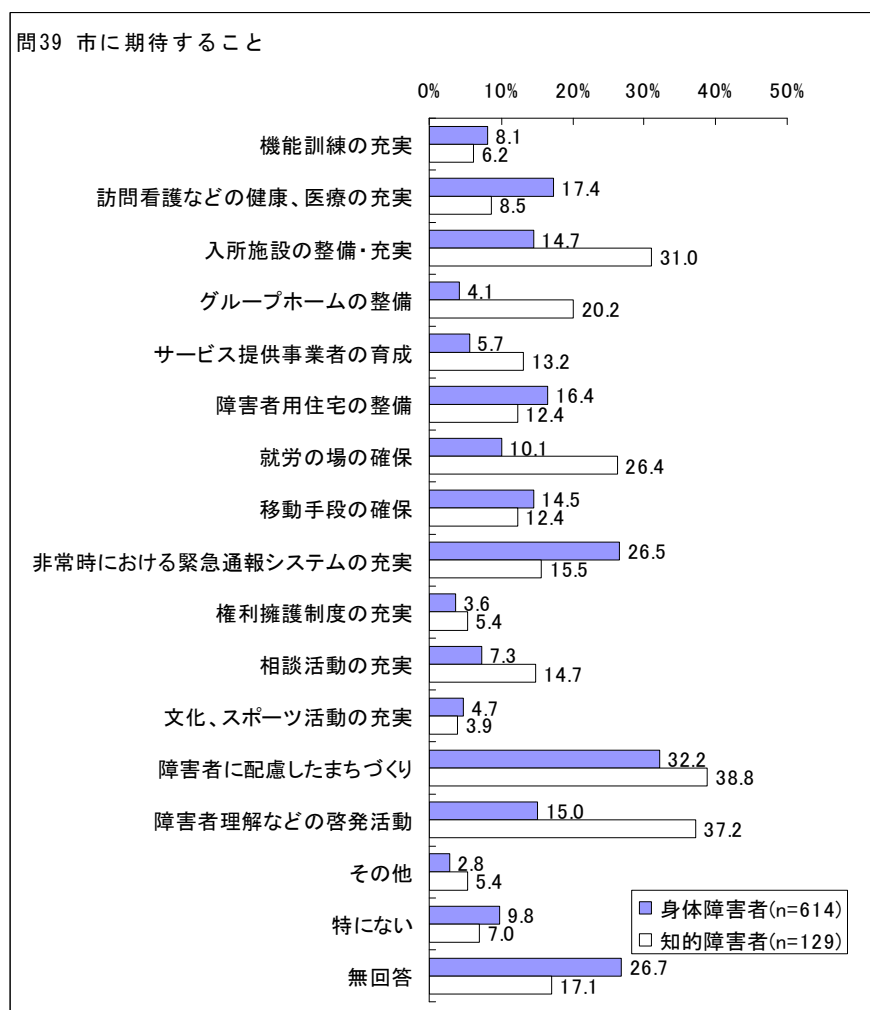
問 38 市が行う催しや行事、障害者福祉や保健に関することは、主に何でお知りになりますか。[複数回答]

主に何で知るかについてみると、身体障害者では「広報紙や市のお知らせ」が61.6%と最も多く、次いで「無回答」が23.8%となっています。また、知的障害者では「広報紙や市のお知らせ」が46.5%と最も多く、次いで「家族・親族」が22.5%となっています。



問 39 今後、市に何を期待しますか。[複数回答]

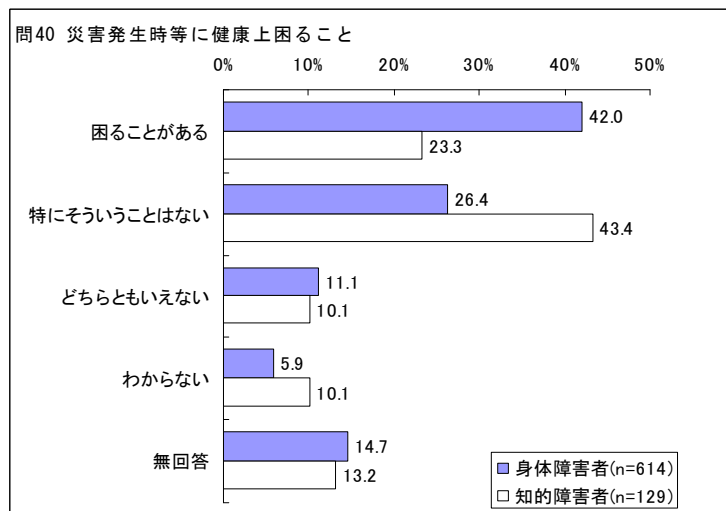
市に期待することについてみると、身体障害者では「障害者に配慮したまちづくり」が32.2%と最も多く、次いで「無回答」が26.7%となっています。また、知的障害者では「障害者に配慮したまちづくり」が38.8%と最も多く、次いで「障害者理解などの啓発活動」が37.2%となっています。



9 災害のときなど緊急時の対応について

問 40 災害などが発生した時、数日間医療機関で受診や治療を受けられなかった場合、健康上困ることがありますか。[単数回答]

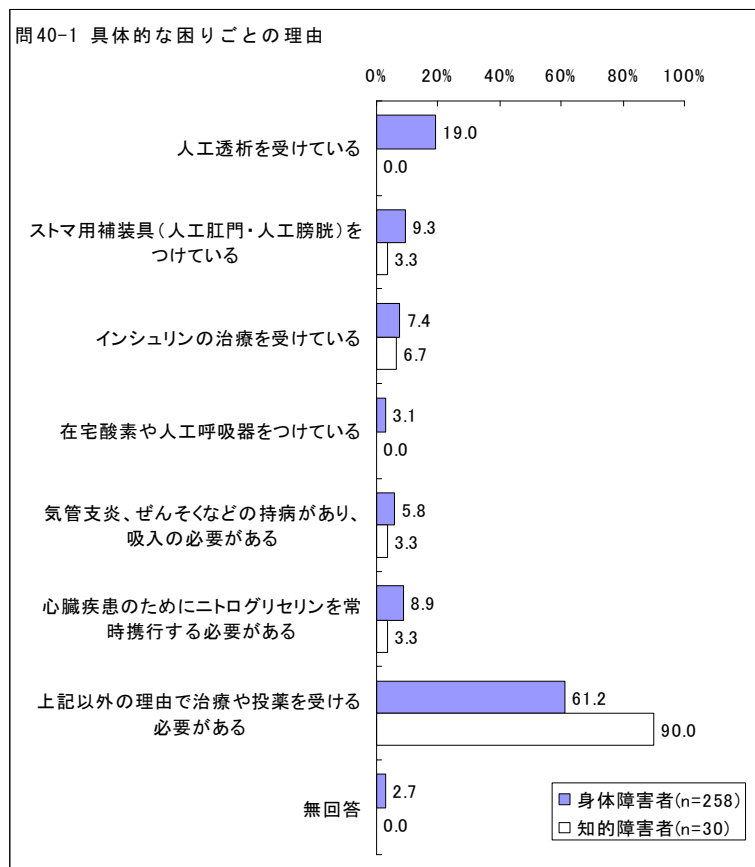
健康上困ることがあるかについてみると、身体障害者では「困ることがある」が42%、知的障害者では「特にそういうことはない」が43.4%と、最も多くなっています。



問 40 で 「困ることがある」を選んだ回答者

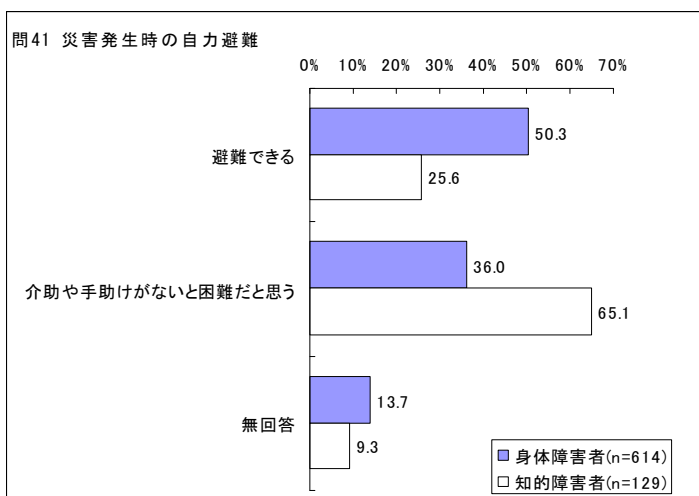
問 40-1 それはどのような理由によるものですか。[複数回答]

健康上困る理由についてみると、身体、知的障害者ともに「上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要がある」が最も多く、それぞれ61.2%（身体）、90%（知的）となっています。



問 41 震災や水害などの災害発生時に、あなたは自力で避難することができますか。[単数回答]

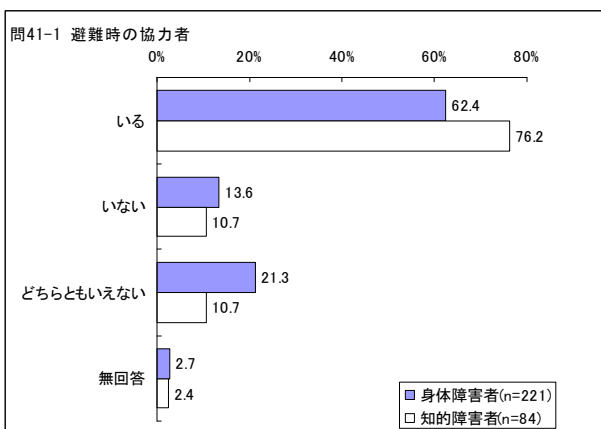
自力で避難することができるかについてみると、身体障害者では「避難できる」が 50.3%、知的障害者では「介助や手助けがないと困難だと思う」が 65.1%と、最も多くなっています。



問 41 で 「介助や手助けがないと困難だと思う」を選んだ回答者

問 41-1 災害発生に伴う避難時に、身近に手助けしてくれる人はいますか。[単数回答]

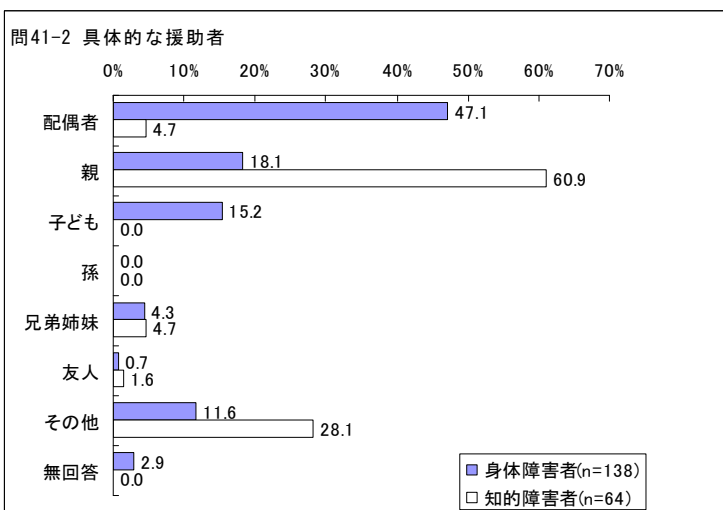
身近に手助けしてくれる人はいるかについてみると、身体、知的障害者ともに「いる」が最も多く、それぞれ 62.4% (身体)、76.2% (知的) となっています。



問 41-1 で 「いる」を選んだ回答者

問 41-2 誰ですか。[単数回答]

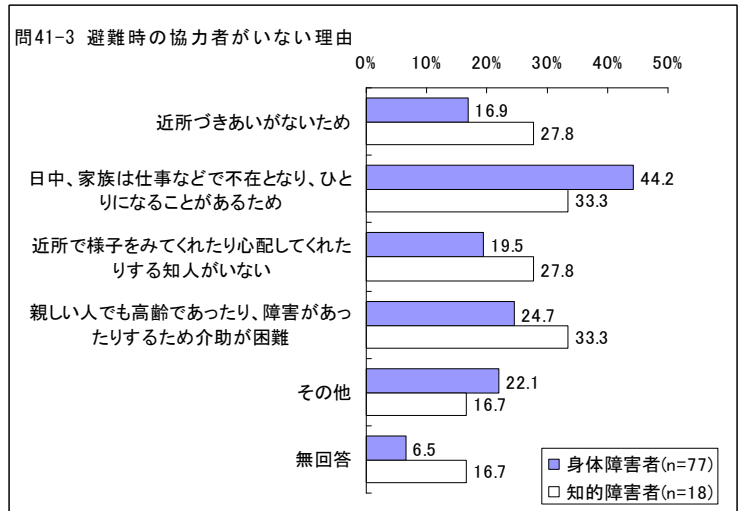
身近で手助けしてくれる人は誰かについてみると、身体障害者では「配偶者」が 47.1%と最も多く、知的障害者では「親」が 60.9%と最も多くなっています。



問 41-1 で 「いない」、「どちらともいえない」を選んだ回答者

問 41-3 それはどのような理由によるものですか。[複数回答]

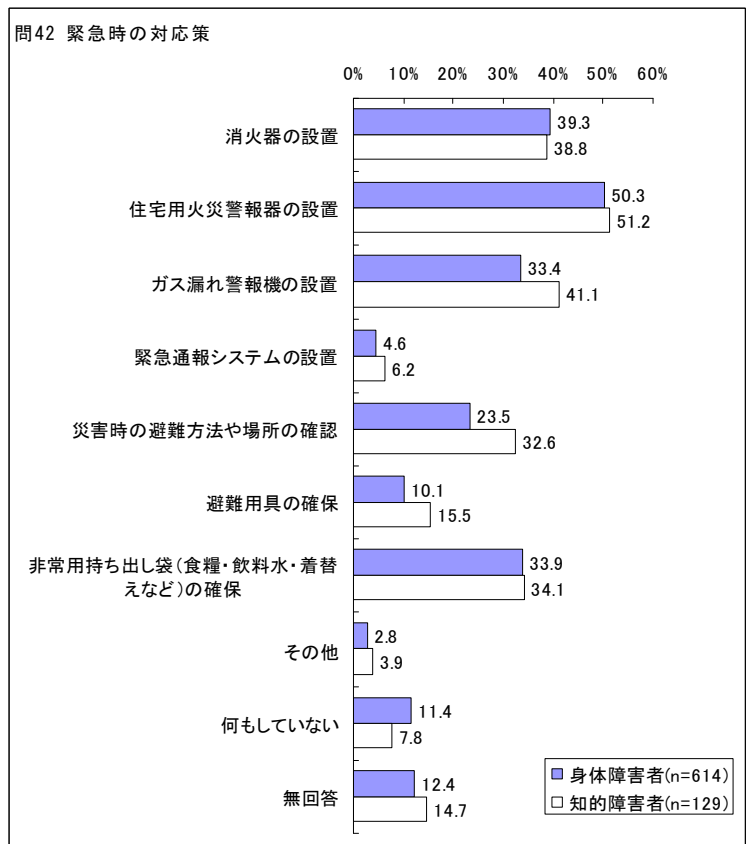
理由についてみると、身体、知的障害者ともに「日中、家族は仕事などで不在となり、ひとりになることがあるため」が最も多く、それぞれ 44.2%（身体）、33.3%（知的）となっています。また、知的障害者では「親しい人でも高齢であったり、障害があつたりするため介助が困難」も最も多くなっています。



問 42 ご家庭で緊急時の対応策として、どのような準備をしていますか。

[複数回答]

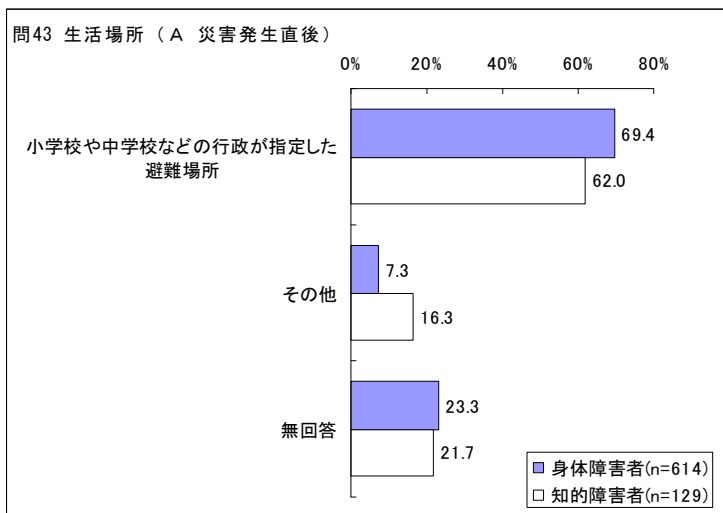
家庭での緊急時の対応策としての準備についてみると、身体、知的障害者ともに「住宅用火災警報器の設置」が最も多く、それぞれ 50.3%（身体）、51.2%（知的）となっています。



問 43 もしも災害により自宅で生活するのが困難な状態になった場合、あなたの生活するところはどこになるとお考えですか。[単数回答]

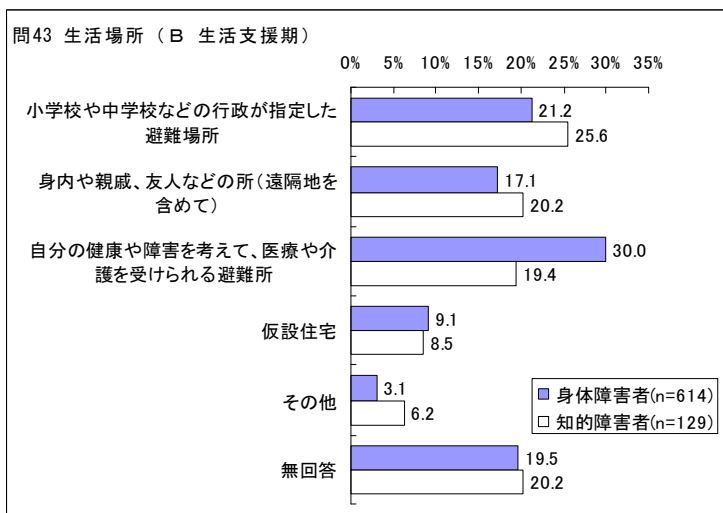
《A 災害発生直後》(発生時から1週間程度)

災害発生直後、生活するところについてみると、身体、知的障害者ともに「小学校や中学校などの行政が指定した避難場所」が最も多く、それぞれ69.4%（身体）、62%（知的）となっています。



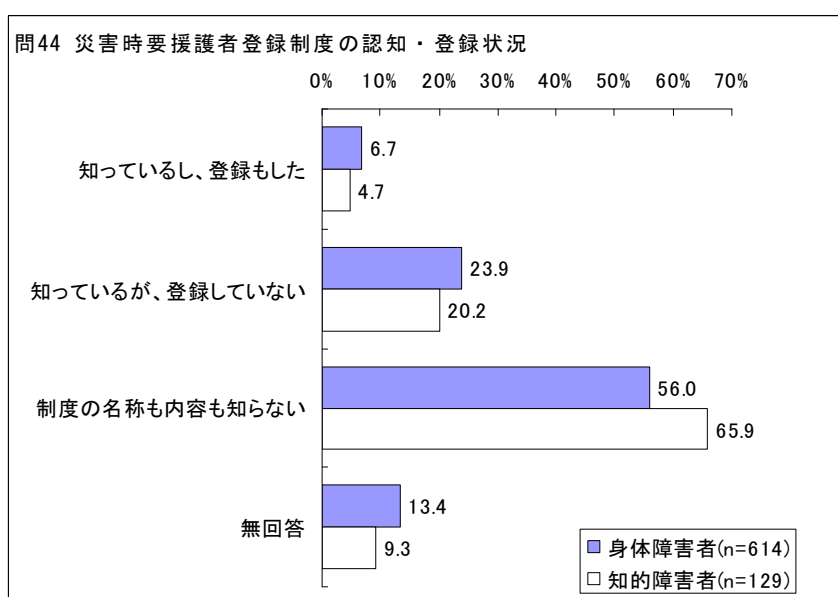
《B 生活支援期》(発生から1週間以上経過後)

生活支援期で生活するところについてみると、身体障害者では「自分の健康や障害を考えて、医療や介護を受けられる避難所」が30%と最も多く、次いで「小学校や中学校などの行政が指定した避難場所」が21.2%となっています。また、知的障害者では「小学校や中学校などの行政が指定した避難場所」が25.6%と最も多く、次いで「身内や親戚、友人などの所（遠隔地を含めて）」と「無回答」がともに20.2%となっています。



問 44 「災害時要援護者登録制度」は、災害発生時に自力で安全な場所へ避難することが困難な方が予め申請し、市の災害時要援護者台帳に登録することにより、その情報を地域の自主防災組織、民生委員・児童委員のほか、消防団、消防署、警察署、社会福祉協議会にも提供し、災害が発生した時の安否確認や避難誘導等の支援活動を迅速にできるようにする制度ですが、ご存知ですか。[単数回答]

「災害時要援護者登録制度」の認知・登録状況についてみると、身体、知的障害者ともに「制度の名称も内容も知らない」が最も多く、それぞれ 56%（身体）、65.9%（知的）となっています。

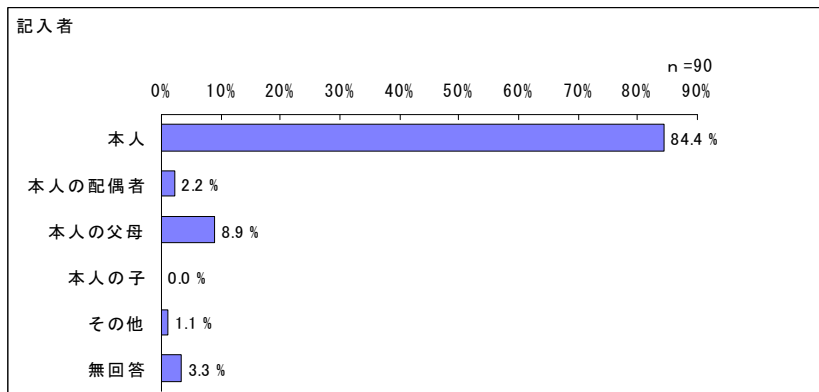


VII**精神障害者**

回答者の属性		(単位：人)
性別	男	56
	女	33
	無回答	1
年齢	29歳以下	6
	30-69歳	78
	70歳以上	2
	無回答	4

○調査票記入者 [単数回答]

記入者についてみると、「本人」が85%近くを占めています。

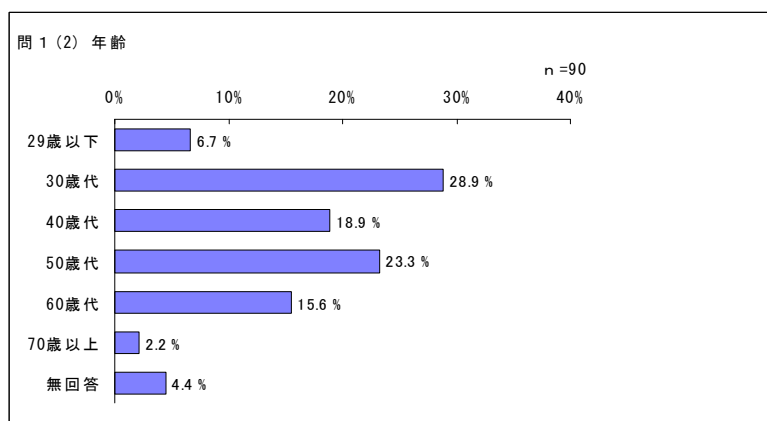
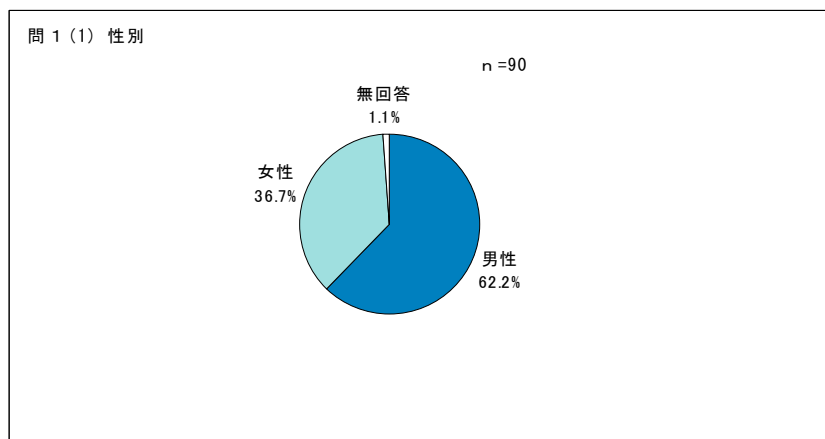


1 ご本人のことについて

問1 (1) 性別、(2) 年齢 [単数回答]

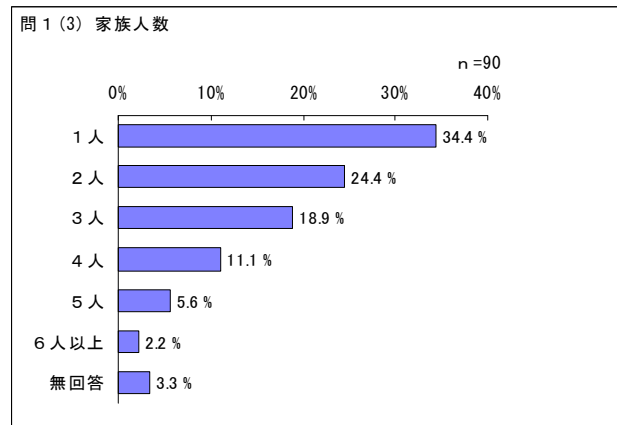
性別についてみると、「男性」が6割強、「女性」が3割台半ばとなっています。

年齢についてみると、「30歳代」が28.9%と最も多く、次いで「50歳代」が23.3%となっています。



(3) 家族人数（本人を含めて）[単数回答]

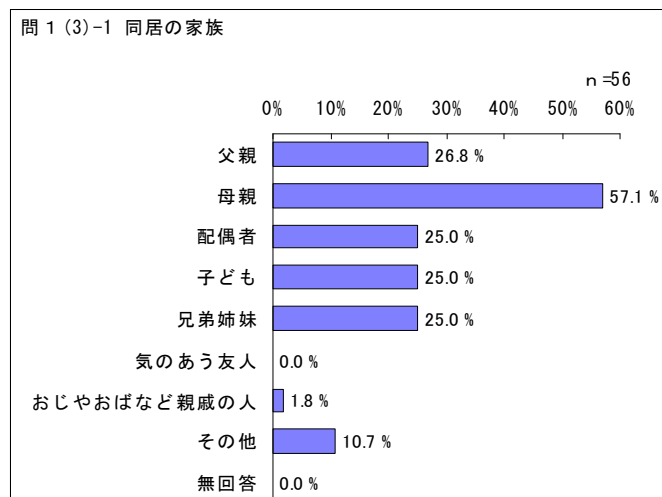
家族人数についてみると、「1人」が34.4%と最も多く、次いで「2人」が24.4%となっています。



問1(3)で「1人」以外を選んだ回答者

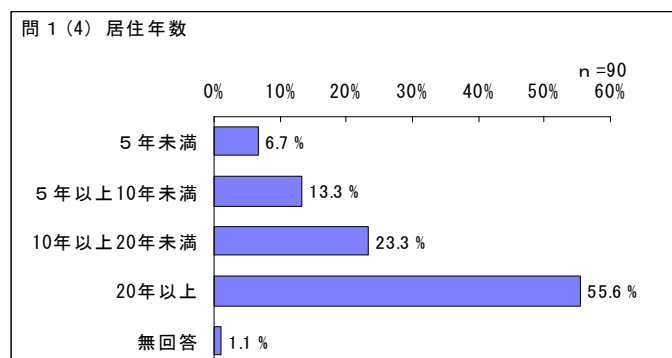
(3) - 1 現在、あなたは誰と一緒に住んでいますか。[複数回答]

誰と一緒に住んでいるかについてみると、「母親」が57.1%と最も多く、次いで「父親」が26.8%となっています。



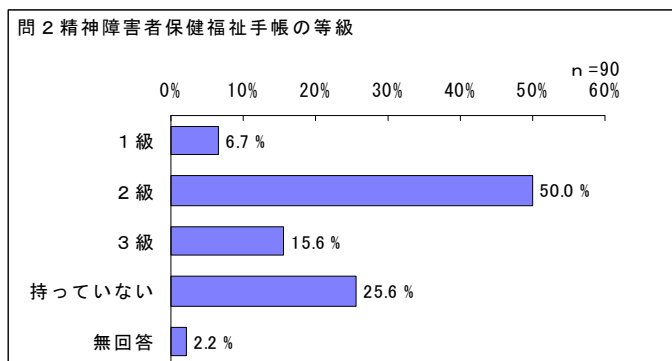
(4) 福生市での居住年数 [単数回答]

福生市での居住年数についてみると、「20年以上」が過半数を占めて最も多く、次いで「10年以上20年未満」が23.3%となっています。



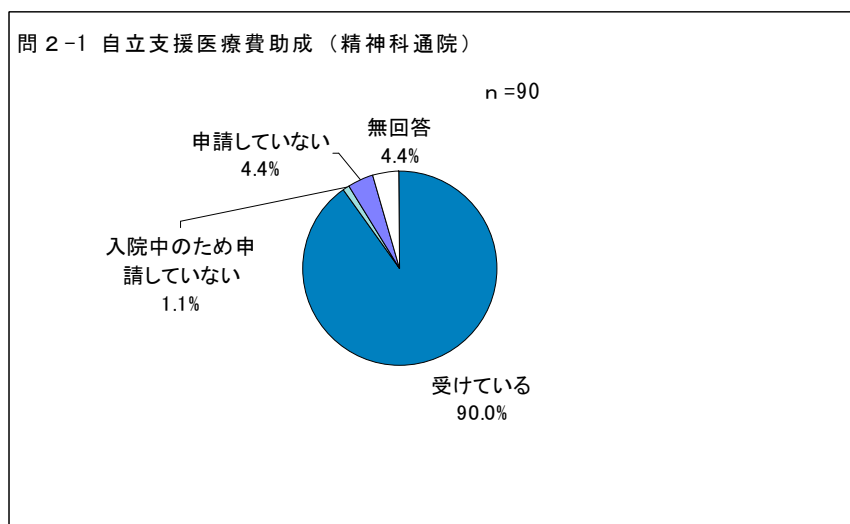
問2 精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。[単数回答]

精神障害者保健福祉手帳についてみると、「2級」が半数を占めて最も多く、「持っていない」が25.6%となっています。



問2-1 障害者自立支援法に基づく自立支援医療費助成（精神科通院）を受けていますか。[単数回答]

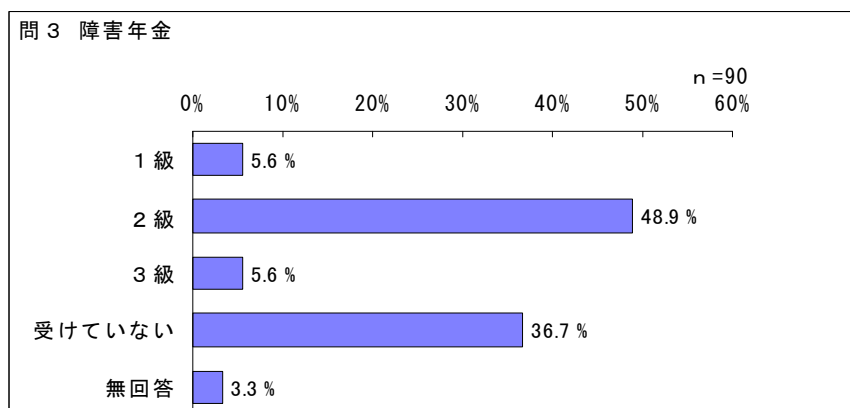
自立支援医療費助成を受けているかについてみると、「受けている」が9割を占めています。次いで「申請していない」と「無回答」がともに4.4%となっています。



問3 障害年金を受けていますか。受けている場合、級を記入してください。

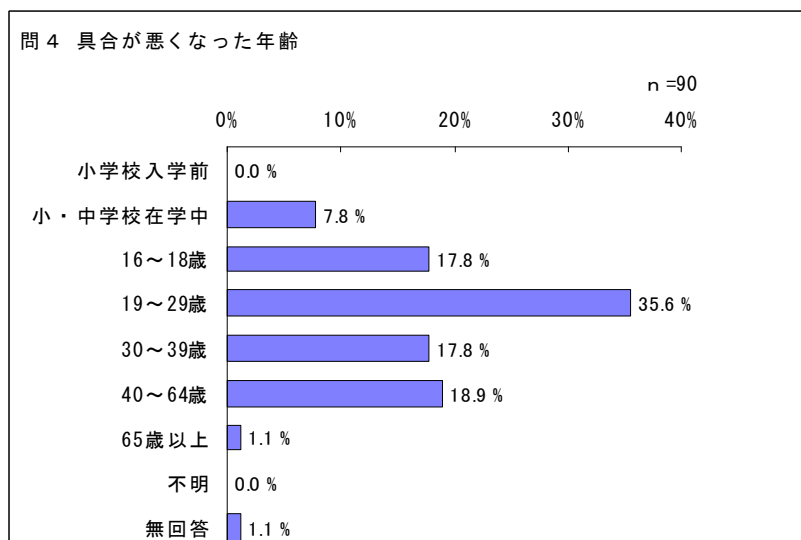
[単数回答]

障害年金を受けているかについてみると、「2級」が48.9%と最も多く、次いで「受けていない」が36.7%となっています。



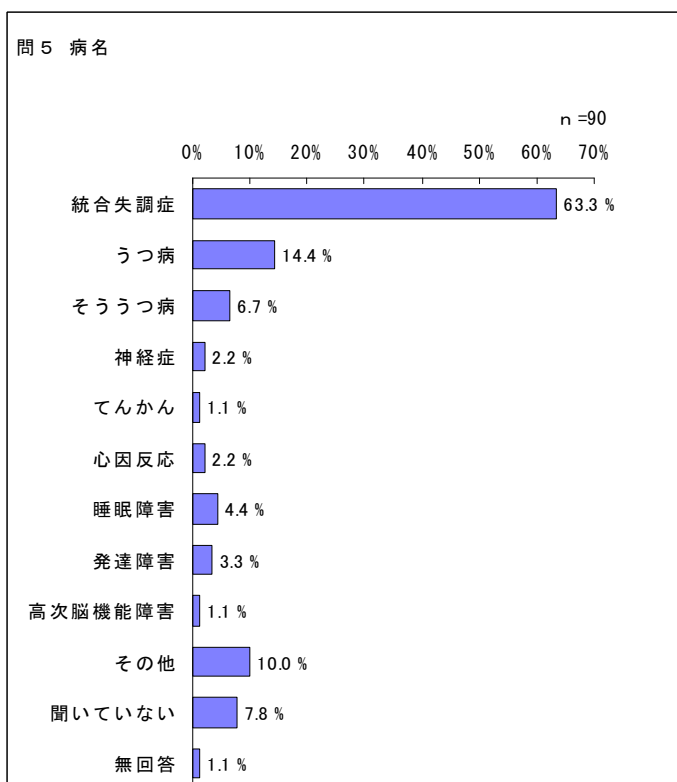
問4 初めて具合が悪くなったのは、何歳ごろでしたか。[単数回答]

具合が悪くなったのは、何歳ごろかについてみると、「19～29歳」が35.6%と最も多く、次いで「40～64歳」が18.9%となっています。



問5 あなたは病名について、主治医からどのように聞いていますか。[複数回答]

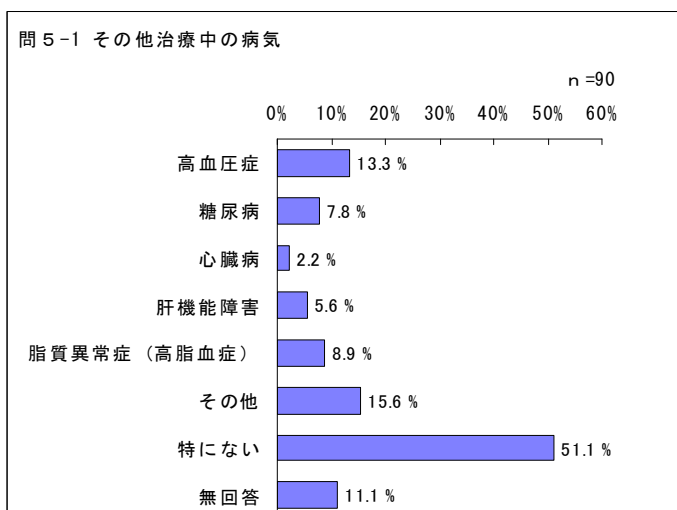
病名について主治医からどのように聞いているかについてみると、「統合失調症」が63.3%と最も多く、次いで「うつ病」が14.4%となっています。



問5-1 上記以外にも、治療中の病気がありますか。[複数回答]

治療中の病気についてみると、「特にない」が51.1%と最も多く、次いで「その他」が15.6%となっています。

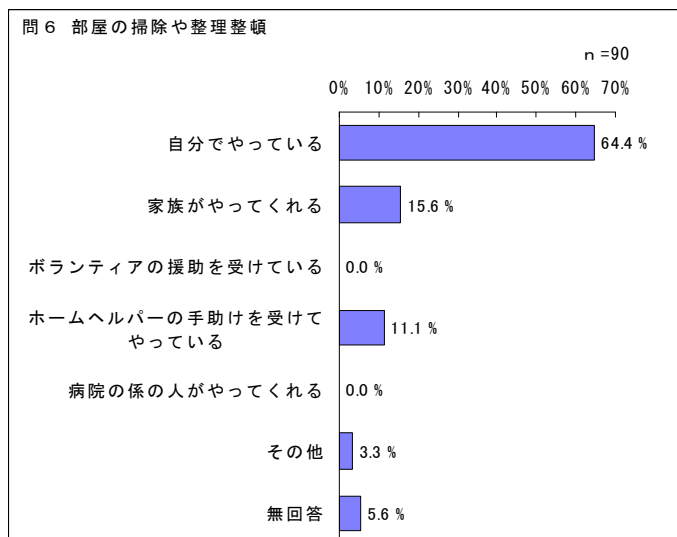
「その他」では、「喘息」、「皮膚炎」などが挙げられています。



2 日常生活について

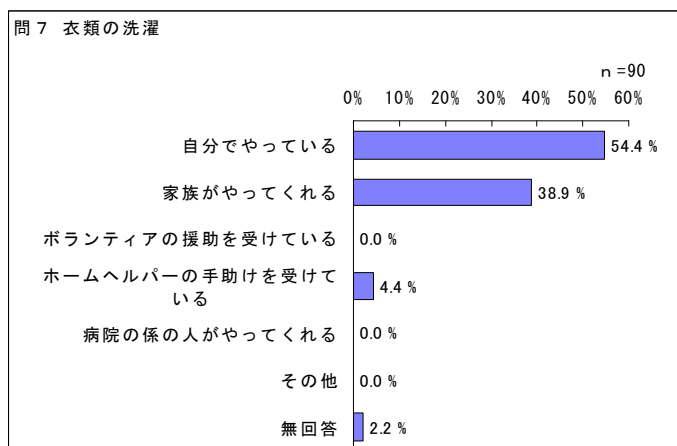
問6 あなたは部屋の掃除や整理整頓をどうしていますか。[単数回答]

部屋の掃除や整理整頓をどうしているかについてみると、「自分でやっている」が64.4%と最も多く、次いで「家族がやってくれる」が15.6%となっています。



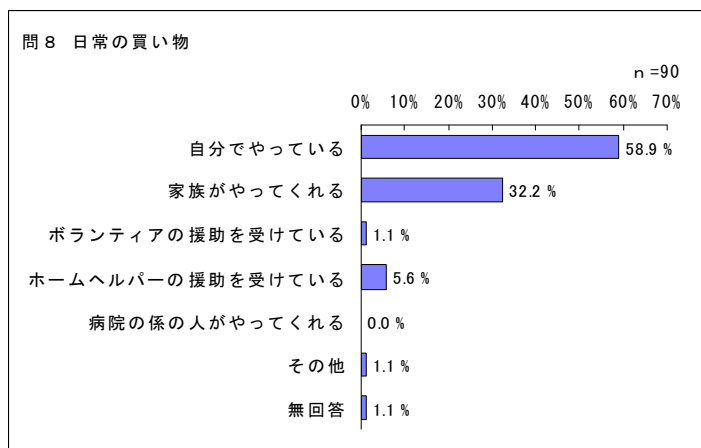
問7 あなたは衣類の洗濯をどうしていますか。[単数回答]

衣類の洗濯をどうしているかについてみると、「自分でやっている」が54.4%と最も多く、次いで「家族がやってくれる」が38.9%となっています。



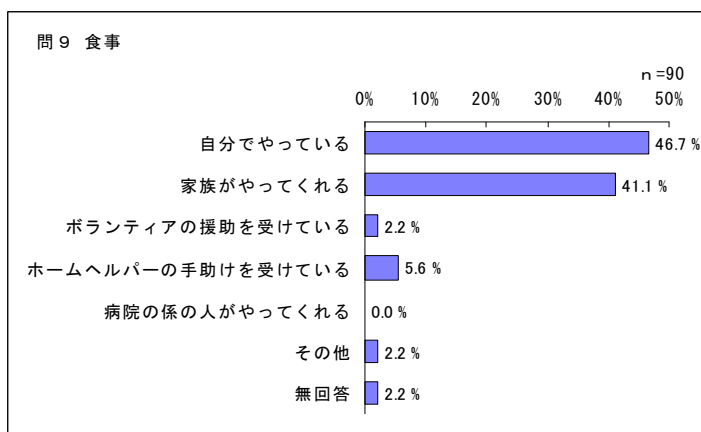
問8 あなたは日常の買い物をどうしていますか。[単数回答]

日常の買い物についてみると、「自分でやっている」が58.9%と最も多く、次いで「家族がやってくれる」が32.2%となっています。



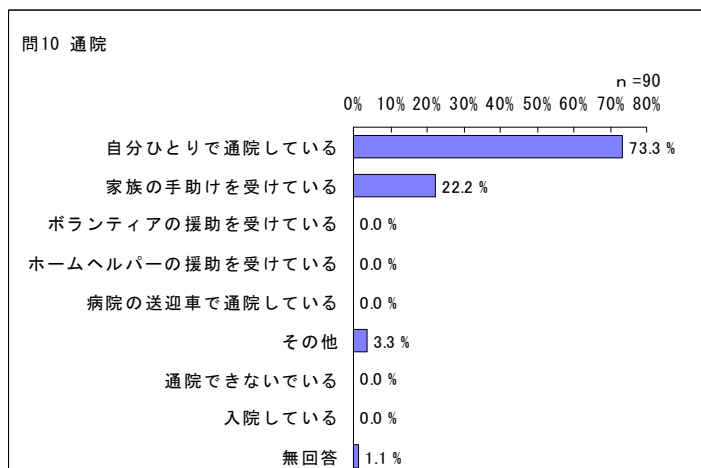
問9 あなたは食事をどうしていますか。[単数回答]

食事についてみると、「自分でやっている」が46.7%と最も多く、次いで「家族がやってくれる」が41.1%となっています。



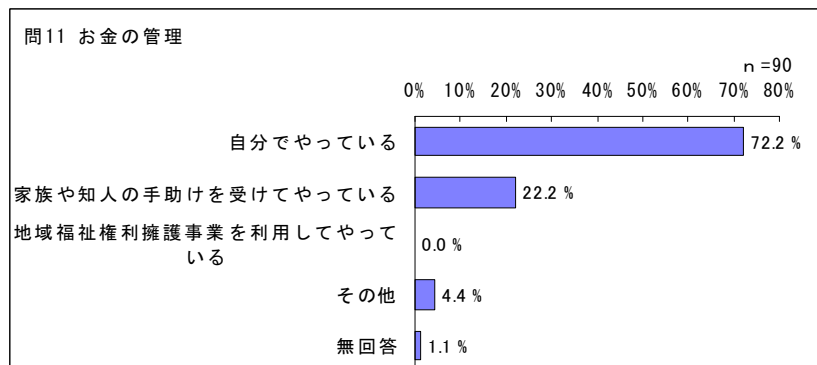
問10 あなたは、通院をどうしていますか。[単数回答]

通院についてみると、「自分ひとりで通院している」が73.3%と最も多く、次いで「家族の手助けを受けている」が22.2%となっています。



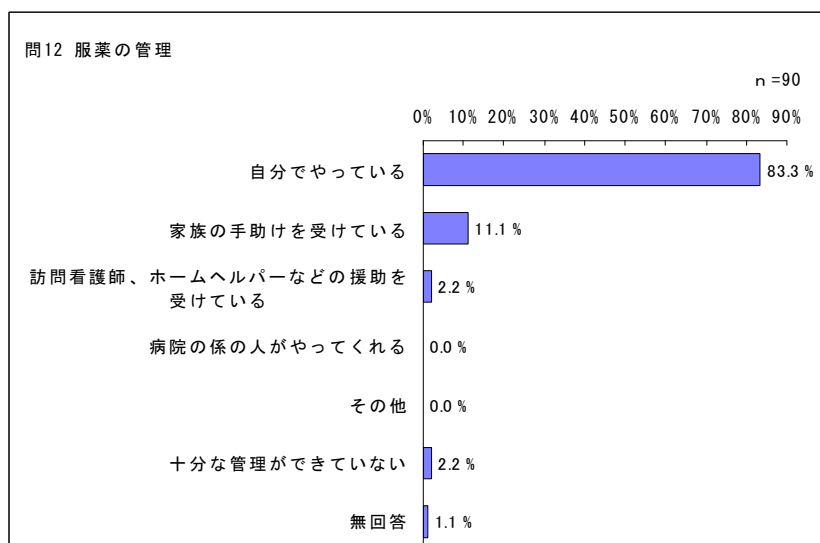
問 11 あなたはお金の管理をどうしていますか。[単数回答]

お金の管理についてみると、「自分でやっている」が 72.2%と最も多く、次いで「家族や知人の手助けを受けてやっている」が 22.2%となっています。



問 12 あなたは服薬の管理をどうしていますか。[単数回答]

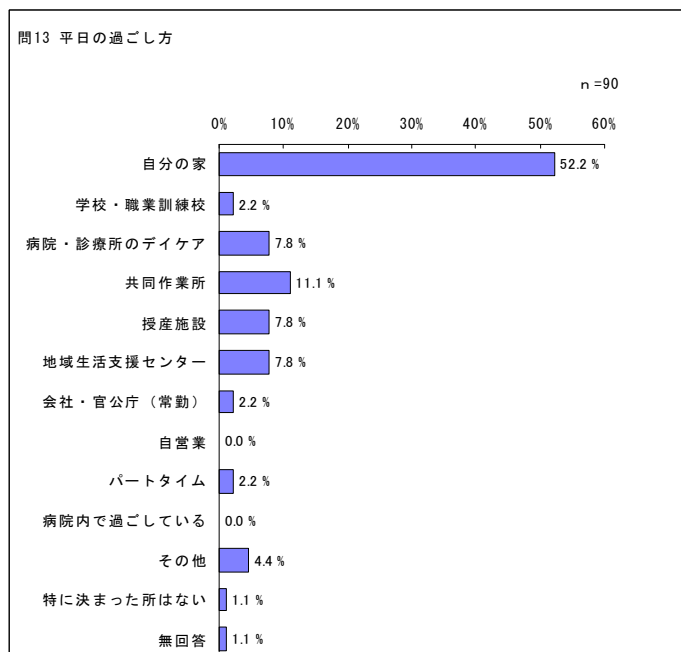
服薬の管理についてみると、「自分でやっている」が 83.3%と最も多く、次いで「家族の手助けを受けている」が 11.1%となっています。



問 13 あなたは、平日（月～金）の昼間、主にどこで過ごしていますか。

[単数回答]

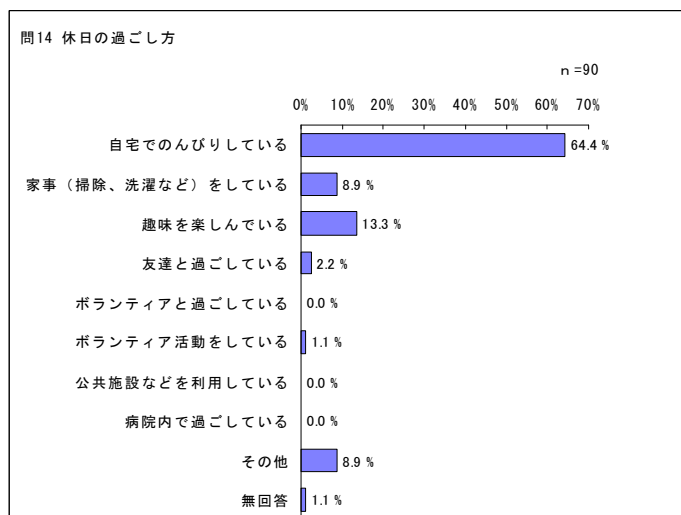
平日の昼間、主にどこで過ごしているかについてみると、「自分の家」が52.2%と最も多く、次いで「共同作業所」が11.1%となっています。



問 14 あなたは、日曜日や休日は、どのように過ごしていることが多いですか。

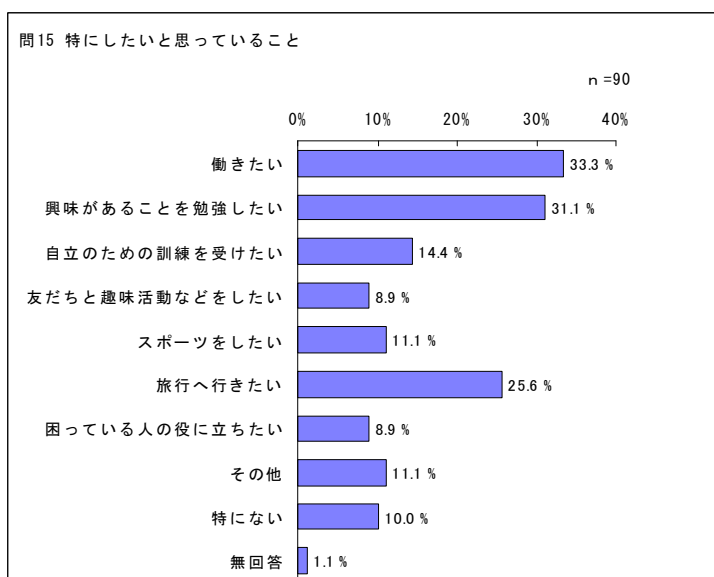
[単数回答]

日曜日や休日は、どのように過ごしているかについてみると、「自宅でのんびりしている」が64.4%と最も多くなっています。



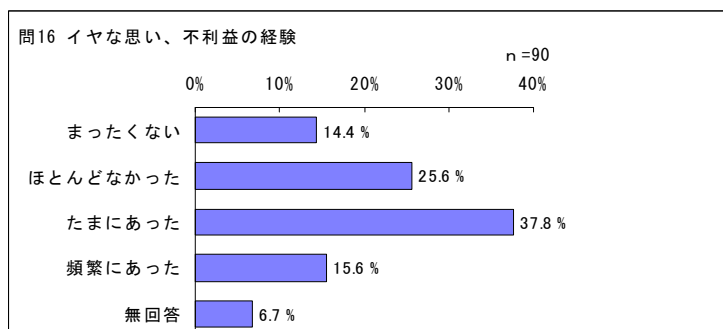
問 15 あなたが、今、特にしたいと思っていることは何ですか。[複数回答]

今、特にしたいと思っていることについてみると、「働きたい」が 33.3%と最も多く、次いで「興味があることを勉強したい」が 31.1%となっています。



問 16 あなたは今までの生活の中で、自分の病気のことなどが原因でイヤな思いをさせられたり、不利益をこうむったと感じたことはありますか。[単数回答]

不利益をこうむったと感じたことについてみると、「たまにあった」が 37.8%と最も多く、次いで「ほとんどなかった」が 25.6%となっています。



問 16 で 「たまにあった」、「頻繁にあった」を選んだ回答者

問 16-1 さしつかえなければ、その内容についてご記入ください。

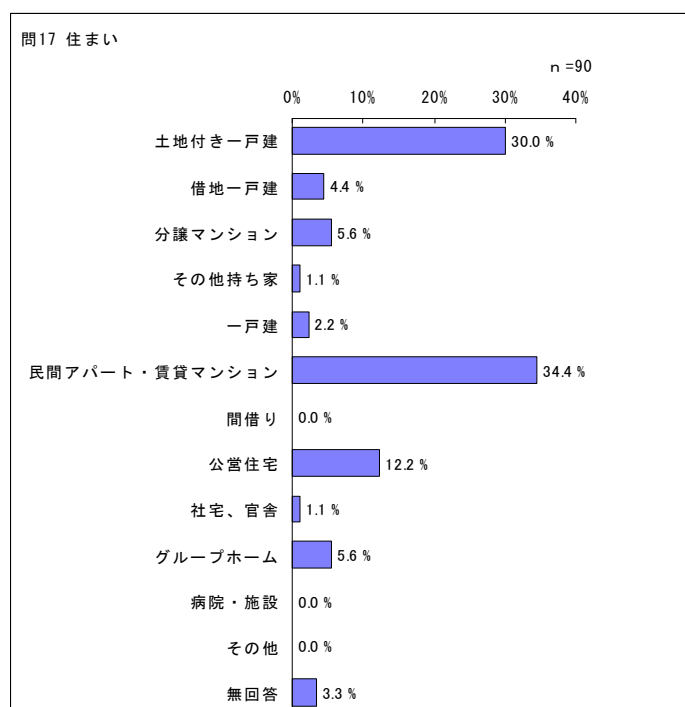
いじめ。
何の薬を飲んでいいのかきかれた。なぜ仕事をしないのかと何度もきかれた。
そういった病気を理解しない人に心ないことを言われる。
初めて（発症してから15年近くが過ぎていましたが）歯科に行った時のことですが、病気について、薬について話し、先生に納得していただき治療を始めたのですが、予約時間を守れなかったとき大変怒られて、その後転医をしました。この病気（統合失調症）の症状は一人ひとり違いますし、本人が努力しても思う様に事が運ばず遅れるということは多々あることだと思います。「常識どおりいかないのが症状」の病の1人であることを歯科のみでなく、医療に関わる

人皆さんに理解していただきたい。
一般就労がうまくいかなかった。
路線バスの運転手に、障害者手帳を見せて安くしてもらおう時、急に態度が変わり、冷たくされた（「ありがとうございました」も無かった）。
仕事、何事も続かない。
税金で生きてると言われた。精神の薬を飲んで妹と疎遠になった。
学校を退学せざるをえなかった。
自分が今まで働いてきた会社には、自分の病気のことは隠して働いてきました。その結果、会社には毎日罪悪感を抱えながら、そして自分も仕事に倒れたらどうしよう？っていつもビクビクしながら働いていました。
アルバイトが長期間できなかつたり、恋人と別れざるをえなかつたりしたことがある。
家族との不仲。
弟妹が結婚するとき、僕の病気が問題になった。
入院したくても、世間体のため入院させてもらえなかった。
家を探すときに、障害者ということで断られた。
職場で精神科で通院していたことがわかったら、リストラされた。
職親制度で働いていたクリーニング店で、自分の病気のことで、職場の人から「クレージーボーイ」と言われたことがあった。あまりいい感じはしなかった。

3 現在のお住まいなどについて

問 17 あなたのお住まいは次のどれですか。[単数回答]

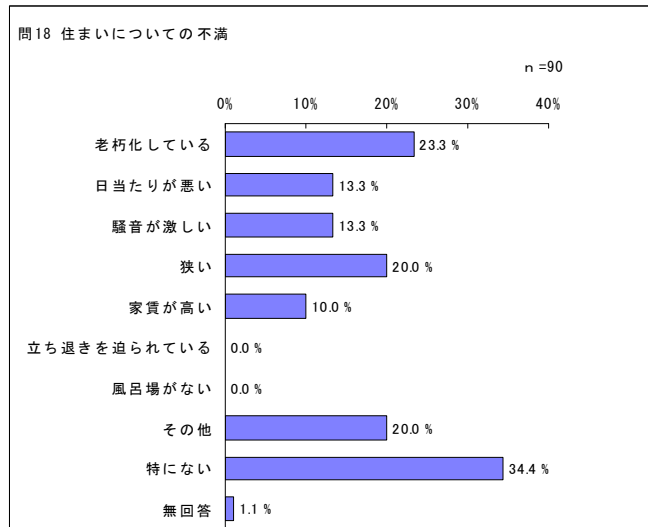
住まいについてみると、「民間アパート・賃貸マンション」が34.4%と最も多く、次いで「土地付き一戸建」が30.0%となっています。



問 17で 「病院・施設」以外を選んだ回答者

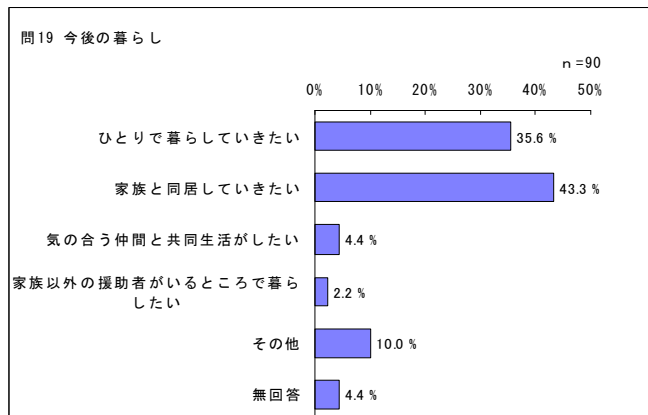
問 18 現在、お住まいで不満なことがありますか。[複数回答]

不満なことについてみると、「特にな
い」が34.4%と最も多く、次いで「老朽
化している」が23.3%となっています。



問 19 あなたは、今後どのような暮らしをしていきたいですか。[単数回答]

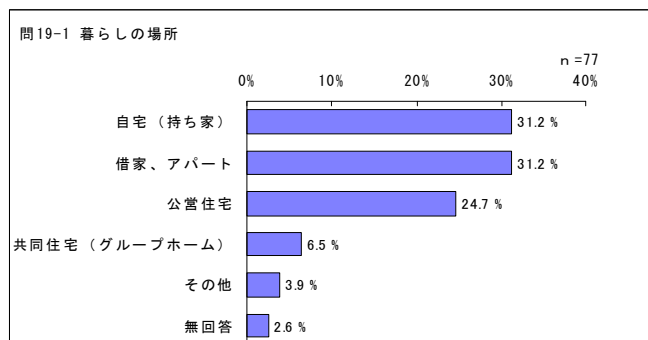
今後どのような暮らしをしたいかにつ
いてみると、「家族と同居していきたい」
が43.3%と最も多く、次いで「ひとりで
暮らしていきたい」が35.6%となってい
ます。



問 19で 「その他」以外を選んだ回答者

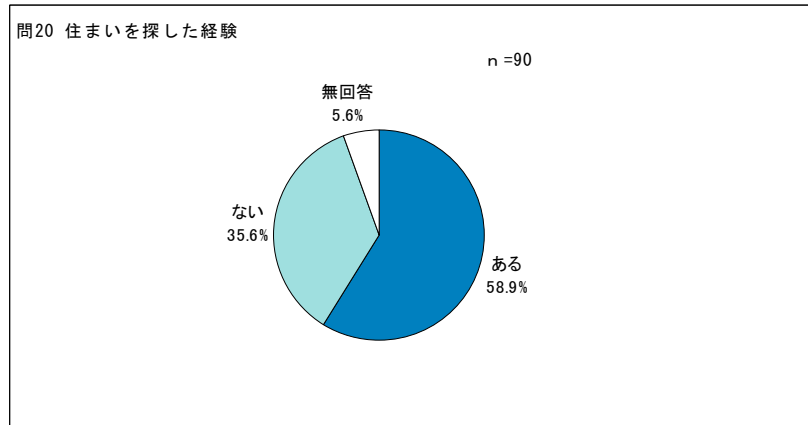
問 19-1 その場所はどんなところですか。[単数回答]

場所についてみると、「自宅(持ち家)」
と「借家、アパート」がともに31.2%と
最も多くなっています。



問 20 あなたは、今まで、お住まいを探した経験がありますか。[単数回答]

住まいを探した経験についてみると、「ある」が58.9%と多く、「ない」は35.6%となっています。



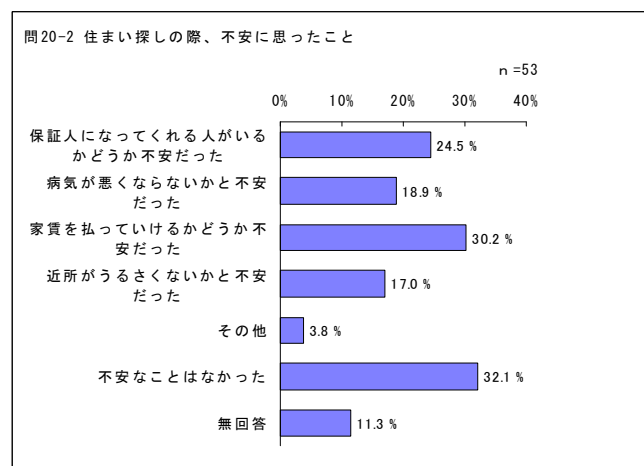
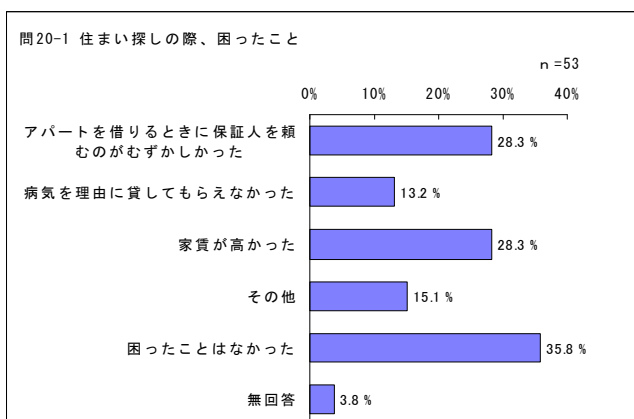
問 20 で 「ある」を選んだ回答者

問 20-1 そのときに困ったことがありましたか。[複数回答]

問 20-2 そのとき不安に思ったことはありますか。[複数回答]

困ったことについてみると、「困ったことはなかった」が35.8%と最も多く、次いで「アパートを借りるときに保証人を頼むのがむずかしかった」と「家賃が高かった」が28.3%となっています。

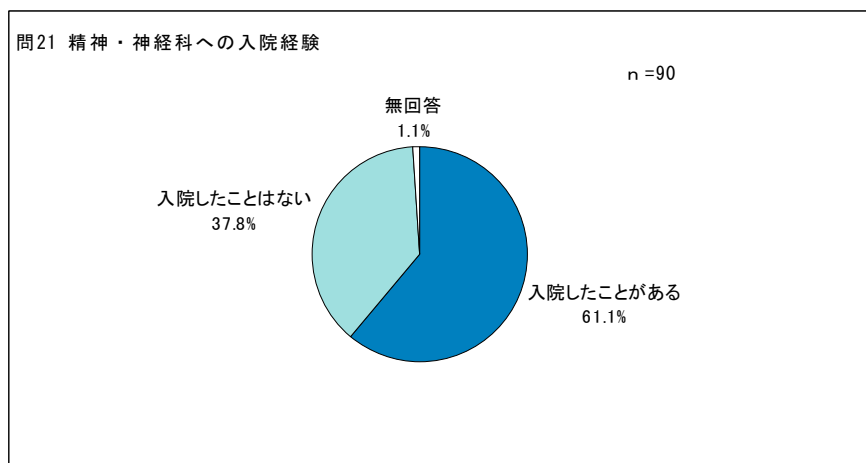
不安に思ったことについてみると、「不安なことはなかった」が32.1%と最も多く、次いで「家賃を払っていきけるかどうか不安だった」が30.2%となっています。



4 健康状態について

問 21 あなたは、今までに精神・神経科に入院したことがありますか。[単数回答]

精神・神経科に入院したことがあるかについてみると、「入院したことがある」が 61.1%となっています。



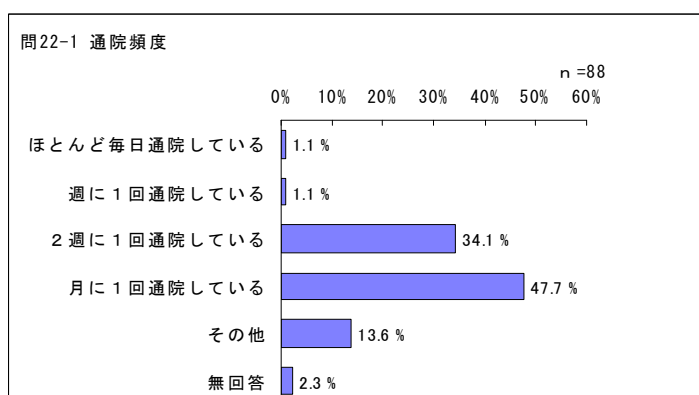
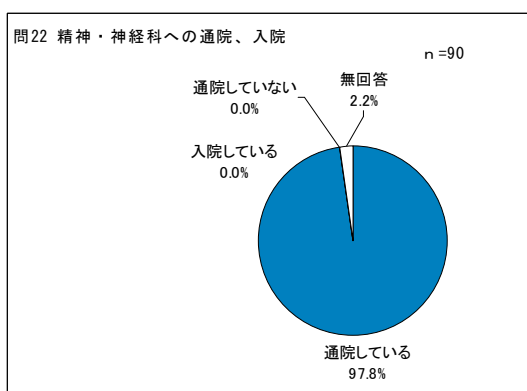
問 22 あなたは現在、精神・神経科のお医者さんにかかっていますか。[単数回答]

問 22 で 「無回答」以外の回答者

問 22-1 どのくらい通院していますか。[単数回答]

精神・神経科のお医者さんにかかっているかについてみると、「通院している」が 97.8%と圧倒的に多くなっています。

通院回数についてみると、「月に1回通院している」が 47.7%と最も多く、次いで「2週に1回通院している」が 34.1%となっています。

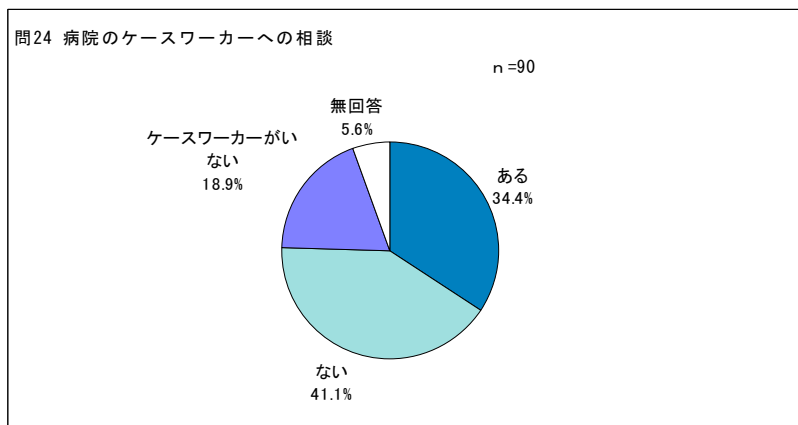


問23 薬や病院などで困っていることがありましたら、ご自由に記入してください。

待ち時間が長い。薬がどんどん増える。薬局の人が感じが悪い。
カウンセリングの料金が安い。
病院ではなくクリニックですので、PSWの方はいません。質問・相談ごとは担当医の先生とスタッフ（事務の方や看護婦さん）の方に全て話しています。ですが、皆さん忙しいので時間は限られています。保健師さんや訪問看護も本人が今のところ受け入れないので、利用できないでいます。クリニックでは話はきいてくださるので、行く度に最低1つでもと思い質問・相談をしています。ひとりで通院できず親と歩いて通院（15分くらい）しています。
良い眠りがとれません。薬は多く飲んでいるのに、眠りが安定しないため、一般社会に出て行く自信がないです。
待たされる時間が長い。
減薬したいが、反対に薬が増えてしまうこと。
病院まで遠い。近い病院に移りたい。
副作用をなくしたい。
薬の量がなかなか減らない。
薬がないと眠れない。
薬のため便秘。
薬だけではなく、心理療法やカウンセリングを受けたいが、投薬のみ。
睡眠薬がすぐに効かない。
（薬が多く）薬害にならないのか？心配。
調布の「はしもとクリニック」は名医。薬局も親切なおじさんだが、（遠くて）交通費が高い。
予約がなかなかとれない。
医者が患者の話を聞きながら、足に薬をぬりだした。過去に2回ほどあった（具体的な医院名を記述）。
薬で眠れない。
病院が少し遠い。
どこの病院に行っても、病気が改善しなく、15年以上努力したが、治らない。薬物治療以外の治療を試してみたいが、近くにやっているとこがない、または、高額である。
疲労する。
近くの病院へ替わりたいが良い病院がない。また、今までの病気の経過を解ってもらっているので替えることが出来ない。

問 24 病院のケースワーカーに相談したことがありますか。[単数回答]

病院のケースワーカーに相談したことがあるかについてみると、「ない」が 41.1%と多く、次いで「ある」が 34.4%となっています。

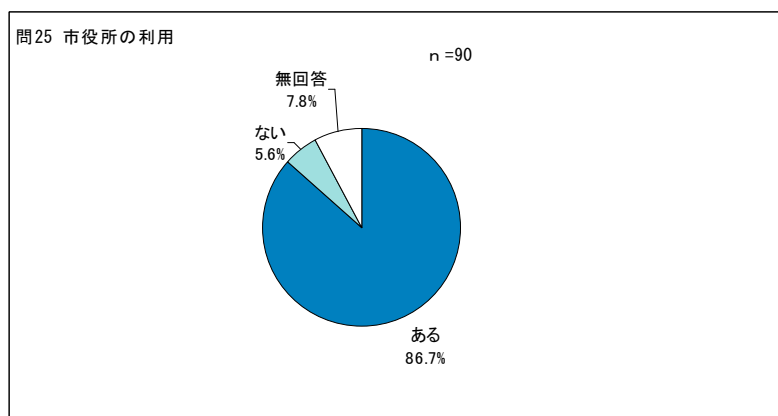


問 25 あなたは、市役所または保健所を利用したことがありますか。[単数回答]

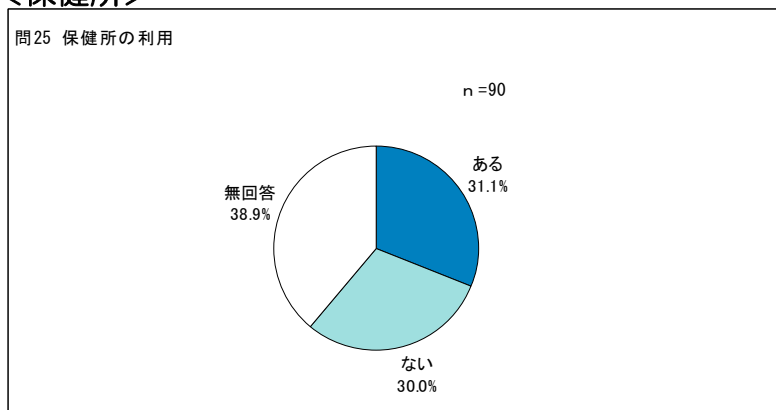
市役所を利用したことがあるかについてみると、「ある」が 86.7%と多くなっています。

保健所を利用したことがあるかについてみると、「ある」が 31.1%と多くなっています。

<市役所>



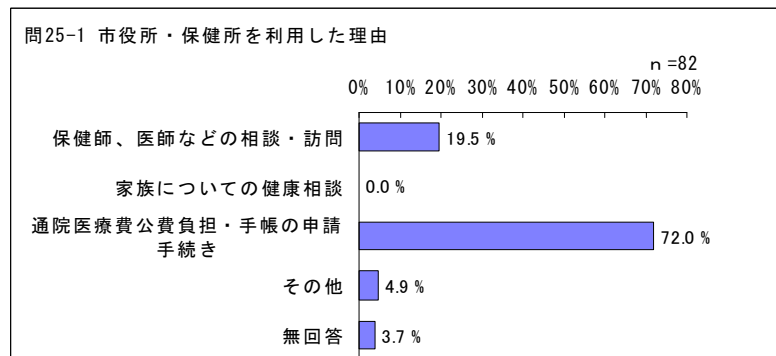
<保健所>



問 25 のどちらかで 「ある」を選んだ回答者

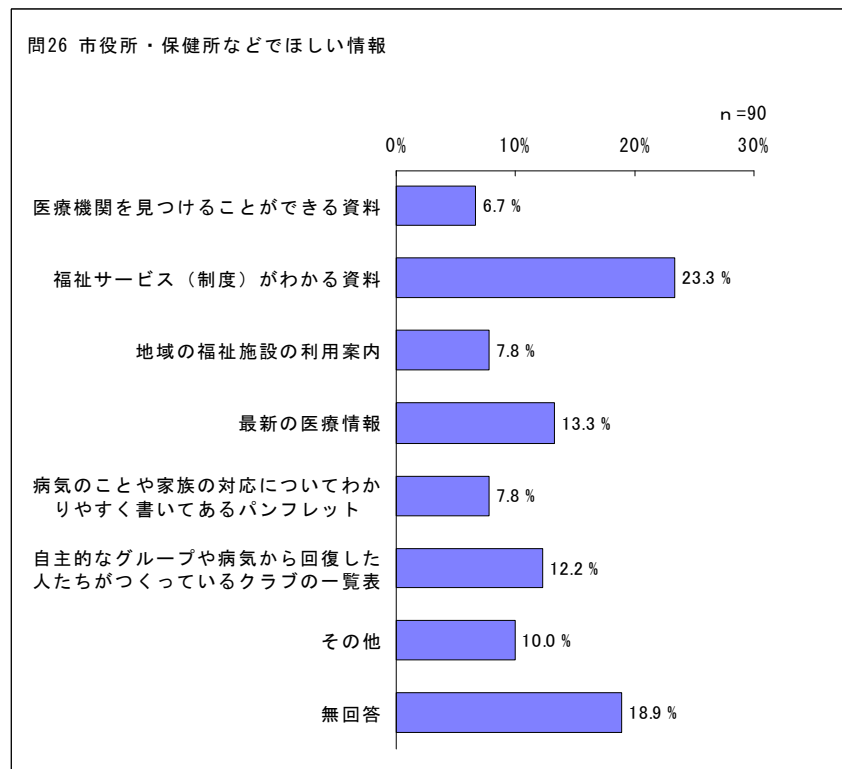
問 25-1 どのような利用をしましたか。[単数回答]

利用についてみると、「通院医療費公費負担（自立支援医療）・手帳の申請手続き」が72%と最も多く、次いで「保健師、医師などの相談・訪問」が19.5%となっています。



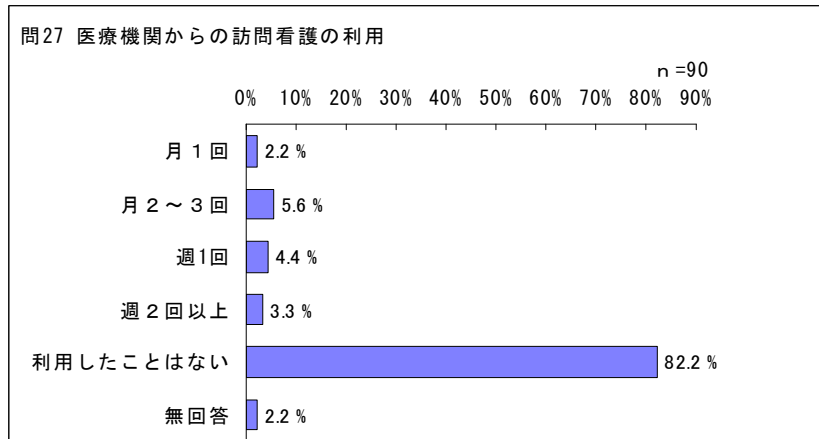
問 26 市役所や保健所などで、あなたがほしい情報は何か。[単数回答]

ほしい情報についてみると、「福祉サービス（制度）がわかる資料」が23.3%と最も多く、次いで「無回答」が18.9%、「最新の医療情報」が13.3%となっています。



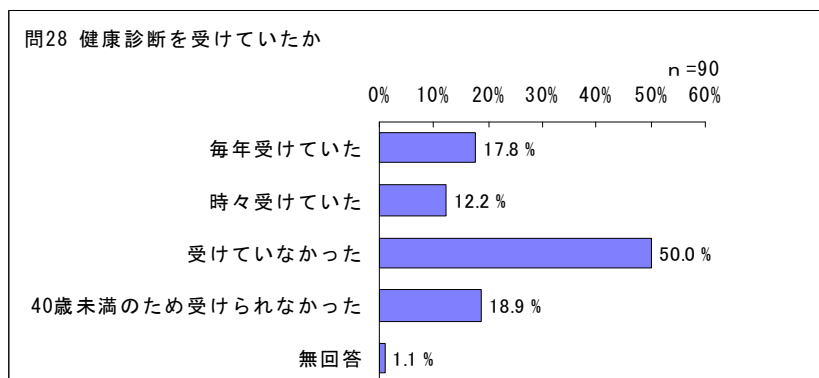
問 27 医療機関からの訪問看護を利用したことがありますか。[単数回答]

医療機関からの訪問看護についてみると、「利用したことはない」が 82.2%と圧倒的に多くなっています。



問 28 市で実施している健康診断を受けていましたか。[単数回答]

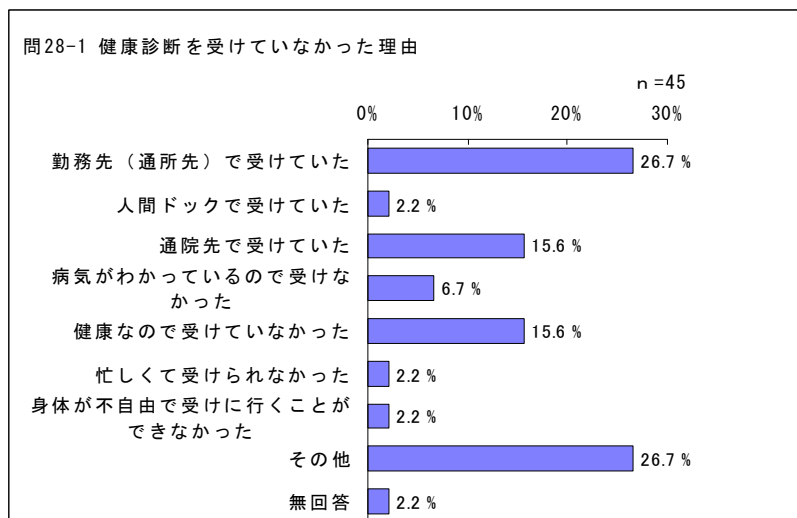
健康診断についてみると、「受けていなかった」が半数を占めて多く、次いで「40 歳未満のため受けられなかった」が 18.9%となっています。



問 28 で 「受けていなかった」を選んだ回答者

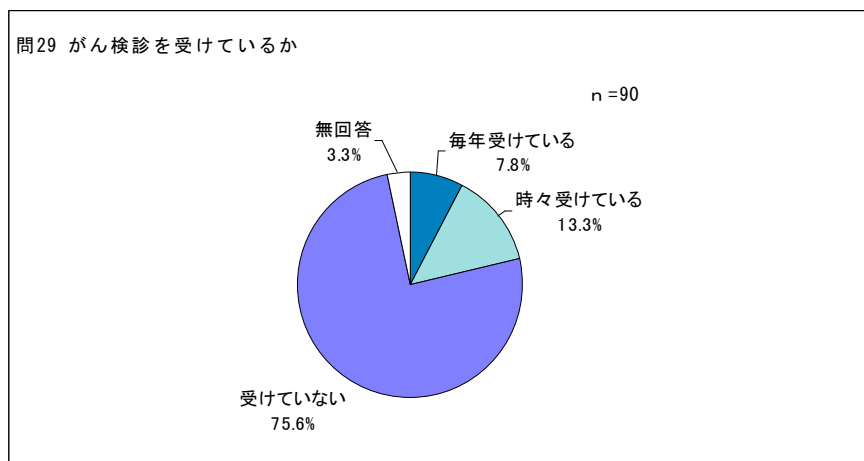
問 28-1 「受けていなかった」主な理由は何ですか。[単数回答]

主な理由についてみると、「勤務先（通所先）で受けていた」と「その他」が 26.7%と最も多く、次いで「通院先で受けていた」と「健康なので受けていなかった」がともに 15.6%となっています。「その他」では、「病気の症状から、集団の中に入るのが大変困難な状態」、「サービスがあったのを知らなかった」等が挙げられています。



問 29 市で実施しているがん検診（大腸・胃・肺・乳・子宮・口腔・前立腺）を受けていますか。[単数回答]

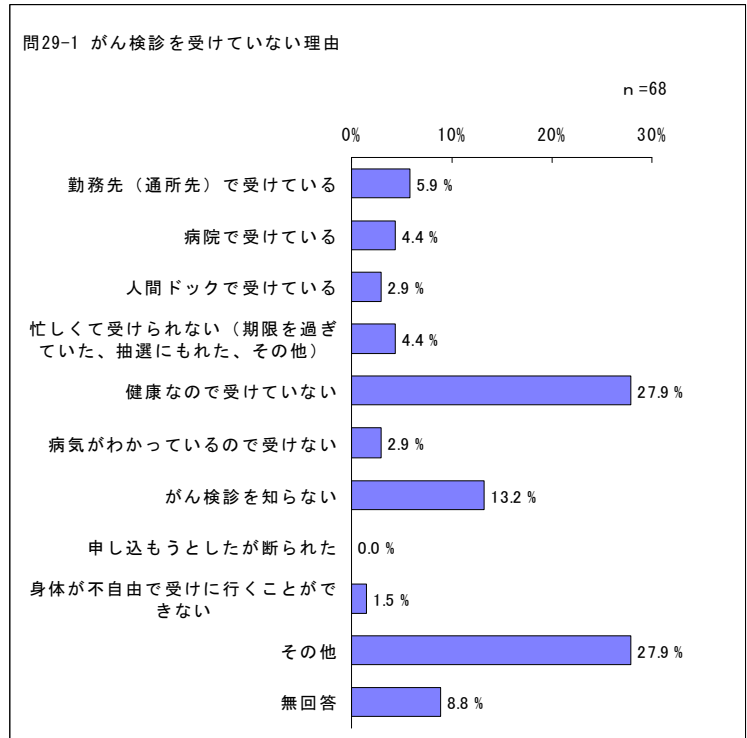
がん検診についてみると、「受けていない」が 75.6%と最も多くなっています。



問 29 で 「受けていない」を選んだ回答者

問 29-1 「受けていない」主な理由は何ですか。[単数回答]

主な理由についてみると、「健康なので受けていない」と「その他」が 27.9%と最も多く、次いで「がん検診を知らない」が 13.2%となっています。



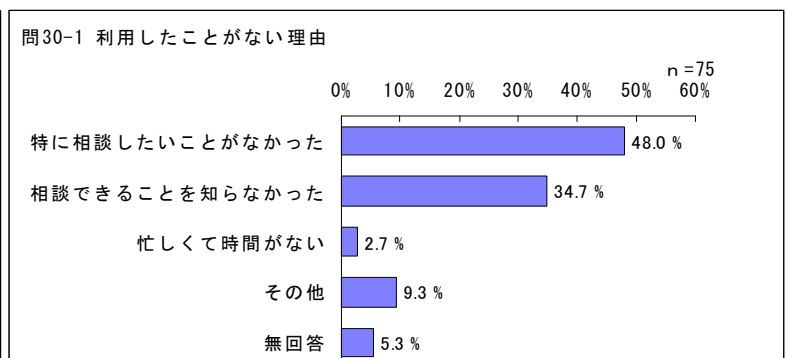
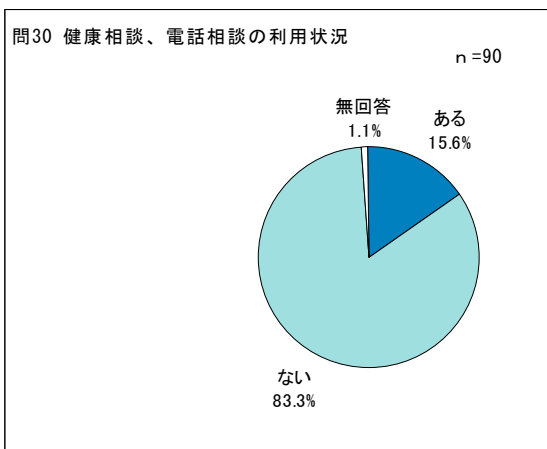
問 30 市で行っている健康相談、電話相談を利用したことがありますか。[単数回答]

問 30 で 「ない」を選んだ回答者

問 30-1 健康相談や電話相談を利用したことがないのはなぜですか。[単数回答]

健康相談、電話相談についてみると、「ない」が 83.3%となっています。

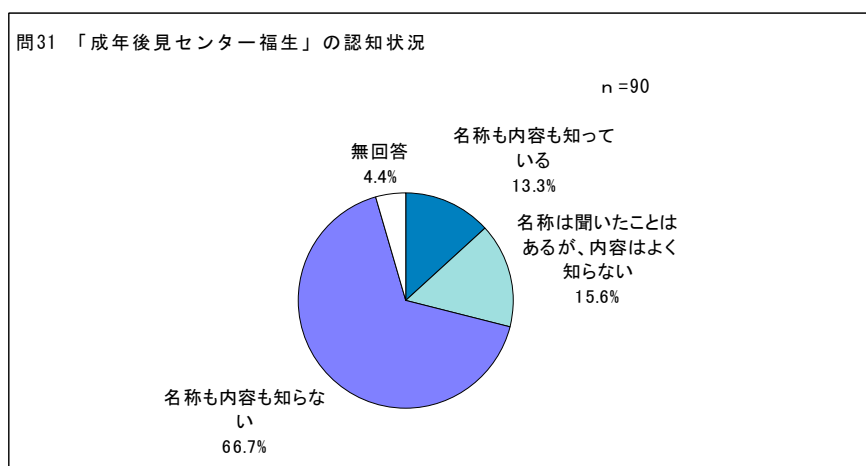
利用したことがない理由についてみると、「特に相談したいことがなかった」が 48%と最も多く、次いで「相談できることを知らなかった」が 34.7%となっています。



5 福祉サービスについて

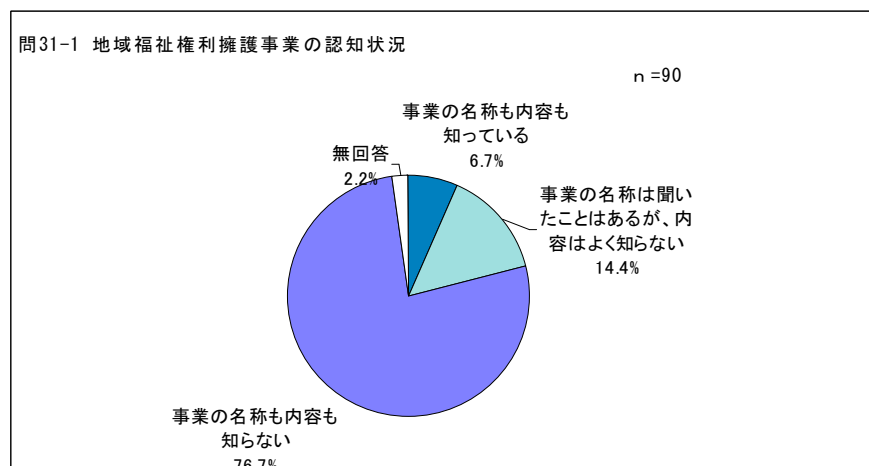
問 31 「成年後見センター福生」では、認知症、知的障害または精神障害により判断能力が十分でないため、日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用手続きなどの援助や代行、利用料の支払いなどを行い、地域で自立した生活を送れるように支援する「地域福祉権利擁護事業」（福祉サービス利用援助事業）や認知症等のため判断能力が不十分であるため、本人に代わって後見人が各種契約行為、金融機関との取引や本人の財産管理などを行い、悪徳商法の被害、高齢者虐待などから保護し、支援する「成年後見制度」など福祉サービス総合支援事業を実施していますが、「成年後見センター福生」をご存知ですか。[単数回答]

「成年後見センター福生」の認知度についてみると、「名称も内容も知らない」が 66.7%と最も多く、次いで「名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が 15.6%となっています。



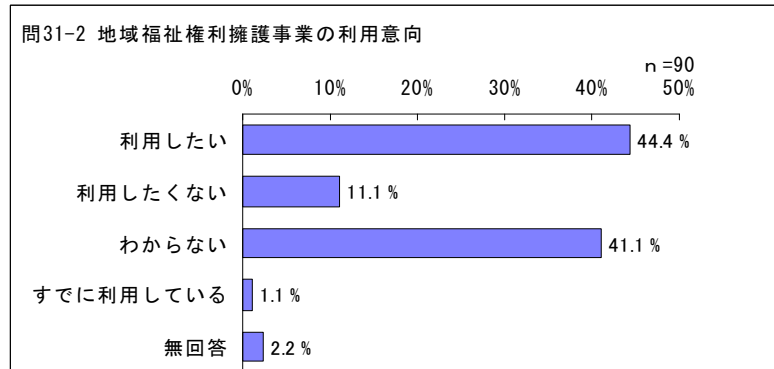
問 31-1 「地域福祉権利擁護事業」についておききます。[単数回答]

「地域福祉権利擁護事業」の認知度についてみると、「事業の名称も内容も知らない」が 76.7%と最も多く、次いで「事業の名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が 14.4%となっています。



問 31-2 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「地域福祉権利擁護事業」を利用したいですか。[単数回答]

利用意向についてみると、「利用したい」が44.4%と最も多く、次いで「わからない」が41.1%となっています。

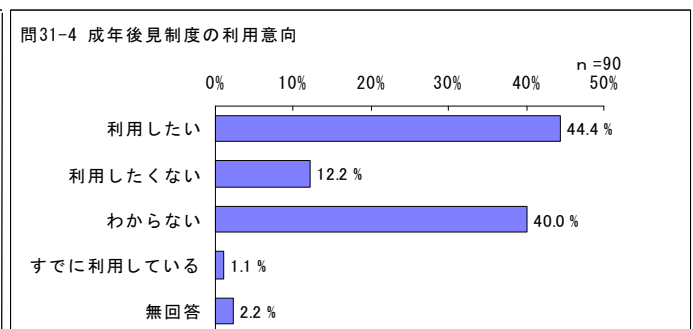
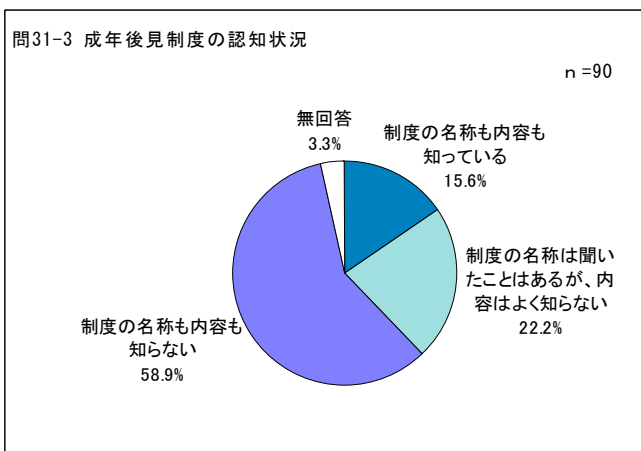


問 31-3 「成年後見制度」についておききします。[単数回答]

問 31-4 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「成年後見制度」を利用したいですか。[単数回答]

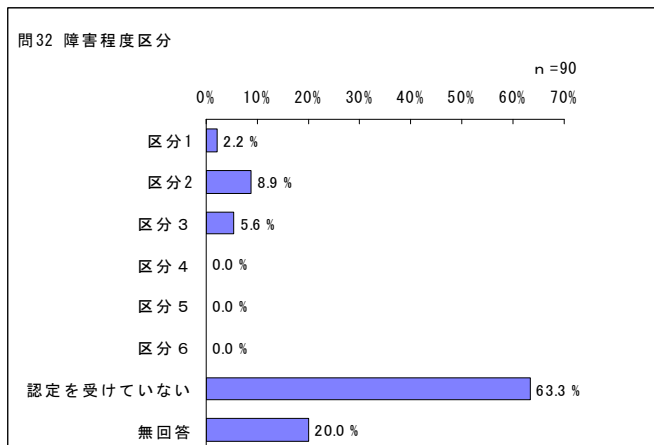
「成年後見制度」の認知度についてみると、「制度の名称も内容も知らない」が58.9%と最も多く、次いで「制度の名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が22.2%となっています。

利用意向についてみると、「利用したい」が44.4%と最も多く、次いで「わからない」が40%となっています。



問 32 障害福祉サービスの必要量を決める障害程度区分は次のうちどれですか。
[単数回答]

障害程度区分についてみると、「認定を受けていない」が63.3%と最も多く、次いで「無回答」が20%となっています。



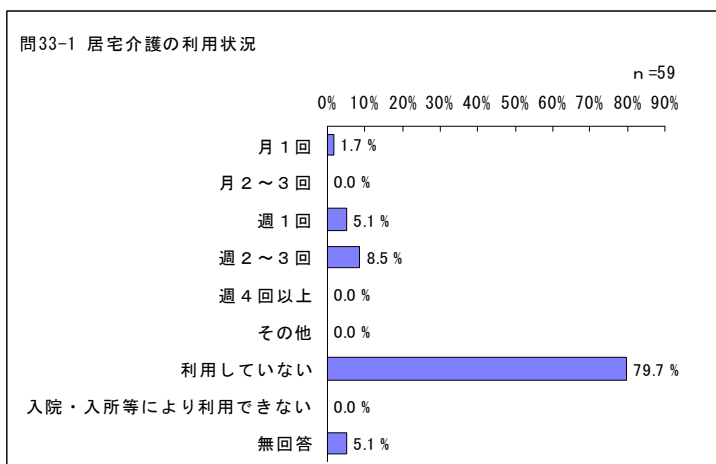
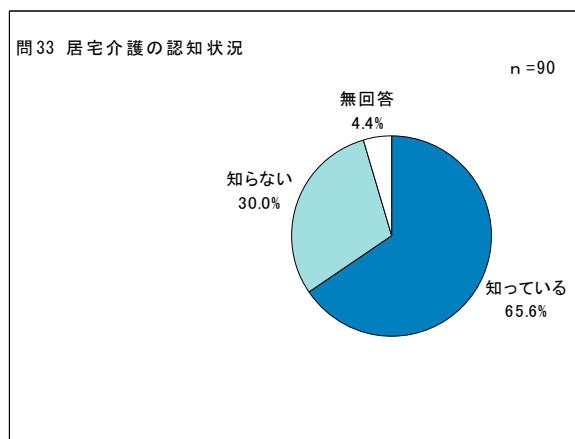
問 33 食事、掃除、身の回りの世話などのお手伝いをする居宅介護（ホームヘルプ）を実施していますが、ご存知ですか。[単数回答]

問 33 で 「知っている」を選んだ回答者

問 33-1 現在、居宅介護（ホームヘルプ）を利用していますか。また、利用している場合は、どのくらい利用していますか。[単数回答]

居宅介護（ホームヘルプ）を知っているかについてみると、「知っている」が65.6%と多く、「知らない」は30%となっています。

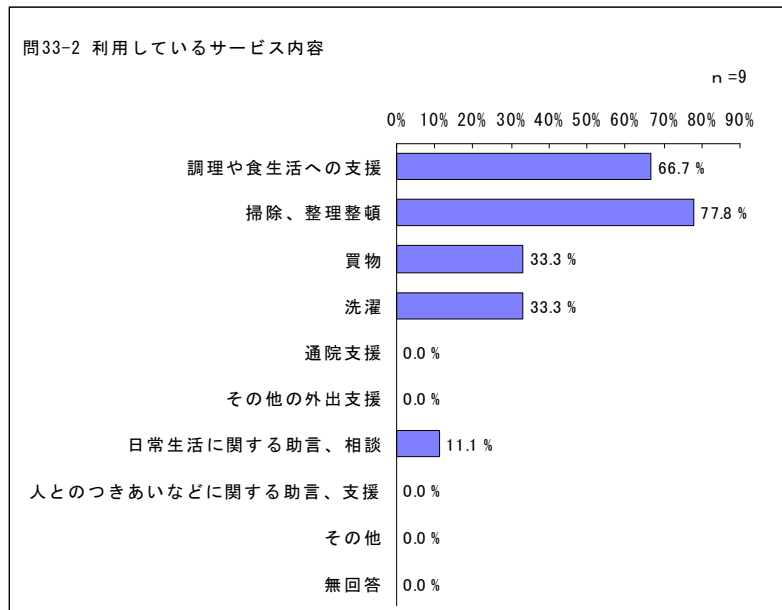
居宅介護を利用しているかについてみると、「利用していない」が79.7%と最も多くなっています。



問 33-1 で 「利用していない」「入院・入所等により利用できない」以外を選んだ回答者

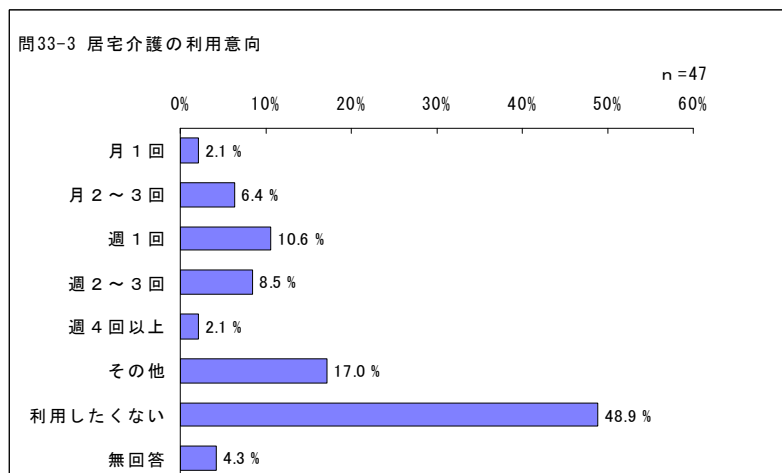
問 33-2 利用しているサービスの内容は何ですか。[複数回答]

利用しているサービスの内容についてみると、「掃除、整理整頓」が 77.8%と最も多く、次いで「調理や食生活への支援」が 66.7%となっています。



問 33-3 今後、居宅介護（ホームヘルプ）を利用したいと思いますか。また、利用したい場合は、どのくらい利用したいと思いますか。[単数回答]

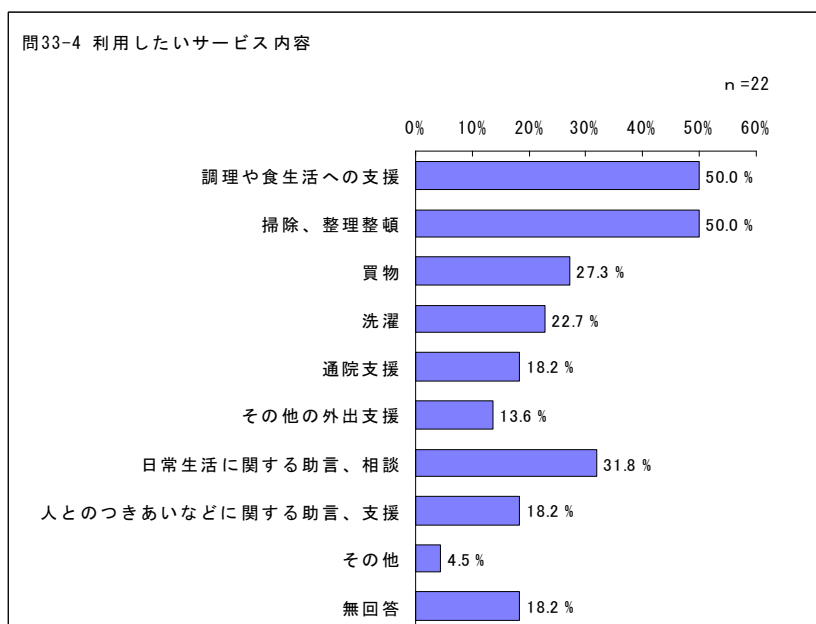
今後、居宅介護（ホームヘルプ）を利用したいと思うかについてみると、「利用したくない」が 48.9%と最も多く、次いで「その他」が 17%となっています。



問 33-3 で 「利用したくない」以外を選んだ回答者

問 33-4 利用したいサービスの内容は何ですか。[複数回答]

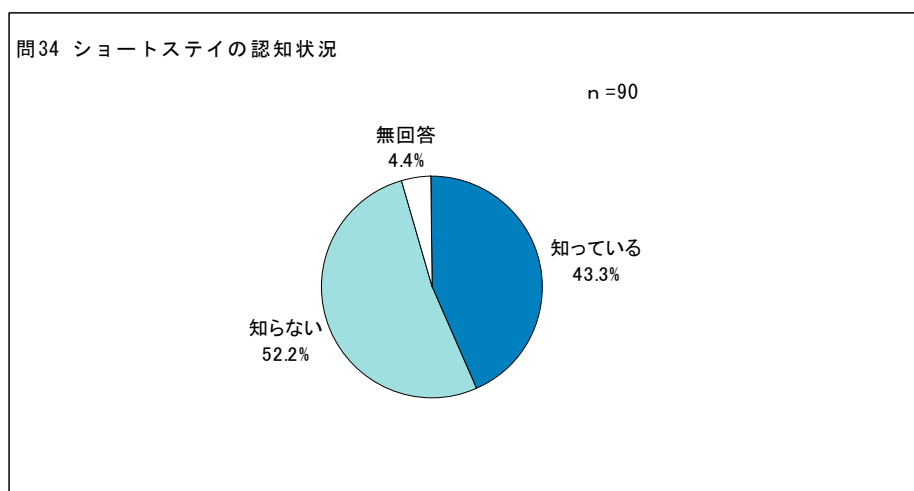
利用したいサービスの内容についてみると、「調理や食生活への支援」と「掃除、整理整頓」がともに 50%と最も多く、次いで「日常生活に関する助言、相談」が 31.8%となっています。



問 34 家族の疾病などにより、在宅で生活することが困難になった際に施設への短期入所を行う「ショートステイ」を実施していますが、ご存知ですか。

[単数回答]

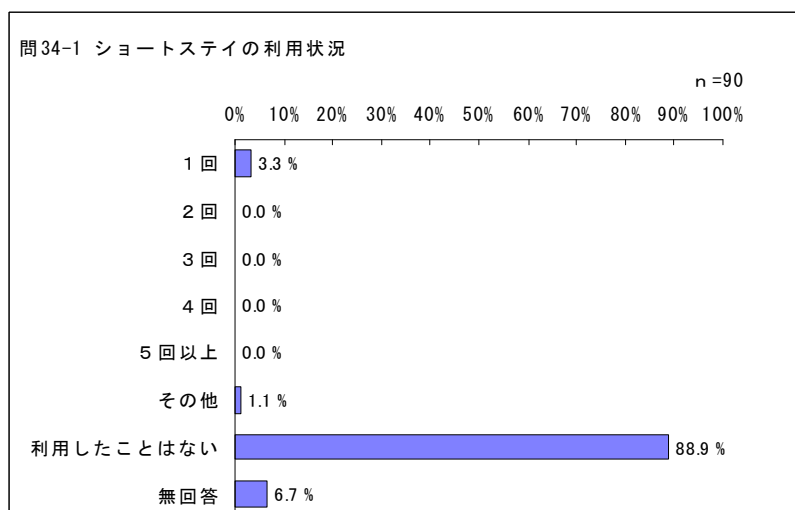
ショートステイを知っているかについてみると、「知らない」が 52.2%と過半数を占め、多くなっています。



問 34-1 ショートステイを利用したことがありますか。また、利用したことがある場合は、1年間に何回利用しましたか。[単数回答]

ショートステイの利用状況についてみると、「利用したことはない」が 88.9%と圧倒的に多くなっています。

次いで「無回答」が 6.7%、「1回」が 3.3%となっています。

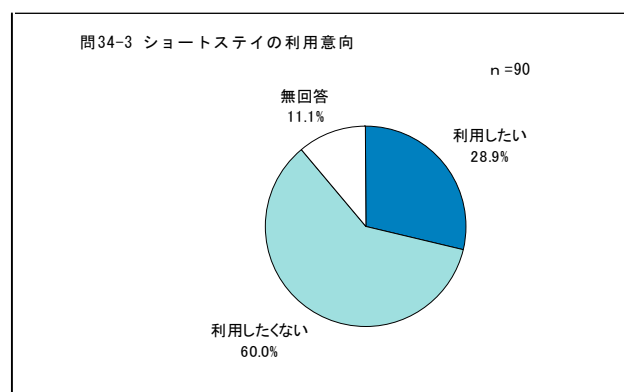
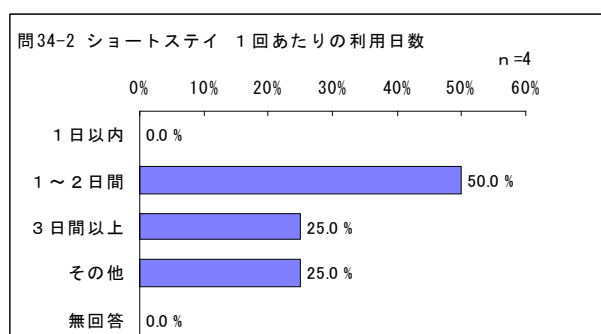


問 34-1 で 「利用したことがない」以外を選んだ回答者

問 34-2 1回あたり平均して何日程度利用しましたか。[単数回答]

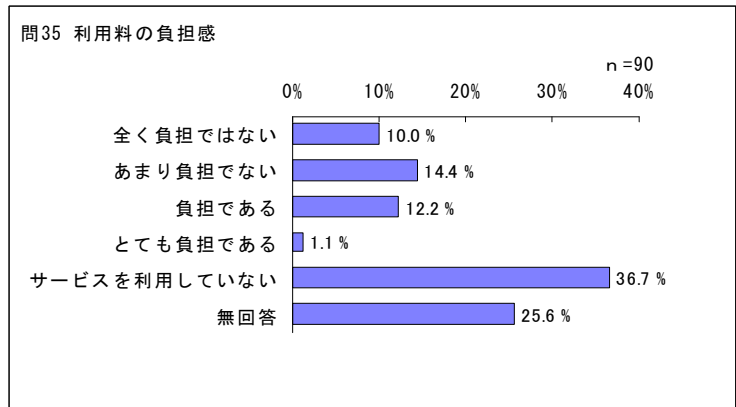
問 34-3 今後、ショートステイを利用したいと思いますか。[単数回答]

1回あたりの利用は平均「1～2日間」とした回答が最も多く、4人中2人となっています。今後利用したいと思うかについてみると、「利用したくない」が 60%、「利用したい」は 28.9%となっています。

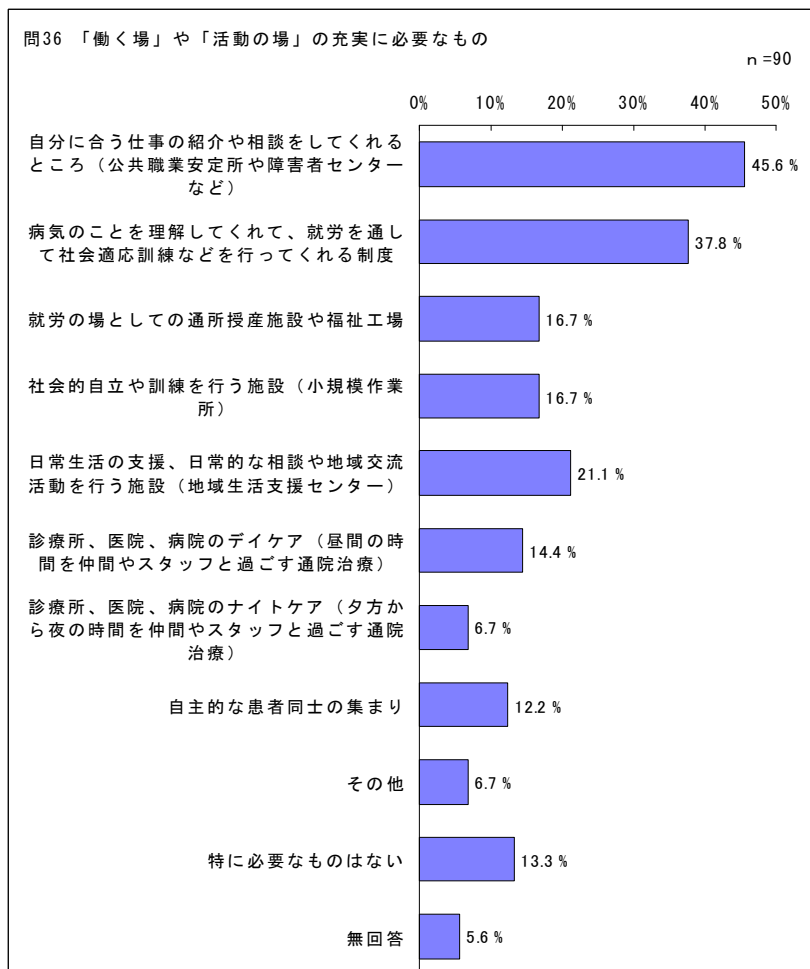


問 35 現在支払っている利用料の負担感についてうかがいます。[単数回答]

利用料の負担感についてみると、「サービスを利用していない」が36.7%と最も多く、次いで「無回答」が25.6%となっています。



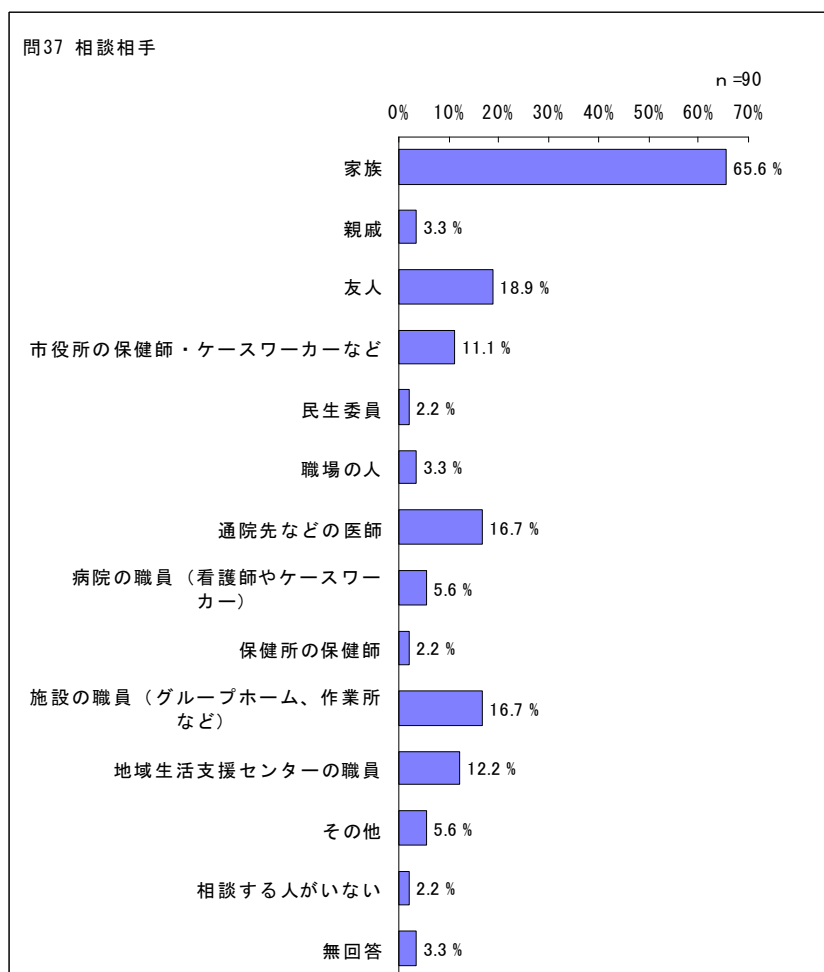
問 36 「働く場」や「活動の場」を充実させるため、あなたが必要と思うものは何ですか。[複数回答－3つ以内]



必要と思うものについてみると、「自分に合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ（公共職業安定所や障害者センターなど）」が45.6%と最も多く、次いで「病気のことを理解してくれて、就労を通して社会適応訓練などを行ってくれる制度」が37.8%となっています。

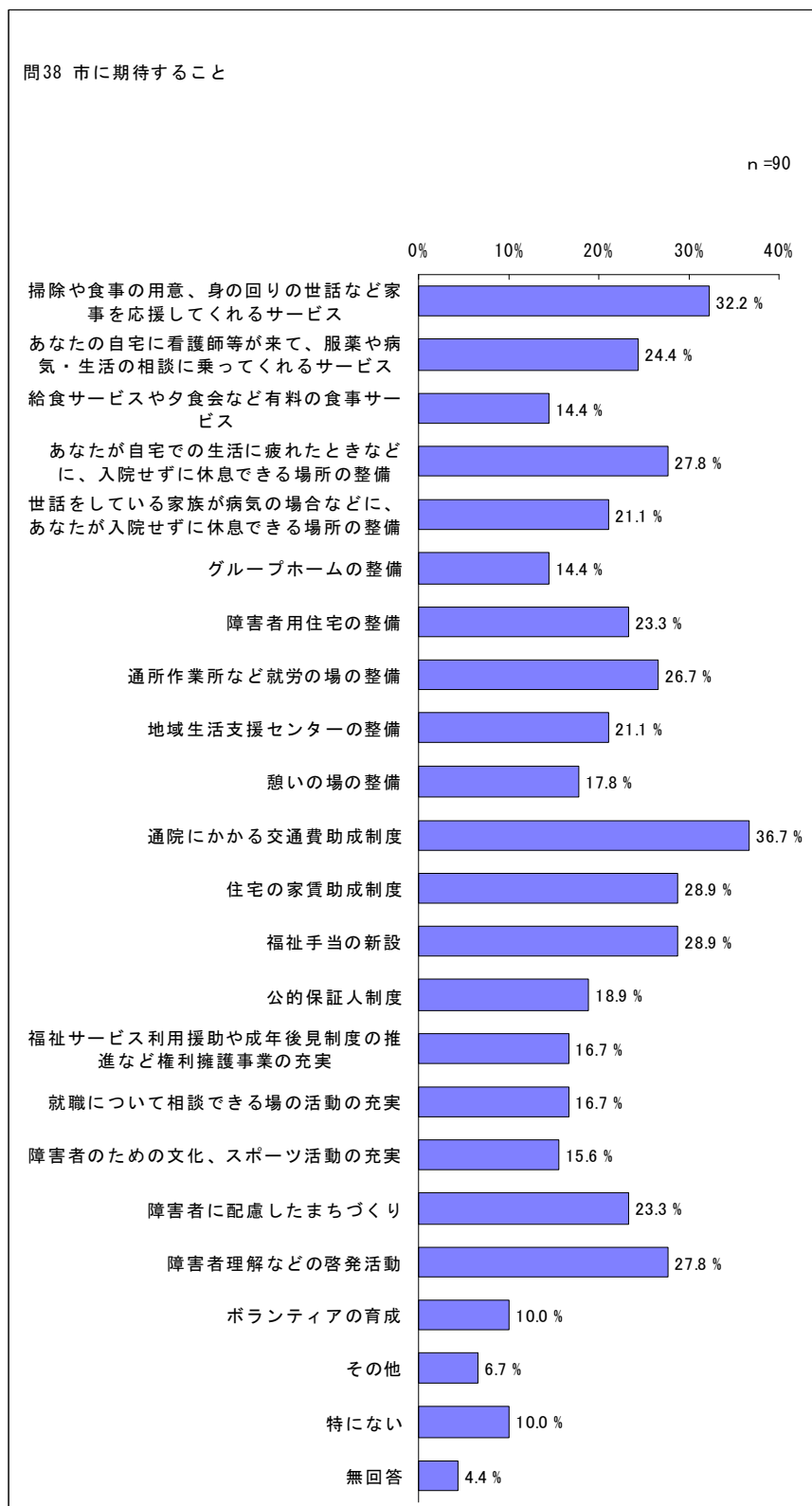
問 37 あなたが生活上の悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。[複数回答－2つ以内]

相談するのは誰かについてみると、「家族」が65.6%と最も多く、次いで「友人」が18.9%となっています。



問 38 今後、市に何を期待しますか。[複数回答]

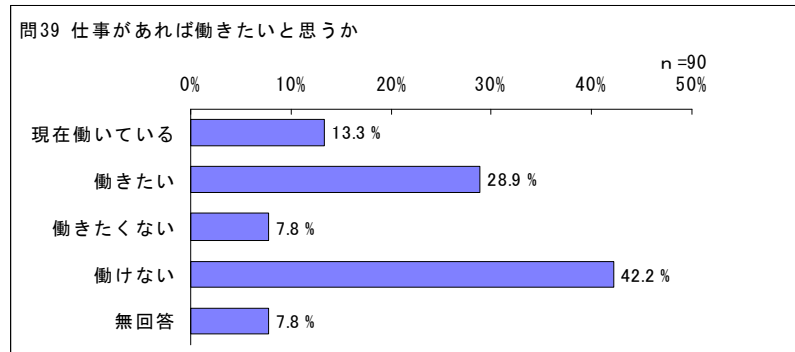
市に何を期待するかについてみると、「通院にかかる交通費助成制度」が 36.7%と最も多く、次いで「掃除や食事の用意、身の回りの世話など家事を応援してくれるサービス」が 32.2%となっています。



6 就労意欲について

問 39 あなたは、適当な仕事があれば働きたいと思いますか。[単数回答]

働きたいと思うかについてみると、「働けない」が 42.2%と最も多く、次いで「働きたい」が 28.9%となっています。



■ 適当な仕事があれば働きたいと思うか一年齢別 *上段…人数 (単位:人)、下段…構成比 (単位:%)

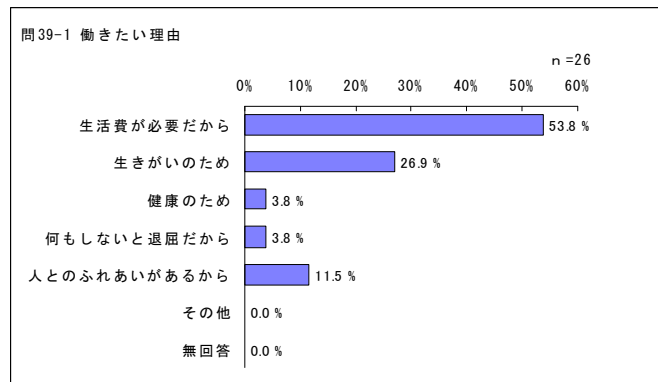
	全体	現在働いている	働きたい	働きたくない	働けない	無回答
合計	90	12	26	7	38	7
	100.0	13.3	28.9	7.8	42.2	7.8
29歳以下	6	0	3	0	2	1
	100.0	0.0	50.0	0.0	33.3	16.7
30歳代	26	3	12	0	10	1
	100.0	11.5	46.2	0.0	38.5	3.8
40歳代	17	1	5	2	7	2
	100.0	5.9	29.4	11.8	41.2	11.8
50歳代	21	4	3	2	11	1
	100.0	19.0	14.3	9.5	52.4	4.8
60歳代	14	3	1	2	7	1
	100.0	21.4	7.1	14.3	50.0	7.1
70歳以上	2	0	0	1	1	0
	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0

就労意欲を年齢別でみると、「働きたい」とする回答は29歳以下と30歳代では最も多い回答で、40歳代では2番目に多く、50歳代では第3位で、60歳代以上では1人しかみられません。

問 39 で 「働きたい」を選んだ回答者

問 39-1 「働きたい」と答えた方にうかがいます。その主な理由は何ですか。[単数回答]

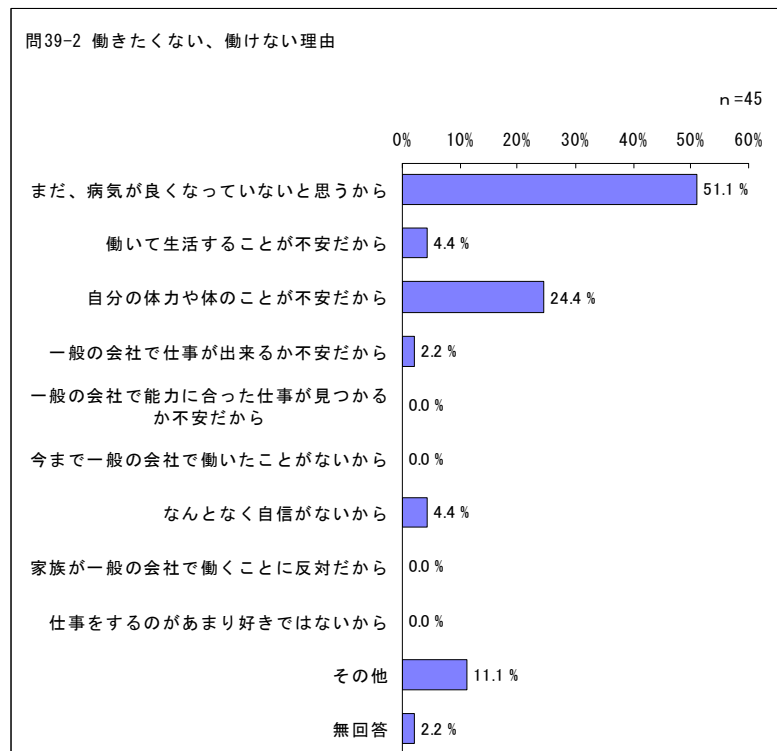
働きたい理由についてみると、「生活費が必要だから」が 53.8%と最も多く、次いで「生きがいのため」が 26.9%となっています。



問 39 で 「働きたくない」、「働けない」を選んだ回答者

問 39-2 「働きたくない、働けない」と答えた方にうかがいます。その主な理由は何ですか。[単数回答]

理由についてみると、「まだ、病気が良くなっていないと思うから」が 51.1%と最も多く、次いで「自分の体力や体のことが不安だから」が 24.4%となっています。

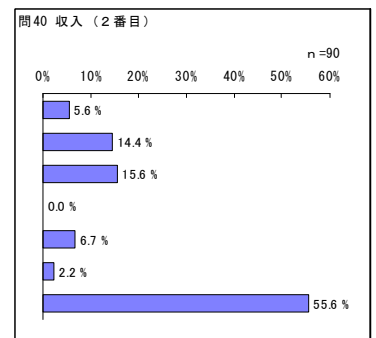
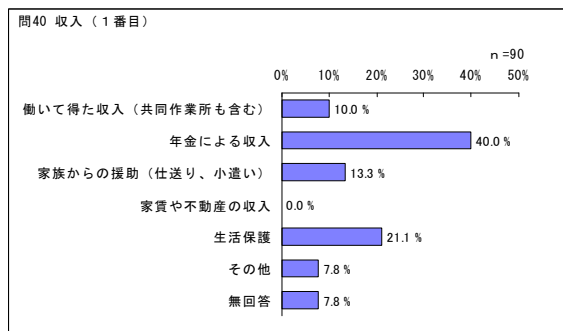


7 収入について

問 40 あなたはどのように収入を得ていますか。[金額の多い順に2つまで]

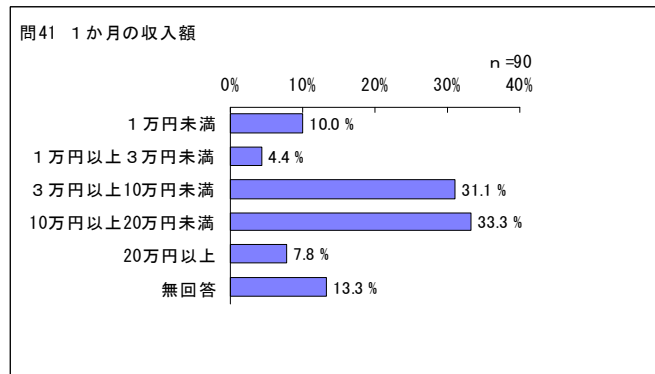
最も金額の多い収入では、「年金による収入」が 40%と最も多く、次いで「生活保護」が 21.1%となっています。

2番目に金額の多い収入としては、「無回答」が 55.6%と最も多く、次いで「家族からの援助(仕送り、小遣い)」が 15.6%です。



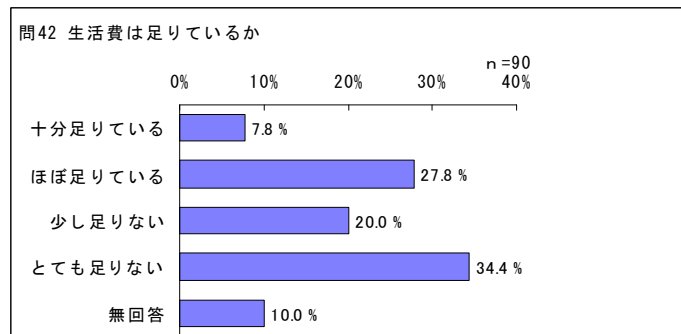
問 41 あなたの1か月の収入は、およそどのくらいですか。[単数回答]

1か月の収入についてみると、「10万円以上20万円未満」が33.3%と最も多く、次いで「3万円以上10万円未満」が31.1%となっています。



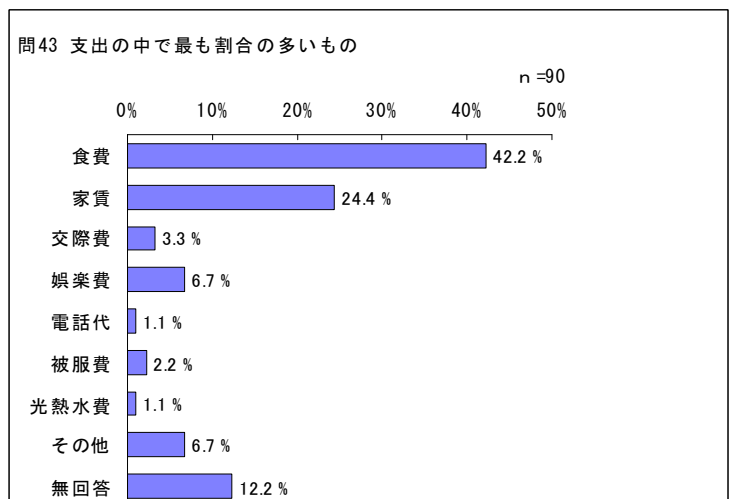
問 42 あなたの収入で、生活費は足りていますか。[単数回答]

生活費についてみると、「とても足りない」が34.4%と最も多く、次いで「ほぼ足りている」が27.8%となっています。



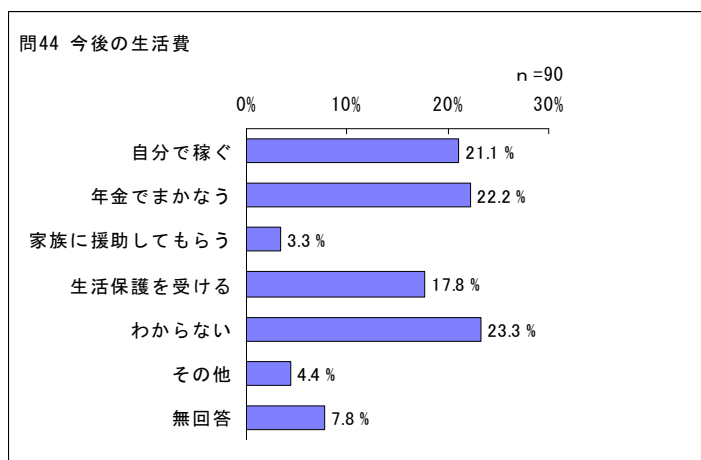
問 43 あなたの支出の中で、最も割合の多いものは何ですか。[単数回答]

支出で最も割合の多いものについてみると、「食費」が42.2%と最も多く、次いで「家賃」が24.4%となっています。



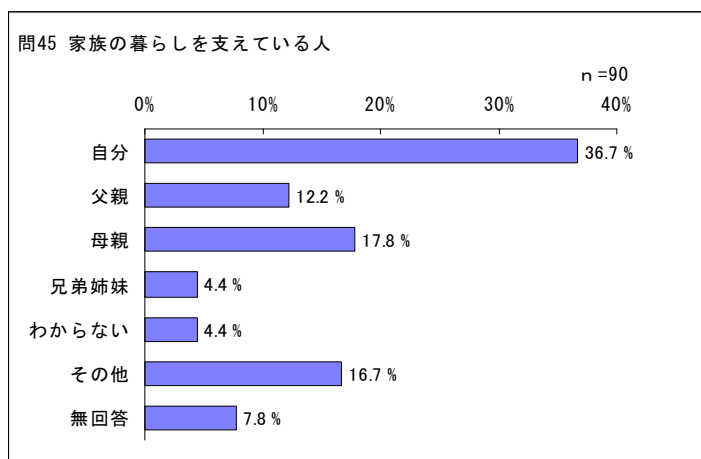
問 44 あなたは今後の生活費をどのように考えていますか。[単数回答]

今後の生活費についてみると、「わからない」が23.3%と最も多く、次いで「年金でまかなう」が22.2%となっています。



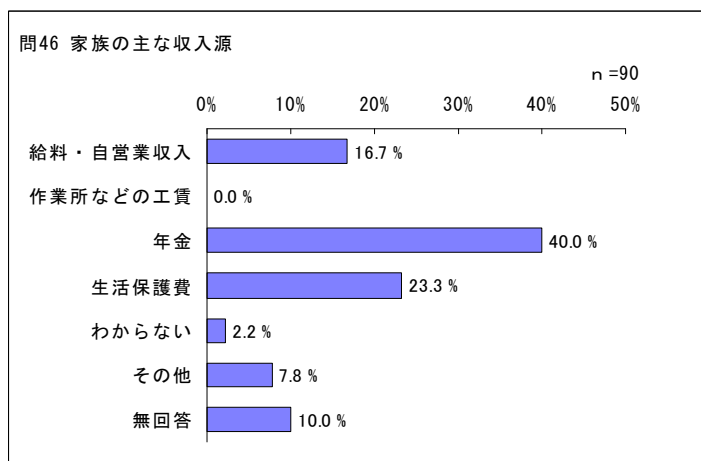
問 45 家族の暮らしを支えている人は主に誰ですか。[単数回答]

家族の暮らしを支えている人についてみると、「自分」が36.7%と最も多く、次いで「母親」が17.8%となっています。



問 46 家族の生活費をまかなっているのは主に何ですか。[単数回答]

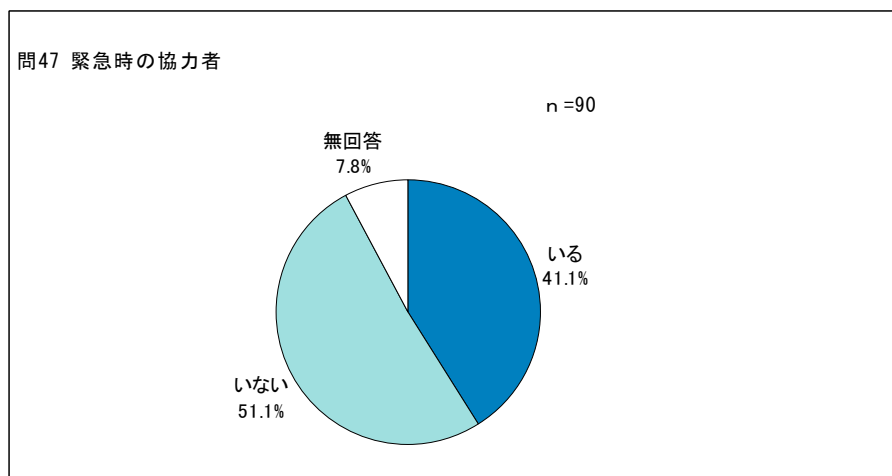
家族の生活費をまかなっているのは何かについてみると、「年金」が40%と最も多く、次いで「生活保護費」が23.3%となっています。



8 災害のときなど緊急時の対応について

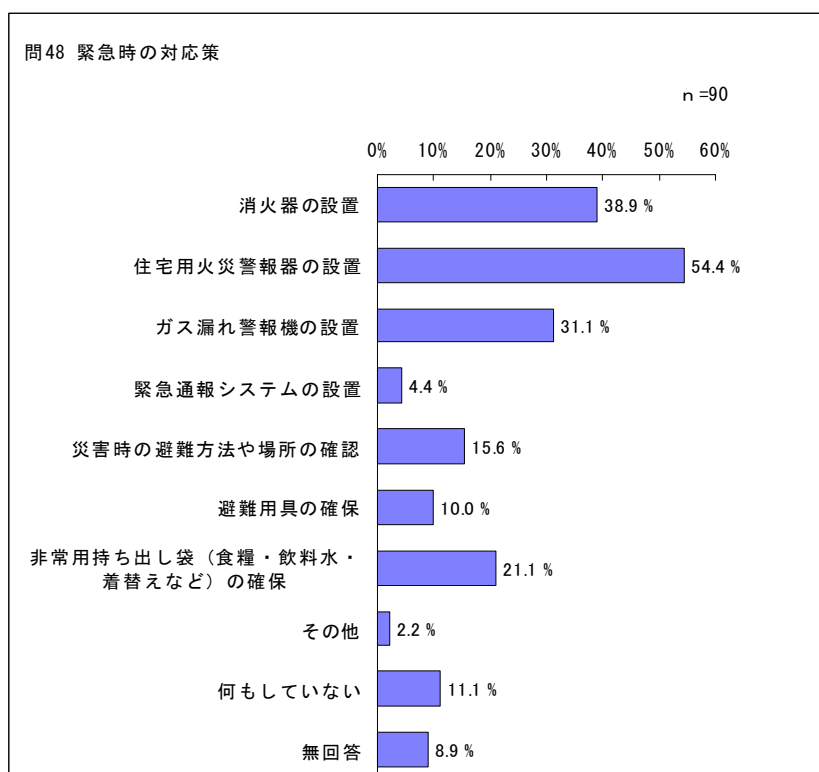
問 47 火災などの緊急時に近所で協力してくれる人がいますか。[単数回答]

近所で協力してくれる人がいるかについてみると、「いない」が51.1%と過半数を占めて多く、「いる」は41.1%となっています。



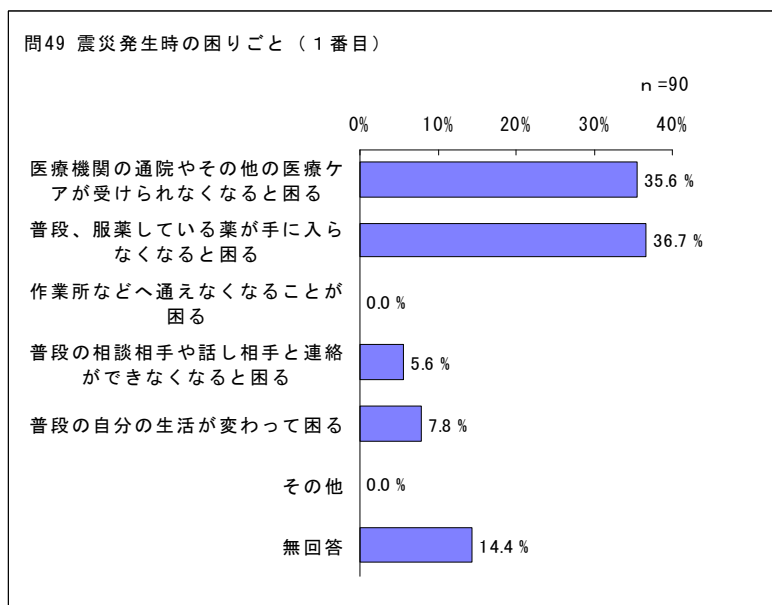
問 48 ご家庭で緊急時の対応策として、どのような準備をしていますか。[複数回答]

緊急時の対応策についてみると、「住宅用火災警報器の設置」が54.4%と最も多く、次いで「消火器の設置」が38.9%となっています。



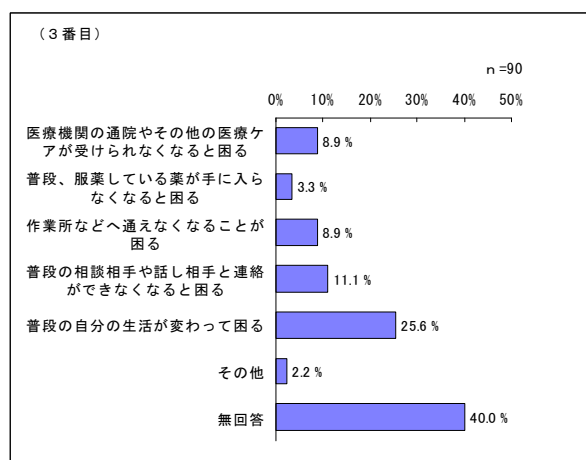
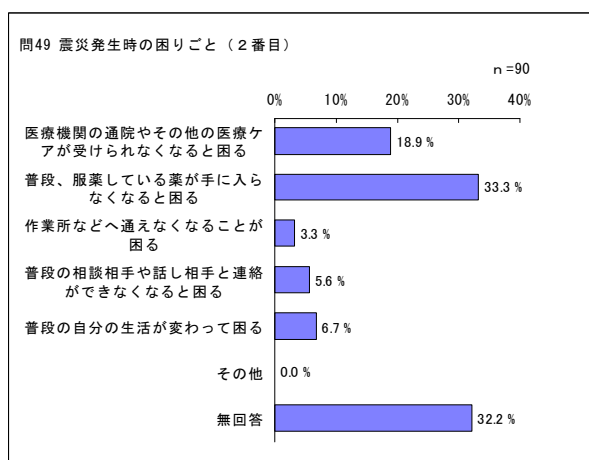
問 49 震災や水害などの災害発生時に、あなたは心身の健康面や生活面でどんなことに困ると思いますか。[最も困ると思われることから順に3つ以内]

災害発生時に健康面や生活面で最も困ることでは、「普段、服薬している薬が手に入らなくなると困る」が36.7%と最も多く、次いで「医療機関の通院やその他の医療ケアが受けられなくなると困る」が35.6%となっています。



2番目の回答としては、「普段、服薬している薬が手に入らなくなると困る」が33.3%と最も多く、次いで「無回答」が32.2%となっています。

3番目の回答としては、「無回答」が40%と最も多く、次いで「普段の自分の生活が変わって困る」が25.6%となっています。



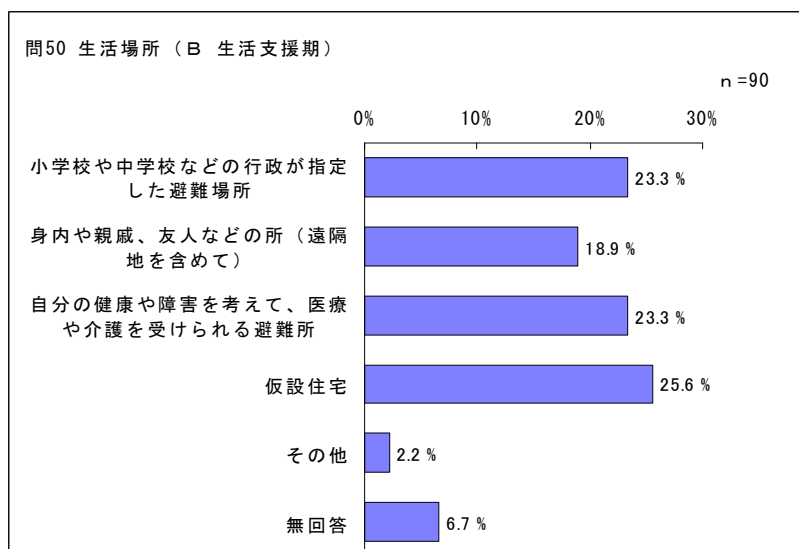
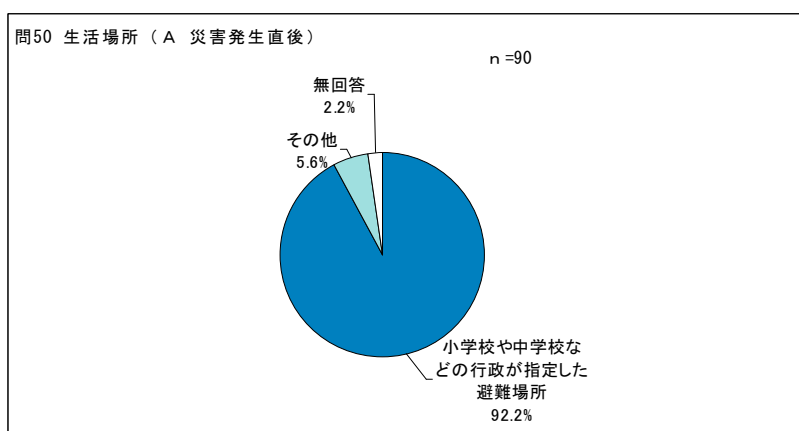
問 50 もしも災害により自宅で生活するのが困難な状態になった場合、あなたの生活するところはどこになるとお考えですか。[単数回答]

《A 災害発生直後》（発生時から1週間程度）

「小学校や中学校などの行政が指定した避難場所」が92.2%と圧倒的に多くなっています。

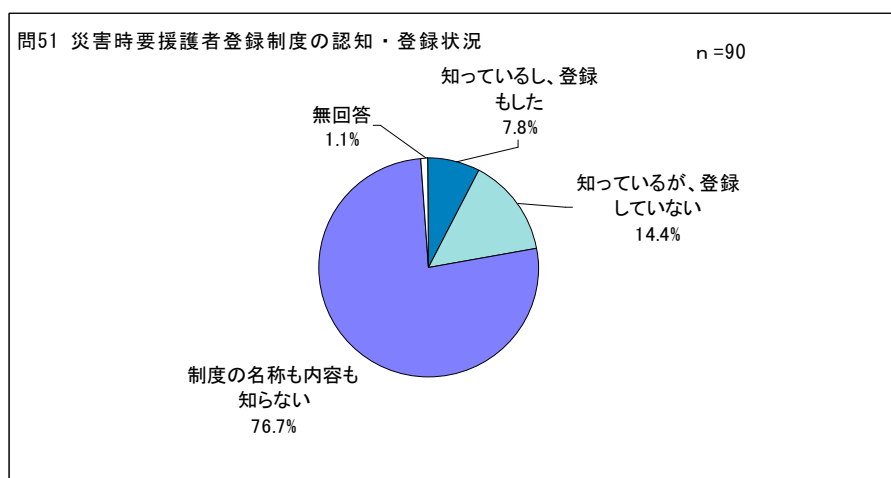
《B 生活支援期》（発生から1週間以上経過後）

「仮設住宅」が25.6%と最も多く、次いで「小学校や中学校などの行政が指定した避難場所」と「自分の健康や障害を考えて、医療や介護を受けられる避難所」がともに23.3%となっています。



問 51 「災害時要援護者登録制度」は、災害発生時に自力で安全な場所へ避難することが困難な方が予め申請し、市の災害時要援護者台帳に登録することにより、その情報を地域の自主防災組織、民生委員・児童委員のほか、消防団、消防署、警察署、社会福祉協議会にも提供し、災害が発生した時の安否確認や避難誘導等の支援活動を迅速にできるようにする制度ですが、ご存知ですか。[単数回答]

「災害時要援護者登録制度」の認知・登録状況についてみると、「制度の名称も内容も知らない」が76.7%と最も多く、次いで「知っているが、登録していない」が14.4%となっています。



**福生市高齢者・障害者生活実態調査
報告書**

平成 23 年 9 月発行

発行 福生市福祉保健部社会福祉課

〒197-8501

東京都福生市本町 5 番地

TEL : 042-551-1511 (代)